

令和6年度  
東広島市市民満足度調査  
報 告 書

令和6年11月  
東広島市



## 目 次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の設計	1
3.	回収状況	1
4.	標本誤差	1
5.	報告書の見方	2
II	基本的な属性	3
III	調査の分析	5
1.	現在の住環境について	5
2.	市政運営について	26
3.	市が実施している施策の満足度と重要度について	29
4.	男女共同参画について	40
5.	「多文化共生のまちづくり」について	51
6.	地域コミュニティ活動の参加状況について	65
7.	住民自治協議会について	84
8.	消費生活について	86
9.	生涯学習について	94
10.	運動・スポーツについて	102
11.	困りごとがあったときの相談先（相談相手）について	113
12.	防災について	116

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、「第五次東広島市総合計画」を計画的かつ効率的に推進するため、市の施策に係る市民のニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開における基礎資料として活用することを目的として実施した。

## 2. 調査の設計

(1) 調査地域	東広島市全域
(2) 調査対象	東広島市内に居住している18歳以上の男女個人
(3) 標本数	2,500人
(4) 抽出方法	層化無作為抽出法(住民基本台帳からの抽出)
(5) 調査方法	郵送配布・郵送回収およびインターネット回答によるアンケート調査
(6) 調査期間	令和6年7月4日(木)～令和6年8月27日(火)

## 3. 回収状況

(1) 配布数	2,500件
(2) 有効回収数	998件
(3) 有効回収率	39.9% (※前回調査：42.2%)

## 4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体(東広島市の18歳以上の男女)の比率を推定するため、単純無作為抽出の場合の標本誤差の<算出式>と<早見表>を次に示す。

統計学上の標本誤差は、比率算出の基数(回答サンプル数)及び回答の比率によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は、±3.17%以内となる。

<算出式>

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数(東広島市の18歳以上の男女)
n = 比率算出の基数(回答サンプル数)
p = 回答の比率(0 ≤ p ≤ 1)

<早見表>

回答比率(p) 標本数(n)	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
100	±4.36	±6.00	±8.00	±9.17	±9.80	±10.00
200	±3.08	±4.24	±5.66	±6.48	±6.93	±7.07
500	±1.95	±2.68	±3.58	±4.10	±4.38	±4.47
998	±1.38	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.17
1,000	±1.38	±1.90	±2.53	±2.90	±3.10	±3.16
5,000	±0.62	±0.85	±1.13	±1.30	±1.39	±1.41
10,000	±0.44	±0.60	±0.80	±0.92	±0.98	±1.00

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

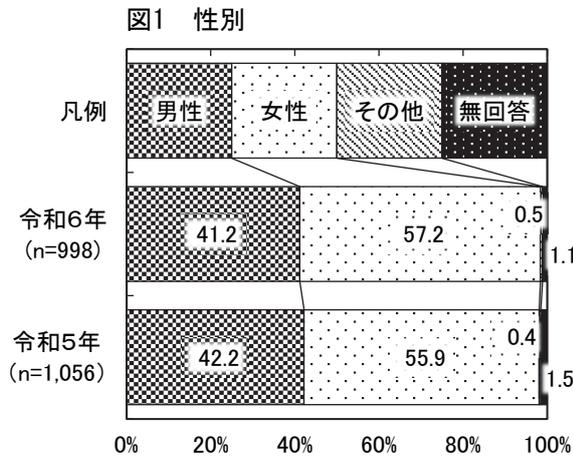
## 5. 報告書の見方

- (1) 図表中に示す n は、回答数総数のことである。
- (2) 割合は n を 100.0% として算出し、図表中の構成比(%)は、小数点第 2 位以下を四捨五入したため、合計が 100.0% にならない場合がある。
- (3) 回答が 2 つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は 100.0% を超える場合がある。
- (4) 統計学上 50 サンプル以下の集計(回答者数)は信憑性が低いため、原則としてクロス集計については、50 サンプル以上を記述(コメント)の対象としている。  
 ※限定質問で全体のサンプル数が少ない場合は、コメントの対象としている。  
 ※居住地別の「志和地区」、「福富地区」、「豊栄地区」、「河内地区」、「安芸津地区」は 50 サンプル未満であるが、コメントの対象としている。
- (5) 属性別(クロス集計)の記述では、全体及び属性間の集計結果と比較し、特徴または傾向がみられるものを記している。
- (6) 経年変化分析については、令和 5 年度調査結果(前回調査結果)を起点として変化分析を示し、参考値としてそれ以前の年度の調査結果をあわせて掲載している。
- (7) 表・グラフの属性別データは、無回答を除いて掲載しているため、回答数総数と属性の内訳の合計は一致しない。

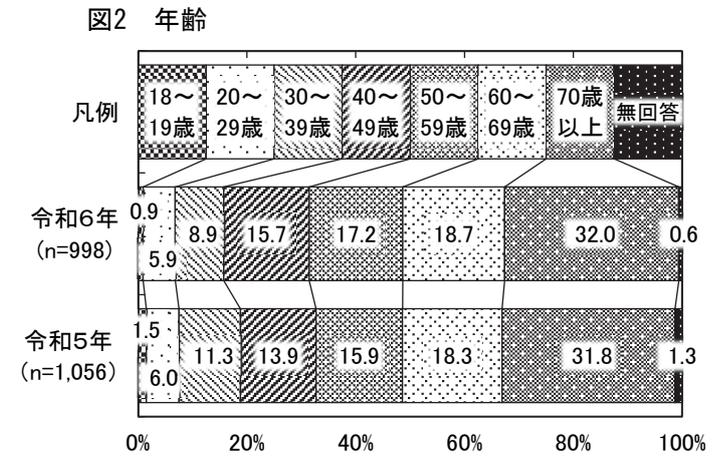
## II 基本的な属性

それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。

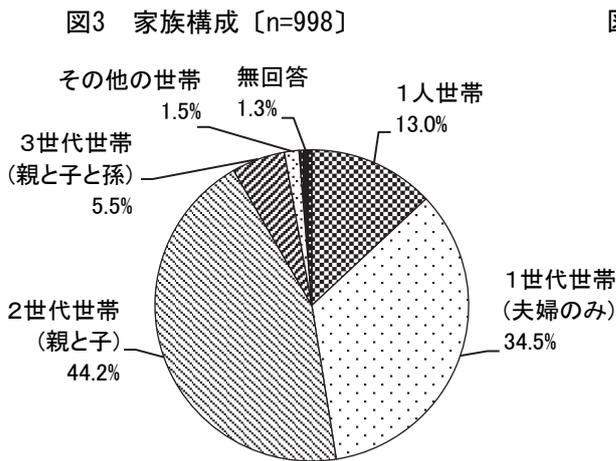
### (1) 性別



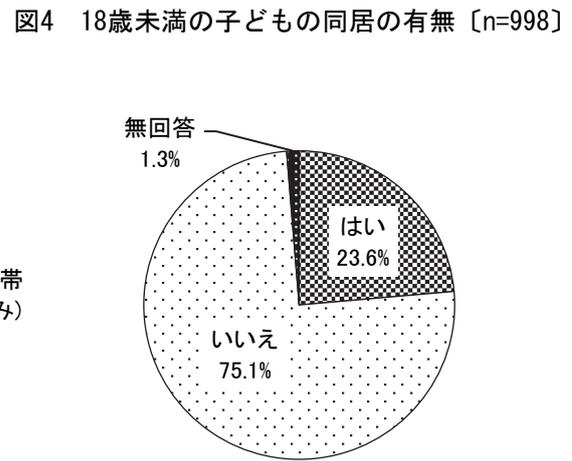
### (2) 年齢



### (3) 家族構成

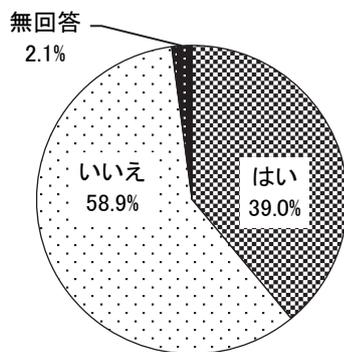


### (4) 18歳未満の子どもの同居の有無



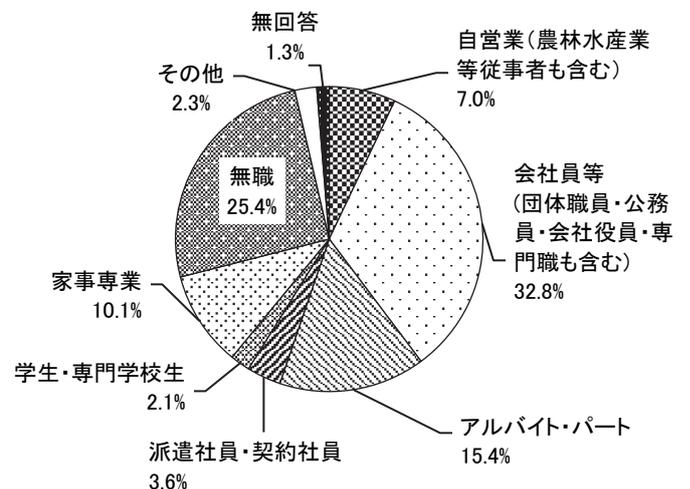
### (5) 65歳以上の方の同居の有無

図5 65歳以上の方の同居の有無 [n=998]



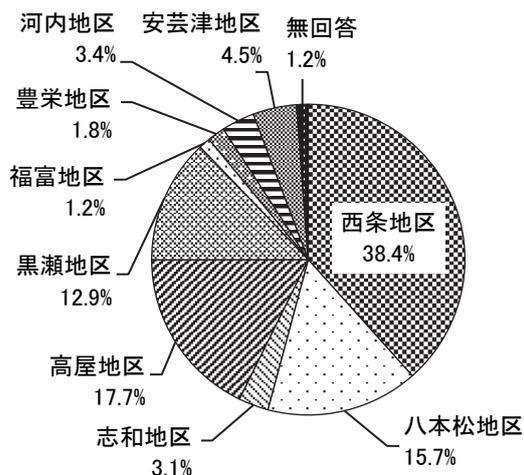
### (6) 職業

図6 職業 [n=998]



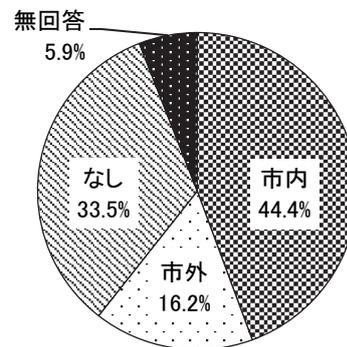
(7) 居住地区

図7 居住地区 [n=998]



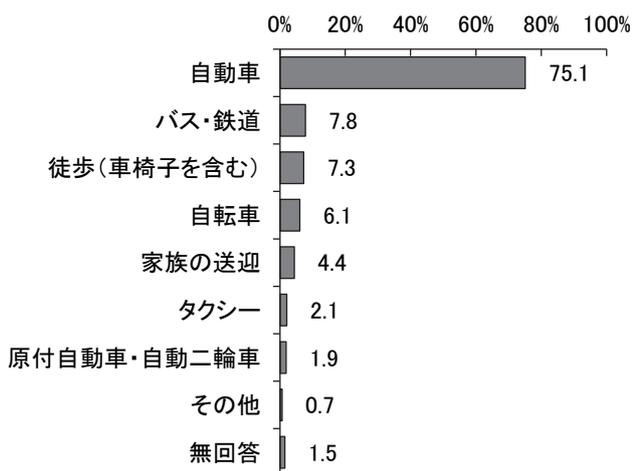
(8) 通勤、通学先

図8 通勤・通学先 [n=998]



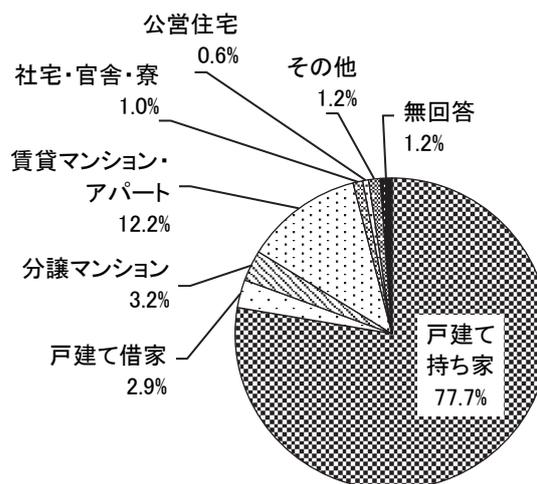
(9) 主な移動手段

図9 主な移動手段<複数回答> [n=998]



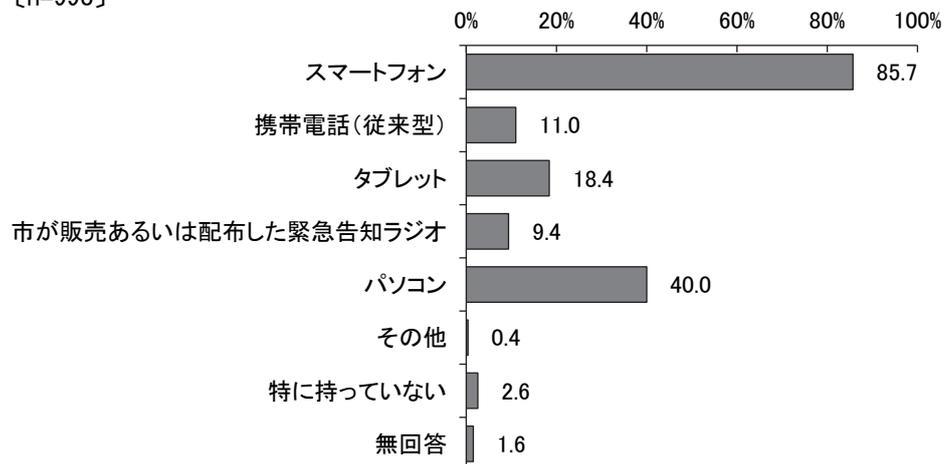
(10) 居住形態

図10 居住形態 [n=998]



(11) お持ちの端末

図11 お持ちの端末<複数回答> [n=998]



### Ⅲ 調査の分析

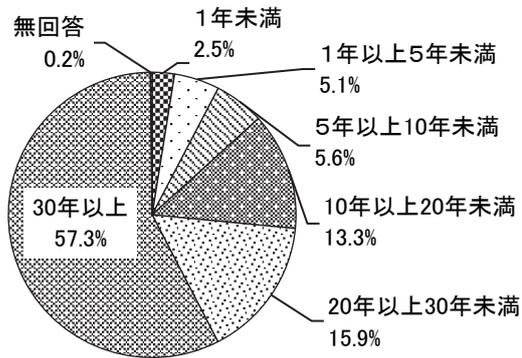
#### 1. 現在の住環境について

##### (1) 居住年数

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

居住年数については、「30年以上」が57.3%と最も高く、次いで、「20年以上30年未満」が15.9%、「10年以上20年未満」が13.3%、「5年以上10年未満」が5.6%、「1年以上5年未満」が5.1%、「1年未満」が2.5%となっている。10年以上は86.5%を占めている。

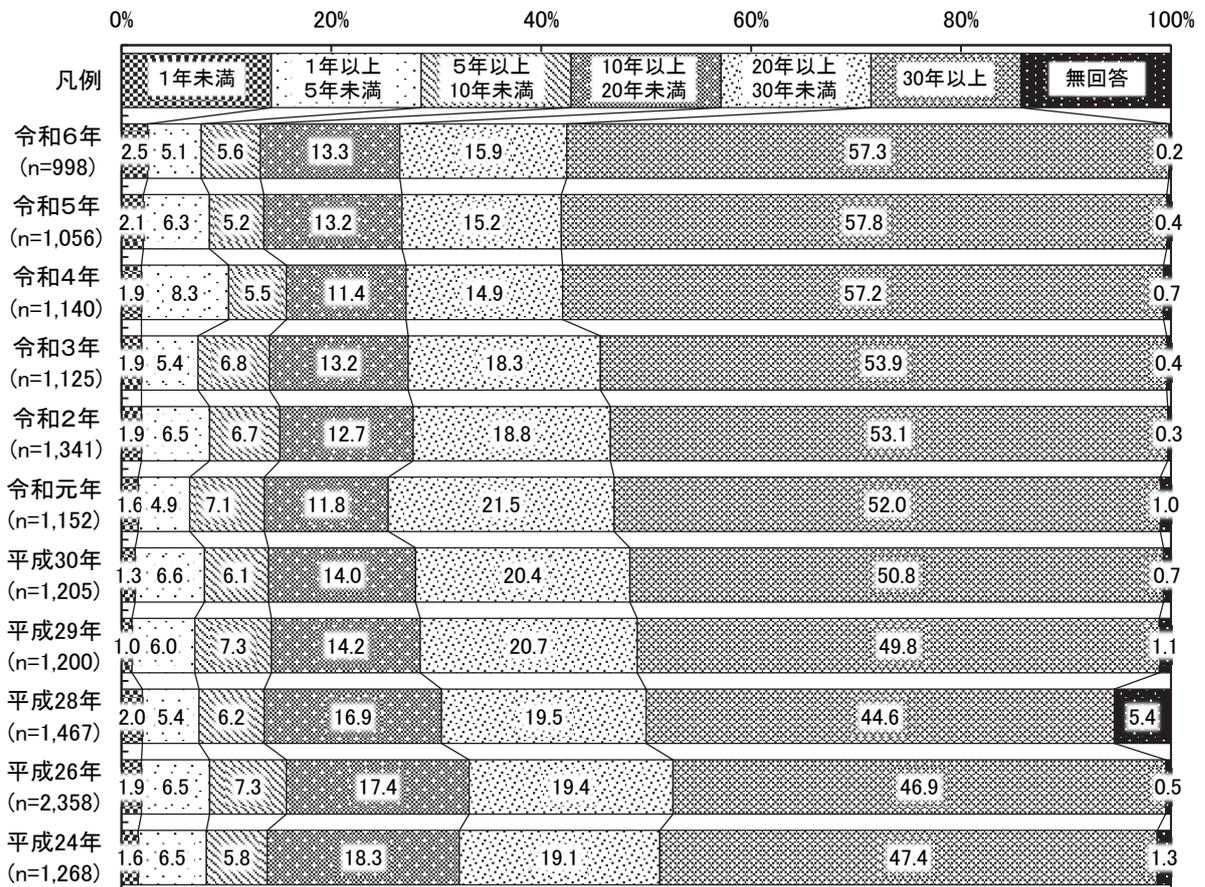
図1-1 居住年数 [n=998]



#### 【経年変化】

令和5年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図1-2 居住年数／経年変化



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、顕著な差はない。

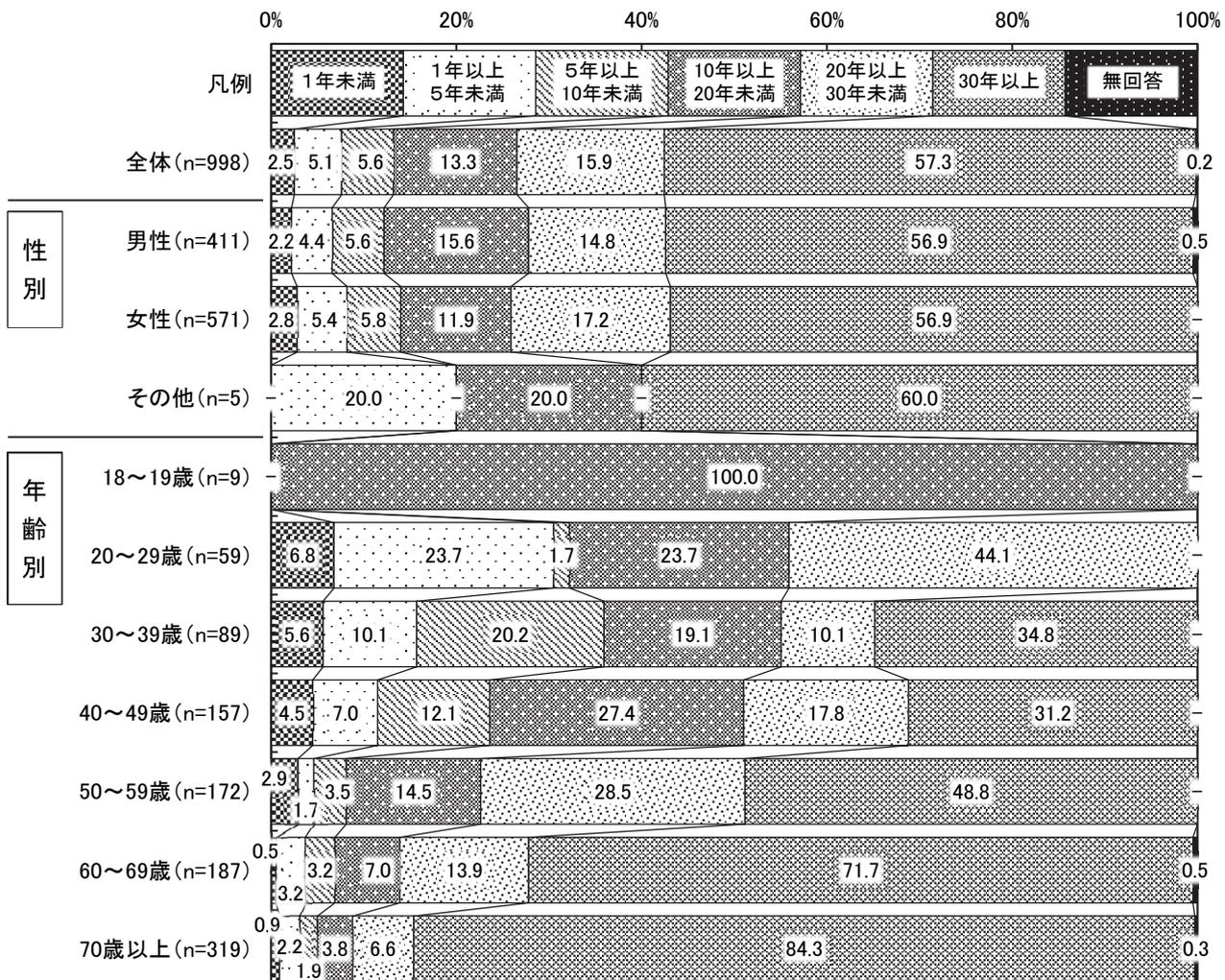
年齢別では、「1年以上5年未満」は『20～29歳』が23.7%と18.6ポイント、『30～39歳』が10.1%と5.0ポイント、それぞれ全体より高い。

「5年以上10年未満」は『30～39歳』が20.2%と14.6ポイント、『40～49歳』が12.1%と6.5ポイント、それぞれ全体より高い。「10年以上20年未満」は『40～49歳』が27.4%と14.1ポイント、『20～29歳』が23.7%と10.4ポイント、『30～39歳』が19.1%と5.8ポイント、それぞれ全体より高い。「20年以上30年未満」は『20～29歳』が44.1%と28.2ポイント、『50～59歳』が28.5%と12.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「30年以上」は『70歳以上』が84.3%と27.0ポイント、『60～69歳』が71.7%と14.4ポイント、それぞれ全体より高く、60歳以上の年齢層で特に高くなっている。

※性別の『その他』および年齢別の『18～19歳』はサンプル数が少ないため、コメントしない。以下同様。

図1-3 居住年数／性別・年齢別



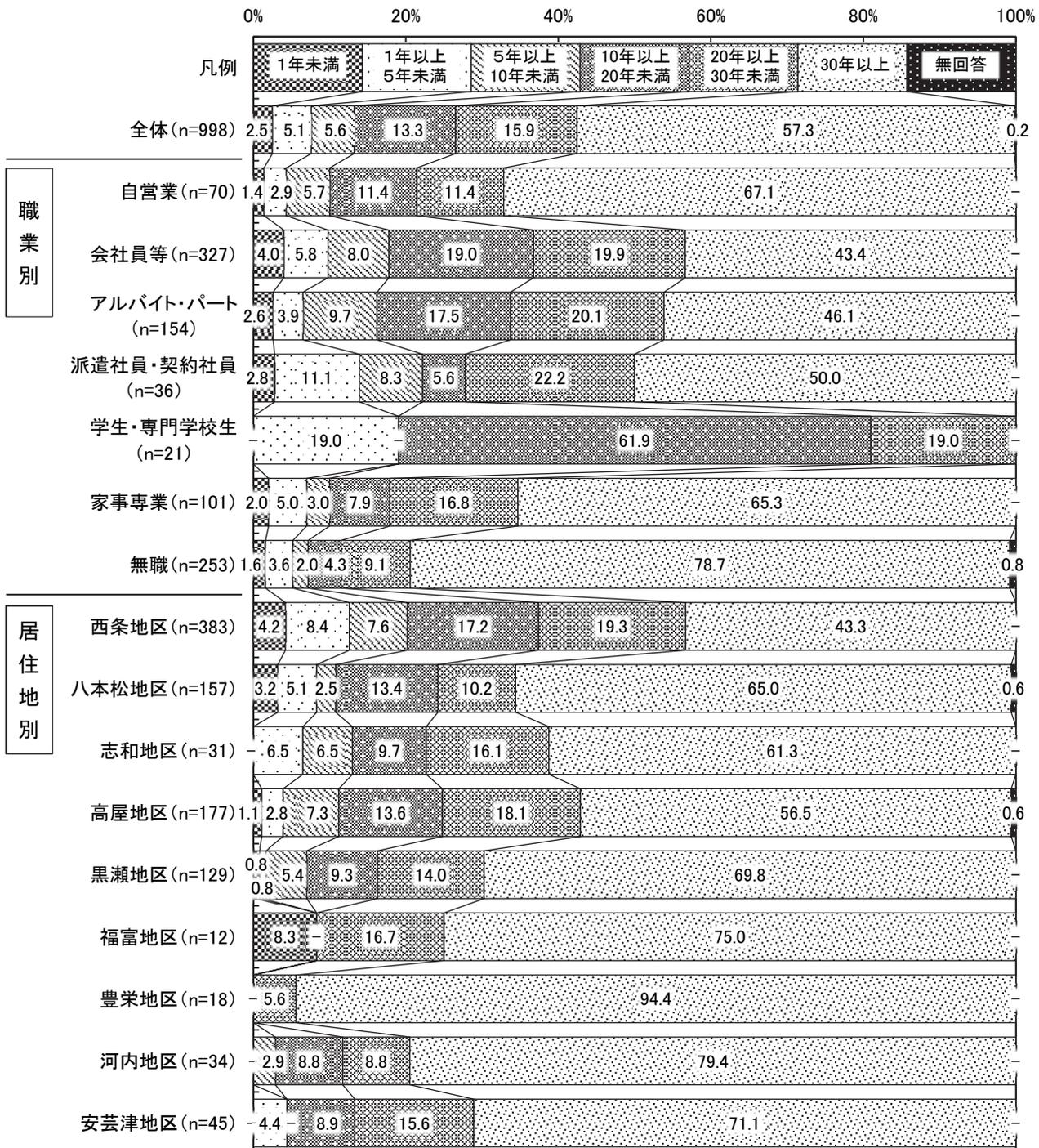
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「30年以上」は『無職』が78.7%と21.4ポイント、『自営業』が67.1%と9.8ポイント、『家事専業』が65.3%と8.0ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「30年以上」は『黒瀬地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、『安芸津地区』がそれぞれ全体より10ポイント以上高くなっている。また、『八本松地区』も65.0%と全体より7.7ポイント高い。

※『派遣社員・契約社員』『学生・専門学校生』はサンプル数が少ないため、原則コメントしない。以下同様。

図1-4 居住年数／職業別・居住地別



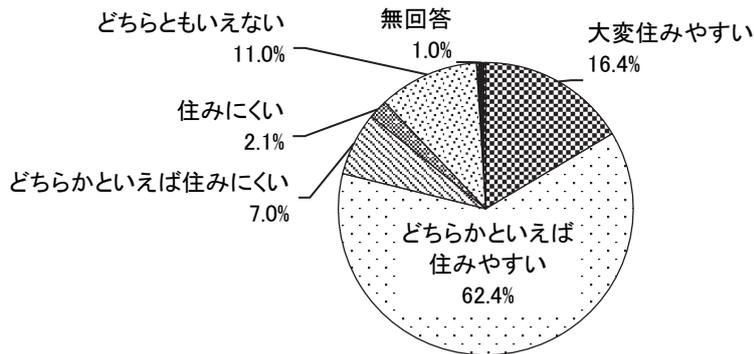
(2) 住み心地

問2 あなたは、東広島市の「住み心地」についてどう感じていますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

住み心地については、「大変住みやすい」が16.4%、「どちらかといえば住みやすい」が62.4%で、「住みやすい」（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は、78.8%と8割弱を占める。

「どちらかといえば住みにくい」は7.0%、「住みにくい」は2.1%で、「住みにくい」（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は、9.1%となっている。

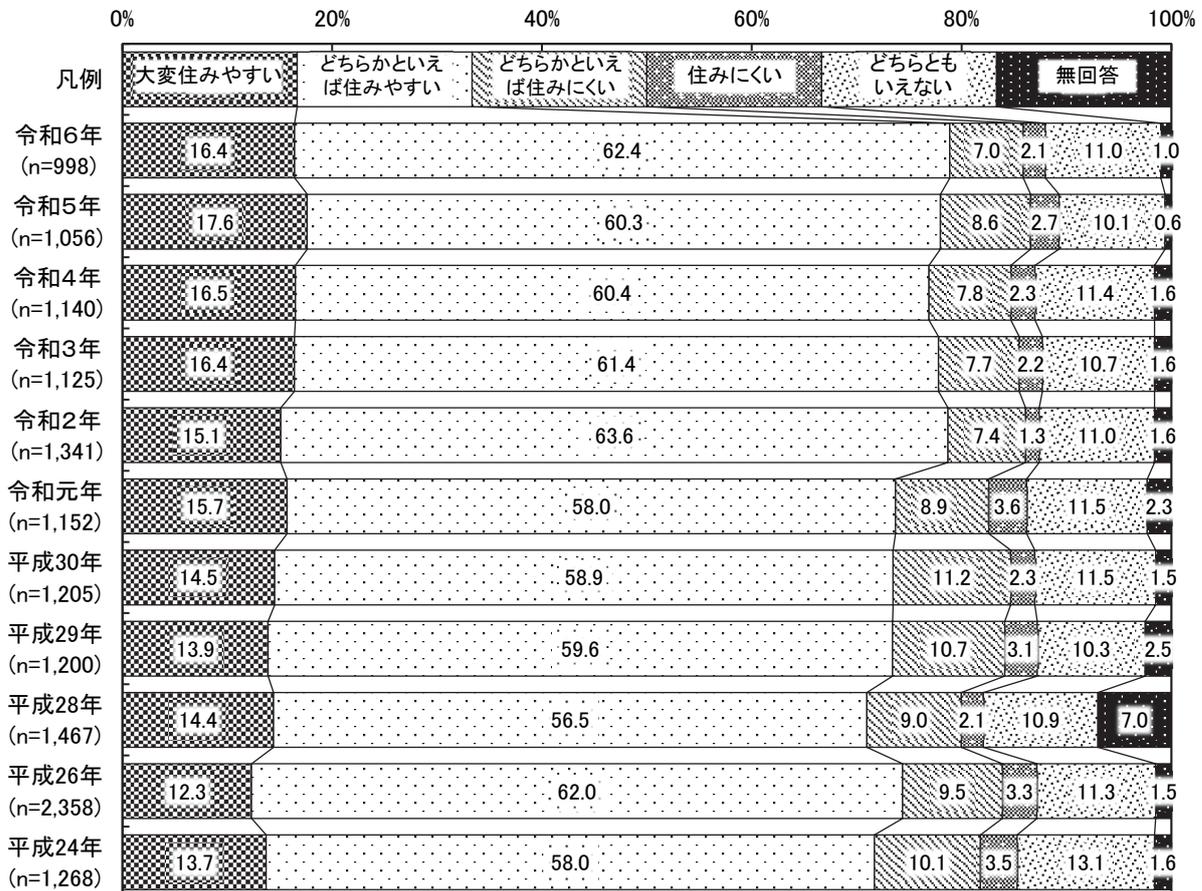
図2-1 住み心地 [n=998]



【経年変化】

令和5年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図2-2 住み心地／経年変化

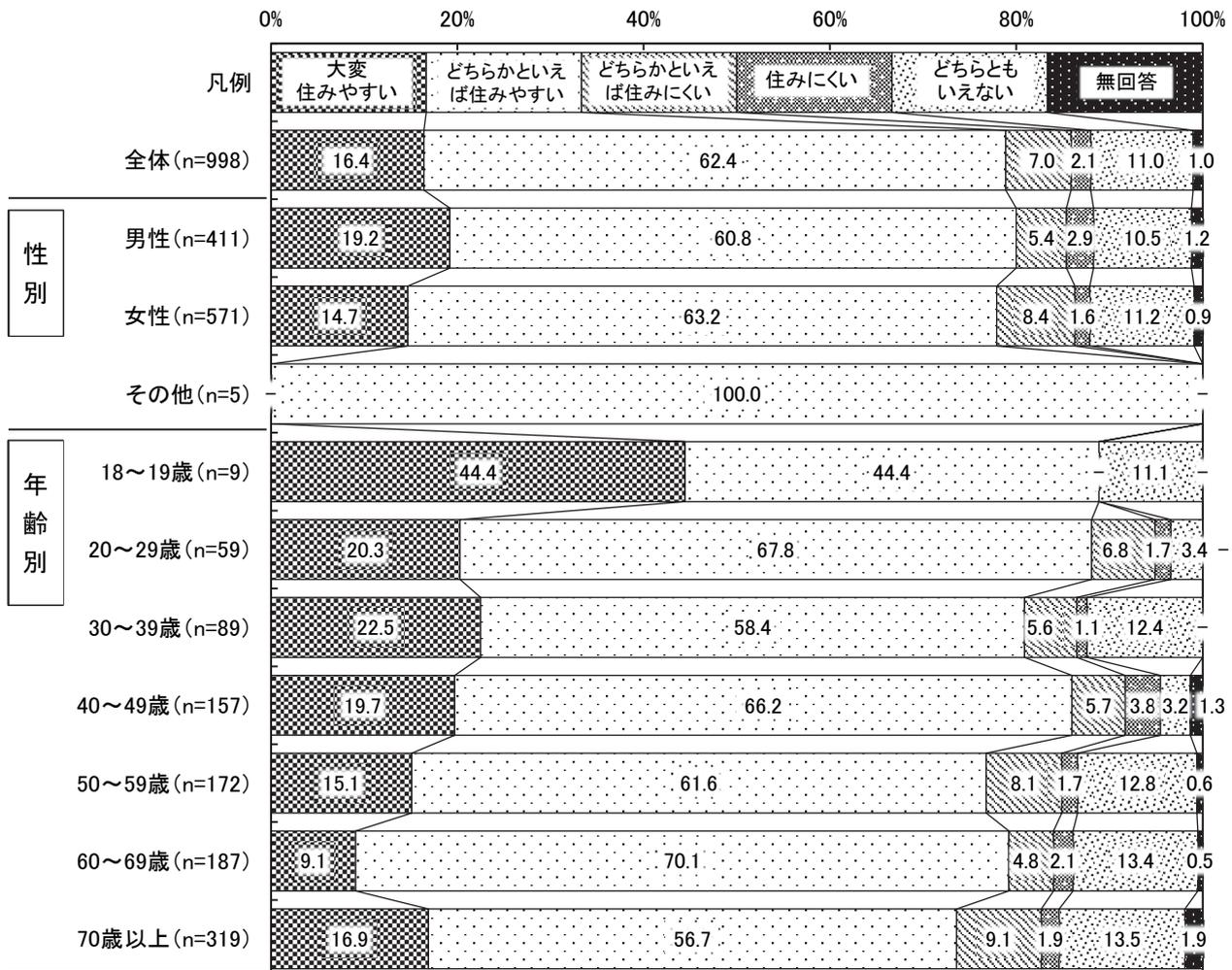


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「大変住みやすい」は『30～39歳』が22.5%と6.1ポイント全体より高い。“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）については『20～29歳』が88.1%と9.3ポイント、『40～49歳』が85.9%と7.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図2-3 住み心地／性別・年齢別



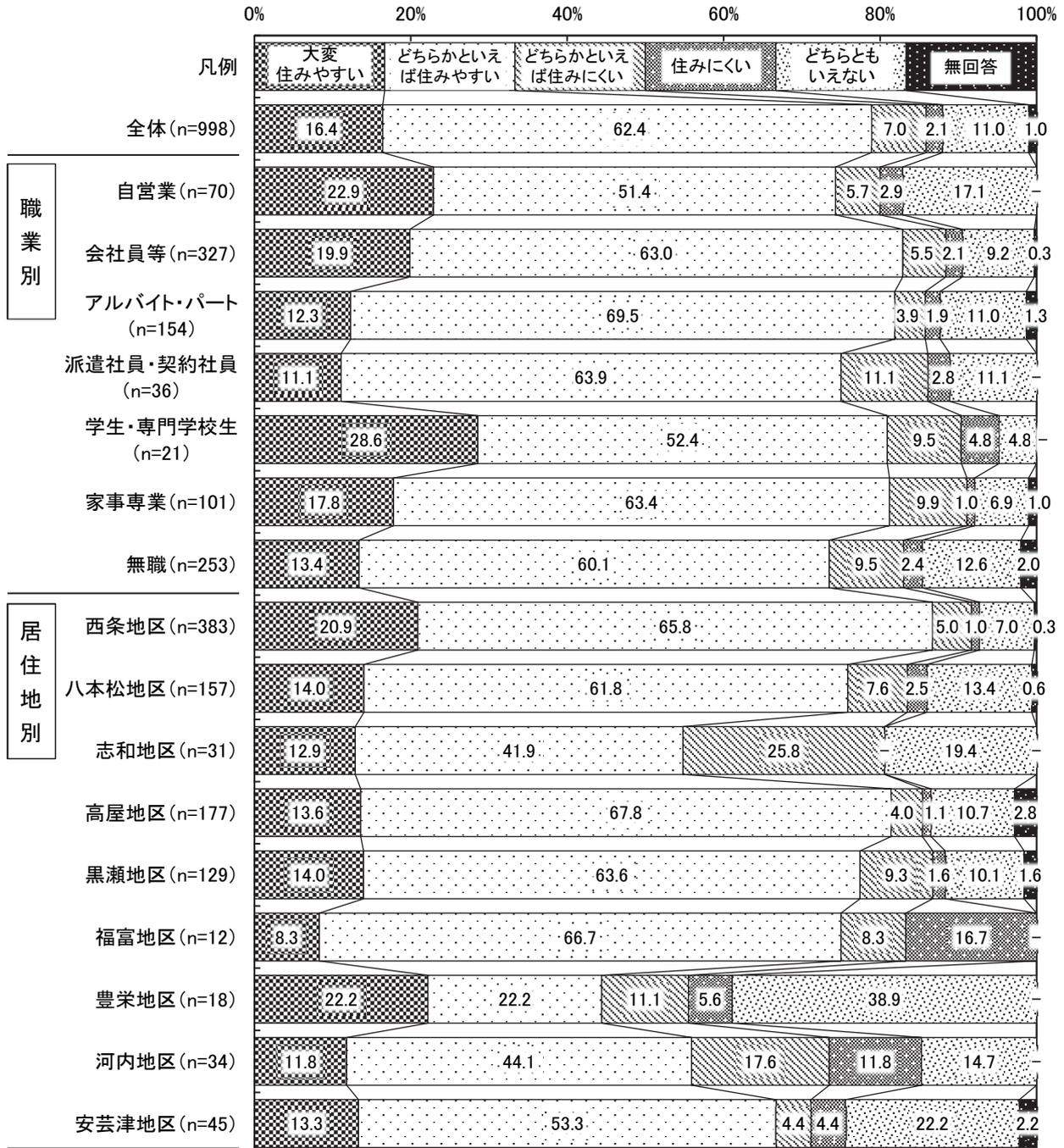
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「大変住みやすい」は『自営業』が22.9%と6.5ポイント全体より高い。

居住地別では、“住みやすい”（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）は『西条地区』が86.7%と7.9ポイント全体より高い。

“住みにくい”（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は『河内地区』が29.4%と20.3ポイント、『志和地区』が25.8%と16.7ポイント、『福富地区』が25.0%と15.9ポイント、『豊栄地区』が16.7%と7.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図2-4 住み心地／職業別・居住地別



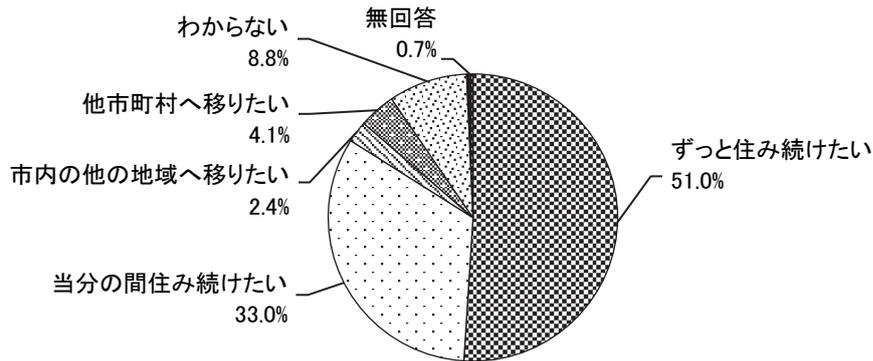
(3) 居住意向

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

居住意向については、「ずっと住み続けたい」が51.0%と最も高く、次いで、「当分の間住み続けたい」が33.0%で、“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）は、84.0%と8割以上を占める。

「他市町村へ移りたい」は4.1%、「市内の他の地域へ移りたい」は2.4%であった。

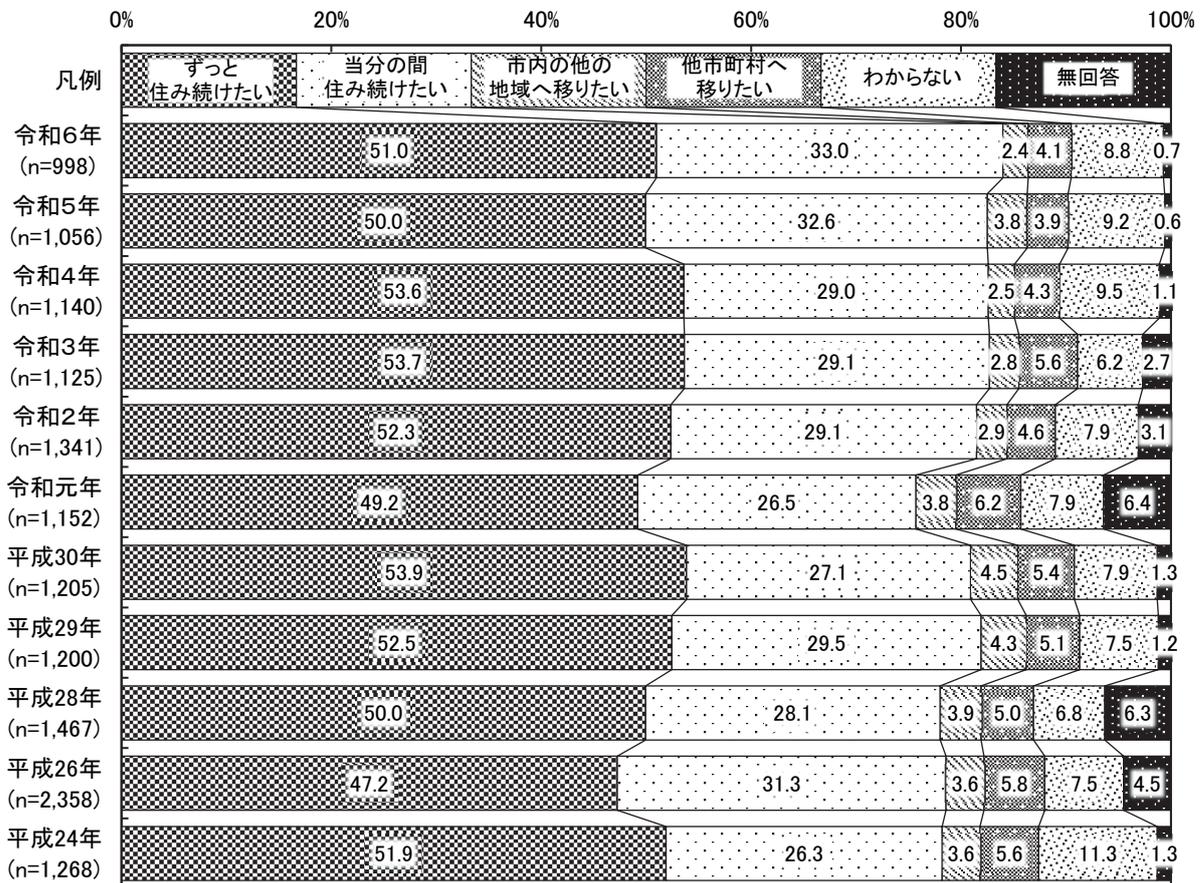
図3-1 居住意向 [n=998]



【経年変化】

令和5年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図3-2 居住意向／経年変化



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

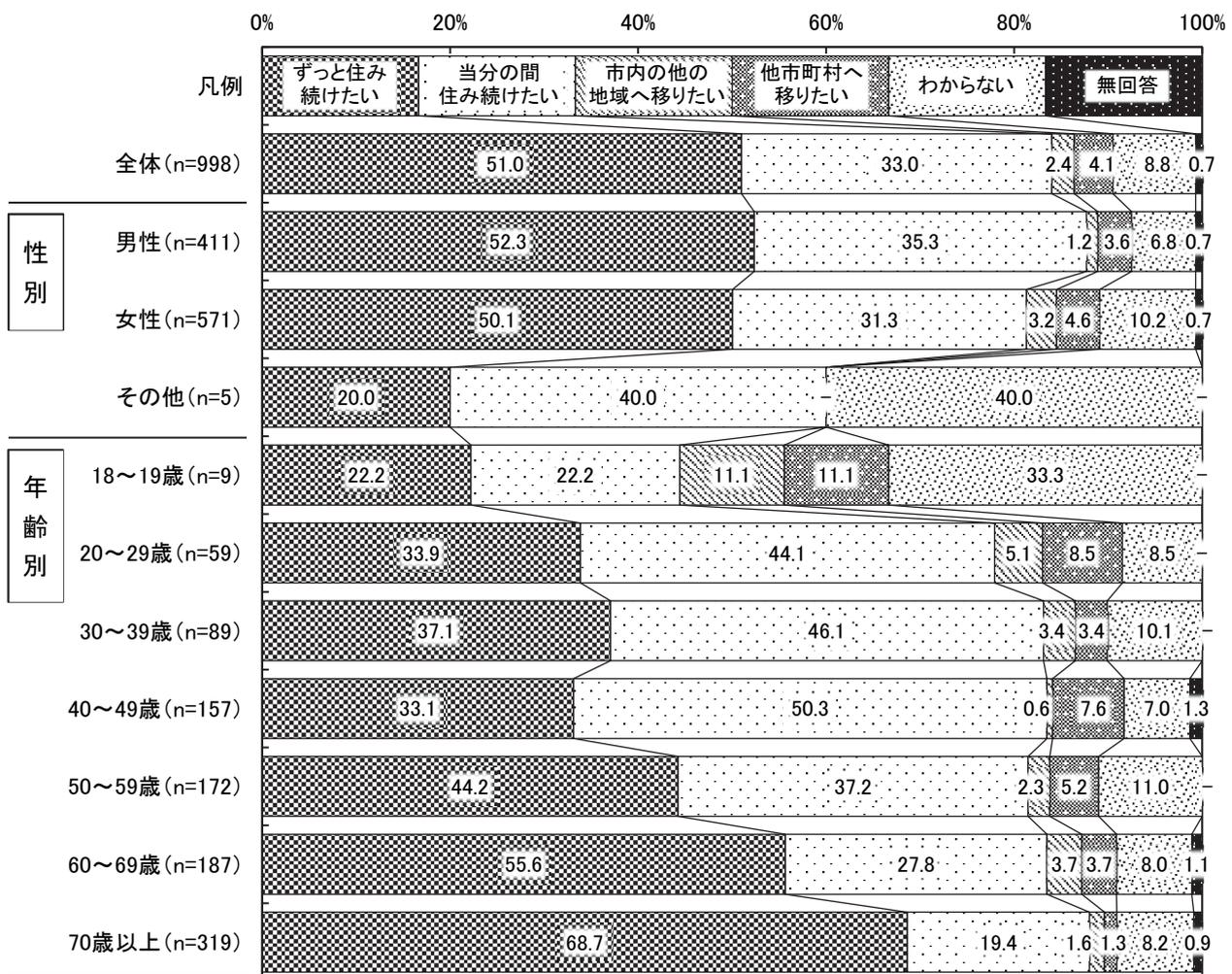
性別では、“住み続けたい”（「ずっと住み続けたい」と「当分の間住み続けたい」の合計）の値について、『男性』87.6%と『女性』81.4%と『男性』が『女性』より6.2ポイント高い。

年齢別では、「ずっと住み続けたい」は『70歳以上』が68.7%と各年齢層の中で最も高い。

「当分の間住み続けたい」は『40～49歳』が50.3%と17.3ポイント、『30～39歳』が46.1%と13.1ポイント、『20～29歳』が44.1%と11.1ポイント、それぞれ全体より高い。

“移りたい”（「市内の他の地域へ移りたい」と「他市町村へ移りたい」の合計）の値については『20～29歳』が13.6%と全体より7.1ポイント高くなっている。

図3-3 居留意向／性別・年齢別

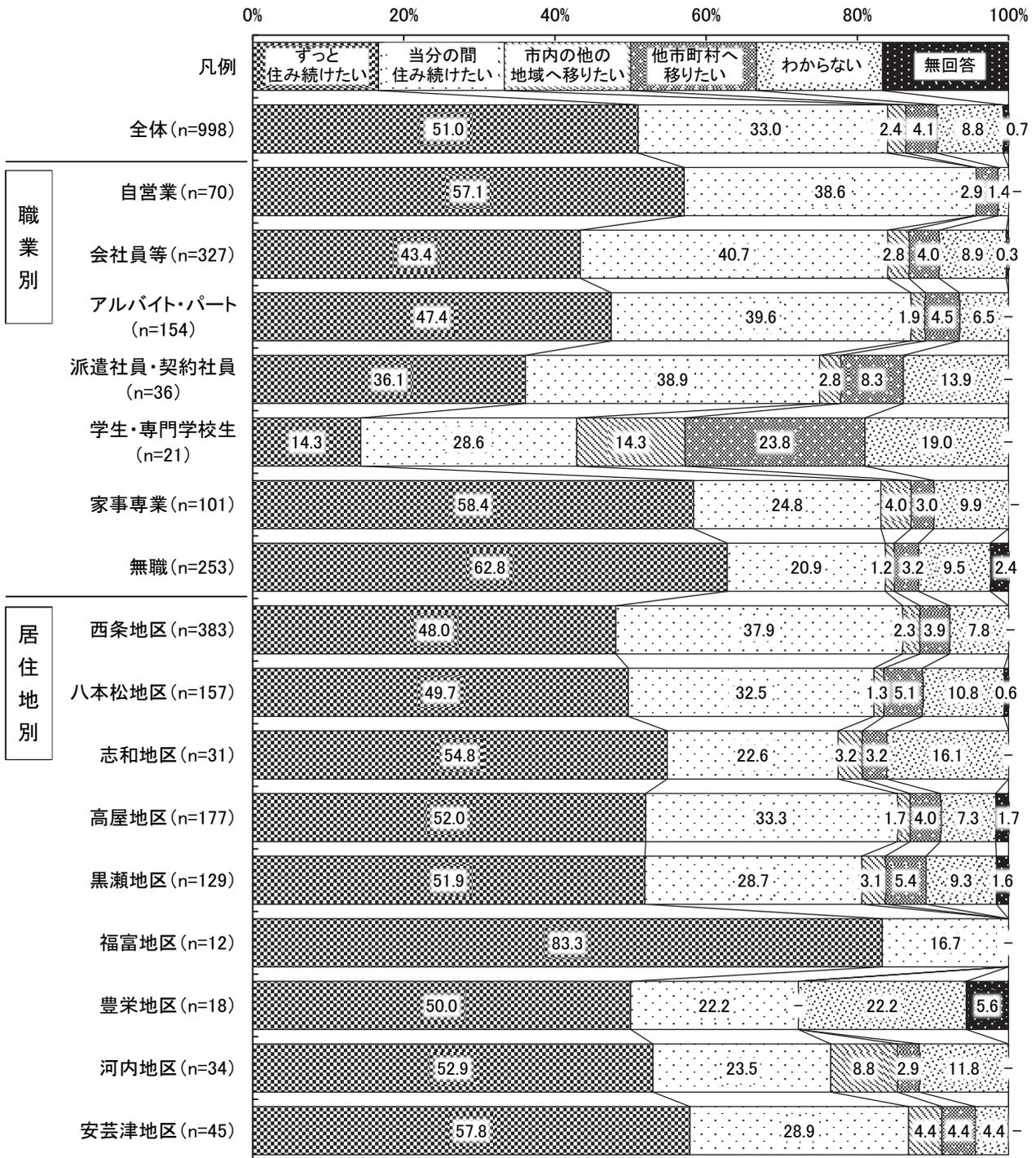


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「ずっと住みたい」は『無職』が62.8%と11.8ポイント、『家事専業』が58.4%と7.4ポイント、『自営業』が57.1%と6.1ポイント、それぞれ全体より高い。“住みたい”は『自営業』が95.7%と11.7ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「ずっと住みたい」は『福富地区』が83.3%と32.3ポイント全体より高くなっている。

図3-4 居留意向／職業別・居住地別

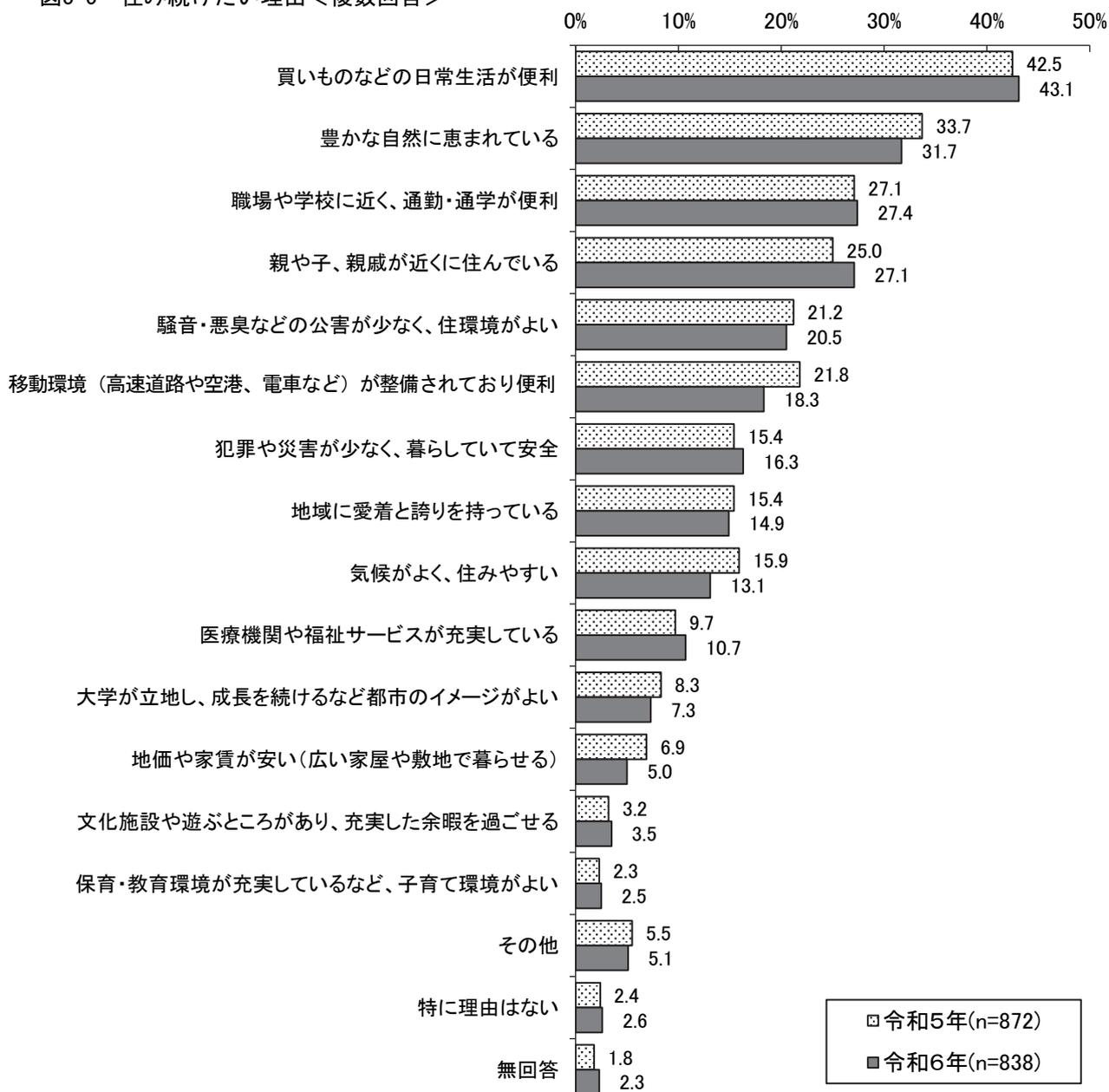


(4) 住み続けたい理由

問3で、「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。  
 問3-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で、「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」の回答者(該当件数838件)に住み続けたい主な理由についてたずねると、「買い物などの日常生活が便利」が43.1%と最も高く、次いで、「豊かな自然に恵まれている」が31.7%、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が27.4%、「親や子、親戚が近くに住んでいる」が27.1%、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」が20.5%「移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利」が18.3%、となっている。

図3-5 住み続けたい理由<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別＞

「地域に愛着と誇りを持っている」は5.0ポイント『男性』が『女性』より高く、「犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全」は5.2ポイント『女性』が『男性』より高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「買い物などの日常生活が便利」は『30～39歳』が52.7%と9.6ポイント全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」は『70歳以上』が40.6%と8.9ポイント全体より高く、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『40～49歳』が51.9%と24.5ポイント、『30～39歳』が45.9%と18.5ポイント、『50～59歳』が42.1%と14.7ポイント、『20～29歳』が32.6%と5.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『20～29歳』が39.1%と12.0ポイント、『50～59歳』が35.7%と8.6ポイント、『30～39歳』が33.8%と6.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域に愛着と誇りを持っている」は『20～29歳』が34.8%と19.9ポイント全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」、「騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい」、「犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全」、「気候がよく、住みやすい」、「医療機関や福祉サービスが充実している」はそれぞれ『70歳以上』が5ポイント以上全体より高くなっている。

表3-1 住み続けたい理由／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		買い物などの日常生活が便利	豊かな自然に恵まれている	職場や学校に近く、通勤・通学が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	地域に愛着と誇りを持っている	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=838)		43.1	31.7	27.4	27.1	20.5	18.3	16.3	14.9	13.1	10.7	7.3	5.0	3.5	2.5	5.1	2.6	2.3
性別	男性(n=360)	<b>44.2</b>	28.9	30.0	26.1	19.4	19.7	13.3	17.5	13.9	12.2	7.2	4.4	2.8	2.5	5.3	1.9	2.5
	女性(n=465)	<b>42.8</b>	33.8	25.6	28.2	21.3	17.4	18.5	12.5	12.0	9.7	7.3	5.6	4.1	2.6	5.2	2.8	1.9
	その他(n=3)	33.3	33.3	66.7	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=4)	50.0	75.0	25.0	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-
	20～29歳(n=46)	<b>45.7</b>	23.9	32.6	<b>39.1</b>	10.9	17.4	17.4	<b>34.8</b>	8.7	2.2	4.3	8.7	6.5	6.5	-	-	-
	30～39歳(n=74)	<b>52.7</b>	25.7	<b>45.9</b>	<b>33.8</b>	6.8	<b>24.3</b>	9.5	6.8	4.1	6.8	9.5	6.8	5.4	6.8	2.7	1.4	-
	40～49歳(n=131)	46.6	23.7	<b>51.9</b>	29.8	16.8	19.1	16.0	9.2	6.9	7.6	4.6	6.1	1.5	5.3	3.8	1.5	1.5
	50～59歳(n=140)	<b>45.0</b>	22.9	<b>42.1</b>	<b>35.7</b>	15.0	22.1	12.1	12.9	9.3	7.9	9.3	3.6	2.9	1.4	5.0	4.3	0.7
	60～69歳(n=156)	<b>40.4</b>	34.6	19.9	26.3	25.0	17.3	12.8	15.4	12.8	9.6	4.5	7.1	4.5	1.3	7.7	2.6	1.9
	70歳以上(n=281)	39.1	<b>40.6</b>	7.8	18.5	27.4	15.7	<b>22.1</b>	16.7	<b>20.6</b>	<b>16.7</b>	8.9	2.8	3.2	0.7	6.0	2.8	4.6

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「買い物などの日常生活が便利」は、『アルバイト・パート』が48.5%と5.4ポイント全体より高く、「豊かな自然に恵まれている」は『家事専業』が41.7%と10.0ポイント、『無職』が39.2%と7.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『会社員等』が47.6%と20.2ポイント、『アルバイト・パート』が40.3%と12.9ポイント、それぞれ全体より高い。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「買い物などの日常生活が便利」は『西条地区』が60.2%と17.1ポイント、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」についても『西条地区』が37.1%と9.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」は『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、『安芸津地区』でそれぞれ10ポイント以上全体より高くなっている。

表3-2 住みたい理由／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

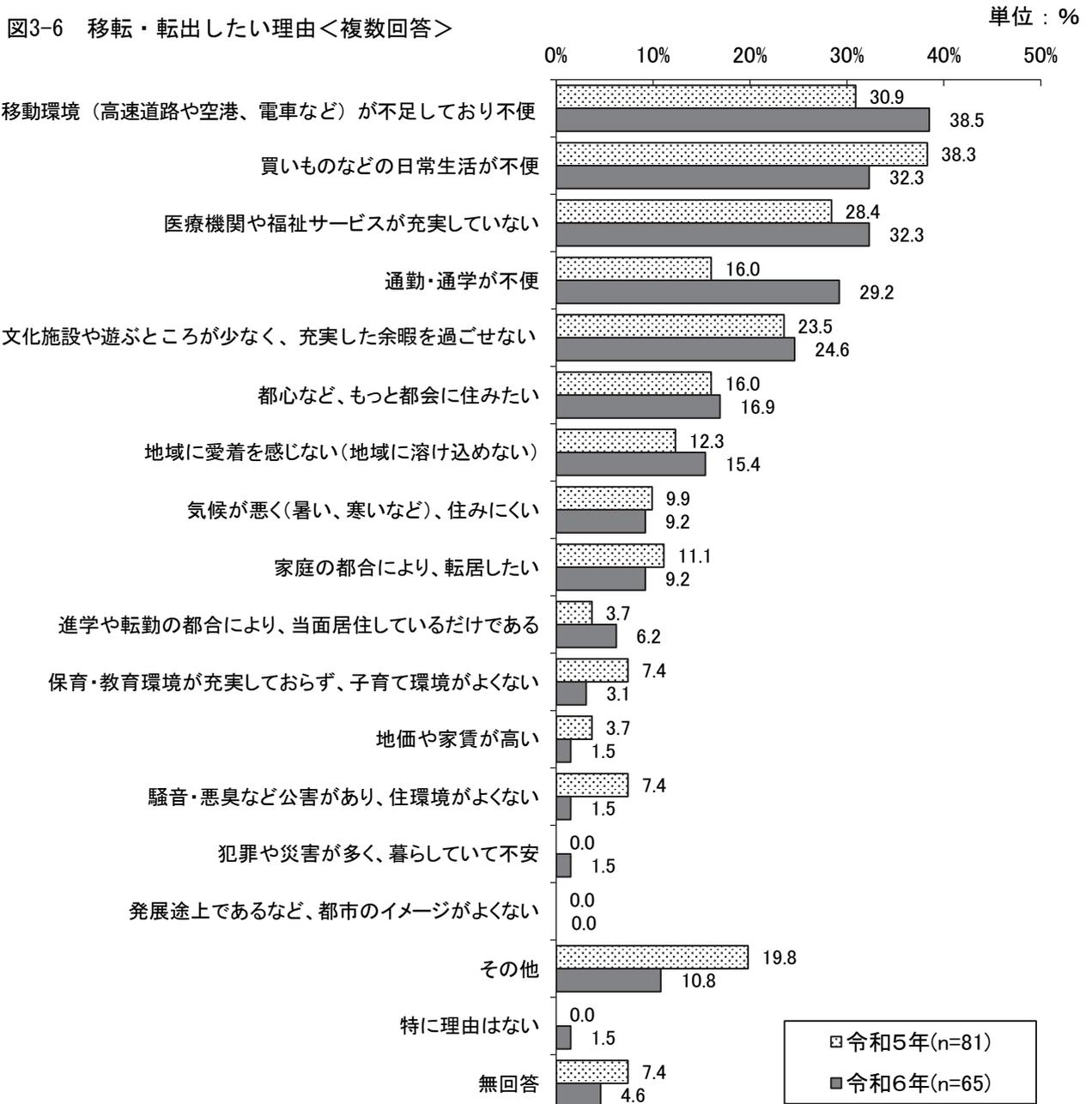
		買い物などの日常生活が便利	豊かな自然に恵まれている	職場や学校に近く、通勤・通学が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	地域に愛着と誇りを持っている	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=838)		43.1	31.7	27.4	27.1	20.5	18.3	16.3	14.9	13.1	10.7	7.3	5.0	3.5	2.5	5.1	2.6	2.3
職業別	自営業(n=67)	<b>35.8</b>	<b>35.8</b>	17.9	29.9	9.0	19.4	17.9	23.9	17.9	6.0	6.0	1.5	1.5	-	9.0	7.5	-
	会社員等(n=275)	43.6	25.1	<b>47.6</b>	29.8	12.4	20.7	12.4	15.6	7.3	7.3	8.0	6.2	3.3	4.7	4.0	2.2	1.1
	アルバイト・パート(n=134)	<b>48.5</b>	26.9	<b>40.3</b>	31.3	28.4	20.1	15.7	6.0	11.2	9.0	3.7	3.0	3.0	1.5	6.0	1.5	-
	派遣社員・契約社員(n=27)	33.3	18.5	29.6	<b>51.9</b>	14.8	25.9	18.5	7.4	14.8	3.7	7.4	3.7	7.4	-	3.7	7.4	-
	学生・専門学校生(n=9)	44.4	44.4	11.1	44.4	33.3	11.1	22.2	33.3	-	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-
	家事専業(n=84)	<b>46.4</b>	<b>41.7</b>	8.3	16.7	29.8	15.5	17.9	9.5	13.1	15.5	7.1	9.5	3.6	4.8	3.6	2.4	3.6
	無職(n=212)	<b>42.0</b>	<b>39.2</b>	6.6	20.8	<b>25.9</b>	15.6	19.8	17.9	<b>19.8</b>	<b>16.5</b>	9.4	2.8	3.3	0.5	5.7	1.9	5.2
居住地別	西条地区(n=329)	<b>60.2</b>	22.8	37.1	26.1	13.7	22.2	11.9	11.2	9.7	13.4	8.5	3.6	3.6	2.7	3.6	1.8	1.8
	八本松地区(n=129)	<b>38.0</b>	31.8	27.1	24.0	26.4	16.3	20.2	14.0	9.3	13.2	4.7	2.3	3.1	0.8	7.8	3.9	2.3
	志和地区(n=24)	8.3	<b>62.5</b>	8.3	29.2	25.0	12.5	<b>33.3</b>	20.8	16.7	8.3	-	8.3	-	-	4.2	-	<b>8.3</b>
	高屋地区(n=151)	<b>41.1</b>	33.1	25.2	25.8	28.5	27.2	15.9	13.2	9.3	9.3	9.9	6.6	4.0	4.6	5.3	1.3	2.6
	黒瀬地区(n=104)	<b>34.6</b>	33.7	21.2	<b>33.7</b>	19.2	8.7	21.2	15.4	19.2	6.7	7.7	6.7	5.8	2.9	4.8	3.8	1.9
	福富地区(n=12)	-	<b>58.3</b>	-	16.7	25.0	-	8.3	<b>41.7</b>	16.7	8.3	-	-	-	-	8.3	<b>8.3</b>	<b>8.3</b>
	豊栄地区(n=13)	-	<b>53.8</b>	15.4	23.1	<b>30.8</b>	-	7.7	<b>23.1</b>	15.4	-	15.4	<b>23.1</b>	-	7.7	7.7	<b>15.4</b>	-
	河内地区(n=26)	3.8	<b>46.2</b>	15.4	<b>50.0</b>	<b>30.8</b>	15.4	11.5	<b>34.6</b>	15.4	-	3.8	11.5	-	-	<b>15.4</b>	-	-
	安芸津地区(n=39)	28.2	<b>48.7</b>	12.8	25.6	15.4	5.1	<b>23.1</b>	<b>23.1</b>	<b>41.0</b>	10.3	2.6	5.1	-	-	2.6	-	2.6

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

(5) 移転・転出したい理由

問3で、「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。  
 問3-2 移転・転出したい主な理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」の回答者(該当件数65件)に移転・転出したい主な理由をたずねると、「移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便」が38.5%と最も高く、次いで、「買い物などの日常生活が不便」と「医療機関や福祉サービスが充実していない」が32.3%、「通勤・通学が不便」が29.2%、「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」が24.6%となっている。



【属性別の傾向】＜性別＞

『男性』が『女性』より高い項目としては、「通勤・通学が不便」が15.0ポイント、「進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである」が12.7ポイント、「気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい」が8.2ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高く、差が大きい。

反対に、『女性』が『男性』より高い項目としては、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」が20.5ポイント、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が18.6ポイント、それぞれ『女性』が『男性』より高くなっており、特に差が大きい。

※年齢別、職業別、居住地別については、サンプル数が少ないため、参考値として掲載し、コメントしない。

表3-3 移転・転出したい理由／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：％

		移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	買い物などの日常生活が不便	医療機関や福祉サービスが充実していない	通勤・通学が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	都心など、もっと都会に住みたい	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	家庭の都合により、転居したい	進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	地価や家賃が高い	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	犯罪や災害が多く、暮らして不安	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、都心のイメージがよくない	その他	特に理由はない	無回答
全体 (n=65)		38.5	32.3	32.3	29.2	24.6	16.9	15.4	9.2	9.2	6.2	3.1	1.5	1.5	1.5	-	10.8	1.5	4.6	
性別	男性 (n=20)	25.0	25.0	20.0	40.0	20.0	20.0	10.0	15.0	10.0	15.0	-	5.0	5.0	-	-	20.0	-	5.0	
	女性 (n=44)	45.5	34.1	38.6	25.0	27.3	15.9	15.9	6.8	9.1	2.3	4.5	-	-	2.3	-	6.8	2.3	4.5	
	その他 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳 (n=2)	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	20～29歳 (n=8)	25.0	-	-	50.0	37.5	62.5	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	12.5	
	30～39歳 (n=6)	50.0	-	-	50.0	33.3	16.7	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	
	40～49歳 (n=13)	46.2	15.4	30.8	30.8	46.2	15.4	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	-	7.7	-	15.4	-	-	
	50～59歳 (n=13)	46.2	38.5	46.2	30.8	23.1	7.7	30.8	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	
	60～69歳 (n=14)	42.9	71.4	64.3	28.6	-	-	-	7.1	14.3	7.1	-	-	7.1	-	-	-	21.4	-	-
	70歳以上 (n=9)	22.2	44.4	11.1	-	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2
職業別	自営業 (n=2)	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-
	会社員等 (n=22)	40.9	31.8	27.3	45.5	22.7	9.1	13.6	9.1	13.6	4.5	4.5	4.5	4.5	-	-	9.1	4.5	-	
	アルバイト・パート (n=10)	20.0	40.0	70.0	30.0	40.0	10.0	30.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0	-	-
	派遣社員・契約社員 (n=4)	75.0	50.0	-	50.0	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学生・専門学校生 (n=8)	12.5	-	12.5	37.5	12.5	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	12.5
	家事専業 (n=7)	57.1	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3
	無職 (n=11)	45.5	45.5	36.4	-	27.3	18.2	-	9.1	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1
居住地別	西条地区 (n=24)	25.0	16.7	16.7	33.3	37.5	20.8	16.7	4.2	12.5	16.7	4.2	4.2	4.2	-	-	-	8.3	4.2	4.2
	八本松地区 (n=10)	60.0	30.0	10.0	40.0	10.0	20.0	10.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	志和地区 (n=2)	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高屋地区 (n=10)	40.0	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	10.0	10.0	-	-	10.0	-	-	10.0	-	-	20.0	-	10.0
	黒瀬地区 (n=11)	63.6	45.5	27.3	9.1	27.3	18.2	9.1	-	27.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福富地区 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	豊栄地区 (n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	河内地区 (n=4)	-	100.0	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-
	安芸津地区 (n=4)	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が10未満はしない。

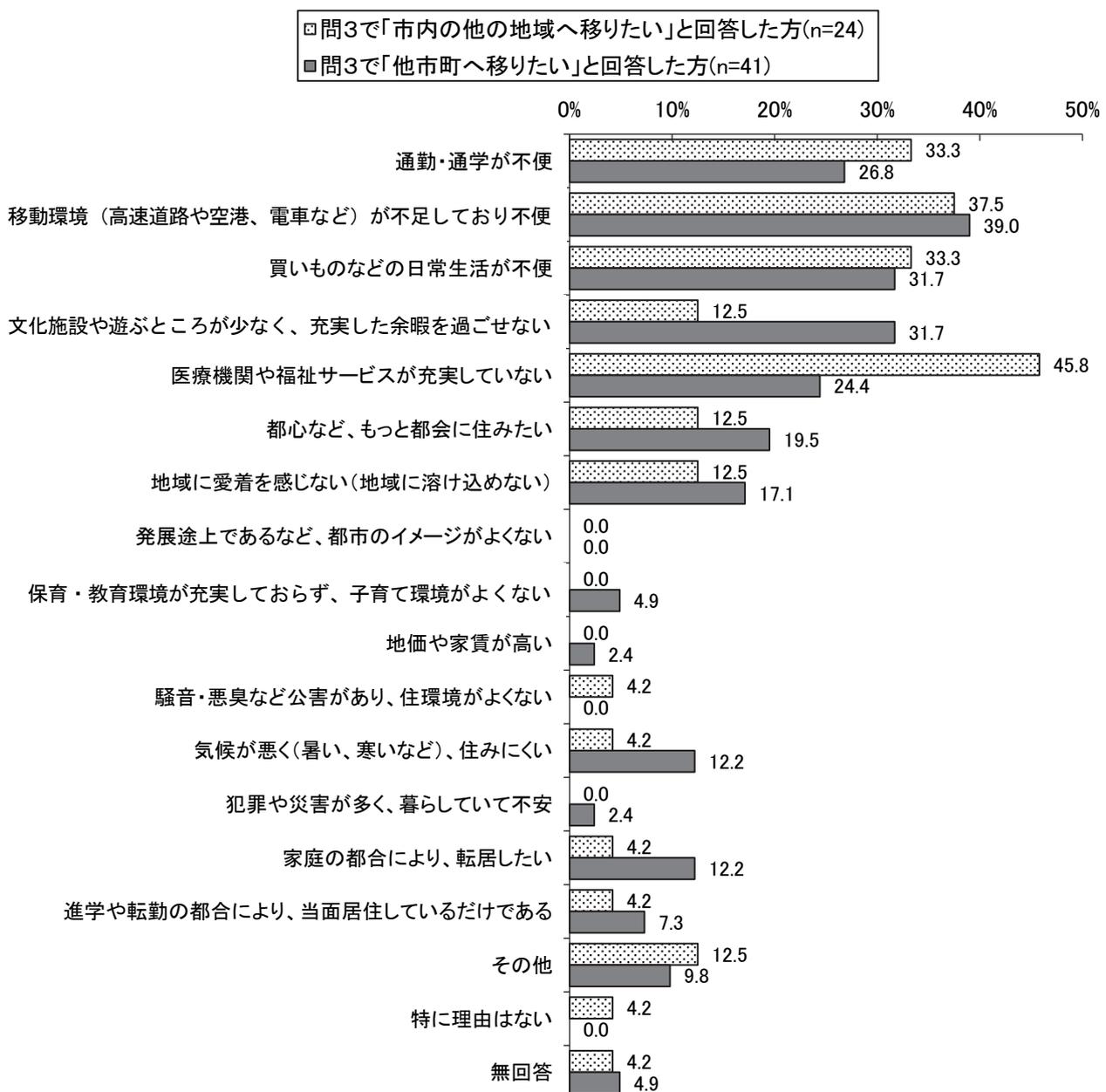
### 【属性別の傾向】＜移りたい場所別＞

移転・転出したい理由について、問3で『市内の他の地域へ移りたい』と回答した方では、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が45.8%と最も高く、次いで、「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」が37.5%と高い。

問3で『他市町へ移りたい』と回答した方では「移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便」が39.0%と最も高く、次いで、「買い物などの日常生活が不便」と「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」が31.7%となっている。

『市内の他の地域へ移りたい』と回答した方は、『他市町へ移りたい』と回答した方より、「医療機関や福祉サービスが充実していない」が45.8%と21.4ポイント高く、反対に「文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない」では12.5%と19.2ポイント低くなっており、特に差が大きい。

図3-7 移転・転出したい理由／移りたい場所別＜複数回答＞



※参考【属性別の傾向】問3で「市内の他の地域へ移りたい」と回答した方のみ

表3-5 移転・転出したい理由／性別・年齢別・職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

		通勤・通学が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	買い物などの日常生活が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	医療機関や福祉サービスが充実していない	都心など、もっと都会に住みたい	地域に愛着を感じない （地域に溶け込めない）	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、都市のイメージがよくない	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	地価や家賃が高い	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	気候が悪く（暑い、寒いなど）、住みにくい	犯罪や災害が多く、暮らして不安	家庭の都合により、転居したい	当面居住しているだけである	進学や転勤の都合により、	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=24)		33.3	37.5	33.3	12.5	45.8	12.5	12.5	-	-	-	4.2	4.2	-	4.2	4.2	12.5	4.2	4.2	4.2	
性別	男性(n=5)	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	40.0	-	-	-	
	女性(n=18)	33.3	44.4	33.3	11.1	50.0	11.1	11.1	-	-	-	-	5.6	-	5.6	-	5.6	5.6	5.6	5.6	
	その他(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年齢別	18～19歳(n=1)	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	20～29歳(n=3)	33.3	66.7	-	33.3	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30～39歳(n=3)	66.7	66.7	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40～49歳(n=1)	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50～59歳(n=4)	50.0	25.0	25.0	-	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	
	60～69歳(n=7)	42.9	42.9	57.1	-	71.4	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-	14.3	28.6	-	-	
	70歳以上(n=5)	-	-	60.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0
職業別	自営業(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	会社員等(n=9)	33.3	44.4	22.2	22.2	44.4	11.1	22.2	-	-	-	11.1	-	-	-	11.1	11.1	11.1	11.1	-	
	アルバイト・パート(n=3)	66.7	-	66.7	33.3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	派遣社員・契約社員(n=1)	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	学生・専門学校生(n=3)	33.3	33.3	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
	家事専業(n=4)	25.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	
	無職(n=3)	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	
	その他(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地別	西条地区(n=9)	22.2	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	-	-	-	11.1	-	-	-	11.1	22.2	11.1	11.1	-	
	八本松地区(n=2)	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	志和地区(n=1)	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	高屋地区(n=3)	33.3	66.7	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	
	黒瀬地区(n=4)	-	75.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	
	福富地区(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	豊栄地区(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	河内地区(n=3)	66.7	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
	安芸津地区(n=2)	50.0	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※参考【属性別の傾向】問3で「他市町へ移りたい」と回答した方のみ

表3-6 移転・転出したい理由／性別・年齢別・職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：％

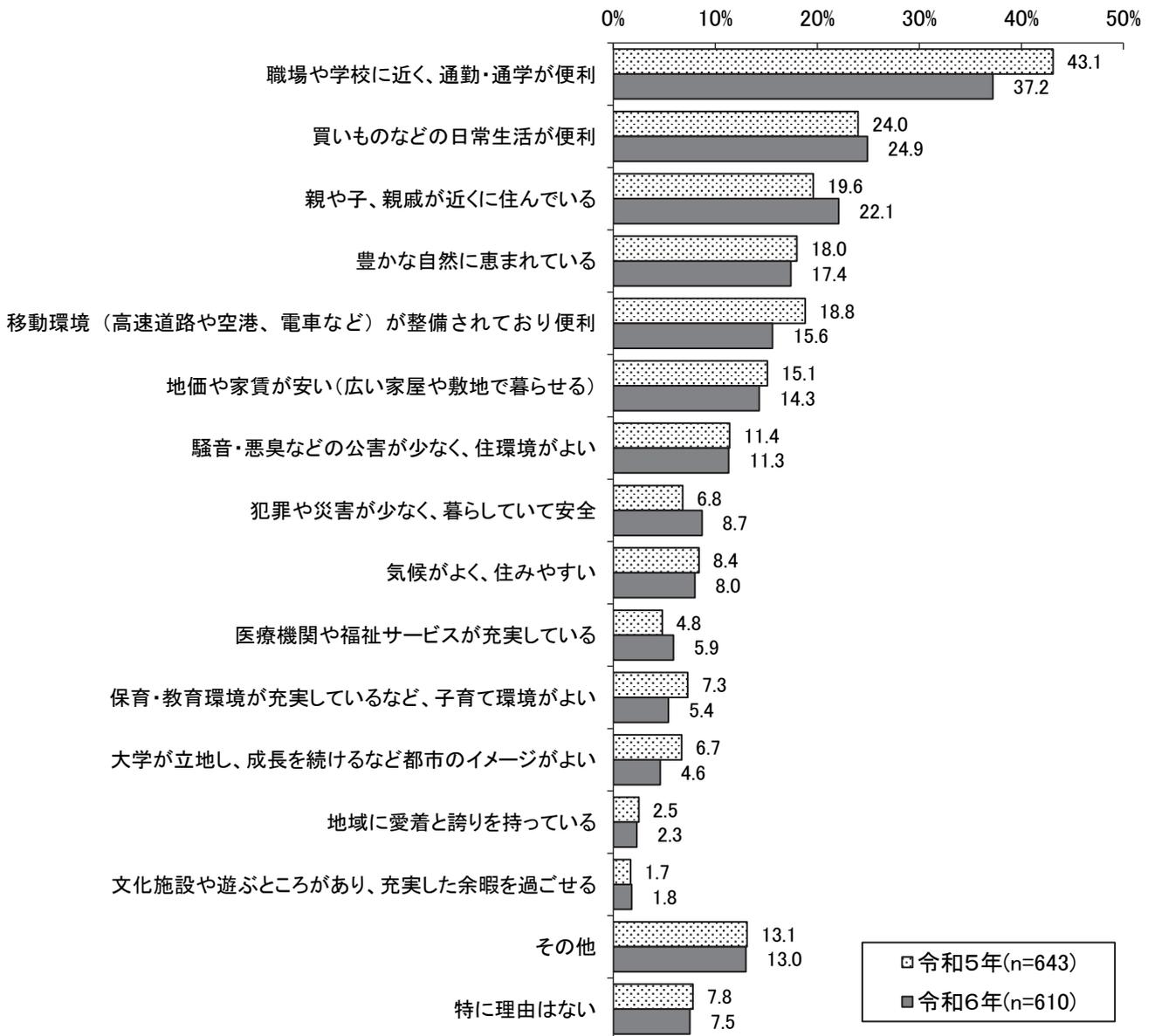
		通勤・通学が不便	移動環境（高速道路や空港、電車など）の整備が不足しており不便	買い物などの日常生活が不便	文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない	医療機関や福祉サービスが充実していない	都心など、もっと都会に住みたい	地域に愛着を感じない（地域に溶け込めない）	都市のイメージがよくない	発展途上であるなど、	保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない	地価や家賃が高い	騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない	気候が悪く（暑い、寒いなど）、暮らしていて不安	犯罪や災害が多く、	家庭の都合により、転居したい	当面居住しているだけである	進学や転勤の都合により、	その他	特に理由はない	無回答
全体(n=41)		26.8	39.0	31.7	31.7	24.4	19.5	17.1	-	4.9	2.4	-	12.2	2.4	12.2	7.3	9.8	-	-	4.9	
性別	男性(n=15)	40.0	26.7	26.7	20.0	13.3	20.0	13.3	-	-	6.7	-	20.0	-	13.3	13.3	13.3	-	-	6.7	
	女性(n=26)	19.2	46.2	34.6	38.5	30.8	19.2	19.2	-	7.7	-	-	7.7	3.8	11.5	3.8	7.7	-	-	3.8	
	その他(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=1)	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	20～29歳(n=5)	60.0	-	-	40.0	-	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-	20.0	
	30～39歳(n=3)	33.3	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	
	40～49歳(n=12)	33.3	41.7	16.7	50.0	25.0	16.7	16.7	-	8.3	8.3	-	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	16.7	-	-	
	50～59歳(n=9)	22.2	55.6	44.4	33.3	33.3	11.1	33.3	-	-	-	-	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	
	60～69歳(n=7)	14.3	42.9	85.7	-	57.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28.6	-	14.3	-	-	
	70歳以上(n=4)	-	50.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0
職業別	自営業(n=2)	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	
	会社員等(n=13)	53.8	38.5	38.5	23.1	15.4	7.7	7.7	-	7.7	7.7	-	15.4	-	23.1	-	7.7	-	-		
	アルバイト・パート(n=7)	14.3	28.6	28.6	42.9	57.1	14.3	42.9	-	-	-	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-		
	派遣社員・契約社員(n=3)	33.3	66.7	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-		
	学生・専門学校生(n=5)	40.0	-	-	20.0	-	40.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0	-	-	20.0	
	家事専業(n=3)	-	66.7	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-		
	無職(n=8)	-	50.0	50.0	37.5	37.5	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	12.5	
	その他(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住地別	西条地区(n=15)	40.0	20.0	13.3	40.0	13.3	20.0	20.0	-	6.7	6.7	-	6.7	-	20.0	20.0	-	-	-	6.7	
	八本松地区(n=8)	37.5	62.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	50.0	-	-	-	25.0	-	-		
	志和地区(n=1)	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	高屋地区(n=7)	14.3	28.6	28.6	28.6	57.1	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	28.6	-	-	
	黒瀬地区(n=7)	14.3	57.1	42.9	42.9	14.3	28.6	14.3	-	-	-	-	-	-	-	28.6	-	-	-		
	福富地区(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	豊栄地区(n=0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	河内地区(n=1)	-	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	安芸津地区(n=2)	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	

(6) 転居する際に重視したこと

過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。  
 ※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください。  
 問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。  
 (主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

東広島市に転居して来られた方に対し、転居に際して重視したことをみると、「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」が37.2%と最も高く、次いで、「買い物などの日常生活が便利」が24.9%、「親や子、親戚が近くに住んでいる」が22.1%、「豊かな自然に恵まれている」が17.4%となっている。

図4-1 転居する際に重視したこと<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『男性』44.9%、『女性』31.6%と13.3ポイント、「買い物などの日常生活が便利」は『男性』29.1%、『女性』21.3%と7.8ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高くなっている。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は20歳から60歳未満の各年齢層が60歳以上の年齢層より高い。

「買い物などの日常生活が便利」は『40～49歳』が40.4%と15.5ポイント全体より高い。

「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『50～59歳』が27.7%と5.6ポイント、「豊かな自然に恵まれている」は『60～69歳』が23.3%と5.9ポイント、『70歳以上』が22.4%と5.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表4-1 転居する際に重視したこと／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：％

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	豊かな自然に恵まれている	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らして安全	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	地域に愛着と誇りを持っている	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない
全体(n=610)		37.2	24.9	22.1	17.4	15.6	14.3	11.3	8.7	8.0	5.9	5.4	4.6	2.3	1.8	13.0	7.5
性別	男性(n=254)	<b>44.9</b>	29.1	18.1	15.7	16.9	16.1	11.4	9.8	7.9	8.3	5.1	5.1	1.6	3.1	9.4	8.3
	女性(n=348)	<b>31.6</b>	21.3	25.3	18.7	14.9	12.6	11.5	8.0	7.8	4.0	5.2	4.3	2.9	0.9	15.8	6.9
	その他(n=2)	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=4)	-	-	75.0	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0
	20～29歳(n=33)	<b>42.4</b>	27.3	18.2	9.1	21.2	15.2	9.1	6.1	3.0	-	-	6.1	-	6.1	12.1	6.1
	30～39歳(n=60)	<b>43.3</b>	28.3	16.7	10.0	11.7	16.7	3.3	8.3	1.7	6.7	11.7	3.3	-	5.0	11.7	11.7
	40～49歳(n=109)	<b>56.9</b>	<b>40.4</b>	17.4	13.8	19.3	12.8	6.4	9.2	6.4	3.7	8.3	3.7	0.9	0.9	9.2	2.8
	50～59歳(n=119)	<b>49.6</b>	21.0	27.7	13.4	14.3	7.6	4.2	5.0	3.4	5.0	4.2	5.0	3.4	2.5	13.4	9.2
	60～69歳(n=116)	<b>31.0</b>	23.3	20.7	23.3	16.4	20.7	16.4	5.2	7.8	6.9	5.2	2.6	2.6	0.9	13.8	3.4
	70歳以上(n=165)	17.0	17.0	<b>23.6</b>	22.4	14.5	13.9	20.0	13.9	15.2	8.5	3.0	6.7	3.6	0.6	15.8	10.9

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『会社員等』が51.6%と14.4ポイント、『アルバイト・パート』が43.4%と6.2ポイント、それぞれ全体より高い。「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『自営業』が27.8%と5.7ポイント全体より高い。

「豊かな自然に恵まれている」が『家事専業』が25.0%と7.6ポイント、『無職』が23.4%と6.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『西条地区』が46.6%と9.4ポイント、また「買い物などの日常生活が便利」についても『西条地区』が35.5%と10.6ポイント全体より高い。

「親や子、親戚が近くに住んでいる」は『志和地区』と『河内地区』、「豊かな自然に恵まれている」は『志和地区』、「地価や家賃が安い（広い家屋や敷地で暮らせる）」は『黒瀬地区』、「犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全」は『志和地区』、「気候がよく、住みやすい」は『安芸津地区』がそれぞれ全体より10ポイント以上高くなっている。

表4-2 転居する際に重視したこと／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	豊かな自然に恵まれている	移動環境（高速道路や空港、電車など）が整備されており便利	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	地域に愛着と誇りを持っている	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない
全体(n=610)		37.2	24.9	22.1	17.4	15.6	14.3	11.3	8.7	8.0	5.9	5.4	4.6	2.3	1.8	13.0	7.5
職業別	自営業(n=36)	<b>30.6</b>	16.7	27.8	22.2	13.9	11.1	8.3	5.6	11.1	2.8	8.3	2.8	5.6	-	13.9	8.3
	会社員等(n=217)	<b>51.6</b>	28.6	20.3	11.5	19.4	12.0	5.5	7.4	1.8	4.6	6.9	6.0	0.9	3.2	10.6	5.5
	アルバイト・パート(n=106)	<b>43.4</b>	27.4	19.8	15.1	13.2	13.2	8.5	3.8	9.4	6.6	3.8	0.9	2.8	0.9	13.2	12.3
	派遣社員・契約社員(n=22)	45.5	18.2	<b>50.0</b>	4.5	9.1	18.2	4.5	9.1	9.1	-	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
	学生・専門学校生(n=12)	41.7	16.7	33.3	8.3	8.3	16.7	8.3	16.7	8.3	-	-	8.3	-	8.3	8.3	16.7
	家事専業(n=64)	23.4	<b>25.0</b>	21.9	<b>25.0</b>	15.6	15.6	18.8	7.8	6.3	6.3	7.8	4.7	1.6	-	14.1	6.3
	無職(n=137)	16.1	20.4	21.2	<b>23.4</b>	13.9	17.5	18.2	14.6	16.1	9.5	2.2	5.8	2.2	0.7	19.0	7.3
居住地別	西条地区(n=251)	<b>46.6</b>	<b>35.5</b>	20.3	11.2	16.7	8.0	6.0	8.4	5.6	5.6	4.8	5.6	1.2	1.6	12.7	8.0
	八本松地区(n=98)	<b>40.8</b>	19.4	21.4	16.3	15.3	12.2	13.3	10.2	9.2	6.1	5.1	4.1	4.1	7.1	13.3	6.1
	志和地区(n=15)	13.3	-	<b>40.0</b>	<b>46.7</b>	13.3	20.0	6.7	<b>20.0</b>	13.3	6.7	6.7	6.7	-	-	6.7	-
	高屋地区(n=118)	<b>34.7</b>	18.6	21.2	21.2	23.7	15.3	16.9	8.5	6.8	6.8	8.5	6.8	1.7	-	11.9	8.5
	黒瀬地区(n=80)	25.0	17.5	25.0	22.5	8.8	<b>36.3</b>	17.5	6.3	10.0	6.3	-	-	-	-	10.0	6.3
	福富地区(n=5)	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	20.0	-	40.0	-
	豊栄地区(n=5)	-	-	20.0	60.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	20.0
	河内地区(n=15)	6.7	6.7	<b>33.3</b>	26.7	-	13.3	6.7	6.7	6.7	-	13.3	-	<b>13.3</b>	-	<b>26.7</b>	6.7
	安芸津地区(n=16)	18.8	18.8	25.0	12.5	-	-	18.8	12.5	<b>31.3</b>	6.3	6.3	-	-	-	<b>25.0</b>	18.8

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、職業別のサンプル数が20未満、地域別のサンプル数が10未満を除く。

【属性別の傾向】＜居住年数別＞

「職場や学校に近く、通勤・通学が便利」は『居住年数10年以上30年未満』が45.1%と7.9ポイント、「買い物などの日常生活が便利」は『居住10年未満』が36.0%と11.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表4-3 転居する際に重視したこと／居住年数別＜複数回答＞

単位：%

		職場や学校に近く、通勤・通学が便利	買い物などの日常生活が便利	親や子、親戚が近くに住んでいる	豊かな自然に恵まれている	移動環境（高速道路や空港、電車などが整備されており便利	（広い家屋や敷地で暮らせる）地価や家賃が安い	騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい	犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全	気候がよく、住みやすい	医療機関や福祉サービスが充実している	保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい	大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい	地域に愛着と誇りを持っている	文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる	その他	特に理由はない
全体 (n=610)		37.2	24.9	22.1	17.4	15.6	14.3	11.3	8.7	8.0	5.9	5.4	4.6	2.3	1.8	13.0	7.5
居住年数	10年未満 (n=125)	<b>39.2</b>	<b>36.0</b>	24.0	10.4	17.6	13.6	5.6	8.8	6.4	8.0	6.4	2.4	0.8	0.8	8.8	5.6
	10年以上30年未満 (n=233)	<b>45.1</b>	26.2	23.2	18.9	17.2	9.9	9.4	7.3	6.0	5.6	5.2	6.4	1.7	2.1	12.0	5.6
	30年以上 (n=252)	<b>29.0</b>	18.3	20.2	19.4	13.1	18.7	15.9	9.9	10.7	5.2	5.2	4.0	3.6	2.0	15.9	10.3

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

## 2. 市政運営について

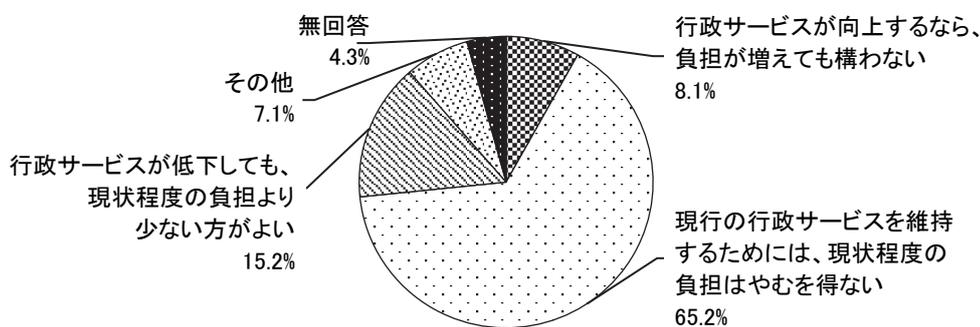
### (1) 今後の行政サービスのあり方

問5 国を始めとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。(1つだけ選んで○をお付けください)

今後の行政サービスのあり方については、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」が65.2%と最も高く、6割以上を占める。次いで、「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」が15.2%となっている。

「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は8.1%であった。

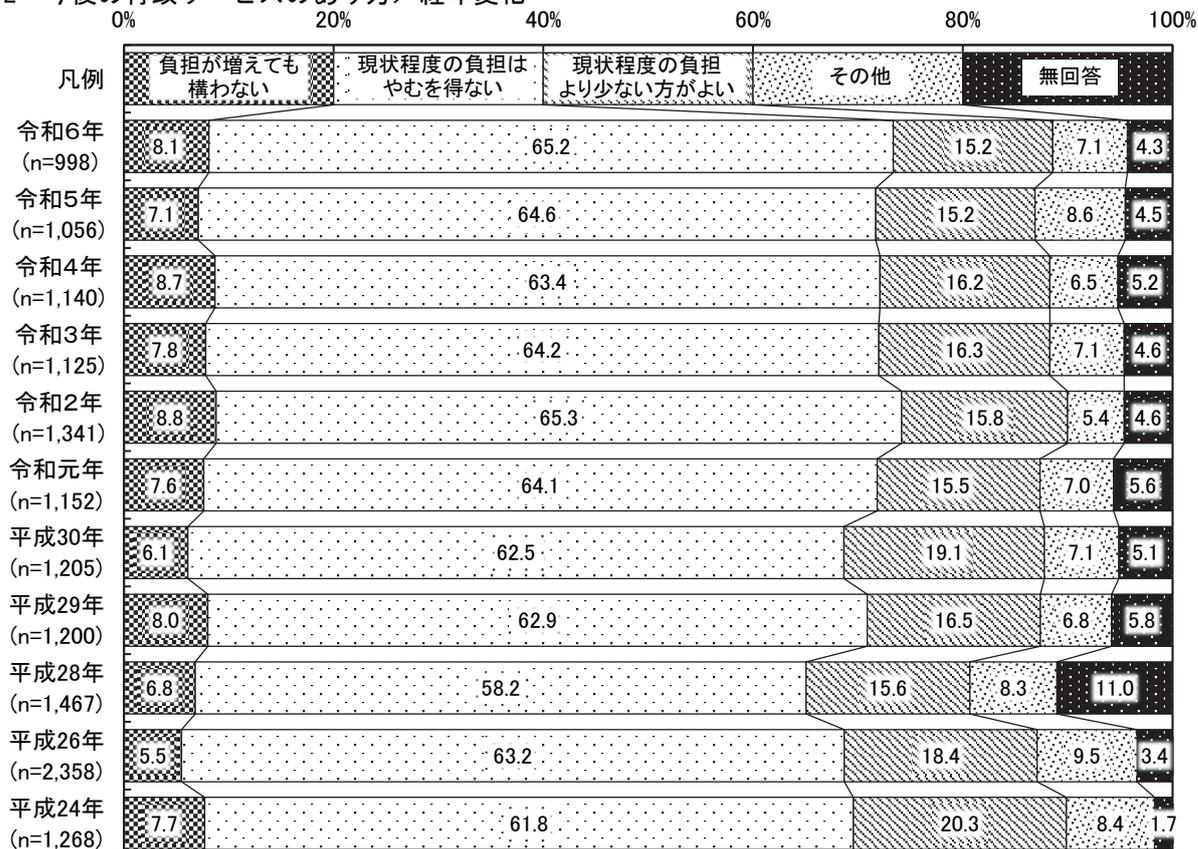
図5-1 今後の行政サービスのあり方 [n=998]



### 【経年変化】

令和5年度調査(前回)との比較では、顕著な変化はみられなかった。

図5-2 今後の行政サービスのあり方／経年変化

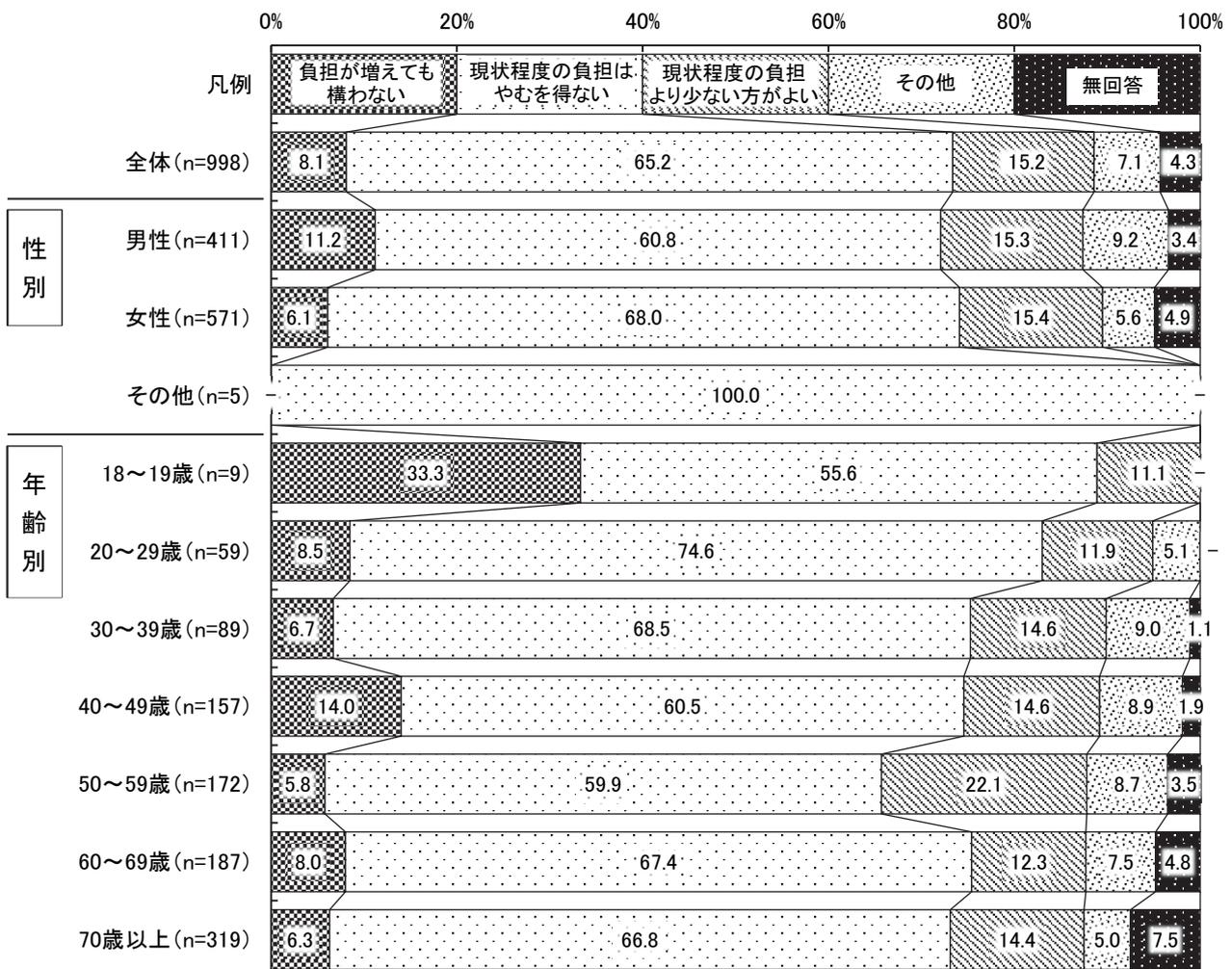


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『男性』60.8%、『女性』68.0%と、『女性』が『男性』より7.2ポイント高く、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は『男性』11.2%、『女性』6.1%と、『男性』が『女性』より5.1ポイント高くなっている。

年齢別では、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『20～29歳』が74.6%と9.4ポイント、「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『50～59歳』が22.1%と6.9ポイント、「行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない」は『40～49歳』が14.0%と5.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図5-3 今後の行政サービスのあり方／性別・年齢別

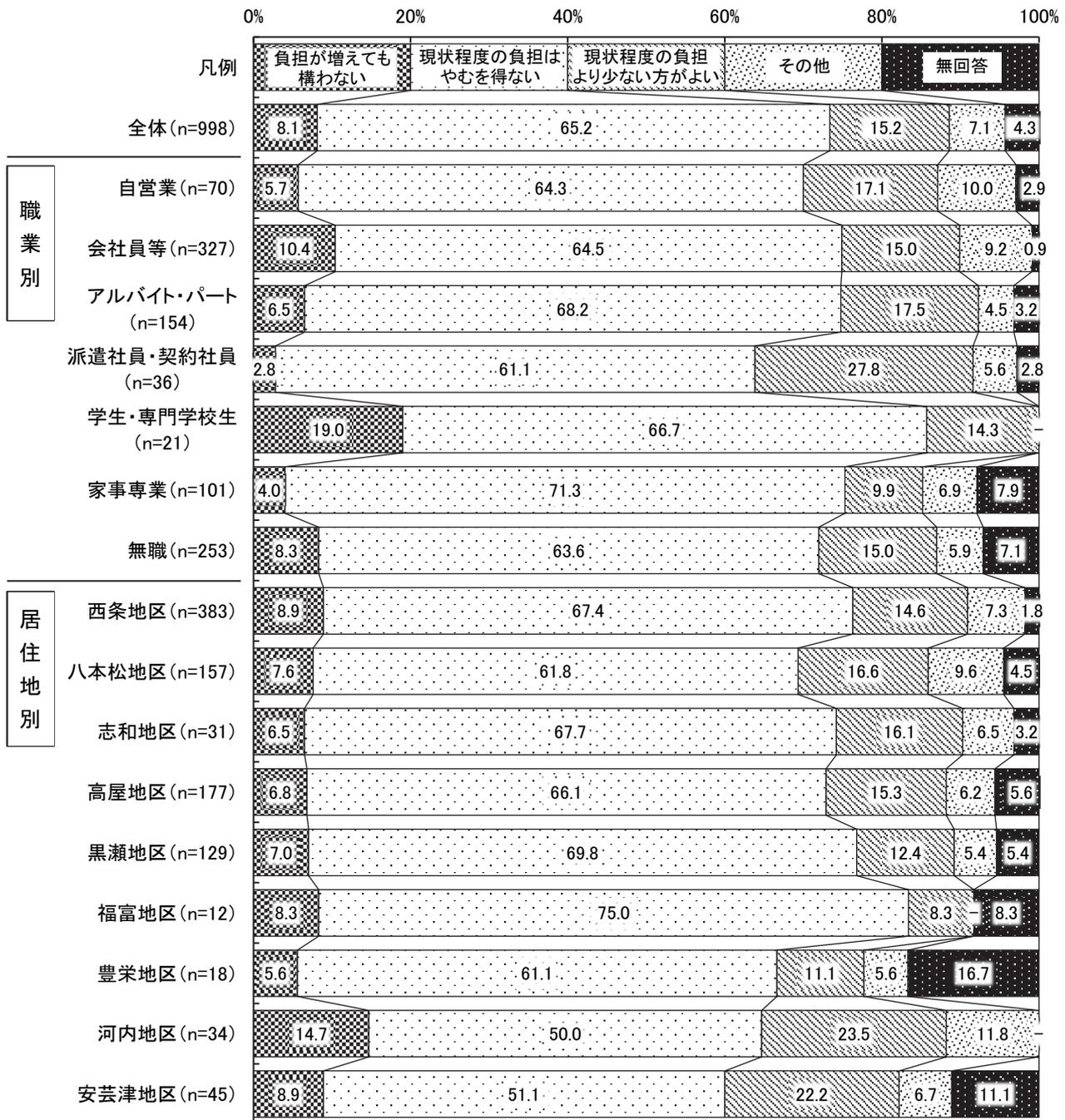


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない」は『家事専業』が71.3%と6.1ポイント全体より高い。

居住地別では、「行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい」は『河内地区』が23.5%と8.3ポイント、『安芸津地区』が22.2%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

図5-4 今後の行政サービスのあり方／職業別・居住地別



### 3. 市が実施している施策の満足度と重要度について

#### (1) 施策の満足度と重要度

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。  
あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。  
また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。  
(各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

各施策の満足度と重要度については、次のようなステップで回答結果を整理し、分析した。

#### ① 満足度と重要度の集計

##### 【単純集計結果】

施策ごとに満足度と重要度の集計結果を示している。満足度と重要度は以下に示す加重平均値を算出する方法で点数化している。

##### 1. 満足度

満足：2点、やや満足：1点、どちらともいえない：0点、やや不満：-1点、不満：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{満足度} = (\text{「満足」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「不満」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

##### 2. 重要度

重要：2点、やや重要：1点、どちらともいえない：0点、あまり重要ではない：-1点、重要ではない：-2点とし、項目ごとの回答結果をもとに下記のとおり算出した。

$$\text{重要度} = (\text{「重要」の件数} \times 2 \text{点} + \text{「やや重要」の件数} \times 1 \text{点} + \text{「あまり重要ではない」の件数} \times -1 \text{点} + \text{「重要ではない」の件数} \times -2 \text{点}) / (\text{回答者件数} - \text{無回答件数})$$

#### ② ニーズ度の算出

重要度と満足度との加重平均値の差を「ニーズ度」として算出した。

$$\text{ニーズ度} = \text{重要度} - \text{満足度}$$

#### ③ 満足度と重要度の相関図による分析

満足度と重要度それぞれの加重平均値をもとに、縦軸に重要度、横軸に満足度を設定し、50の施策を散布図上に示したものが相関図である。

#### ④ 全体の集計結果

施策ごとの満足度と重要度の回答結果およびその点数化した際の得点は下記の通りである。

表6-1 満足度集計結果

単位：％、点

施策名	サンプル数	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満	満足+ やや満足	満足度 得点
1-1 産学金官の連携による新産業の創出	921	4.2	19.5	66.2	7.9	2.1	23.8	0.160
1-2 地元企業の創出・強化	922	2.7	19.7	58.7	15.3	3.6	22.5	0.027
1-3 商業・サービス業の集積・強化	917	3.6	22.9	52.1	16.2	5.1	26.5	0.036
1-4 産業集積の推進	912	3.2	18.9	60.4	13.6	3.9	22.0	0.037
1-5 農業の強化	925	1.0	8.6	53.3	26.2	10.9	9.6	-0.374
1-6 森林の保全・整備	927	1.6	10.9	57.2	21.3	9.1	12.5	-0.252
1-7 漁業・養殖業の推進	913	1.9	6.4	75.7	12.9	3.2	8.2	-0.092
1-8 地域資源を活かした観光地づくり	925	2.8	23.5	44.9	22.6	6.3	26.3	-0.061
1-9 労働・雇用環境の充実	921	2.0	14.4	51.9	22.7	9.0	16.4	-0.224
2-1 住みよい都市の形成	926	4.6	26.2	41.7	21.0	6.5	30.9	0.016
2-2 緑あふれる環境整備	935	5.2	31.4	41.0	17.6	4.7	36.7	0.149
2-3 良好な住宅ストックの形成	926	3.1	19.4	59.3	14.0	4.1	22.6	0.035
2-4 公共交通網の充実	941	2.4	18.0	26.2	31.7	21.7	20.4	-0.522
2-5 道路網の整備	937	4.1	23.5	29.8	27.0	15.7	27.5	-0.268
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進	935	8.8	35.6	39.7	11.3	4.6	44.4	0.326
2-7 良質な水の供給・整備	941	10.7	30.9	40.1	12.1	6.2	41.7	0.279
2-8 汚水処理の推進	942	9.3	23.4	44.9	12.7	9.7	32.7	0.100
2-9 環境汚染の防止	931	4.7	20.6	57.9	11.8	4.9	25.3	0.084
2-10 自然環境・動植物の保全	936	3.7	20.4	53.4	17.5	4.9	24.1	0.005
2-11 地球温暖化防止の推進	932	2.7	11.6	64.3	15.7	5.8	14.3	-0.103
2-12 市民主体の地域社会の形成	932	3.6	20.5	61.1	12.0	2.8	24.1	0.102
2-13 市民参画の推進	933	2.6	14.3	71.4	9.3	2.5	16.8	0.051
2-14 多文化共生の推進	932	3.5	15.8	70.8	7.6	2.3	19.3	0.107
2-15 国際貢献・留学生支援	930	4.0	15.8	72.7	5.2	2.4	19.8	0.139
3-1 人権・平和行政の推進	925	3.0	17.0	71.7	6.6	1.7	20.0	0.130
3-2 保育サービスの充実	927	2.6	21.1	56.4	15.1	4.7	23.7	0.017
3-3 教育環境の整備・充実	926	3.6	21.4	54.3	16.1	4.6	24.9	0.031
3-4 学校教育の充実	926	4.6	19.9	57.0	14.0	4.4	24.5	0.063
3-5 青少年健全育成の推進	927	3.8	14.3	68.4	10.4	3.1	18.1	0.053
3-6 生涯学習活動の充実	932	4.1	20.0	64.6	9.4	1.9	24.0	0.148
3-7 芸術・文化の活性化	931	4.8	22.8	62.6	7.8	1.9	27.6	0.207
3-8 歴史・文化財の保護と活用	930	3.7	20.9	65.4	8.1	2.0	24.5	0.160
3-9 スポーツ環境の形成	934	4.5	22.9	61.7	8.8	2.1	27.4	0.188
4-1 大学や学生との交流・連携推進	925	3.5	19.8	68.3	7.5	1.0	23.2	0.173
4-2 移住・定住の促進	922	2.4	11.9	71.0	11.9	2.7	14.3	-0.007
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化	916	2.2	16.0	66.2	12.4	3.2	18.2	0.016
4-4 地域の景観の保全・形成	923	2.7	19.8	60.9	12.7	3.9	22.5	0.048
4-5 広域・高速交通体系の強化	929	6.7	30.7	37.1	18.3	7.2	37.4	0.113
4-6 情報通信技術の整備・活用	927	3.5	18.9	55.3	16.2	6.1	22.3	-0.027
5-1 防災の強化・推進	932	4.3	26.0	50.9	13.9	4.9	30.3	0.107
5-2 市民の安全・安心社会の形成	927	3.3	22.5	58.1	12.6	3.3	25.9	0.099
5-3 消防・救急・救助体制の強化	929	7.8	31.0	49.5	8.7	3.0	38.8	0.318
5-4 地域医療の構築	930	6.0	24.7	40.8	19.9	8.6	30.8	-0.003
5-5 健康づくりの推進	923	4.8	24.5	57.0	10.9	2.8	29.3	0.174
5-6 高齢者支援の推進	933	3.3	19.0	55.3	17.4	5.0	22.3	-0.018
5-7 障害者支援の推進	931	3.7	16.0	65.0	10.7	4.6	19.7	0.033
5-8 地域福祉の形成	926	3.0	13.2	70.3	9.3	4.2	16.2	0.015
5-9 子育て支援の充実	923	3.7	16.7	60.7	13.8	5.2	20.4	-0.001
6-1 市民本位のサービスの提供・充実	923	3.4	17.8	64.0	11.6	3.3	21.1	0.064
6-2 行政経営の向上	918	3.1	14.1	68.1	10.8	4.0	17.1	0.013

※サンプル数は、総サンプル数の998件から無回答を除いた値。

46,387	4.0	19.9	57.1	14.0	5.0	23.9	0.038
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

表6-2 重要度集計結果

単位: %、点

施策名	サンプル数	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり 重要ではない	重要 ではない	重要+ やや重要	重要度 得点
1-1 産学金官の連携による新産業の創出	909	24.0	31.9	39.9	3.2	1.0	55.9	0.747
1-2 地元企業の創出・強化	908	31.3	36.9	29.7	1.7	0.4	68.2	0.969
1-3 商業・サービス業の集積・強化	898	26.9	40.4	30.7	1.3	0.6	67.4	0.919
1-4 産業集積の推進	898	26.1	32.7	37.2	3.0	1.0	58.8	0.798
1-5 農業の強化	915	38.3	33.0	26.1	2.0	0.7	71.3	1.062
1-6 森林の保全・整備	917	31.3	35.1	29.6	3.2	0.9	66.4	0.928
1-7 漁業・養殖業の推進	904	21.8	27.7	44.4	4.6	1.5	49.4	0.635
1-8 地域資源を活かした観光地づくり	918	26.1	37.0	30.1	5.1	1.6	63.2	0.809
1-9 労働・雇用環境の充実	918	41.3	35.2	21.8	1.1	0.7	76.5	1.154
2-1 住みよい都市の形成	907	37.8	38.7	21.7	1.4	0.3	76.5	1.122
2-2 緑あふれる環境整備	914	30.9	38.9	27.6	1.9	0.8	69.8	0.973
2-3 良好な住宅ストックの形成	905	20.8	34.8	39.3	3.3	1.8	55.6	0.695
2-4 公共交通網の充実	922	52.6	33.0	13.1	0.8	0.5	85.6	1.363
2-5 道路網の整備	918	52.4	31.6	14.8	1.2	0.0	84.0	1.352
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進	922	38.6	38.9	21.1	1.2	0.1	77.5	1.148
2-7 良質な水の供給・整備	930	56.5	25.4	17.1	1.1	0.0	81.8	1.372
2-8 汚水処理の推進	927	48.9	29.1	20.9	0.8	0.3	78.0	1.255
2-9 環境汚染の防止	922	45.2	29.9	23.2	1.3	0.3	75.2	1.184
2-10 自然環境・動植物の保全	919	36.5	35.7	26.2	1.4	0.2	72.1	1.067
2-11 地球温暖化防止の推進	920	39.5	30.1	26.0	3.4	1.1	69.6	1.035
2-12 市民主体の地域社会の形成	917	20.3	35.0	39.3	4.4	1.1	55.3	0.690
2-13 市民参画の推進	920	15.5	31.5	47.8	3.7	1.4	47.1	0.561
2-14 多文化共生の推進	923	13.1	31.3	46.2	6.2	3.3	44.4	0.449
2-15 国際貢献・留学生支援	920	13.2	30.0	46.2	6.2	4.5	43.2	0.412
3-1 人権・平和行政の推進	913	23.4	31.0	41.1	3.4	1.1	54.4	0.723
3-2 保育サービスの充実	920	40.1	31.8	26.0	1.4	0.7	72.0	1.093
3-3 教育環境の整備・充実	921	44.1	28.2	26.1	1.1	0.5	72.3	1.142
3-4 学校教育の充実	922	46.3	26.9	24.9	1.3	0.5	73.2	1.171
3-5 青少年健全育成の推進	919	32.4	31.0	34.5	1.5	0.5	63.4	0.933
3-6 生涯学習活動の充実	922	21.8	35.5	38.6	2.9	1.2	57.3	0.738
3-7 芸術・文化の活性化	918	18.4	33.4	42.3	5.0	0.9	51.9	0.635
3-8 歴史・文化財の保護と活用	921	18.6	35.2	41.3	4.0	1.0	53.7	0.663
3-9 スポーツ環境の形成	922	20.1	36.1	39.4	3.0	1.4	56.2	0.704
4-1 大学や学生との交流・連携推進	916	14.0	32.0	47.2	4.6	2.3	46.0	0.508
4-2 移住・定住の促進	913	18.8	32.6	43.4	3.3	1.9	51.5	0.633
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化	912	19.3	36.4	41.4	1.6	1.2	55.7	0.709
4-4 地域の景観の保全・形成	909	19.9	37.5	38.3	3.5	0.8	57.4	0.723
4-5 広域・高速交通体系の強化	918	39.0	35.4	23.6	1.1	0.9	74.4	1.106
4-6 情報通信技術の整備・活用	920	25.8	31.6	37.3	2.7	2.6	57.4	0.752
5-1 防災の強化・推進	918	51.2	30.0	18.2	0.4	0.2	81.2	1.315
5-2 市民の安全・安心社会の形成	917	41.2	34.2	23.7	0.7	0.2	75.5	1.156
5-3 消防・救急・救助体制の強化	923	52.3	29.1	17.9	0.3	0.3	81.5	1.328
5-4 地域医療の構築	918	57.7	26.8	14.6	0.5	0.3	84.5	1.411
5-5 健康づくりの推進	915	34.8	40.8	22.1	2.0	0.4	75.5	1.074
5-6 高齢者支援の推進	922	41.5	35.8	20.4	1.4	0.9	77.3	1.157
5-7 障害者支援の推進	917	36.2	34.1	27.5	1.1	1.1	70.3	1.033
5-8 地域福祉の形成	915	30.7	33.7	32.6	1.6	1.4	64.4	0.906
5-9 子育て支援の充実	918	44.6	30.1	23.4	1.0	1.0	74.6	1.162
6-1 市民本位のサービスの提供・充実	914	23.2	31.4	42.2	2.2	1.0	54.6	0.736
6-2 行政経営の向上	911	25.6	29.1	43.7	1.0	0.7	54.7	0.779

※サンプル数は、総サンプル数の998件から無回答を除いた値。

45,825	32.6	33.1	31.0	2.3	1.0	65.7	0.940
--------	------	------	------	-----	-----	------	-------

## ⑤ 満足度と重要度の集計

### 【満足度】

満足度は、「2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進」0.326、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」0.318、「2-7 良質な水の供給・整備」0.279、「3-7 芸術・文化の活性化」0.207、「3-9 スポーツ環境の形成」0.188、などが上位にあがっている。

一方、「2-4 公共交通網の充実」-0.522、「1-5 農業の強化」-0.374、「2-5 道路網の整備」-0.268、「1-6 森林の保全・整備」-0.252、「1-9 労働・雇用環境の充実」-0.224、などの満足度が低くなっている。

### 【重要度】

重要度は、「5-4 地域医療の構築」1.411、「2-7 良質な水の供給・整備」1.372、「2-4 公共交通網の充実」1.363、「2-5 道路網の整備」1.352、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」1.328、などが上位にあがっている。

一方、「2-15 国際貢献・留学生支援」0.412、「2-14 多文化共生の推進」0.449、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」0.508、「2-13 市民参画の推進」0.561、「4-2 移住・定住の促進」0.633、などの重要度が低くなっている。

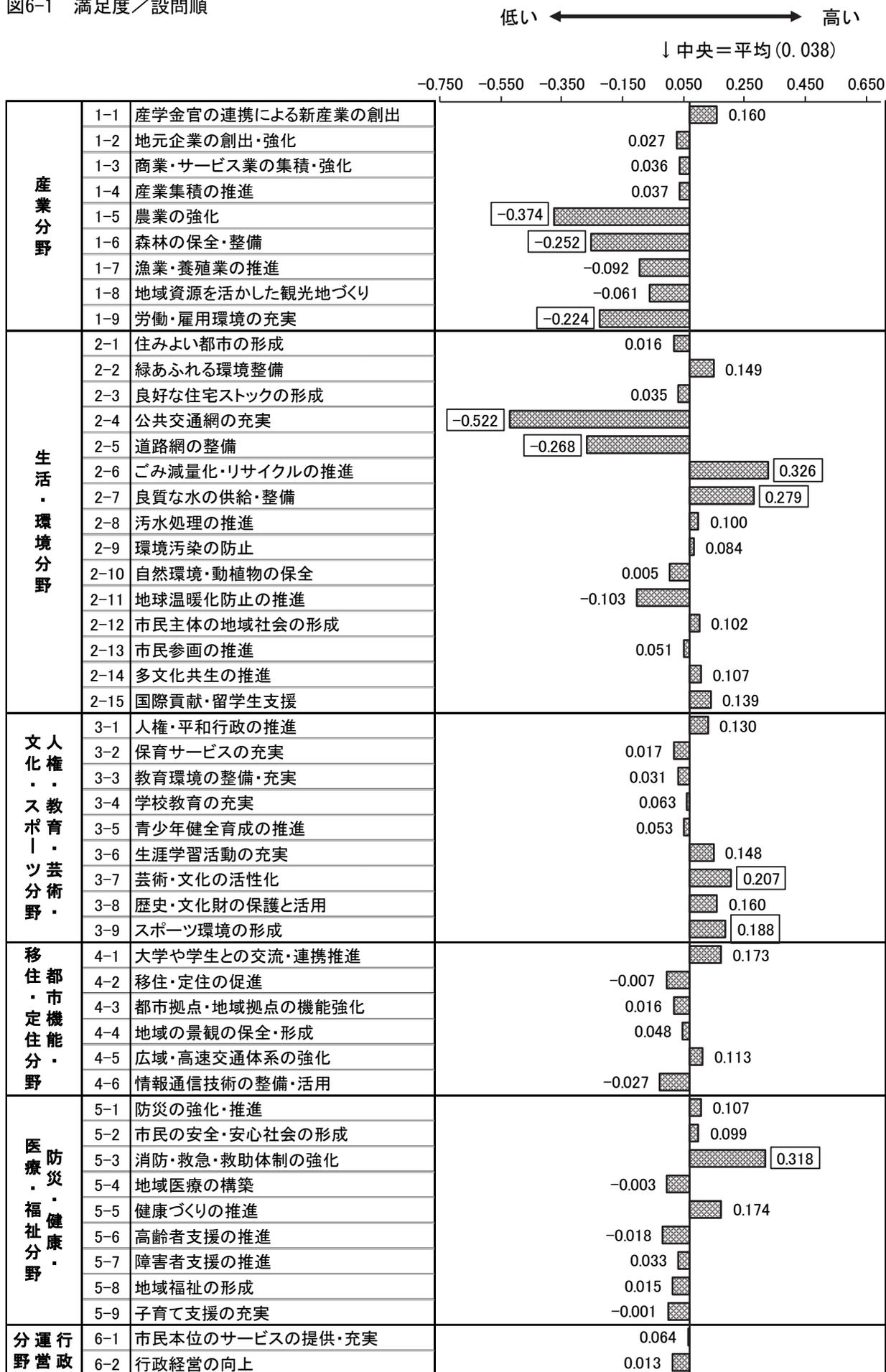
## ⑥ ニーズ度による分析 (36頁 図6-3参照)

### 【ニーズ度】

ニーズ度は、「2-4 公共交通網の充実」1.885、「2-5 道路網の整備」1.620、「1-5 農業の強化」1.436、「5-4 地域医療の構築」1.414、「1-9 労働・雇用環境の充実」1.377、などが上位にあがっている。

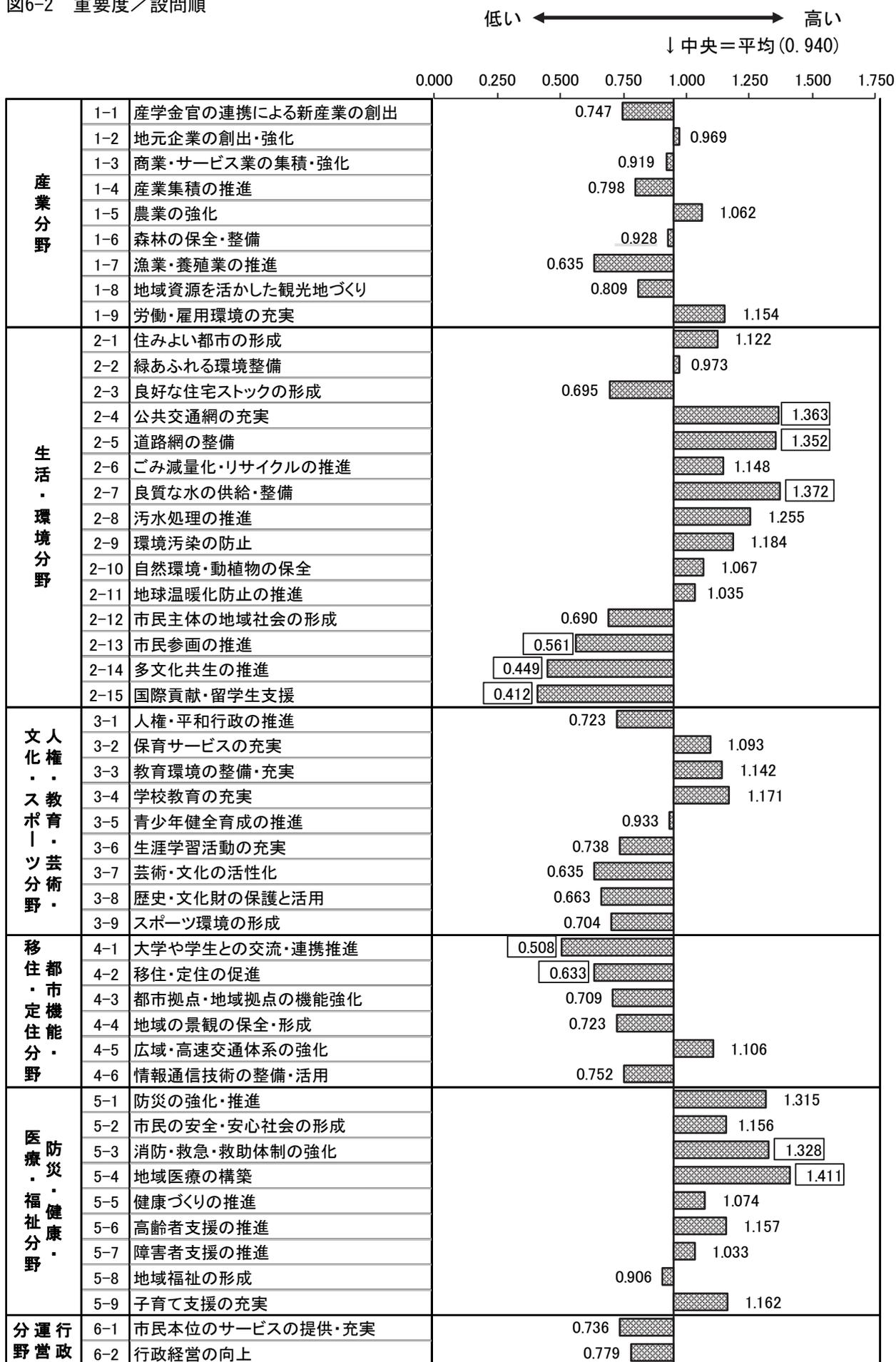
一方、「2-15 国際貢献・留学生支援」0.273、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」0.335、「2-14 多文化共生の推進」0.341、「3-7 芸術・文化の活性化」0.428、「3-8 歴史・文化財の保護と活用」0.503、などのニーズ度が低くなっている。

図6-1 満足度／設問順



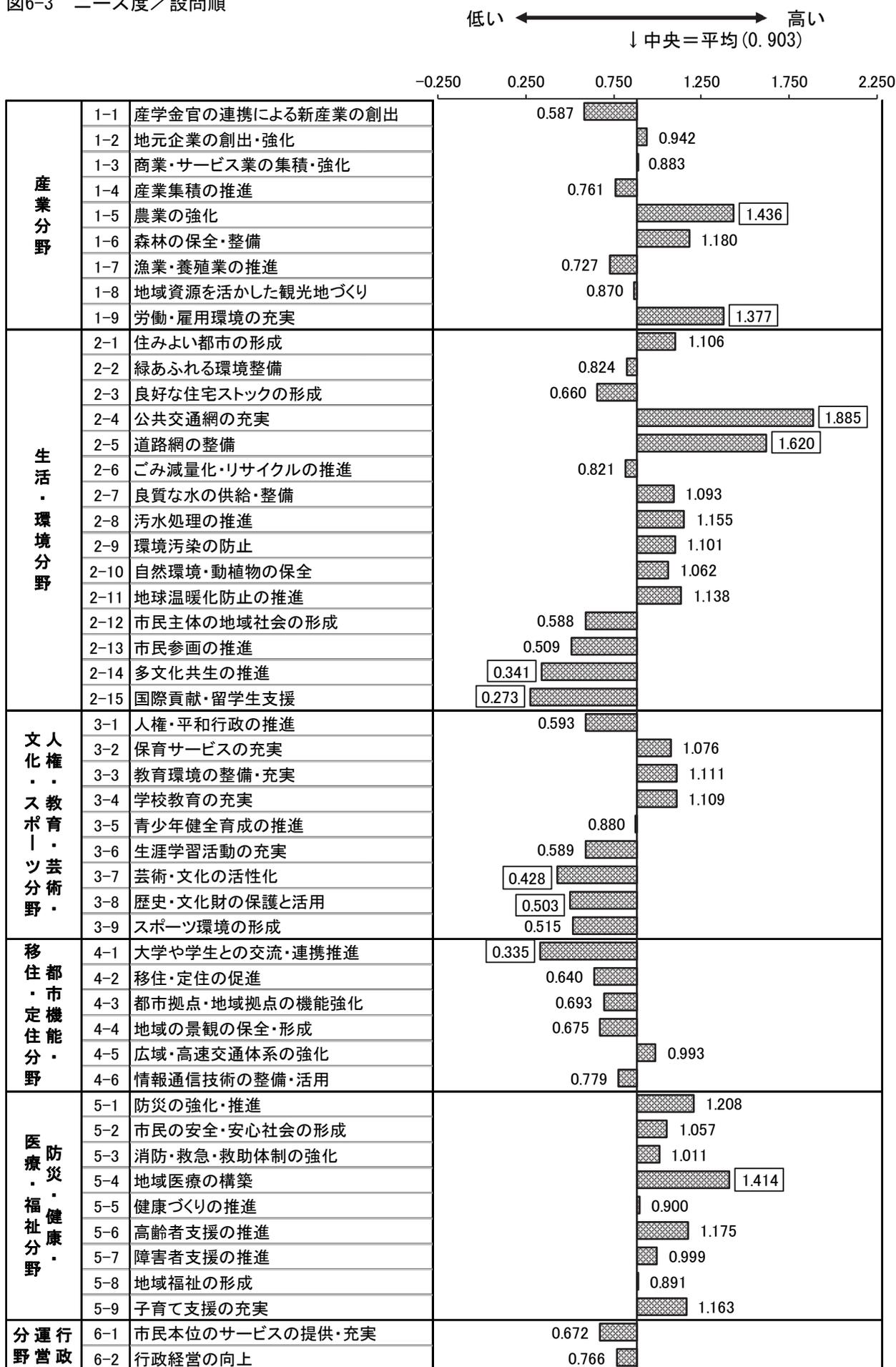
※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

図6-2 重要度／設問順



※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

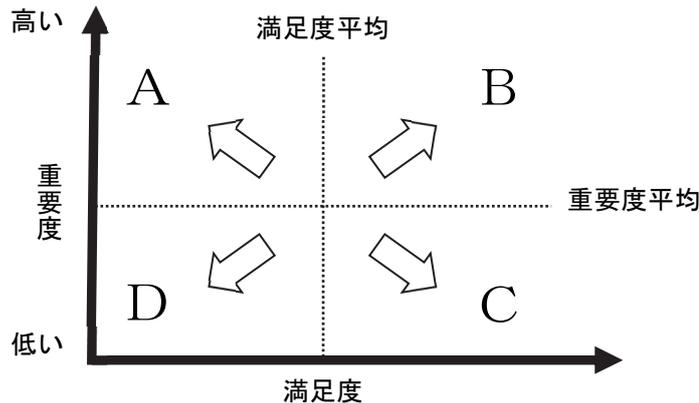
図6-3 ニーズ度／設問順



※数値の囲み付きは、上位5項目、下位5項目を示す。

## ⑦ 満足度と重要度の相関図による分析

### 【相関図による分析及び相関図の全体的な傾向】



縦軸に重要度、横軸に満足度を設定した相関図では、満足度と重要度をマトリックス上に示すことで、各施策の位置付けを整理する。満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上(A)、右上(B)、右下(C)、左下(D)の4方向に進むに従い、以下のような傾向を示している。

#### A. 重要度が高く、満足度が低い(重点化・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度が高いが、満足度が相対的に低く、施策の重点化や抜本的な見直しなども含め、満足度を高める必要のある領域。

「1-2 地元企業の創出・強化」、「1-5 農業の強化」、「1-9 労働・雇用環境の充実」、  
「2-1 住みよい都市の形成」、「2-4 公共交通網の充実」、「2-5 道路網の整備」、「2-10 自然環境・動植物の保全」、  
「2-11 地球温暖化防止の推進」、「3-2 保育サービスの充実」、「3-3 教育環境の整備・充実」、「5-4 地域医療の構築」、  
「5-6 高齢者支援の推進」、「5-7 障害者支援の推進」、「5-9 子育て支援の充実」

#### B. 重要度、満足度ともに高い(現状維持領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も高く、現時点での満足度の水準を維持していくことが必要な領域。

「2-2 緑あふれる環境整備」、「2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進」、「2-7 良質な水の供給・整備」、  
「2-8 汚水処理の推進」、「2-9 環境汚染の防止」、「3-4 学校教育の充実」、「4-5 広域・高速交通体系の強化」、  
「5-1 防災の強化・推進」、「5-2 市民の安全・安心社会の形成」、「5-3 消防・救急・救助体制の強化」、  
「5-5 健康づくりの推進」

#### C. 重要度が低く、満足度が高い(現状維持・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度は低いものの満足度が高く、満足度の水準を維持していくか、あるいは施策のあり方を含めて見直すべき必要のある領域。

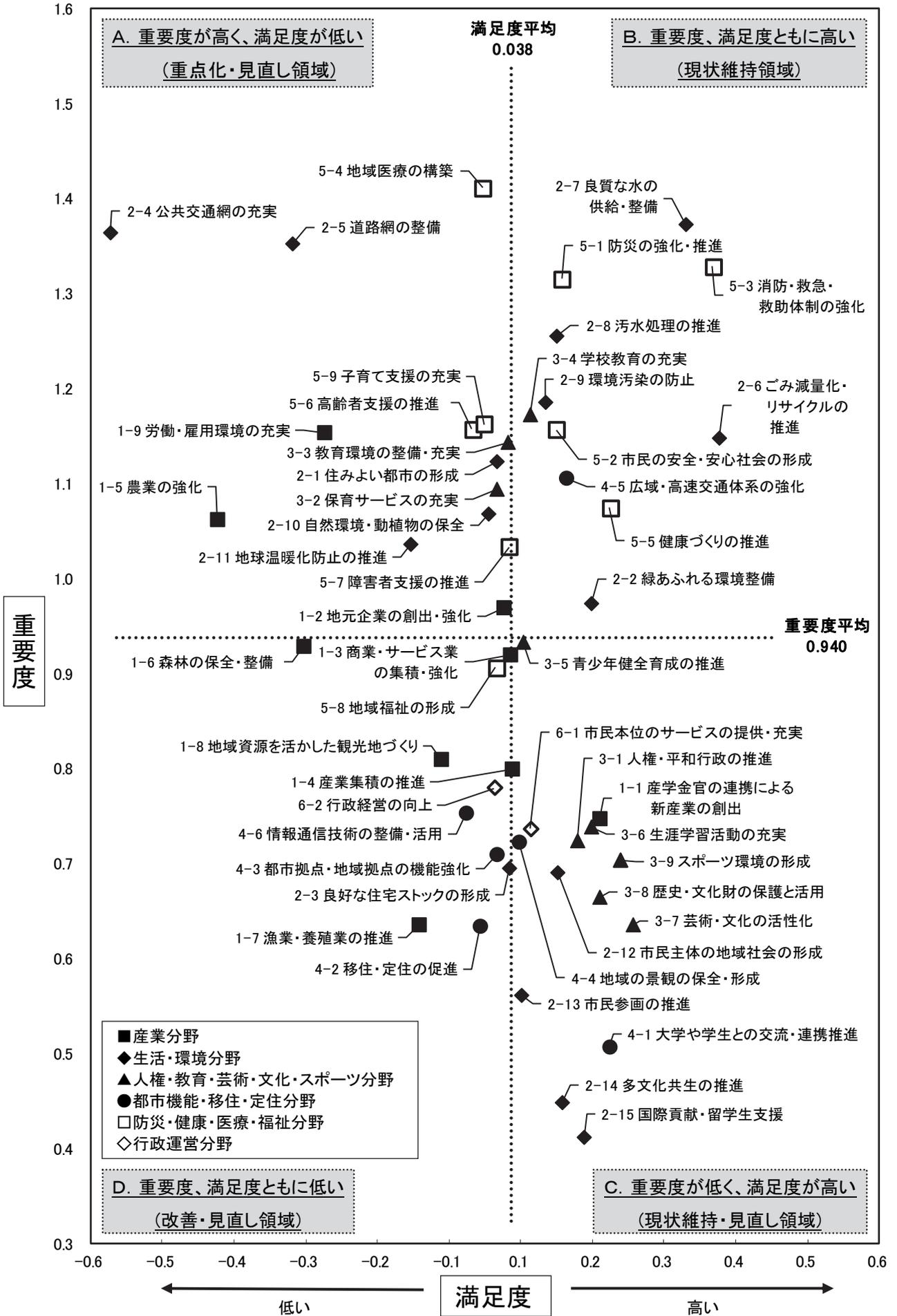
「1-1 産学官の連携による新産業の創出」、「2-12 市民主体の地域社会の形成」、「2-13 市民参画の推進」、  
「2-14 多文化共生の推進」、「2-15 国際貢献・留学生支援」、「3-1 人権・平和行政の推進」、  
「3-5 青少年健全育成の推進」、「3-6 生涯学習活動の充実」、「3-7 芸術・文化の活性化」、  
「3-8 歴史・文化財の保護と活用」、「3-9 スポーツ環境の形成」、「4-1 大学や学生との交流・連携推進」、  
「4-4 地域の景観の保全・形成」、「6-1 市民本位のサービスの提供・充実」

#### D. 重要度、満足度ともに低い(改善・見直し領域)

今後のまちづくりにおける重要度も満足度も低く、施策の目的やニーズを再認識するとともに、施策のあり方や進め方そのものをあらためて見直す必要のある領域。

「1-3 商業・サービス業の集積・強化」、「1-4 産業集積の推進」、「1-6 森林の保全・整備」、「1-7 漁業・養殖業の推進」、  
「1-8 地域資源を活かした観光地づくり」、「2-3 良好な住宅ストックの形成」、「4-2 移住・定住の促進」、  
「4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化」、「4-6 情報通信技術の整備・活用」、  
「5-8 地域福祉の形成」、「6-2 行政経営の向上」

図6-4 施策に対する満足度と重要度の相関図



## (2) 経年変化

### ① 満足度・重要度・ニーズ度の経年変化

#### 【満足度】

満足度は、50項目中13項目(全体の26%)が前回調査(令和5年度)より増加(改善)している。

特に満足度が令和5年度の値から増加している項目は、「2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進(+0.050)」、「4-6 情報通信技術の整備・活用(+0.039)」、「3-9 スポーツ環境の形成(+0.032)」、「5-7 障害者支援の推進(+0.026)」、「1-1 産学金官の連携による新産業の創出(+0.021)」である。

一方、「2-7 良質な水の供給・整備(-0.131)」、「5-4 地域医療の構築(-0.131)」、「2-9 環境汚染の防止(-0.103)」、「3-3 教育環境の整備・充実(-0.103)」、「2-4 公共交通網の充実(-0.083)」などの満足度は低下している。

#### 【重要度】

重要度は、50項目中26項目(全体の52.0%)が前回調査(令和5年度)より増加している。

特に重要度が令和5年度の値から増加している項目は、「2-9 環境汚染の防止(+0.093)」、「2-7 良質な水の供給・整備(+0.064)」、「2-8 汚水処理の推進(+0.044)」、「2-10 自然環境・動植物の保全(+0.040)」、「2-5 道路網の整備(+0.033)」である。

一方、「2-15 国際貢献・留学生支援(-0.156)」、「2-14 多文化共生の推進(-0.124)」、「1-3 商業・サービス業の集積・強化(-0.082)」、「1-8 地域資源を活かした観光地づくり(-0.073)」、「1-2 地元企業の創出・強化(-0.068)」などの重要度は低下している。

#### 【ニーズ度】

ニーズ度は、50項目中29項目(全体の58.0%)が前回調査(令和5年度)よりも増加している。

ニーズ度は重要度と満足度の加重平均値の差であり、ニーズ度の増加は、重要度の増加に対して相対的に満足度が低下していることを意味している。

ニーズ度の増加が高い項目の上位は、「2-9 環境汚染の防止(+0.197)」、「2-7 良質な水の供給・整備(+0.195)」、「5-4 地域医療の構築(+0.162)」、「2-10 自然環境・動植物の保全(+0.119)」、「2-8 汚水処理の推進(+0.107)」などであり、これらの項目は特に前回調査時点と比較して重点化・見直しの優先度が高くなっている項目と言える。

一方、「2-15 国際貢献・留学生支援(-0.127)」、「4-6 情報通信技術の整備・活用(-0.071)」、「3-1 人権・平和行政の推進(-0.067)」、「2-12 市民主体の地域社会の形成(-0.065)」、「2-14 多文化共生の推進(-0.064)」などのニーズ度は低下している。

表6-4 令和6年度と令和5年度調査の比較表

項目			満足度			重要度			ニーズ度		
			令和5年度	令和6年度	増減上位	令和5年度	令和6年度	増減上位	令和5年度	令和6年度	増減上位
産業分野	1-1	産学金官の連携による新産業の創出	0.139	0.160	↑5	0.762	0.747		0.623	0.587	
	1-2	地元企業の創出・強化	0.039	0.027		1.038	0.969	↓5	0.998	0.942	
	1-3	商業・サービス業の集積・強化	0.099	0.036		1.001	0.919	↓3	0.902	0.883	
	1-4	産業集積の推進	0.050	0.037		0.859	0.798		0.809	0.761	
	1-5	農業の強化	-0.298	-0.374		1.032	1.062		1.330	1.436	
	1-6	森林の保全・整備	-0.219	-0.252		0.918	0.928		1.136	1.180	
	1-7	漁業・養殖業の推進	-0.084	-0.092		0.638	0.635		0.722	0.727	
	1-8	地域資源を活かした観光地づくり	-0.045	-0.061		0.882	0.809	↓4	0.927	0.870	
	1-9	労働・雇用環境の充実	-0.225	-0.224		1.170	1.154		1.395	1.377	
生活・環境分野	2-1	住みよい都市の形成	0.059	0.016		1.116	1.122		1.057	1.106	
	2-2	緑あふれる環境整備	0.195	0.149		0.991	0.973		0.795	0.824	
	2-3	良好な住宅ストックの形成	0.056	0.035		0.741	0.695		0.685	0.660	
	2-4	公共交通網の充実	-0.439	-0.522	↓5	1.345	1.363		1.784	1.885	
	2-5	道路網の整備	-0.210	-0.268		1.319	1.352	↑5	1.528	1.620	
	2-6	ごみ減量化・リサイクルの推進	0.276	0.326	↑1	1.143	1.148		0.866	0.821	
	2-7	良質な水の供給・整備	0.411	0.279	↓1	1.308	1.372	↑2	0.898	1.093	↑2
	2-8	汚水処理の推進	0.162	0.100		1.210	1.255	↑3	1.048	1.155	↑5
	2-9	環境汚染の防止	0.187	0.084	↓3	1.091	1.184	↑1	0.904	1.101	↑1
	2-10	自然環境・動植物の保全	0.085	0.005		1.028	1.067	↑4	0.943	1.062	↑4
	2-11	地球温暖化防止の推進	-0.038	-0.103		1.011	1.035		1.049	1.138	
	2-12	市民主体の地域社会の形成	0.093	0.102		0.747	0.690		0.654	0.588	↓4
	2-13	市民参画の推進	0.048	0.051		0.590	0.561		0.542	0.509	
	2-14	多文化共生の推進	0.167	0.107		0.572	0.449	↓2	0.406	0.341	↓5
	2-15	国際貢献・留学生支援	0.168	0.139		0.568	0.412	↓1	0.400	0.273	↓1
文化・人権・スポーツ・芸術分野	3-1	人権・平和行政の推進	0.115	0.130		0.776	0.723		0.661	0.593	↓3
	3-2	保育サービスの充実	0.065	0.017		1.099	1.093		1.034	1.076	
	3-3	教育環境の整備・充実	0.134	0.031	↓4	1.148	1.142		1.014	1.111	
	3-4	学校教育の充実	0.094	0.063		1.180	1.171		1.087	1.109	
	3-5	青少年健全育成の推進	0.094	0.053		0.931	0.933		0.837	0.880	
	3-6	生涯学習活動の充実	0.162	0.148		0.726	0.738		0.564	0.589	
	3-7	芸術・文化の活性化	0.272	0.207		0.653	0.635		0.381	0.428	
	3-8	歴史・文化財の保護と活用	0.231	0.160		0.652	0.663		0.420	0.503	
	3-9	スポーツ環境の形成	0.156	0.188	↑3	0.703	0.704		0.547	0.515	
移住・都市機能分野	4-1	大学や学生との交流・連携推進	0.173	0.173		0.539	0.508		0.365	0.335	
	4-2	移住・定住の促進	0.036	-0.007		0.630	0.633		0.594	0.640	
	4-3	都市拠点・地域拠点の機能強化	0.019	0.016		0.709	0.709		0.691	0.693	
	4-4	地域の景観の保全・形成	0.095	0.048		0.716	0.723		0.621	0.675	
	4-5	広域・高速交通体系の強化	0.144	0.113		1.098	1.106		0.954	0.993	
	4-6	情報通信技術の整備・活用	-0.066	-0.027	↑2	0.784	0.752		0.850	0.779	↓2
医療・福祉・健康・防災分野	5-1	防災の強化・推進	0.098	0.107		1.288	1.315		1.190	1.208	
	5-2	市民の安全・安心社会の形成	0.119	0.099		1.125	1.156		1.006	1.057	
	5-3	消防・救急・救助体制の強化	0.362	0.318		1.300	1.328		0.938	1.011	
	5-4	地域医療の構築	0.128	-0.003	↓2	1.380	1.411		1.252	1.414	↑3
	5-5	健康づくりの推進	0.214	0.174		1.051	1.074		0.837	0.900	
	5-6	高齢者支援の推進	-0.008	-0.018		1.143	1.157		1.151	1.175	
	5-7	障害者支援の推進	0.007	0.033	↑4	1.052	1.033		1.045	0.999	
	5-8	地域福祉の形成	0.004	0.015		0.916	0.906		0.912	0.891	
	5-9	子育て支援の充実	-0.012	-0.001		1.160	1.162		1.172	1.163	
分運行政	6-1	市民本位のサービスの提供・充実	0.068	0.064		0.749	0.736		0.681	0.672	
	6-2	行政経営の向上	-0.006	0.013		0.813	0.779		0.819	0.766	
平均			0.068	0.038		0.949	0.940		0.881	0.903	

※表中の網掛け部分は、令和5年度調査結果を上回る（満足度が改善した、重要度・ニーズ度が増した）項目を示す。  
 ※両年度の値を比較して値が増加した上位5項目に↑、また最も減少、または増加が少なかった5項目に↓を表示している。

## 4. 男女共同参画について

### (1) 男女共同参画について

問7 あなたは、次の①～④について、どのように感じていますか。

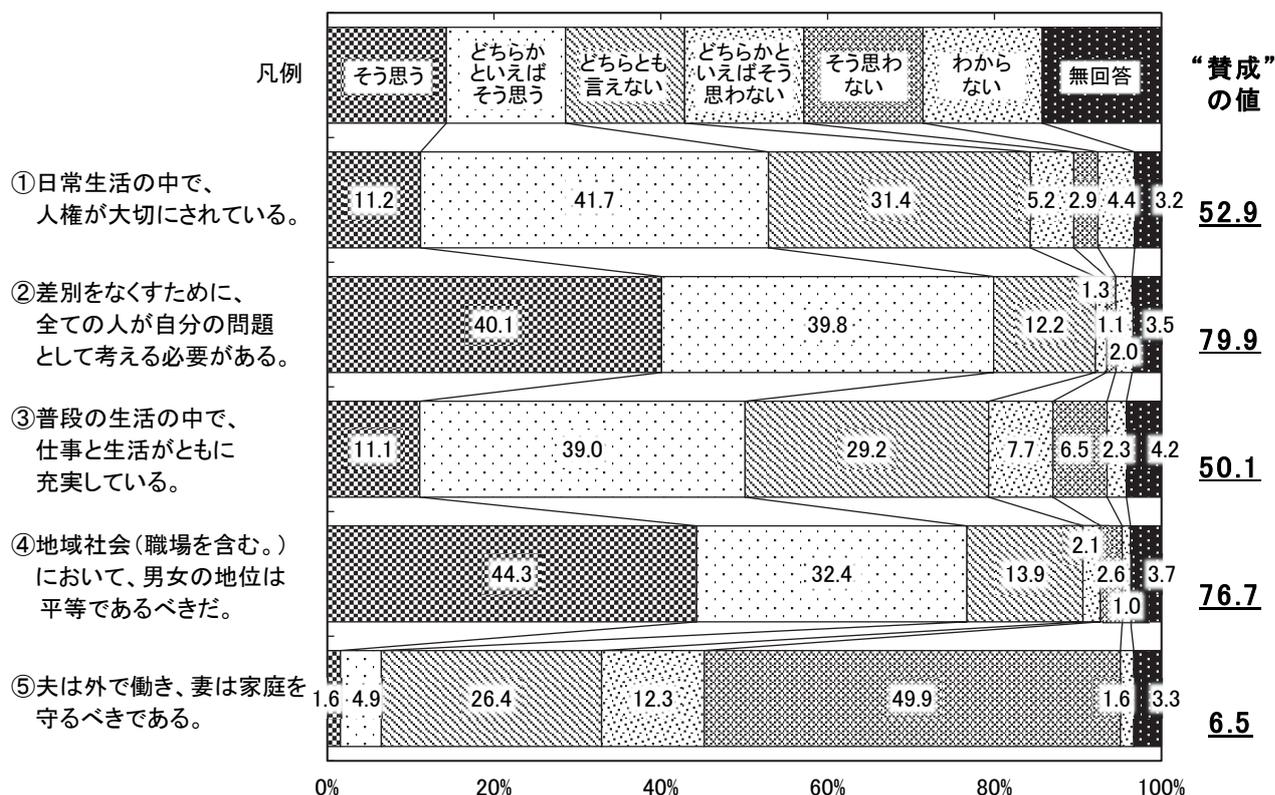
また、⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。)

男女共同参画に関する各項目について“賛成”(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)が高いものでは、『②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある』が79.9%と最も高く、次いで『④地域社会(職場を含む。)において、男女の地位は平等であるべきだ』が76.7%、『①日常生活の中で、人権が大切にされている』が52.9%、『③普段の生活の中で、仕事と生活がともに充実している』が50.1%と続いている。

『⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである』については「そう思わない」が49.9%と5割弱を占めており、“賛成”は6.5%であった。

図7-1 男女共同参画について [n=998]



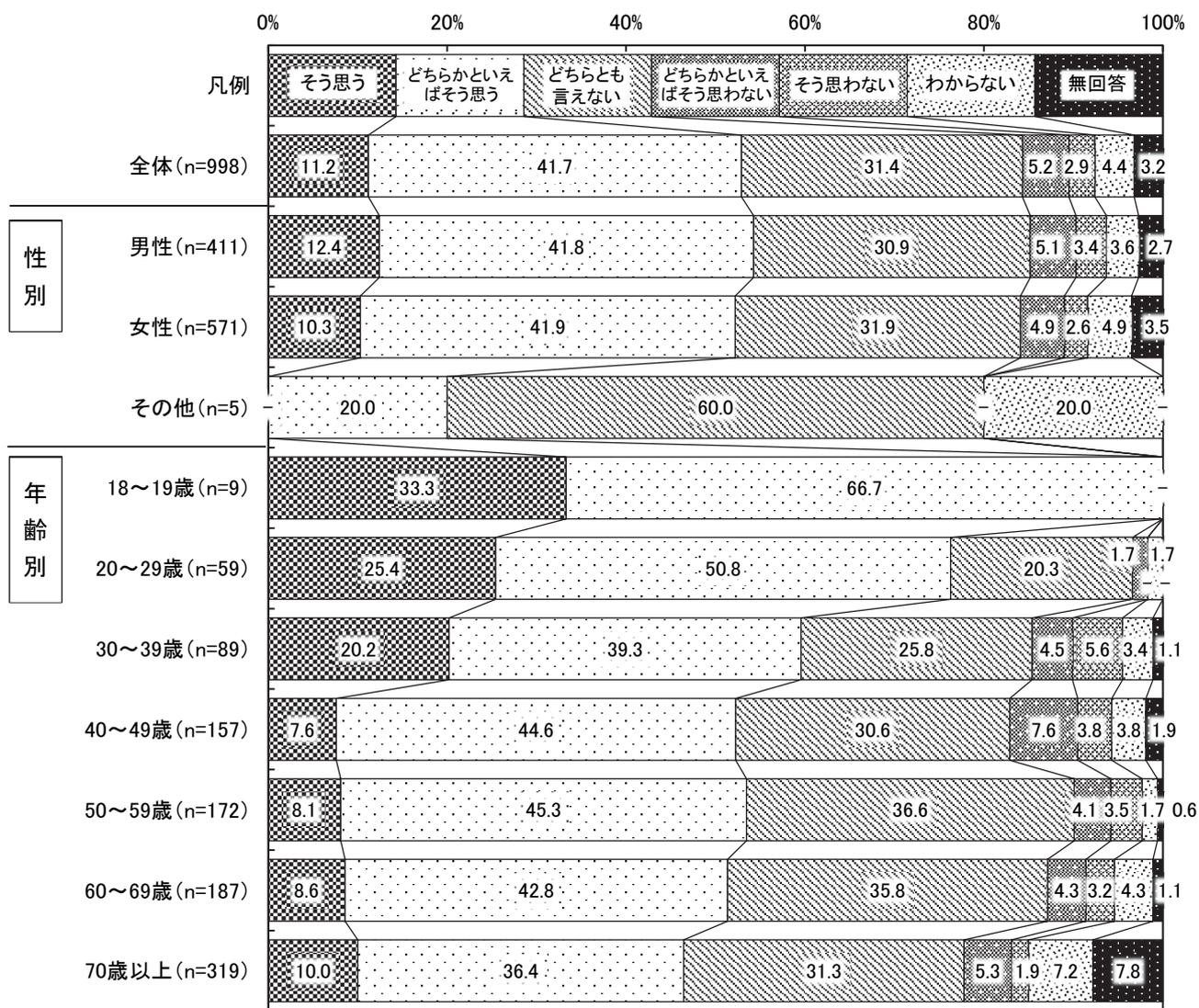
①日常生活の中で、人権が大切にされている

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「そう思う」は『20～29歳』が25.4%と14.2ポイント、『30～39歳』が20.2%と9.0ポイント、それぞれ全体より高い。“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）についても『20～29歳』が76.2%と23.3ポイント、『30～39歳』が59.5%と6.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図7-2 男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／性別・年齢別

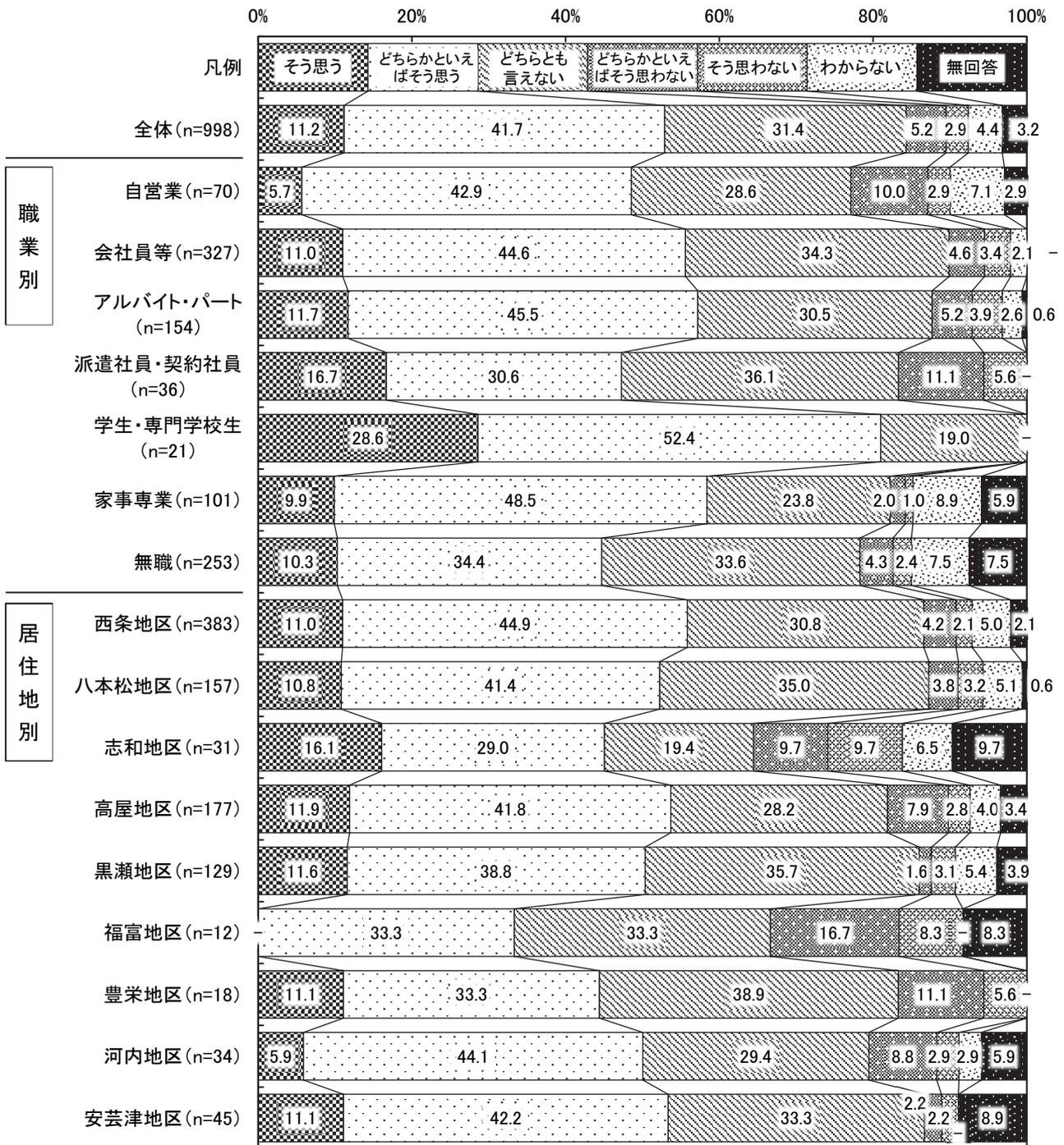


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『家事専業』が58.4%と5.5ポイント全体より高い。

居住地別では、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『福富地区』が25.0%と16.9ポイント、『志和地区』が19.4%と11.3ポイント、『豊栄地区』が16.7%と8.6ポイント、それぞれ全体より高い。

図7-3 男女共同参画について ①日常生活の中で、人権が大切にされている／職業別・居住地別



②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある

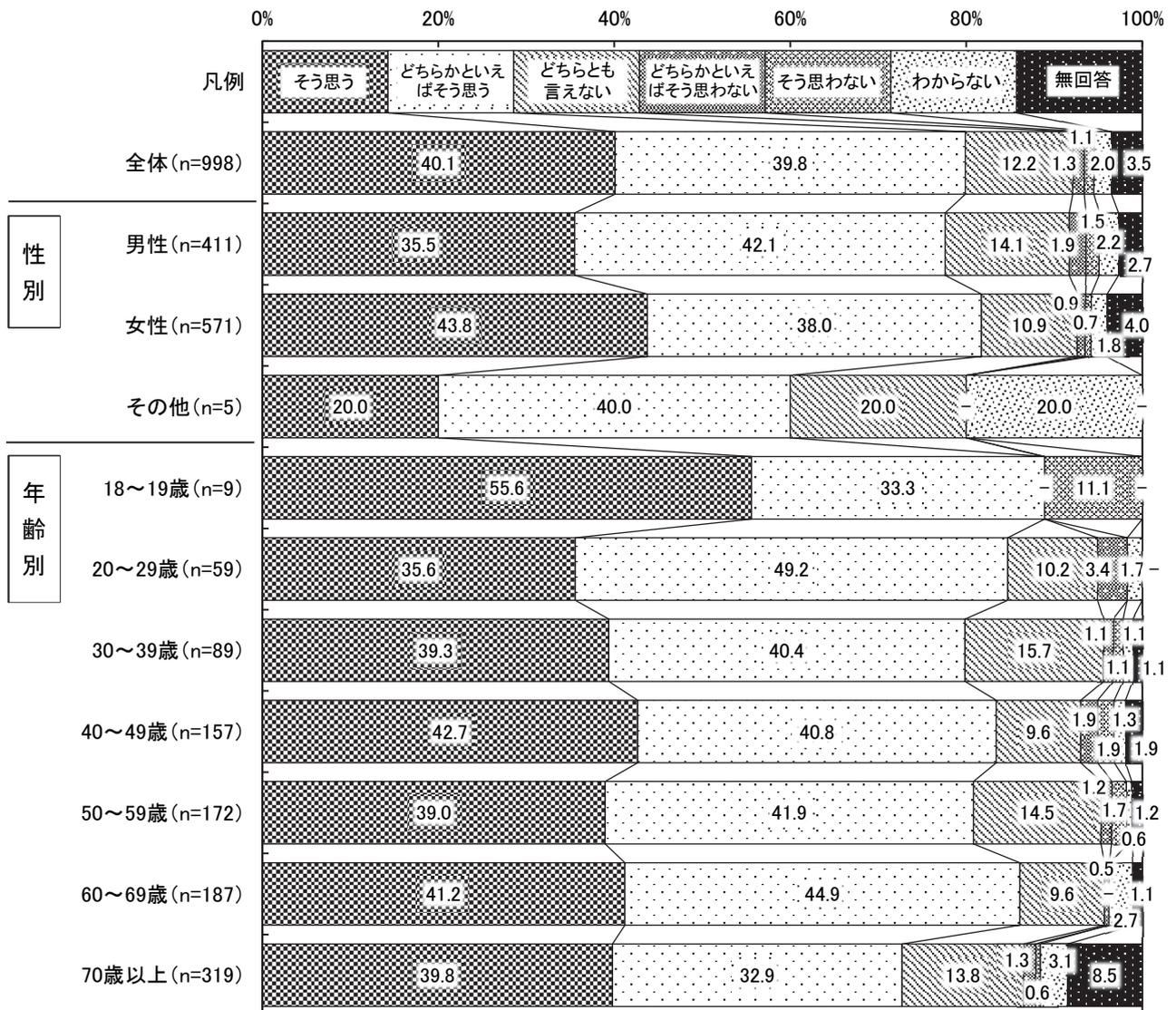
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「そう思う」は『男性』35.5%、『女性』43.8%と『女性』が『男性』より8.3ポイント高い。

年齢別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）については『60～69歳』が86.1%と6.2ポイント全体より高くなっている。

図7-4 男女共同参画について

②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある／性別・年齢別



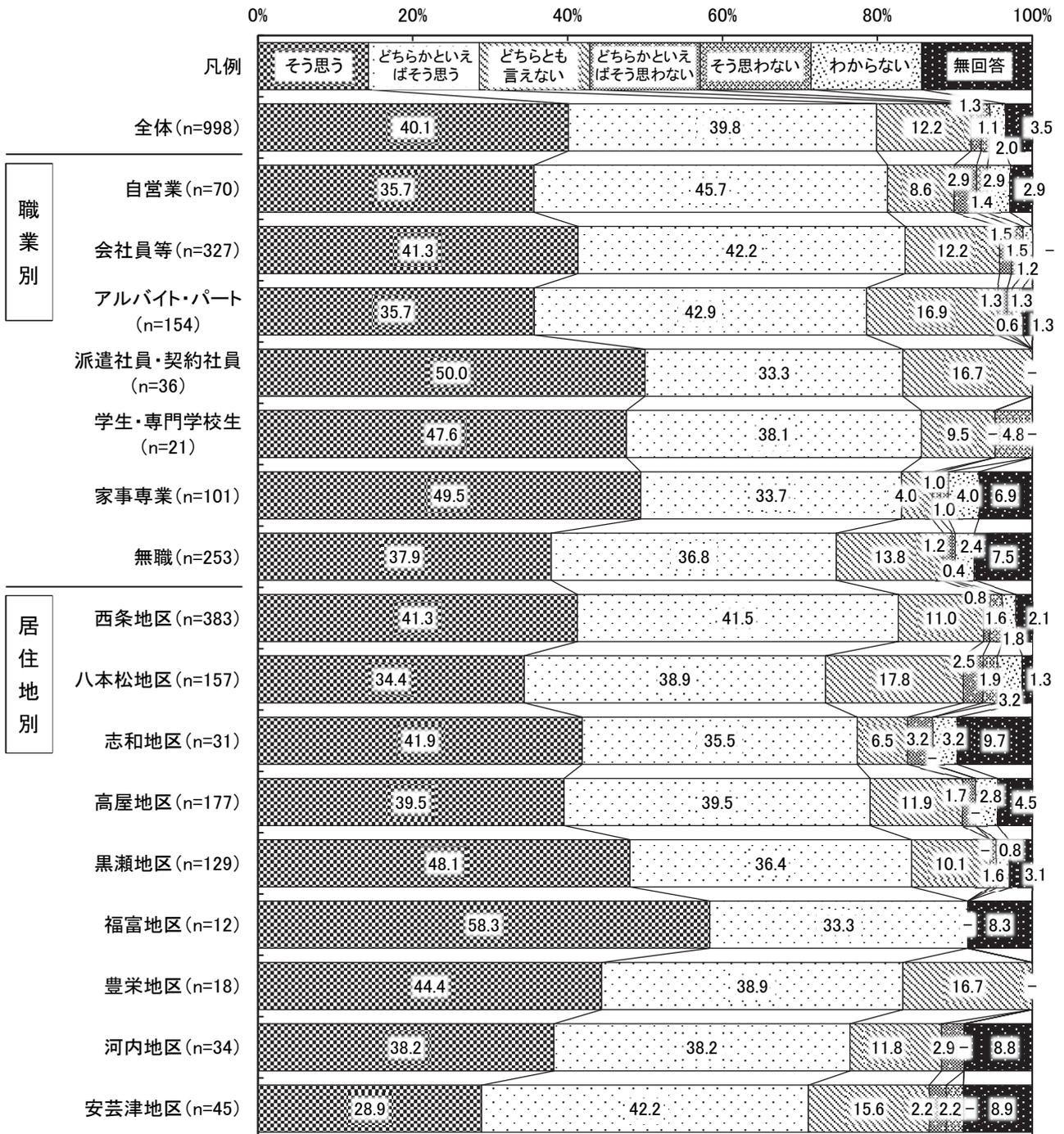
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「そう思う」は『家事専業』が49.5%と9.4ポイント全体より高い。

居住地別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『福富地区』が91.6%と11.7ポイント全体より高くなっている。

図7-5 男女共同参画について

②差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある／職業別・居住地別



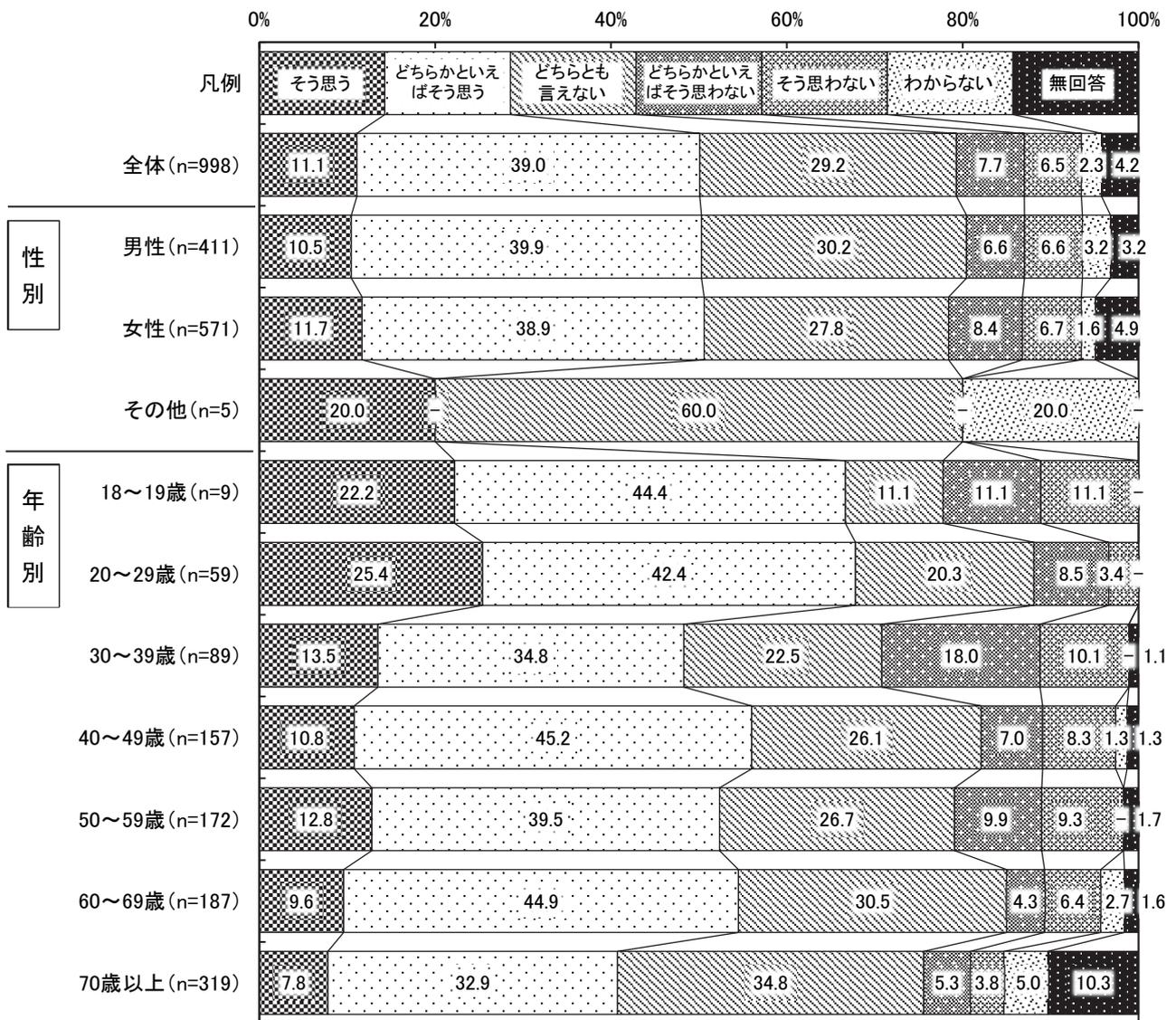
③ 普段の生活の中で、仕事と生活がともに充実している

【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は「20～29歳」が67.8%と17.7ポイント、『40～49歳』が56.0%と5.9ポイント、それぞれ全体より高い。一方、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『30～39歳』が28.1%と13.9ポイント、『50～59歳』が19.2%と5.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図7-6 男女共同参画について ③ 普段の生活の中で、仕事と生活がともに充実している／性別・年齢別

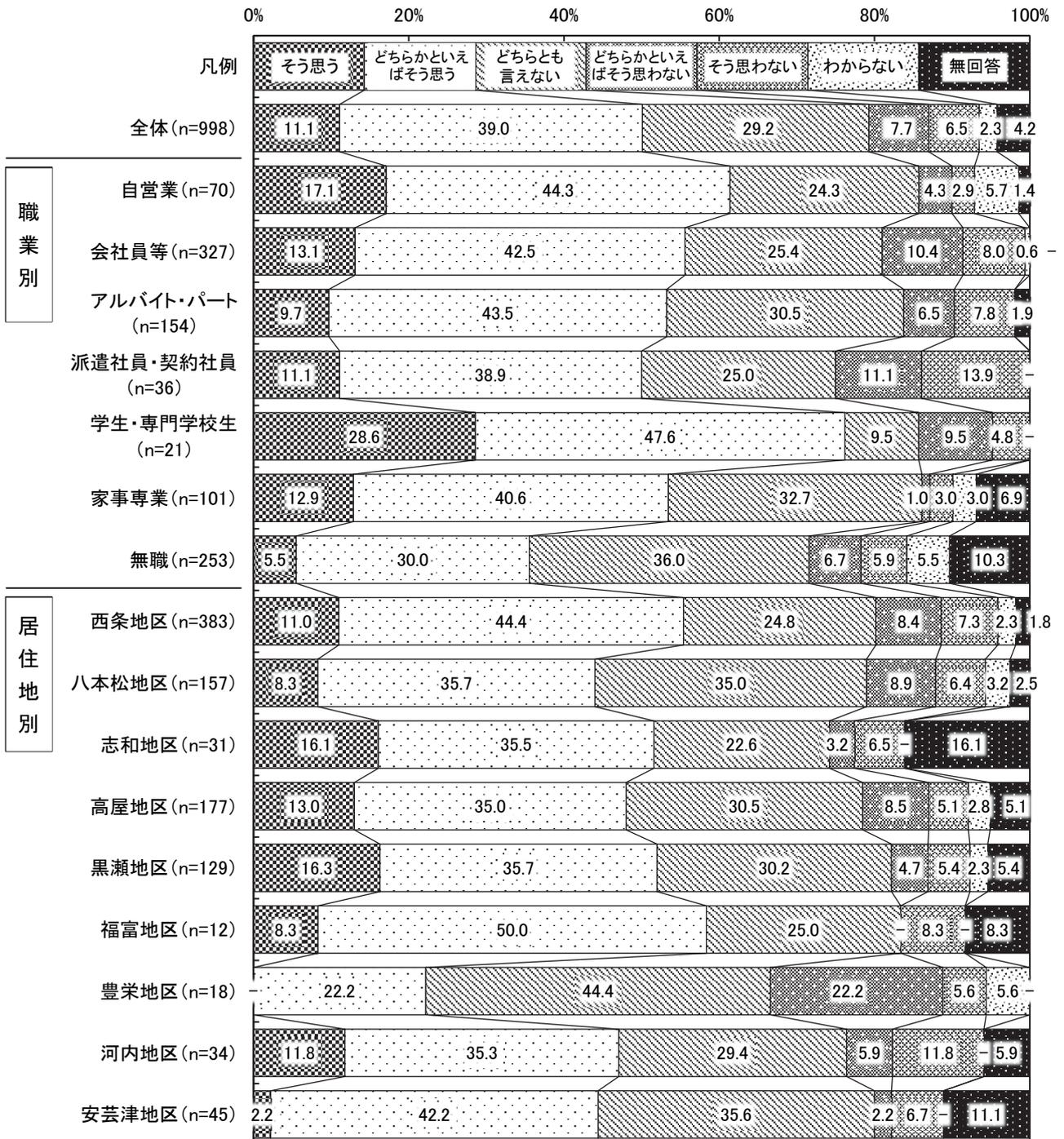


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『自営業』が61.4%と11.3ポイント、『会社員等』が55.6%と5.5ポイント、全体より高い。

居住地別では、“賛成”は『西条地区』が55.4%と5.3ポイント、『福富地区』が58.3%と8.2ポイント、それぞれ全体より高い。

図7-7 男女共同参画について ③普段の生活の中で、仕事と生活がともに充実している／職業別・居住地別



④地域社会（職場を含む。）において、男女の地位は平等であるべきだ

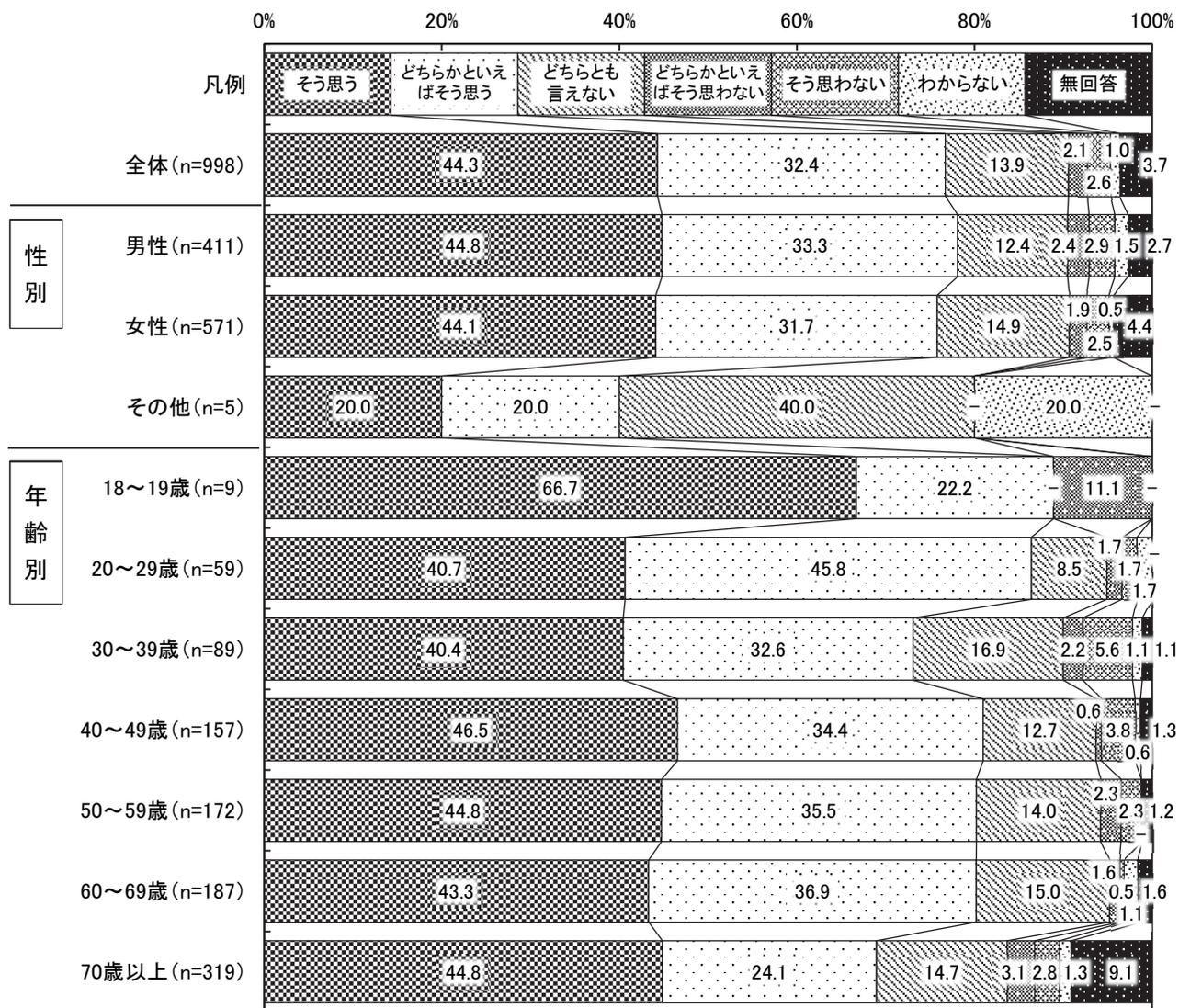
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『20～29歳』が86.5%と9.8ポイント全体より高い。

図7-8 男女共同参画について

④地域社会（職場を含む。）において、男女の地位は平等であるべきだ／性別・年齢別



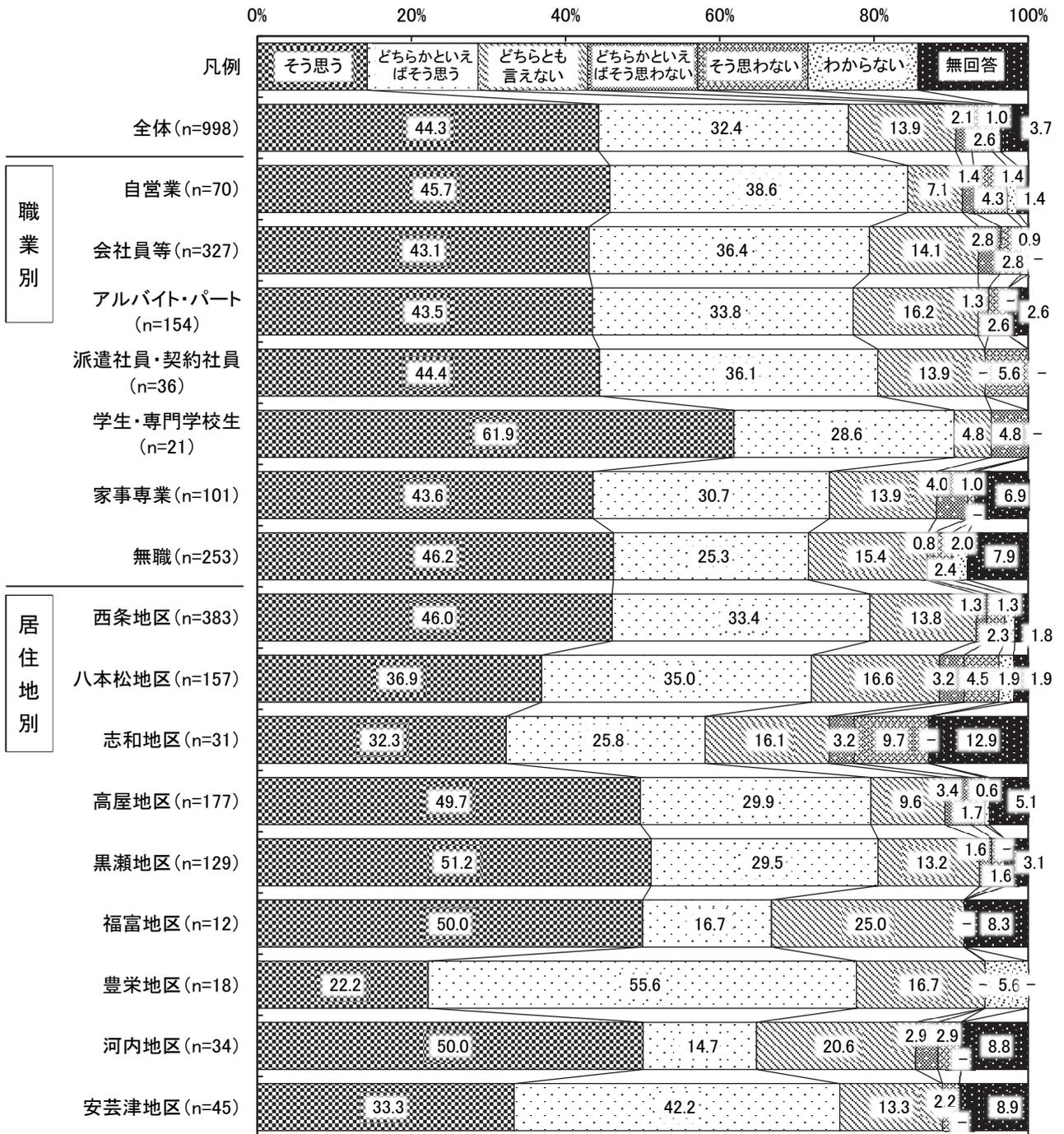
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は『自営業』が84.3%と7.6ポイント全体より高い。

居住地別では、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計）は『志和地区』が12.9%と8.2ポイント全体より高くなっている。

図7-9 男女共同参画について

④地域社会（職場を含む。）において、男女の地位は平等であるべきだ／職業別・居住地別



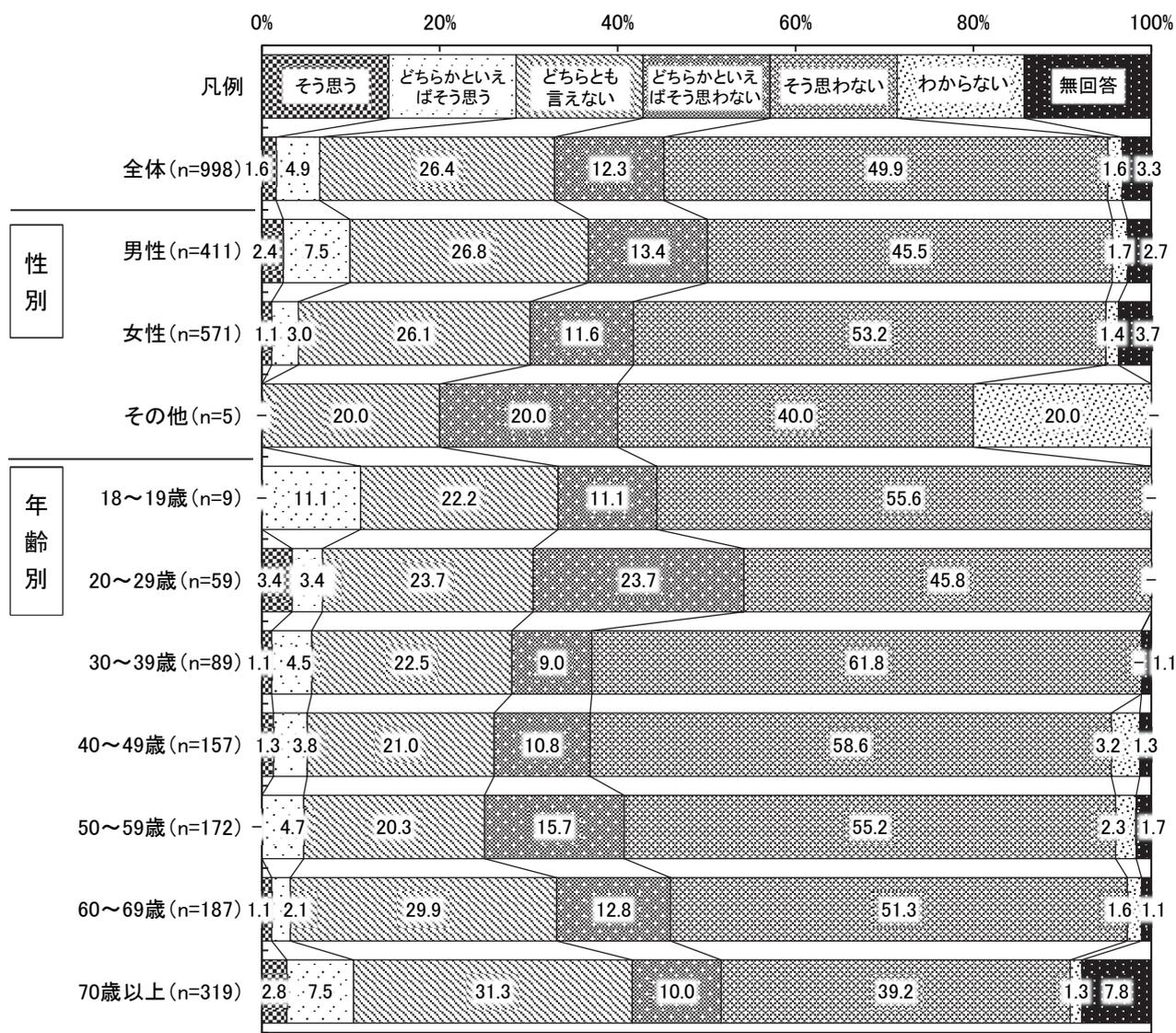
⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は『男性』58.9%、『女性』64.8%と、『女性』が『男性』より5.9ポイント高い。

年齢別では、“反対”は『50～59歳』が70.9%と8.7ポイント、『30～39歳』が70.8%と8.6ポイント、『20～29歳』が69.5%と7.3ポイント、『40～49歳』が69.4%と7.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図7-10 男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／性別・年齢別

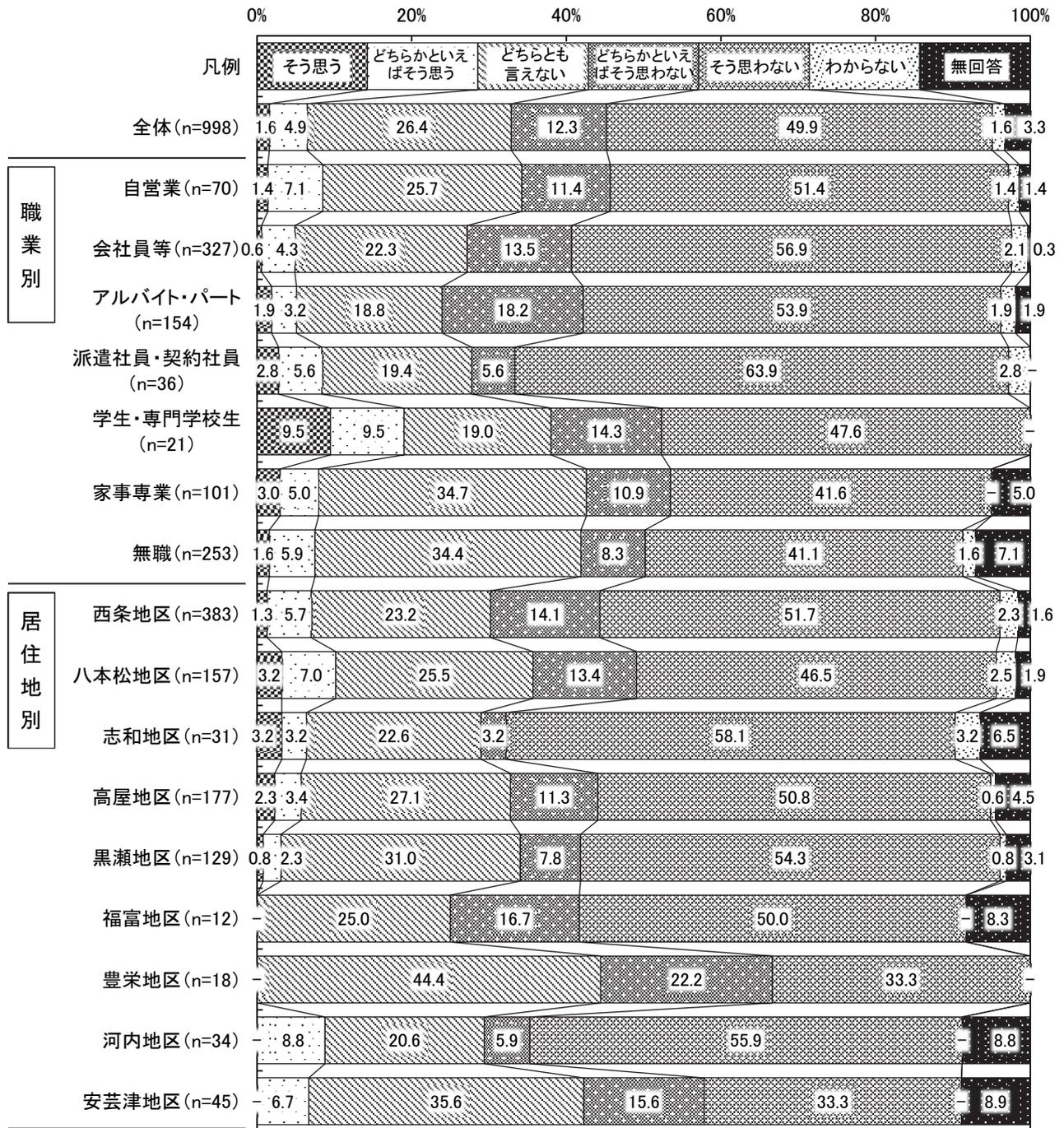


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“反対”（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）については、『アルバイト・パート』が72.1%と9.9ポイント、『会社員等』が70.4%と8.2ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“賛成”（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）について顕著な差はないが、“反対”は『安芸津地区』が48.9%と13.3ポイント全体より低くなっている。

図7-11 男女共同参画について ⑤夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである／職業別・居住地別



## 5. 「多文化共生のまちづくり」について

### (1) 多文化共生のまちづくりの必要性

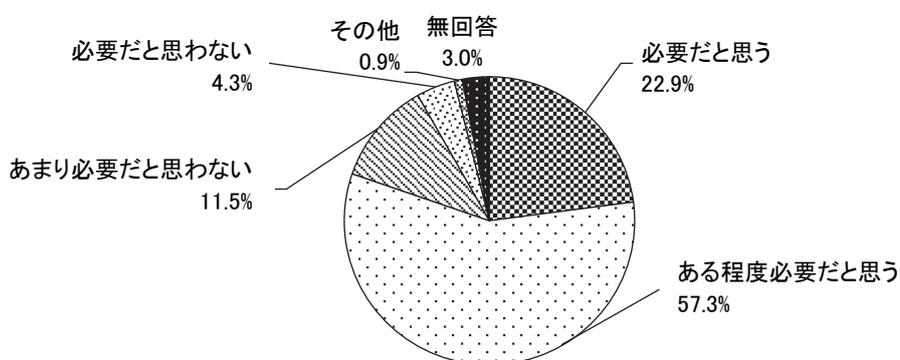
問8 あなたは、多文化共生のまちづくりが必要だと思いますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

多文化共生のまちづくりが必要だと思うかについては、「必要だと思う」が22.9%、「ある程度必要だと思う」が57.3%で、“必要”（「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計）は、80.2%と8割以上を占める。

「あまり必要だと思わない」は11.5%、「必要だと思わない」は4.3%で、“不要”（「必要だと思わない」と「あまり必要だと思わない」の合計）は、15.8%であった。

図8-1 多文化共生のまちづくりの必要性 [n=998]

単位：%

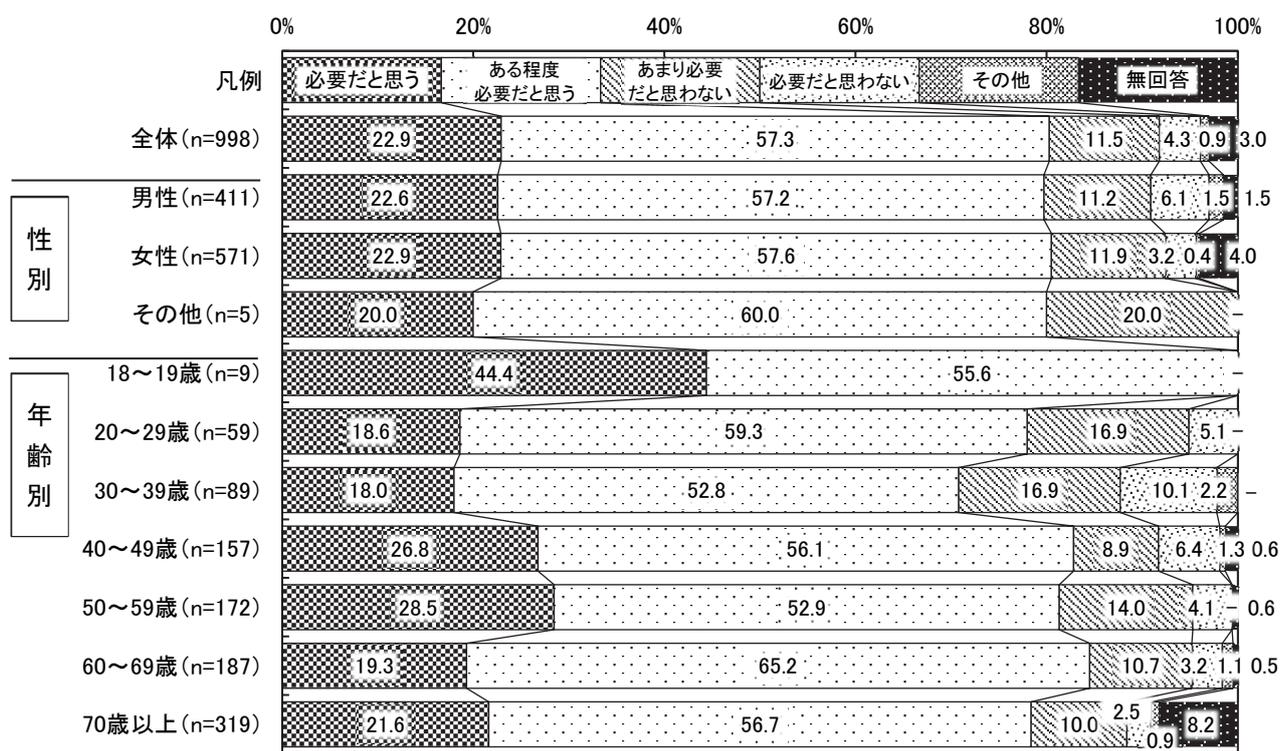


#### 【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“不要”（「必要だと思わない」と「あまり必要だと思わない」の合計）は、『30～39歳』が27.0%と11.2ポイント、『20～29歳』が22.0%と6.2ポイント、それぞれ全体より高い。

図8-2 多文化共生のまちづくりの必要性／性別・年齢別

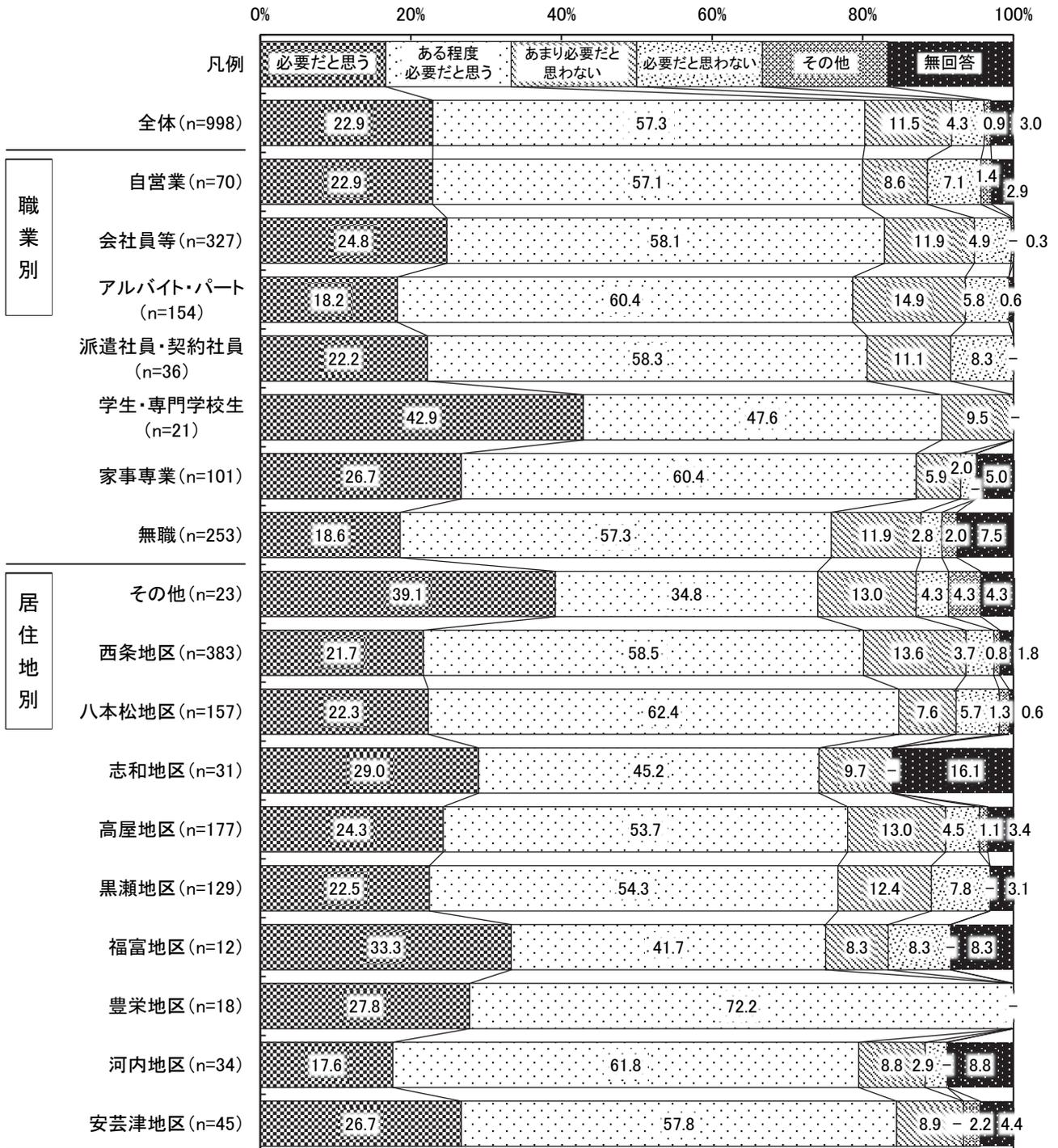


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“必要”（「必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」の合計）は『家事専業』が87.1%と6.9ポイント全体より高い。

居住地別では、“必要”は『豊栄地区』が100.0%と19.8ポイント全体より高くなっている。

表8-3 多文化共生のまちづくりの必要性／職業別・居住地別

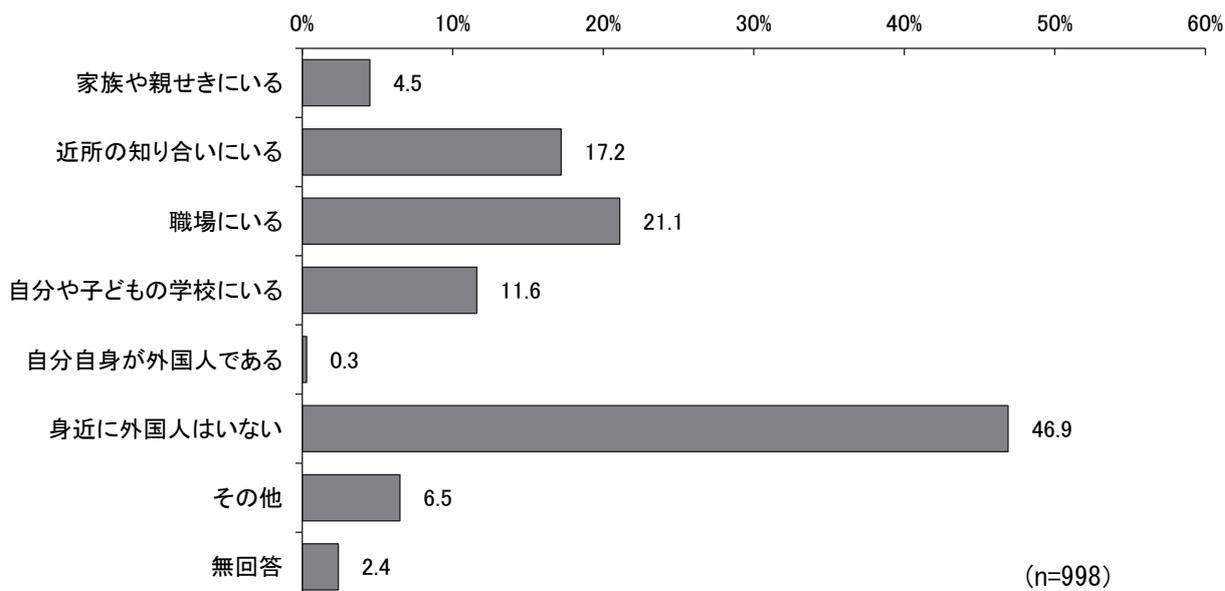


(2) 身近な外国人の有無

問9 あなたの身近に外国人はいますか。  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

身近に外国人がいるかについては、「身近に外国人はいない」46.9%と最も高く、次いで「職場にいる」が21.1%、「近所の知り合いにいる」が17.2%、「自分や子どもの学校にいる」が11.6%、「家族や親せきにいる」が4.5%となっている。

図9-1 身近な外国人の有無 [n=998]



【属性別の傾向】<性別>

性別では、「自分や子どもの学校にいる」は『男性』8.0%、『女性』14.4%と『女性』が『男性』より6.4ポイント高い。

表9-1 身近な外国人の有無／性別

単位：%

		家族や親せきにいる	近所の知り合いにいる	職場にいる	自分や子どもの学校にいる	自分自身が外国人である	身近に外国人はいない	その他	無回答
全体 (n=998)		4.5	17.2	21.1	11.6	0.3	46.9	6.5	2.4
性別	男性 (n=411)	4.9	18.0	23.6	8.0	0.2	<b>47.2</b>	6.1	2.4
	女性 (n=571)	4.2	16.6	19.4	14.4	0.2	<b>46.9</b>	7.0	2.3
	その他 (n=5)	-	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「職場にいる」は『30～39歳』が39.3%と18.2ポイント、『50～59歳』が37.2%と16.1ポイント、『40～49歳』が30.6%と9.5ポイント、それぞれ全体より高い。「自分や子どもの学校にいる」は『40～49歳』が31.8%と20.2ポイント、『30～39歳』が24.7%と13.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「身近に外国人はいない」は『70歳以上』が59.6%と12.7ポイント、『60～69歳』が56.1%と9.2ポイント、それぞれ全体より高い。

職業別では、「近所の知り合いにいる」は『自営業』が25.7%と8.5ポイント、「職場にいる」は『会社員等』が39.4%と18.3ポイント、『アルバイト・パート』が31.2%と10.1ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「家族や親せきにいる」は『豊栄地区』が16.7%と12.2ポイント、「近所の知り合いにいる」は『志和地区』が25.8%と8.6ポイント、「職場にいる」と「自分や子どもの学校にいる」は『西条地区』がそれぞれ5ポイント以上高い。「身近に外国人はいない」は『豊栄地区』が66.7%で19.8ポイント、『福富地区』が58.3%と11.4ポイント、『河内地区』が55.9%で9.0ポイント、『黒瀬地区』が53.5%と6.6ポイント、それぞれ高い。

表9-2 身近な外国人の有無／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		家族や親せきにいる	近所の知り合いにいる	職場にいる	自分や子どもの学校にいる	自分自身が外国人である	身近に外国人はいない	その他	無回答
全体(n=998)		4.5	17.2	21.1	11.6	0.3	46.9	6.5	2.4
性別	男性(n=411)	4.9	18.0	23.6	8.0	0.2	<b>47.2</b>	6.1	2.4
	女性(n=571)	4.2	16.6	19.4	14.4	0.2	<b>46.9</b>	7.0	2.3
	その他(n=5)	-	40.0	20.0	20.0	-	20.0	-	-
年齢別	18～19歳(n=9)	-	22.2	-	55.6	-	11.1	11.1	-
	20～29歳(n=59)	5.1	20.3	22.0	8.5	-	<b>49.2</b>	1.7	-
	30～39歳(n=89)	6.7	16.9	<b>39.3</b>	24.7	-	27.0	3.4	1.1
	40～49歳(n=157)	3.8	21.7	30.6	<b>31.8</b>	0.6	30.6	1.3	2.5
	50～59歳(n=172)	5.8	12.8	<b>37.2</b>	11.0	-	<b>39.5</b>	6.4	0.6
	60～69歳(n=187)	3.7	16.0	19.3	3.2	0.5	<b>56.1</b>	8.0	1.1
	70歳以上(n=319)	4.1	17.9	4.1	2.8	-	<b>59.6</b>	10.0	5.0
職業別	自営業(n=70)	4.3	25.7	8.6	5.7	-	<b>47.1</b>	10.0	2.9
	会社員等(n=327)	4.9	16.5	<b>39.4</b>	15.3	0.3	36.1	3.4	0.3
	アルバイト・パート(n=154)	4.5	17.5	31.2	17.5	0.6	<b>37.0</b>	5.2	1.9
	派遣社員・契約社員(n=36)	5.6	11.1	<b>47.2</b>	19.4	-	38.9	5.6	-
	学生・専門学校生(n=21)	-	23.8	4.8	<b>42.9</b>	-	23.8	4.8	-
	家事専業(n=101)	2.0	18.8	1.0	7.9	-	<b>63.4</b>	8.9	2.0
	無職(n=253)	4.0	17.0	1.6	4.0	-	<b>62.5</b>	9.9	5.1
居住地別	西条地区(n=383)	4.4	19.8	26.1	18.0	-	<b>41.3</b>	4.7	1.3
	八本松地区(n=157)	4.5	17.2	15.3	12.1	0.6	<b>51.0</b>	5.1	1.9
	志和地区(n=31)	3.2	<b>25.8</b>	19.4	3.2	-	<b>51.6</b>	9.7	-
	高屋地区(n=177)	4.0	15.8	23.2	9.0	0.6	<b>45.2</b>	7.9	2.8
	黒瀬地区(n=129)	3.1	12.4	19.4	4.7	-	<b>53.5</b>	10.1	3.1
	福富地区(n=12)	-	16.7	16.7	8.3	-	<b>58.3</b>	8.3	-
	豊栄地区(n=18)	<b>16.7</b>	11.1	5.6	-	-	<b>66.7</b>	-	-
	河内地区(n=34)	5.9	17.6	11.8	5.9	-	<b>55.9</b>	-	8.8
	安芸津地区(n=45)	8.9	11.1	15.6	2.2	-	<b>51.1</b>	<b>17.8</b>	2.2

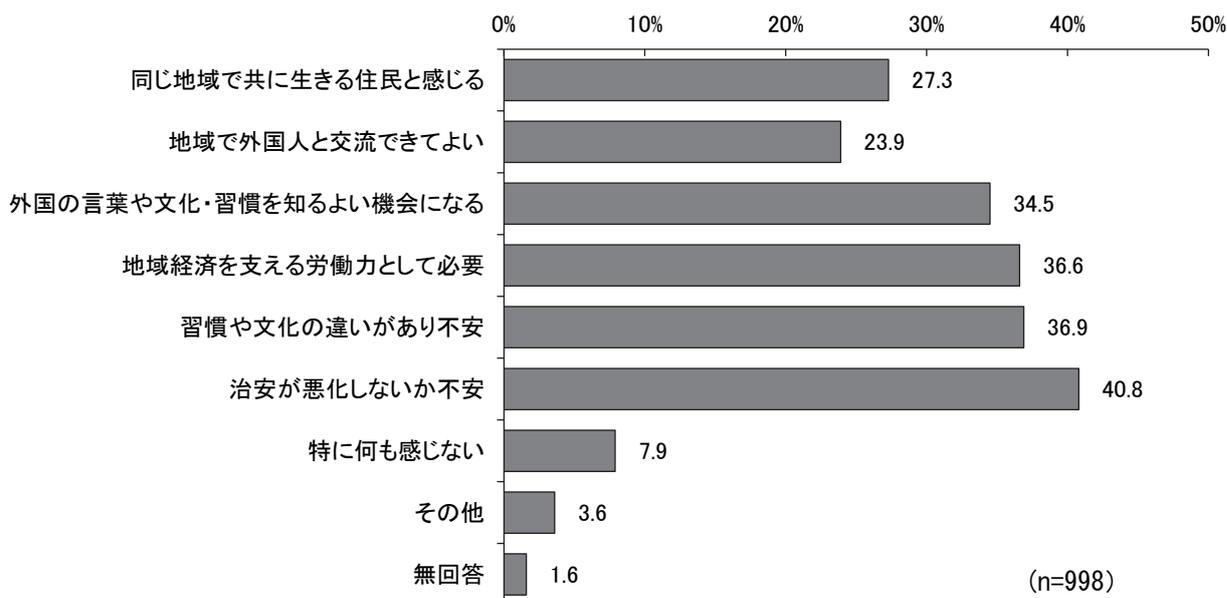
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別のサンプル数が20未満はしない。

(3) 東広島市に暮らす外国人についての考え

問10 市内には約9,000人の外国人が暮らしています。今度も増加する見込みですが、そのことについてどう思いますか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

東広島市に暮らす外国人についてどう思うかについては、「治安が悪化しないか不安」が40.8%と最も高く、次いで、「習慣や文化の違いがあり不安」が36.9%、「地域経済を支える労働力として必要」が36.6%、「外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる」が34.5%となっている。

図10-1 東広島市に暮らす外国人についての考え [n=998]



【属性別の傾向】＜性別＞

性別では「地域経済を支える労働力として必要」は、『男性』41.4%、『女性』33.3%と『男性』が『女性』より8.1ポイント高い。

表10-1 東広島市に暮らす外国人についての考え／性別

単位：%

		同じ地域で共に生きる住民と感じる	地域で外国人と交流できてよい	外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる	地域経済を支える労働力として必要	習慣や文化の違いがあり不安	治安が悪化しないか不安	特に何も感じない	その他	無回答
全体(n=998)		27.3	23.9	34.5	36.6	36.9	40.8	7.9	3.6	1.6
性別	男性(n=411)	25.1	25.5	30.4	41.4	39.9	<b>43.6</b>	8.5	4.1	1.5
	女性(n=571)	28.7	23.3	37.8	33.3	35.0	<b>38.9</b>	7.4	3.3	1.8
	その他(n=5)	40.0	-	40.0	40.0	20.0	60.0	20.0	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「地域で外国人と交流できてよい」は『40～49歳』が30.6%と6.7ポイント、「外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる」も『40～49歳』が44.6%と10.1ポイント、「地域経済を支える労働力として必要」は、『60～69歳』が43.3%と6.7ポイント、それぞれ全体より高い。「習慣や文化の違いがあり不安」は『50～59歳』が43.6%と6.7ポイント、『20～29歳』が42.4%と5.5ポイント、『治安が悪化しないか不安』は『50～59歳』が48.3%と7.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

職業別では、「同じ地域で共に生きる住民とを感じる」は『家事専業』が35.6%と8.3ポイント全体より高い。

居住地別では、「同じ地域で共に生きる住民とを感じる」と「外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる」は『福富地区』、「地域経済を支える労働力として必要」と「習慣や文化の違いがあり不安」は『豊栄地区』がそれぞれ10ポイント以上全体より高くなっている。

表10-2 東広島市に暮らす外国人についての考え／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		同じ地域で共に生きる住民とを感じる	地域で外国人と交流できてよい	外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる	地域経済を支える労働力として必要	習慣や文化の違いがあり不安	治安が悪化しないか不安	特に何も感じない	その他	無回答
全体(n=998)		27.3	23.9	34.5	36.6	36.9	40.8	7.9	3.6	1.6
年齢別	18～19歳(n=9)	55.6	44.4	44.4	11.1	33.3	33.3	11.1	-	-
	20～29歳(n=59)	28.8	28.8	37.3	27.1	42.4	<b>44.1</b>	3.4	1.7	-
	30～39歳(n=89)	31.5	24.7	38.2	32.6	36.0	<b>43.8</b>	5.6	7.9	1.1
	40～49歳(n=157)	25.5	30.6	<b>44.6</b>	30.6	36.3	43.3	6.4	4.5	1.9
	50～59歳(n=172)	31.4	25.6	31.4	38.4	43.6	<b>48.3</b>	6.4	2.9	-
	60～69歳(n=187)	28.3	23.5	31.0	<b>43.3</b>	36.4	36.4	8.0	2.7	-
	70歳以上(n=319)	23.5	18.5	31.7	<b>38.2</b>	33.2	37.0	11.0	3.4	3.8
職業別	自営業(n=70)	30.0	18.6	31.4	32.9	24.3	<b>34.3</b>	15.7	4.3	1.4
	会社員等(n=327)	27.8	27.8	40.4	38.8	41.3	<b>43.7</b>	5.5	3.4	-
	アルバイト・パート(n=154)	24.7	28.6	36.4	37.7	37.7	<b>44.8</b>	6.5	1.3	0.6
	派遣社員・契約社員(n=36)	25.0	16.7	33.3	22.2	<b>50.0</b>	<b>52.8</b>	5.6	8.3	-
	学生・専門学校生(n=21)	<b>47.6</b>	<b>47.6</b>	42.9	19.0	28.6	23.8	4.8	-	-
	家事専業(n=101)	35.6	16.8	36.6	<b>37.6</b>	35.6	34.7	4.0	3.0	1.0
	無職(n=253)	24.5	21.3	26.1	37.2	33.6	<b>39.1</b>	12.3	5.1	4.0
居住地別	西条地区(n=383)	28.5	26.4	36.0	36.3	36.3	<b>42.3</b>	7.8	3.9	1.0
	八本松地区(n=157)	29.9	26.1	37.6	34.4	36.9	<b>43.3</b>	3.2	5.7	-
	志和地区(n=31)	19.4	16.1	29.0	41.9	29.0	<b>48.4</b>	9.7	6.5	3.2
	高屋地区(n=177)	24.3	21.5	32.8	36.2	40.7	<b>46.3</b>	6.8	2.8	2.8
	黒瀬地区(n=129)	31.8	22.5	31.8	<b>38.0</b>	34.1	31.0	10.9	1.6	0.8
	福富地区(n=12)	<b>41.7</b>	<b>33.3</b>	<b>58.3</b>	16.7	16.7	8.3	16.7	-	-
	豊栄地区(n=18)	22.2	27.8	38.9	<b>55.6</b>	<b>50.0</b>	38.9	11.1	-	-
	河内地区(n=34)	20.6	14.7	29.4	<b>32.4</b>	<b>32.4</b>	29.4	17.6	-	8.8
	安芸津地区(n=45)	20.0	17.8	24.4	<b>44.4</b>	42.2	42.2	8.9	6.7	2.2

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別でサンプル数が20未満はしない。

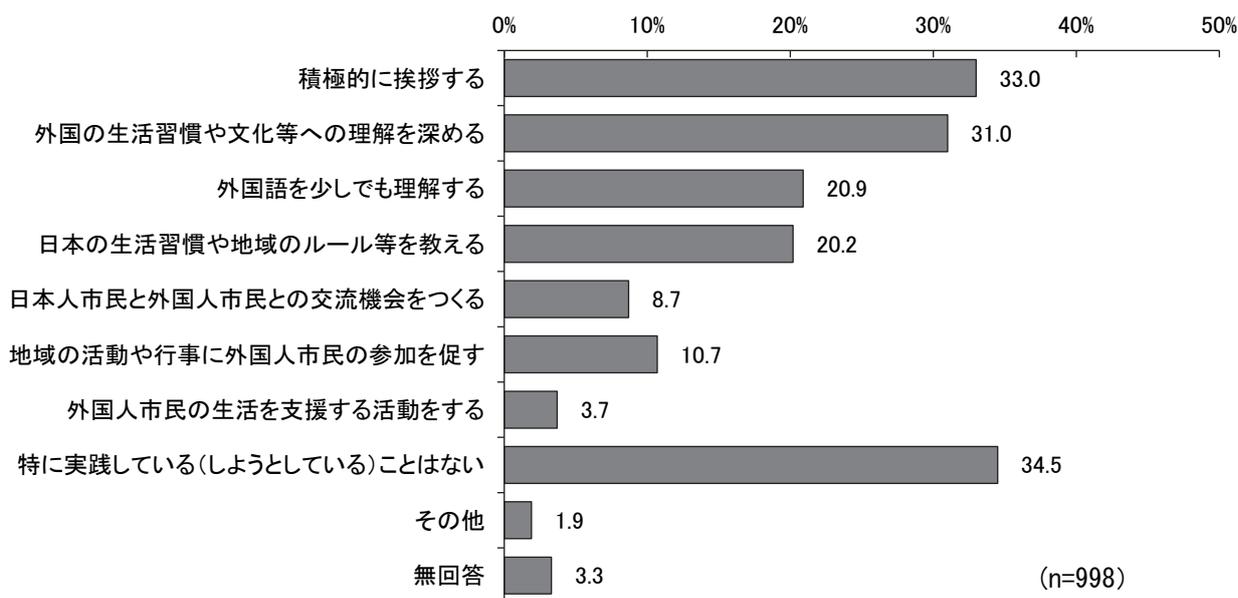
(4) 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項

問11 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように、あなたが実践していること（または、今後実践したいと思っていること）は何ですか。  
 （主なものを3つまで選んで○をお付けください）

外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項については、「積極的に挨拶する」が33.0%と最も高く、次いで「外国の生活習慣や文化等への理解を深める」が31.0%と高い。

「特に実践している（しようとしている）ことはない」は34.5%となっている。

図11-1 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項 [n=998]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、男女で顕著な差はない。

表11-1 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項/性別 単位：%

		積極的に挨拶する	外国の生活習慣や文化等への理解を深める	外国語を少しでも理解する	地域の生活習慣やルール等を教える	日本人市民と外国人市民との交流機会をつくる	地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す	外国人市民の生活を支援する活動をする	特に実践している(しようとしている)ことはない	その他	無回答
全体 (n=998)		33.0	31.0	20.9	20.2	8.7	10.7	3.7	34.5	1.9	3.3
性別	男性 (n=411)	31.9	29.9	22.4	20.7	8.8	11.9	4.4	<b>34.1</b>	1.9	3.4
	女性 (n=571)	34.0	32.0	20.1	20.0	8.8	10.0	3.3	<b>34.3</b>	1.9	3.2
	その他 (n=5)	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	60.0	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「外国の生活習慣や文化等への理解を深める」は『20～29歳』が37.3%と6.3ポイント、「外国語を少しでも理解する」は『40～49歳』が27.4%と6.5ポイント、「積極的に挨拶する」、「日本の生活習慣や地域のルール等を教える」、「地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す」は『70歳以上』が5ポイント以上、それぞれ全体より高い。

職業別では、「積極的に挨拶する」と「日本の生活習慣や地域のルール等を教える」、は『家事専業』、「外国の生活習慣や文化等への理解を深める」と「外国語を少しでも理解する」は『会社員等』がそれぞれ5ポイント以上、全体より高くなっている。

居住地別では、「積極的に挨拶する」は『志和地区』が51.6%と18.6ポイント、「地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す」は『福富地区』が41.7%と31.0ポイント、それぞれ全体より高い。

表11-2 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように実践している・したい事項  
／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

	積極的に挨拶するに	外国の生活習慣や文化等への理解を深める	外国語を少しでも理解する	日本の生活習慣や地域のルール等を教える	日本人市民と外国人市民との交流機会をつくる	地域の人々の活動や行事に参加を促す	外国人市民の生活を支援する活動をする	特に実践している（しようとしている）ことはない	その他	無回答
全体(n=998)	33.0	31.0	20.9	20.2	8.7	10.7	3.7	34.5	1.9	3.3
年齢別	18～19歳(n=9)	-	66.7	66.7	11.1	22.2	33.3	11.1	-	-
	20～29歳(n=59)	23.7	37.3	22.0	15.3	8.5	3.4	1.7	40.7	-
	30～39歳(n=89)	25.8	34.8	25.8	11.2	7.9	1.1	5.6	44.9	1.1
	40～49歳(n=157)	31.2	35.0	27.4	19.1	10.8	7.0	5.1	34.4	1.9
	50～59歳(n=172)	33.1	33.7	21.5	19.2	8.1	10.5	4.1	38.4	1.2
	60～69歳(n=187)	31.6	32.1	21.4	19.3	8.6	9.1	1.1	35.8	2.7
	70歳以上(n=319)	39.8	23.8	14.4	25.7	7.8	16.9	4.1	27.6	3.8
職業別	自営業(n=70)	32.9	27.1	12.9	11.4	8.6	4.3	1.4	44.3	1.4
	会社員等(n=327)	29.4	37.9	26.3	16.2	8.6	6.7	4.6	37.6	0.9
	アルバイト・パート(n=154)	41.6	33.1	19.5	22.1	7.1	9.1	3.2	33.1	1.3
	派遣社員・契約社員(n=36)	30.6	25.0	25.0	30.6	11.1	16.7	8.3	30.6	-
	学生・専門学校生(n=21)	9.5	52.4	52.4	9.5	23.8	19.0	9.5	14.3	-
	家事専業(n=101)	39.6	21.8	15.8	25.7	6.9	12.9	1.0	34.7	3.0
	無職(n=253)	35.2	24.5	16.2	24.5	9.1	16.6	3.2	29.6	3.6
居住地別	西条地区(n=383)	28.7	36.3	23.2	19.6	8.9	8.1	3.7	35.8	1.3
	八本松地区(n=157)	38.2	32.5	22.3	18.5	7.6	14.0	3.8	32.5	1.9
	志和地区(n=31)	51.6	35.5	19.4	19.4	9.7	16.1	-	12.9	9.7
	高屋地区(n=177)	31.6	27.7	19.2	24.3	8.5	9.6	4.0	33.3	1.1
	黒瀬地区(n=129)	41.1	24.0	16.3	21.7	10.1	11.6	5.4	38.0	0.8
	福富地区(n=12)	41.7	25.0	16.7	16.7	16.7	41.7	8.3	16.7	8.3
	豊栄地区(n=18)	38.9	16.7	27.8	5.6	11.1	16.7	-	55.6	-
	河内地区(n=34)	32.4	29.4	26.5	14.7	5.9	5.9	2.9	35.3	8.8
	安芸津地区(n=45)	22.2	17.8	11.1	22.2	4.4	8.9	-	37.8	4.4

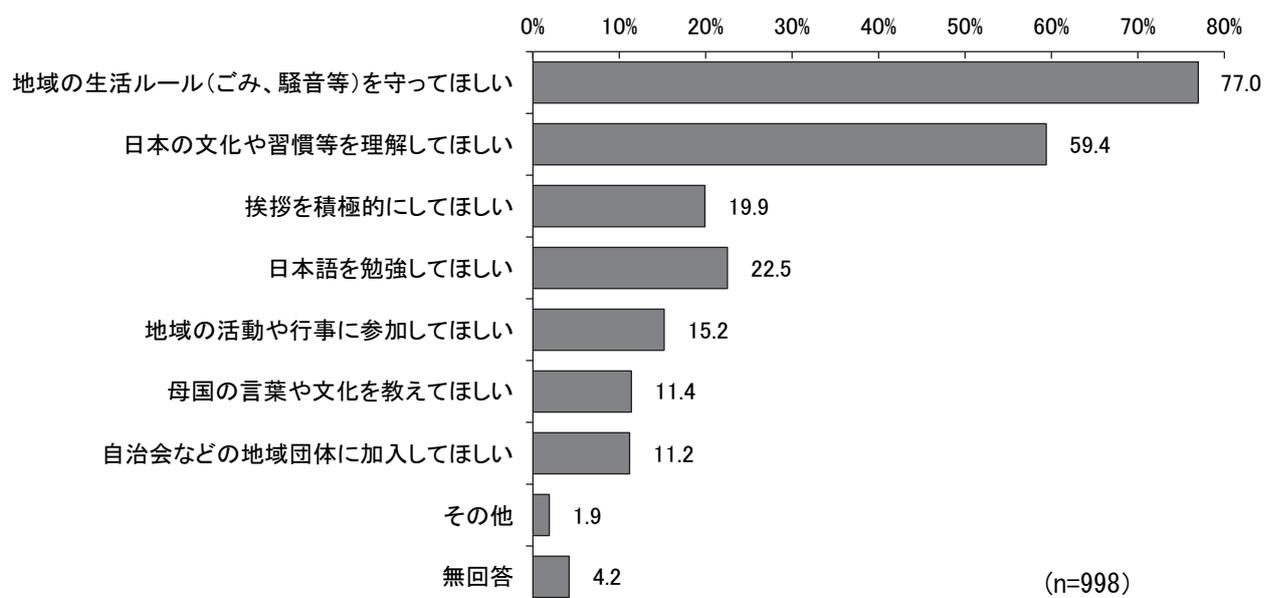
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別でサンプル数が20未満はしない。

(5) 外国人市民にも努力をしてほしい事項

問12 ともに地域で暮らしやすくなるように、外国人市民にも努力をしてほしいと感じることは何ですか。（主なものを3つまで選んで○をお付けください）

外国人市民にも努力をしてほしい事項については、「地域の生活ルール（ごみ、騒音等）を守ってほしい」が77.0%と最も高く、次いで「日本の文化や習慣等を理解してほしい」が59.4%と高い。

図12-1 外国人市民にも努力をしてほしいと感じること [n=998]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、「日本の文化や習慣等を理解してほしい」は『男性』が『女性』より6.6ポイント高くなっている。

表12-1 外国人市民にも努力をしてほしい事項／性別

単位：%

		地域の生活ルール（ごみ、騒音等）を守ってほしい	日本の文化や習慣等を理解してほしい	挨拶を積極的にしてほしい	日本語を勉強してほしい	地域の活動や行事に参加してほしい	母国の言葉や文化を教えてほしい	自治会などの地域団体に加入してほしい	その他	無回答
全体 (n=998)		77.0	59.4	19.9	22.5	15.2	11.4	11.2	1.9	4.2
性別	男性 (n=411)	<b>77.6</b>	63.5	22.9	23.8	17.3	9.7	14.1	1.5	2.7
	女性 (n=571)	<b>76.7</b>	56.9	18.0	21.7	14.0	12.8	9.5	2.1	5.3
	その他 (n=5)	80.0	20.0	-	-	20.0	20.0	-	20.0	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「日本の文化や習慣等を理解してほしい」は『20～29歳』が74.6%と15.2ポイント、「日本語を勉強してほしい」は『40～49歳』が34.4%と11.9ポイント、それぞれ全体より高い。

職業別では、「日本の文化や習慣等を理解してほしい」は『会社員等』が66.1%と6.7ポイント、「地域の活動や行事に参加してほしい」は『家事専業』が20.8%と5.6ポイント、「自治会などの地域団体に加入してほしい」は『無職』が17.8%と6.6ポイント、『家事専業』が16.8%と5.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「挨拶を積極的にしてほしい」は『豊栄地区』と『河内地区』、「地域の活動や行事に参加してほしい」は『福富地区』で、それぞれ10ポイント以上全体より高い。

表12-2 外国人市民にも努力をしてほしい事項／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		地域の生活ルール (ごみ、騒音等) を守ってほしい	日本の文化や 習慣等を理解して ほしい	挨拶を積極的に してほしい	日本語を勉強して ほしい	地域の活動や行事 に参加してほしい	母国の言葉や文化 を教えてほしい	自治会など の地域団体に加入 してほしい	その他	無回答
	全体(n=998)	77.0	59.4	19.9	22.5	15.2	11.4	11.2	1.9	4.2
年齢別	18～19歳(n=9)	88.9	77.8	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	-	-
	20～29歳(n=59)	<b>81.4</b>	<b>74.6</b>	8.5	<b>30.5</b>	8.5	10.2	5.1	3.4	1.7
	30～39歳(n=89)	<b>78.7</b>	57.3	16.9	20.2	11.2	12.4	5.6	-	4.5
	40～49歳(n=157)	<b>80.9</b>	66.9	13.4	<b>34.4</b>	11.5	14.6	7.0	0.6	1.9
	50～59歳(n=172)	<b>82.6</b>	64.5	13.4	23.3	14.0	16.3	9.3	1.7	1.2
	60～69歳(n=187)	<b>73.8</b>	64.7	20.3	21.4	14.4	10.2	11.2	3.2	1.6
	70歳以上(n=319)	<b>72.1</b>	47.3	29.5	16.3	<b>21.0</b>	7.8	<b>17.2</b>	2.2	9.1
職業別	自営業(n=70)	<b>78.6</b>	54.3	17.1	24.3	18.6	15.7	7.1	1.4	5.7
	会社員等(n=327)	<b>81.0</b>	66.1	18.0	23.9	11.9	10.4	8.6	1.2	1.2
	アルバイト・パート(n=154)	<b>72.7</b>	63.0	18.8	22.7	14.3	15.6	7.8	1.3	3.2
	派遣社員・契約社員(n=36)	<b>86.1</b>	58.3	19.4	30.6	19.4	11.1	8.3	-	-
	学生・専門学校生(n=21)	76.2	<b>81.0</b>	9.5	<b>38.1</b>	9.5	19.0	4.8	-	-
	家事専業(n=101)	<b>77.2</b>	52.5	22.8	16.8	<b>20.8</b>	9.9	<b>16.8</b>	2.0	4.0
	無職(n=253)	<b>73.9</b>	51.4	24.1	19.4	17.4	8.7	<b>17.8</b>	4.0	8.3
居住地別	西条地区(n=383)	<b>79.4</b>	65.3	15.7	23.8	13.1	11.0	9.7	2.1	2.3
	八本松地区(n=157)	<b>84.1</b>	61.1	17.2	22.3	13.4	10.8	10.8	1.9	1.3
	志和地区(n=31)	48.4	<b>51.6</b>	22.6	16.1	19.4	9.7	16.1	3.2	<b>16.1</b>
	高屋地区(n=177)	<b>72.9</b>	58.2	22.0	24.9	14.7	13.0	12.4	1.1	6.2
	黒瀬地区(n=129)	<b>79.1</b>	53.5	24.8	17.1	<b>20.2</b>	14.0	15.5	-	5.4
	福富地区(n=12)	<b>75.0</b>	41.7	<b>25.0</b>	8.3	<b>50.0</b>	16.7	16.7	-	8.3
	豊栄地区(n=18)	<b>72.2</b>	38.9	<b>44.4</b>	16.7	<b>22.2</b>	5.6	11.1	5.6	5.6
	河内地区(n=34)	<b>73.5</b>	47.1	<b>32.4</b>	<b>32.4</b>	17.6	11.8	<b>20.6</b>	2.9	5.9
	安芸津地区(n=45)	<b>71.1</b>	57.8	17.8	22.2	11.1	8.9	-	6.7	4.4

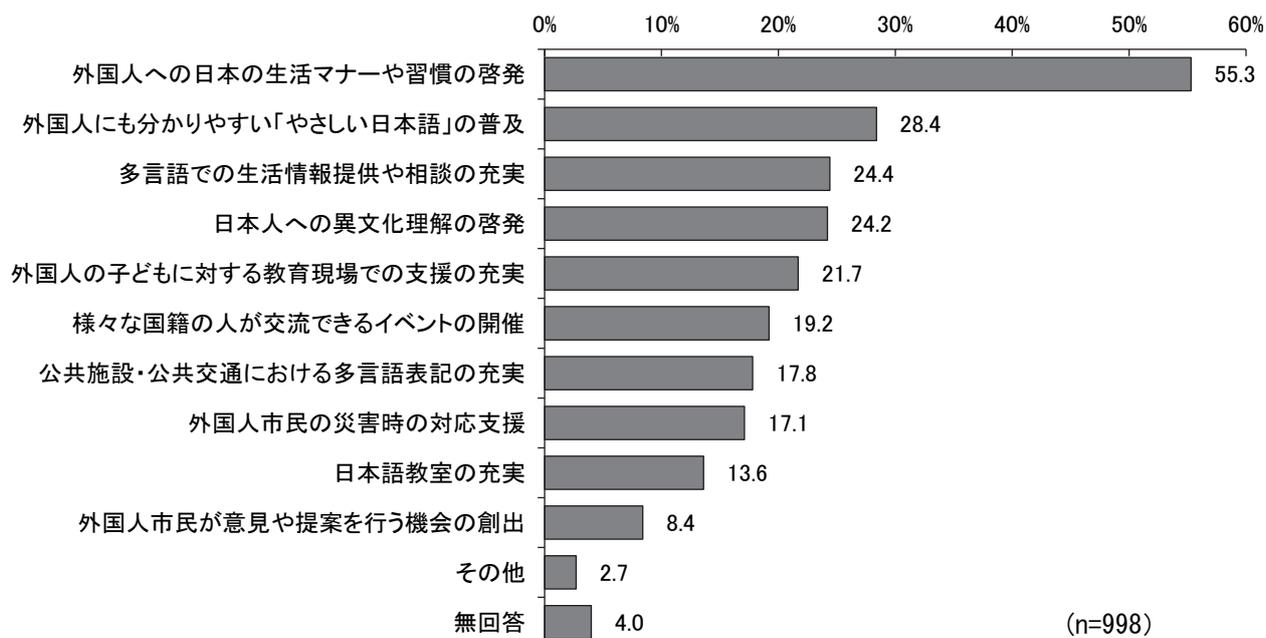
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別でサンプル数が20未満はしない。

(6) 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと

問13 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきことは何ですか。  
(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきことについては、「外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発」が55.3%と最も高く、次いで「外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及」が28.4%、「多言語での生活情報提供や相談の充実」が24.4%と続いている。

図13-1 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと [n=998]



【属性別の傾向】 <性別>

性別では、「外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発」は9.1ポイント、「日本人への異文化理解の啓発」は8.5ポイント、それぞれ『男性』が『女性』より高くなっている。

表13-1 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと／性別

単位：%

	外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発	外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及	多言語での生活情報提供や相談の充実	日本人への異文化理解の啓発	外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実	様々な国籍の人が交流できるイベントの開催	公共施設・公共交通における多言語表記の充実	災害時の対応支援	日本語教室の充実	意見や提案を行う機会の創出	その他	無回答
全体(n=998)	55.3	28.4	24.4	24.2	21.7	19.2	17.8	17.1	13.6	8.4	2.7	4.0
性別												
男性(n=411)	<b>60.6</b>	28.2	22.6	29.2	20.4	20.4	19.0	15.3	14.4	9.0	2.7	2.9
女性(n=571)	<b>51.5</b>	28.9	26.3	20.7	23.1	18.6	16.8	18.6	13.3	7.7	2.8	4.4
その他(n=5)	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	-	-

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜年齢別・職業別・居住地別＞

年齢別では、「外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発」は『20～29歳』が67.8%と12.5ポイント、「外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実」は『30～39歳』が30.3%と8.6ポイント、『様々な国籍の人が交流できるイベントの開催』は、『40～49歳』が24.2%と5.0ポイント、それぞれ全体より高い。

職業別では、「日本人への異文化理解の啓発」は『無職』が43.5%と19.3ポイント、『アルバイト・パート』が36.1%と11.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発」は『豊栄地区』、「外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及」は『安芸津地区』、「多言語での生活情報提供や相談の充実」、「外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実」、「日本語教室の充実」は『黒瀬地区』、「日本人への異文化理解の啓発」は『河内地区』と『安芸津地区』、「様々な国籍の人が交流できるイベントの開催」は『豊栄地区』でそれぞれ10ポイント以上全体より高い。

表13-2 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきこと  
／年齢別・職業別・居住地別

単位：%

		外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発	外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及	多言語での生活情報提供や相談の充実	日本人への異文化理解の啓発	外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実	外国人の子どもにイベントの開催	様々な国籍の人が交流できるイベントの開催	公共施設・公共交通における多言語表記の充実	災害時の対応支援	外国人市民の支援	日本語教室の充実	意見や提案を行う機会への創出	外国人市民が行う	その他	無回答
全体(n=998)		55.3	28.4	24.4	24.2	21.7	19.2	17.8	17.1	13.6	8.4	2.7	4.0			
年齢別	18～19歳(n=9)	55.6	55.6	22.2	44.4	-	11.1	-	55.6	22.2	11.1	-	-			
	20～29歳(n=59)	<b>67.8</b>	30.5	27.1	22.0	15.3	20.3	20.3	18.6	10.2	5.1	1.7	1.7			
	30～39歳(n=89)	<b>58.4</b>	21.3	25.8	20.2	30.3	11.2	14.6	21.3	10.1	5.6	4.5	2.2			
	40～49歳(n=157)	<b>59.2</b>	25.5	28.0	22.3	23.6	24.2	18.5	19.1	15.3	6.4	0.6	1.9			
	50～59歳(n=172)	<b>57.0</b>	29.7	27.9	24.4	25.6	17.4	18.6	13.4	12.8	7.0	3.5	0.6			
	60～69歳(n=187)	<b>54.5</b>	27.3	28.3	21.9	19.8	18.2	19.3	20.3	13.4	8.6	3.2	1.1			
	70歳以上(n=319)	<b>48.9</b>	31.0	17.9	27.3	19.7	20.7	16.9	13.8	14.7	11.3	2.8	9.7			
職業別	自営業(n=70)	<b>58.1</b>	22.0	26.0	22.6	24.5	20.2	20.5	17.7	13.8	7.0	2.4	0.6			
	会社員等(n=327)	<b>55.2</b>	28.6	29.2	22.1	22.1	16.9	20.8	14.3	11.7	4.5	2.6	1.9			
	アルバイト・パート(n=154)	<b>58.3</b>	36.1	25.0	<b>36.1</b>	22.2	11.1	13.9	<b>30.6</b>	11.1	5.6	5.6	-			
	派遣社員・契約社員(n=36)	<b>57.1</b>	38.1	9.5	23.8	9.5	23.8	9.5	<b>33.3</b>	<b>23.8</b>	9.5	-	4.8			
	学生・専門学校生(n=21)	<b>54.5</b>	25.7	24.8	19.8	21.8	21.8	19.8	21.8	13.9	8.9	2.0	5.9			
	家事専業(n=101)	<b>52.6</b>	34.0	20.2	25.7	19.4	19.8	15.4	15.0	14.6	12.6	2.8	7.9			
	無職(n=253)	39.1	<b>39.1</b>	8.7	<b>43.5</b>	21.7	<b>30.4</b>	4.3	8.7	17.4	8.7	-	8.7			
居住地別	西条地区(n=383)	<b>56.1</b>	26.1	19.7	29.9	18.5	18.5	15.9	15.3	15.9	10.8	2.5	3.2			
	八本松地区(n=157)	<b>38.7</b>	25.8	25.8	25.8	12.9	25.8	12.9	16.1	9.7	12.9	6.5	12.9			
	志和地区(n=31)	<b>54.8</b>	26.0	24.9	24.9	18.1	18.6	24.3	15.3	11.9	9.0	1.1	6.2			
	高屋地区(n=177)	<b>52.7</b>	33.3	20.2	24.8	27.1	17.1	17.8	21.7	14.0	9.3	1.6	3.9			
	黒瀬地区(n=129)	33.3	16.7	<b>50.0</b>	33.3	<b>50.0</b>	16.7	16.7	8.3	<b>25.0</b>	8.3	-	8.3			
	福富地区(n=12)	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	22.2	27.8	27.8	27.8	11.1	11.1	5.6	11.1	5.6	-			
	豊栄地区(n=18)	<b>67.6</b>	35.3	23.5	20.6	20.6	29.4	20.6	11.8	11.8	11.8	5.9	2.9			
	河内地区(n=34)	<b>55.6</b>	28.9	33.3	35.6	11.1	11.1	26.7	8.9	8.9	4.4	4.4	4.4			
	安芸津地区(n=45)	<b>54.2</b>	43.8	29.2	35.4	16.7	10.4	14.6	25.0	4.2	14.6	-	4.2			

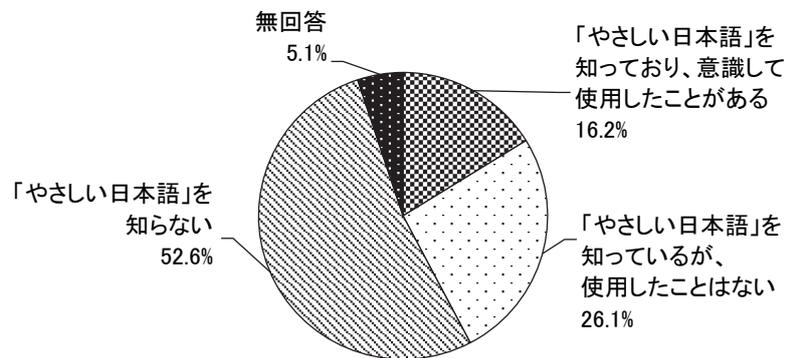
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、年齢別でサンプル数が20未満はしない。

(7) 「やさしい日本語」の認知・使用状況

問14 外国人ともコミュニケーションがとりやすい「やさしい日本語」を知っていますか。  
また、外国人と話すときに意識して使用したことはありますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

「やさしい日本語」の認知・使用状況については、“「やさしい日本語」を知らない”が52.6%と最も高く、過半数を占めている。“「やさしい日本語」を知っており、意識して使用したことがある”は16.2%、“「やさしい日本語」を知っているが、使用したことはない”は26.1%であり、この2つをあわせた“「やさしい日本語」を知っている”は42.3%となっている。

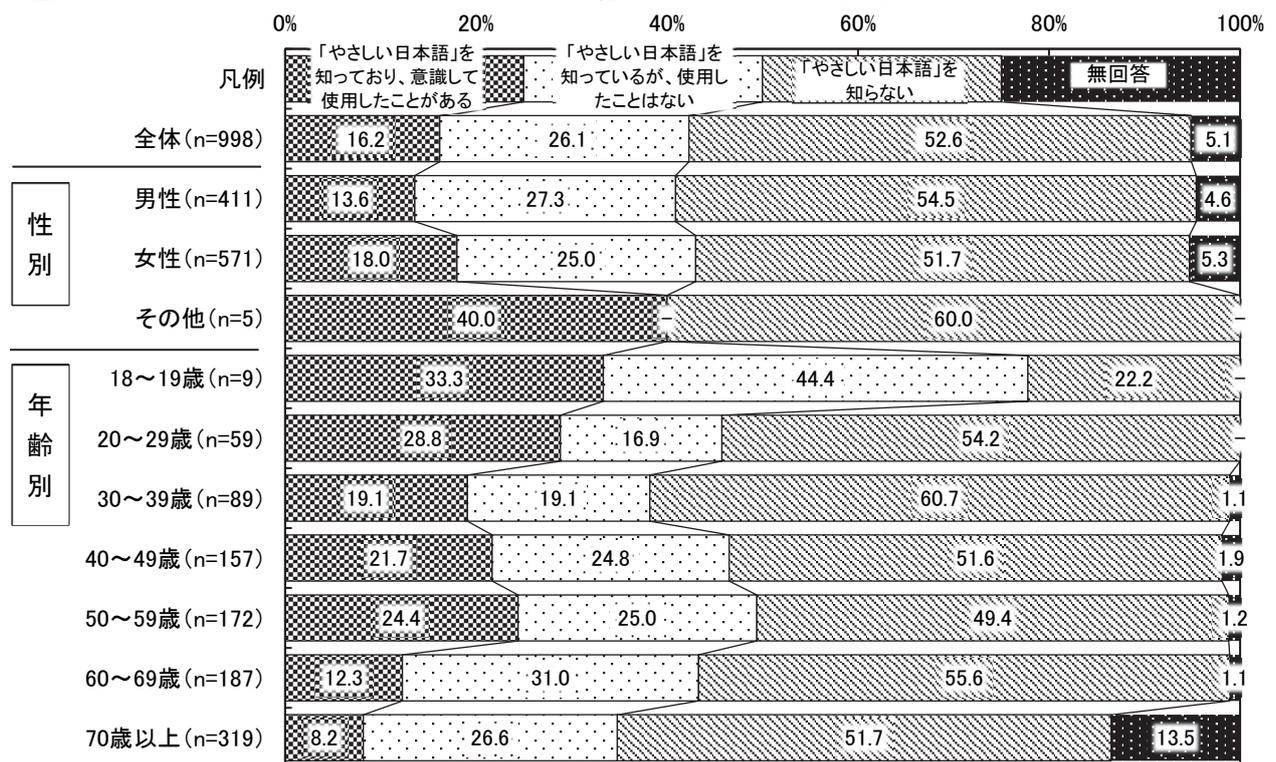
図14-1 コミュニケーションコーナーの利用・紹介状況 [n=998]



【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、顕著な差はない。年齢別では、“「やさしい日本語」を知っており、意識して使用したことがある”は『20～29歳』が12.6ポイント、『50～59歳』が8.2ポイント、『40～49歳』が5.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図14-2 コミュニケーションコーナーの利用・紹介状況／性別・年齢別

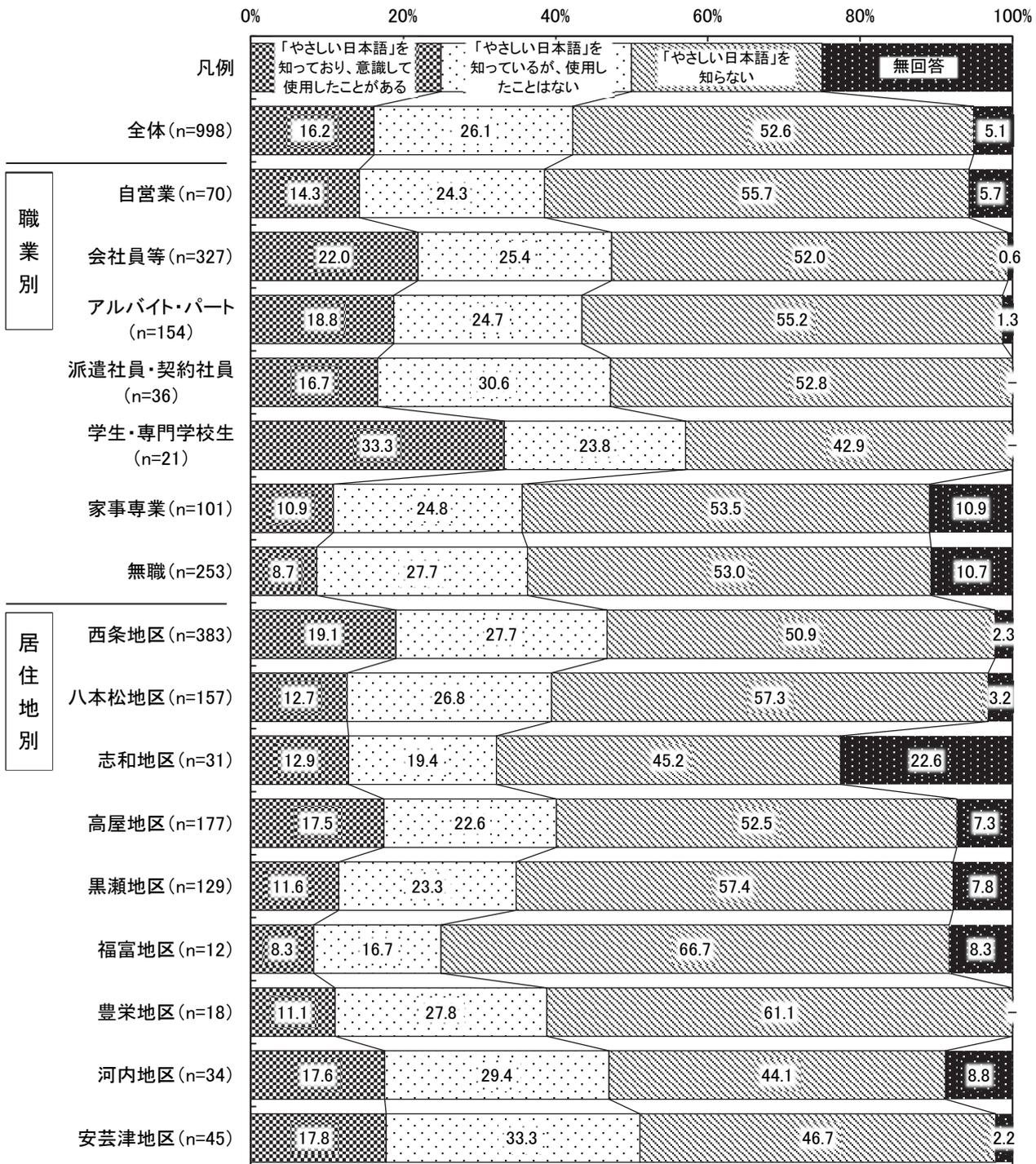


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“「やさしい日本語」を知っており、意識して使用したことがある”は『会社員等』が22.0%と5.8ポイント全体より高い。

居住地別では、“「やさしい日本語」を知っているが、使用したことはない”は『安芸津地区』が33.3%と7.2ポイント、“「やさしい日本語」を知らない”は『福富地区』が66.7%と14.1ポイント、『豊栄地区』が61.1%と8.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図14-3 多文化共生のまちづくりの必要性／職業別・居住地別



## 6. 地域コミュニティ活動の参加状況について

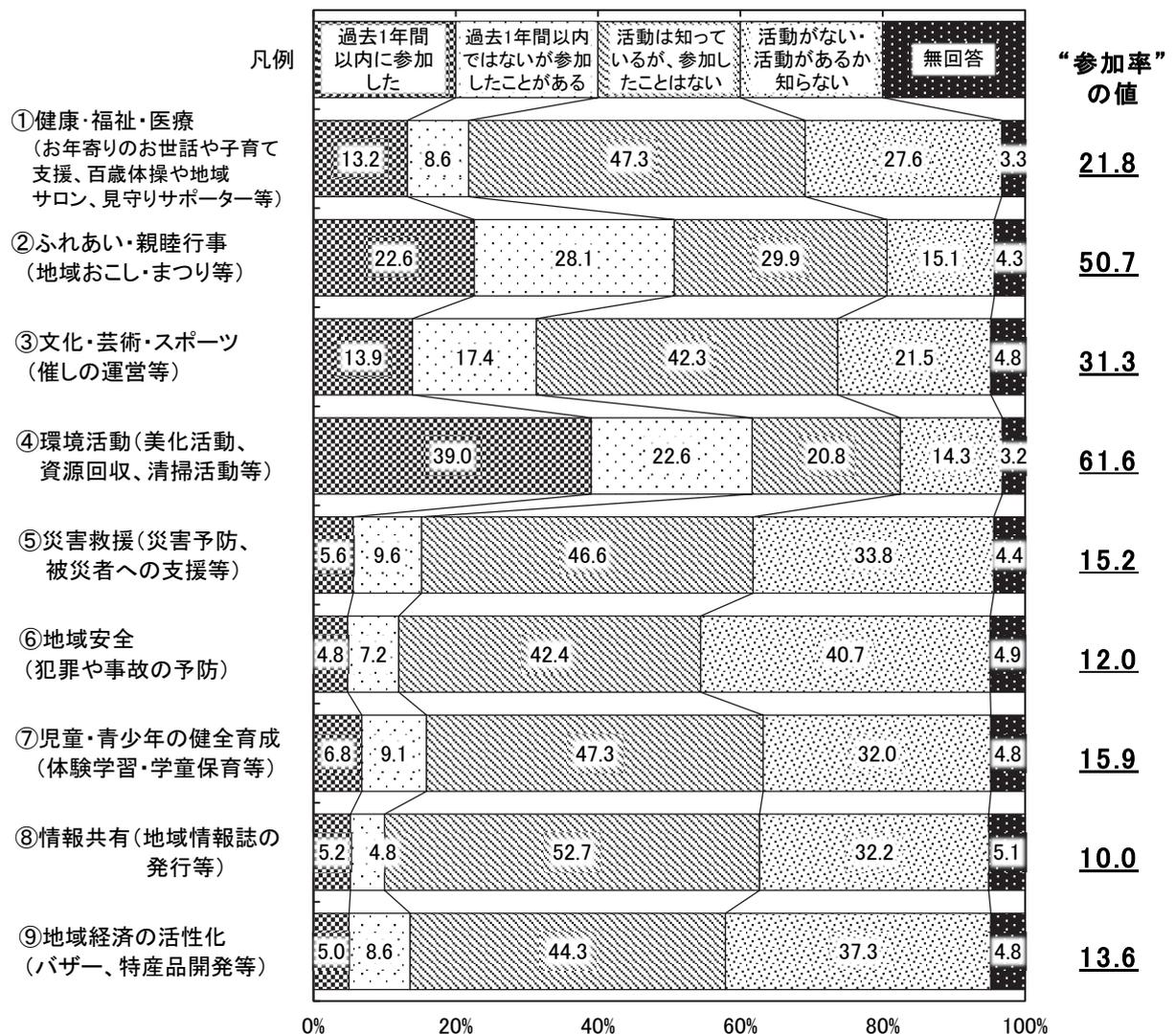
### (1) 地域活動の参加状況

問15 地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。  
 (それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

地域コミュニティ活動については、「過去1年間以内に参加した」は『④環境活動』が39.0%と最も高く、次いで『②ふれあい・親睦行事』が22.6%、『③文化・芸術・スポーツ』が13.9%、『①健康・福祉・医療』が13.2%となっており、その他の項目では1割を下回っている。

“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『④環境活動』が61.6%と高く、次いで、『②ふれあい・親睦行事』が50.7%、『③文化・芸術・スポーツ』が31.3%、『①健康・福祉・医療』が21.8%、『⑦児童・青少年の健全育成』が15.9%、『⑤災害救援』が15.2%、『⑨地域経済の活性化』が13.6%、『⑥地域安全』が12.0%、『⑧情報共有』が10.0%となっている。

図15-1 地域活動の参加状況 [n=998]



①健康・福祉・医療（お年寄りのお世話や子育て支援、百歳体操や地域サロン、見守りサポーターなど）

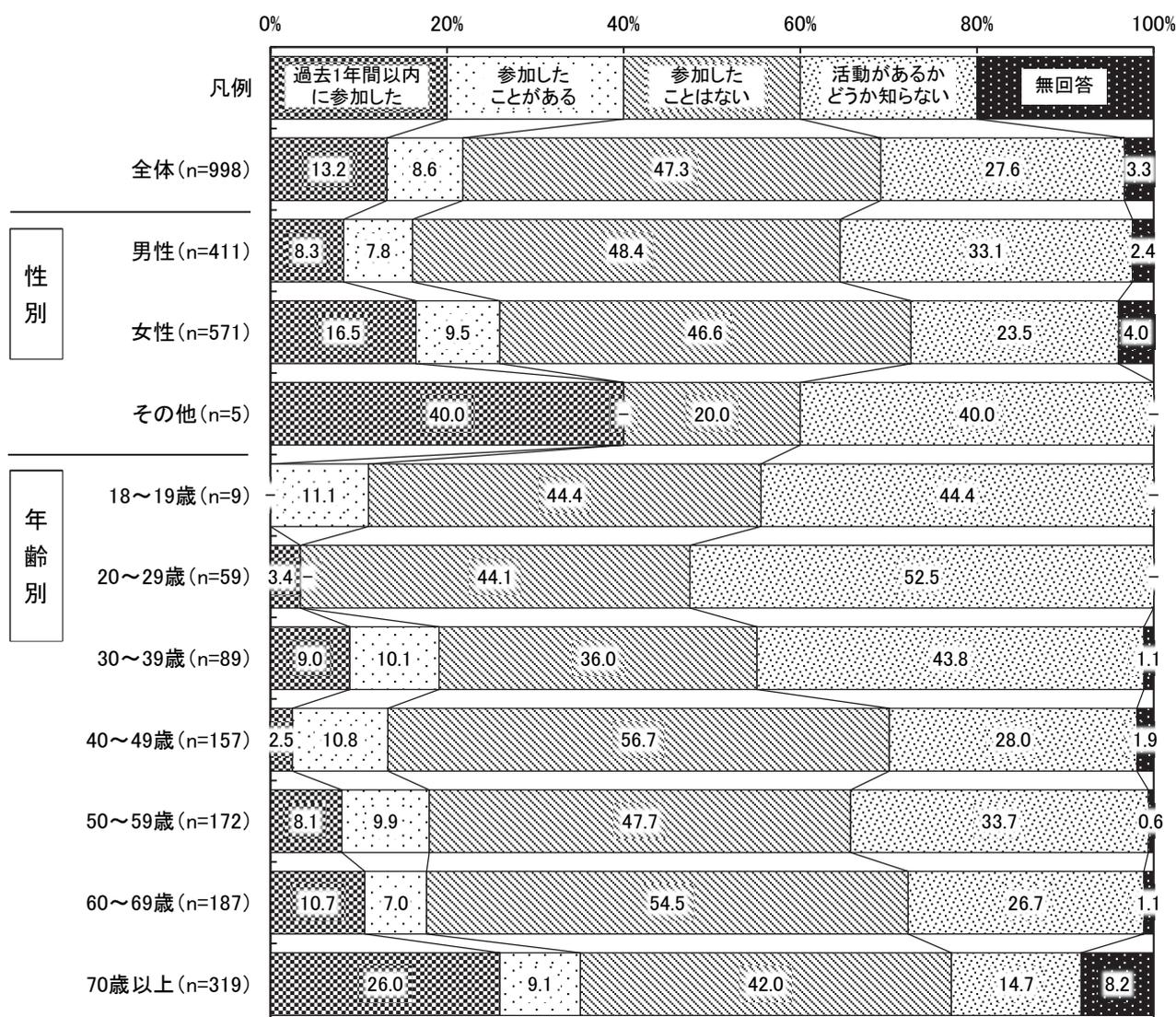
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）では『男性』16.1%、『女性』26.0%と『女性』が『男性』より9.9ポイント高い。

年齢別では、「過去1年間以内に参加した」は『70歳以上』が26.0%と12.8ポイント全体より高く、“参加率”についても『70歳以上』が35.1%と13.3ポイント全体より高くなっている。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『40～49歳』が56.7%と9.4ポイント、『60～69歳』が54.5%と7.2ポイント、それぞれ全体より高く、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が52.5%と24.9ポイント、『30～39歳』が43.8%と16.2ポイント、『50～59歳』が33.7%と6.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-2 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／性別・年齢別



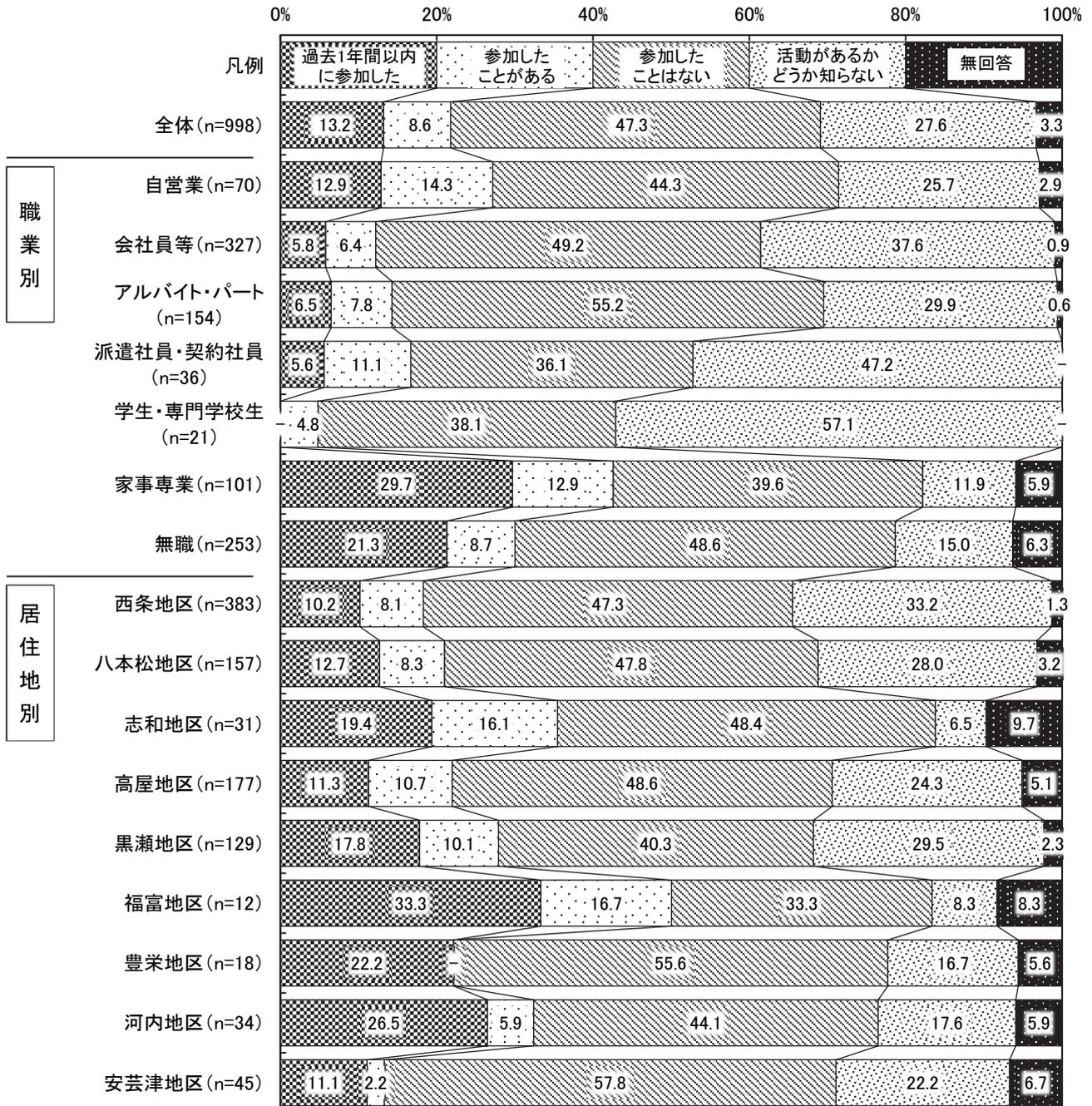
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『家事専業』が42.6%と20.8ポイント、『無職』が30.0%と8.2ポイント、『自営業』が27.2%と5.4ポイント、それぞれ全体より高い。

一方、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が37.6%と10.0ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が28.2ポイント、『志和地区』が13.7ポイント、『河内地区』が10.6ポイント、『黒瀬地区』が6.1ポイント、それぞれ全体より高い。

図15-3 地域活動の参加状況 ①健康・福祉・医療／職業別・居住地別



②ふれあい・親睦行事（地域おこし・まつりなど）

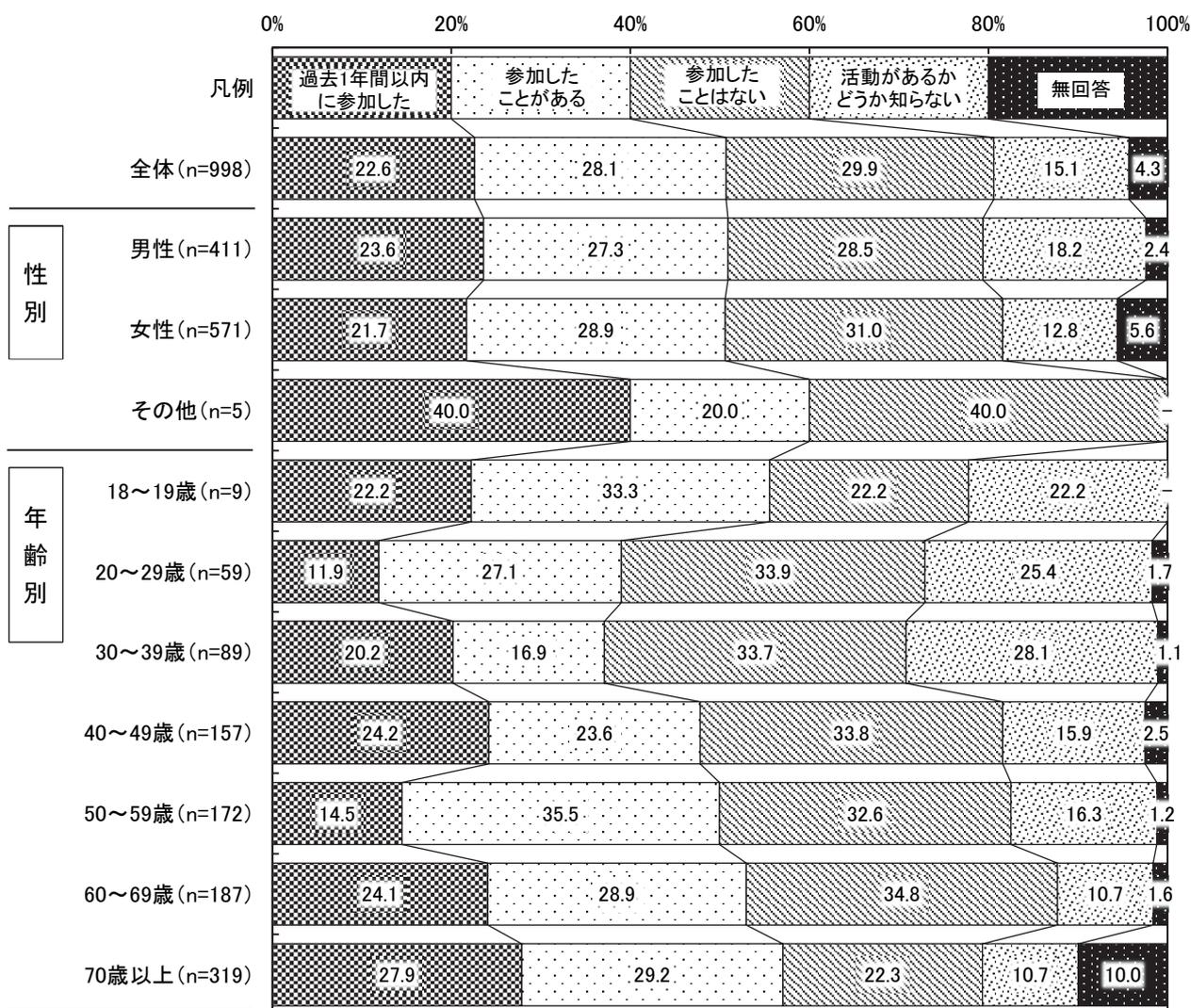
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『男性』18.2%、『女性』12.8%と『男性』が『女性』より5.4ポイント高い。

年齢別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『70歳以上』が57.1%と6.4ポイント全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『30～39歳』が28.1%と13.0ポイント、『20～29歳』が25.4%と10.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-4 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／性別・年齢別



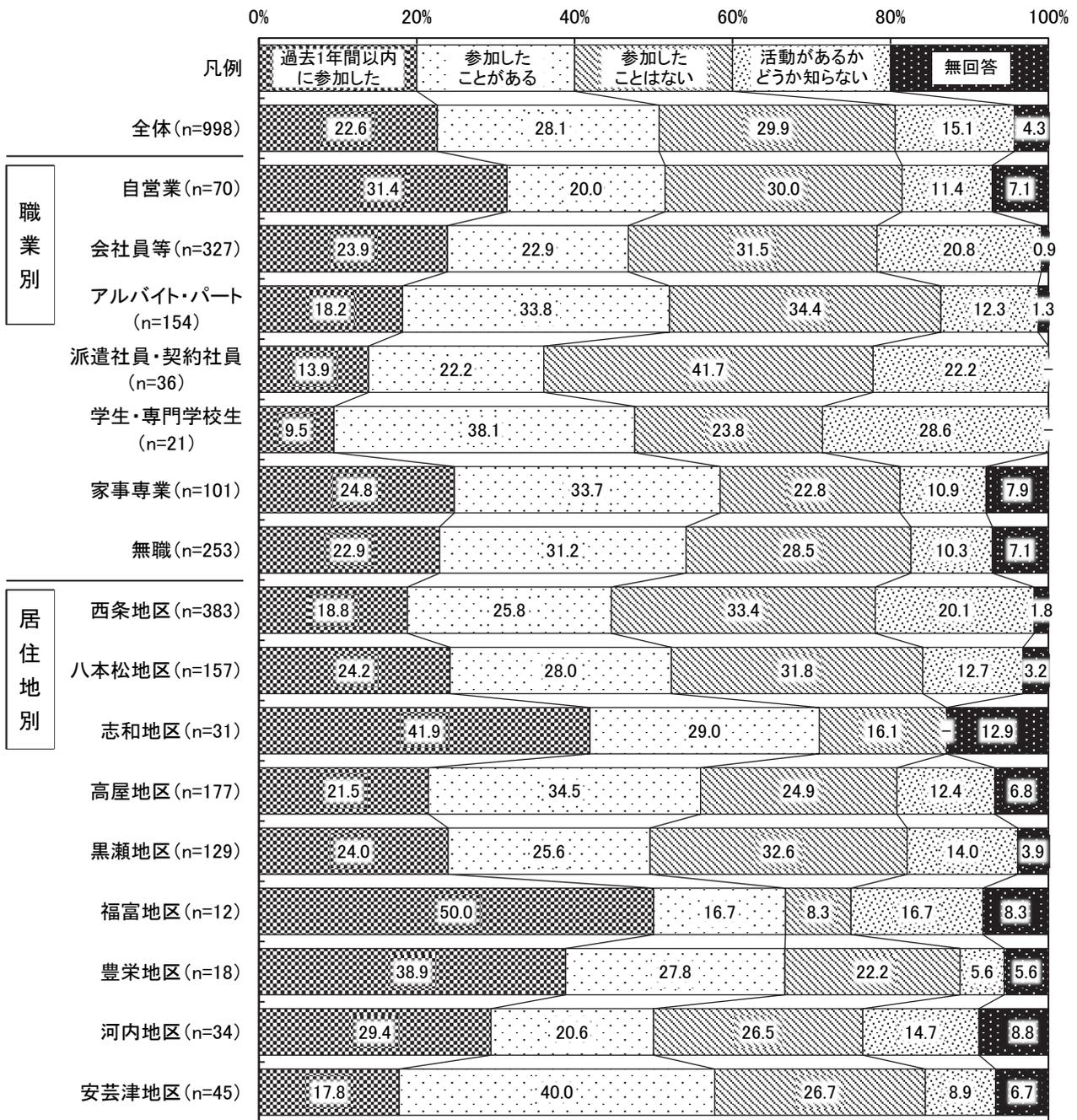
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『家事専業』が58.5%と7.8ポイント全体より高く、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が20.8%と5.7ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、“参加率”は『志和地区』が70.9%と20.2ポイント、『福富地区』と『豊栄地区』が66.7%と16.0ポイント、『安芸津地区』が57.8%と7.1ポイント、『高屋地区』が56.0%と5.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が20.1%と5.0ポイント全体より高くなっている。

図15-5 地域活動の参加状況 ②ふれあい・親睦行事／職業別・居住地別



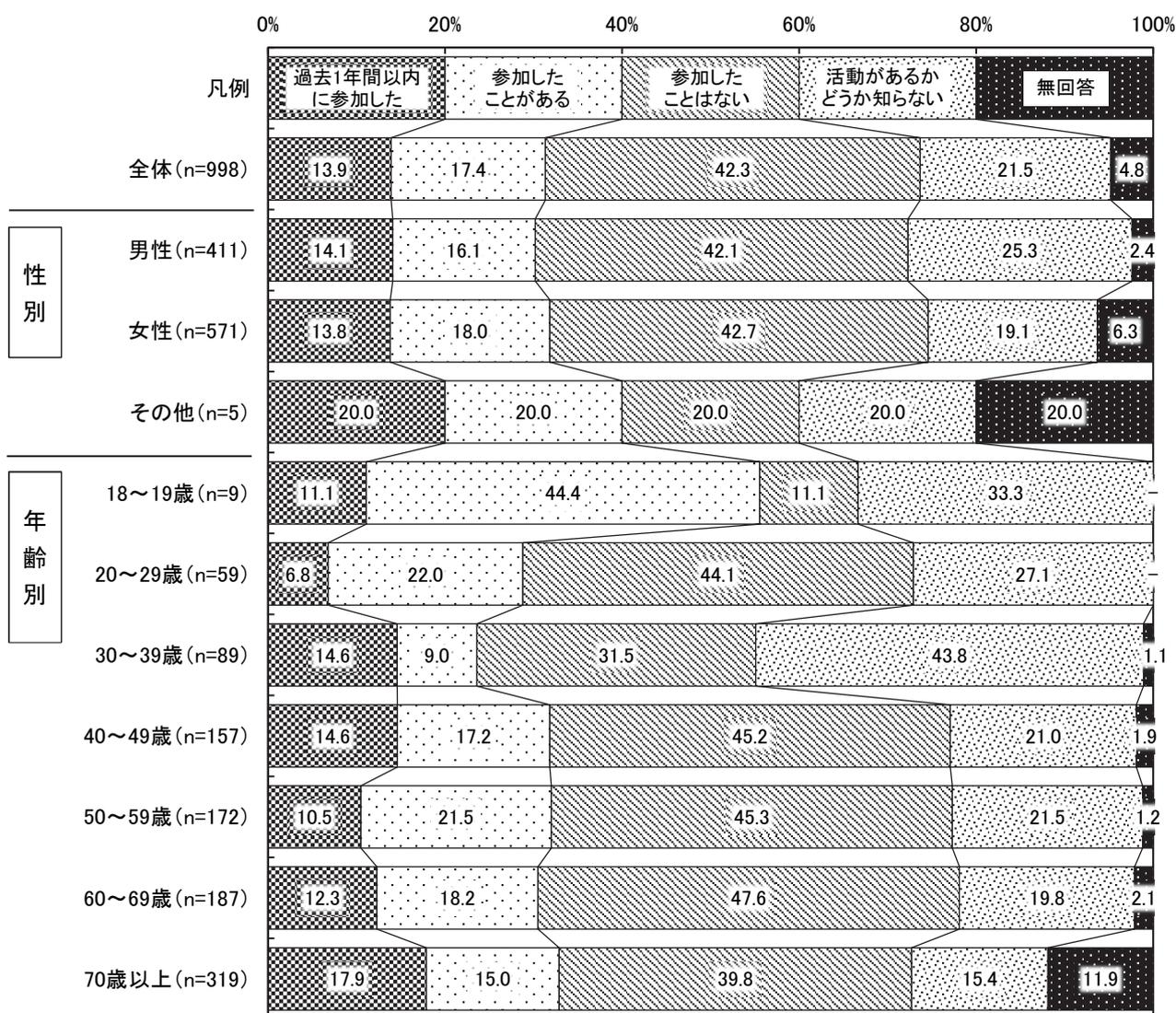
### ③文化・芸術・スポーツ(催しの運営等)

#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『男性』25.3%、『女性』19.1%と『男性』が『女性』より6.2ポイント高い。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『30～39歳』が43.8%と22.3ポイント、『20～29歳』が27.1%と5.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-6 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ／性別・年齢別



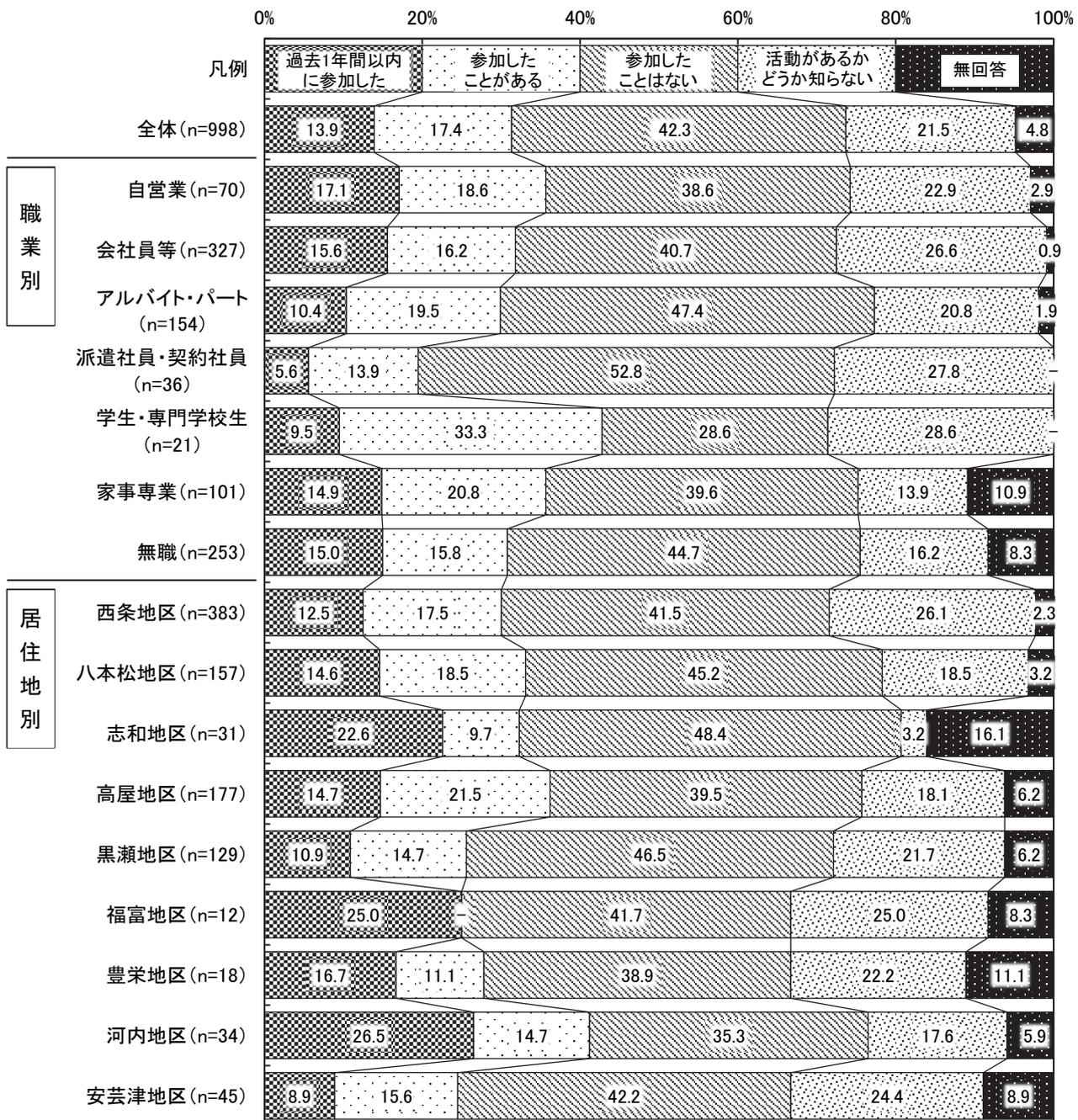
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『アルバイト・パート』が47.4%と5.1ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『会社員等』が26.6%と5.1ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『河内地区』が41.2%と9.9ポイント全体より高い。

「過去1年間以内に参加した」は『河内地区』が26.5%と12.6ポイント、『福富地区』が25.0%と11.1ポイント、『志和地区』が22.6%と8.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-7 地域活動の参加状況 ③文化・芸術・スポーツ／職業別・居住地別



④環境活動(美化活動、資源回収、清掃活動等)

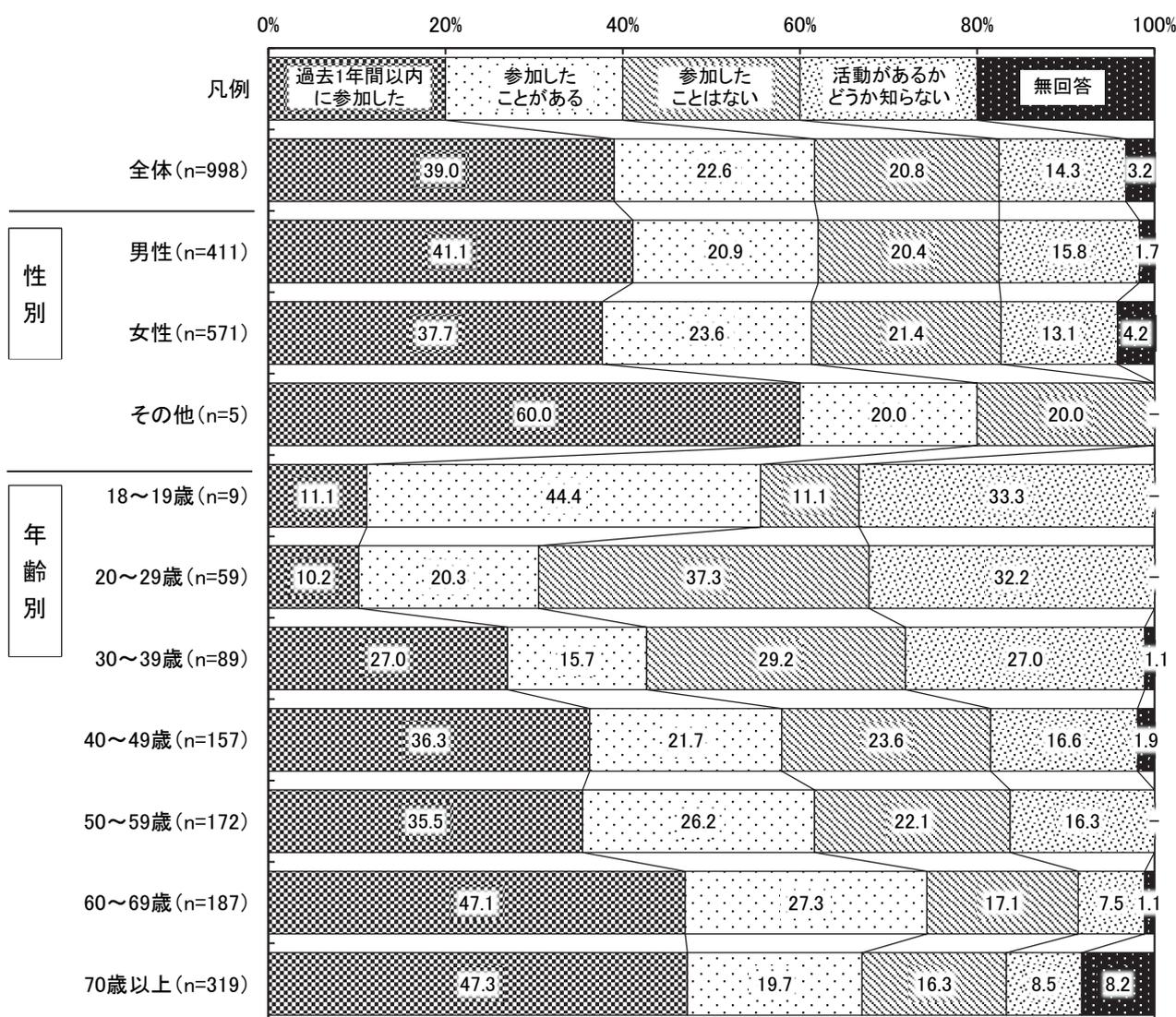
【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、“参加率”(「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計)は、『60～69歳』が74.4%と12.8ポイント、『70歳以上』が67.0%と5.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『20～29歳』が37.3%と16.5ポイント、『30～39歳』が29.2%と8.4ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が32.2%と17.9ポイント、『30～39歳』が27.0%と12.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-8 地域活動の参加状況 ④環境活動/性別・年齢別

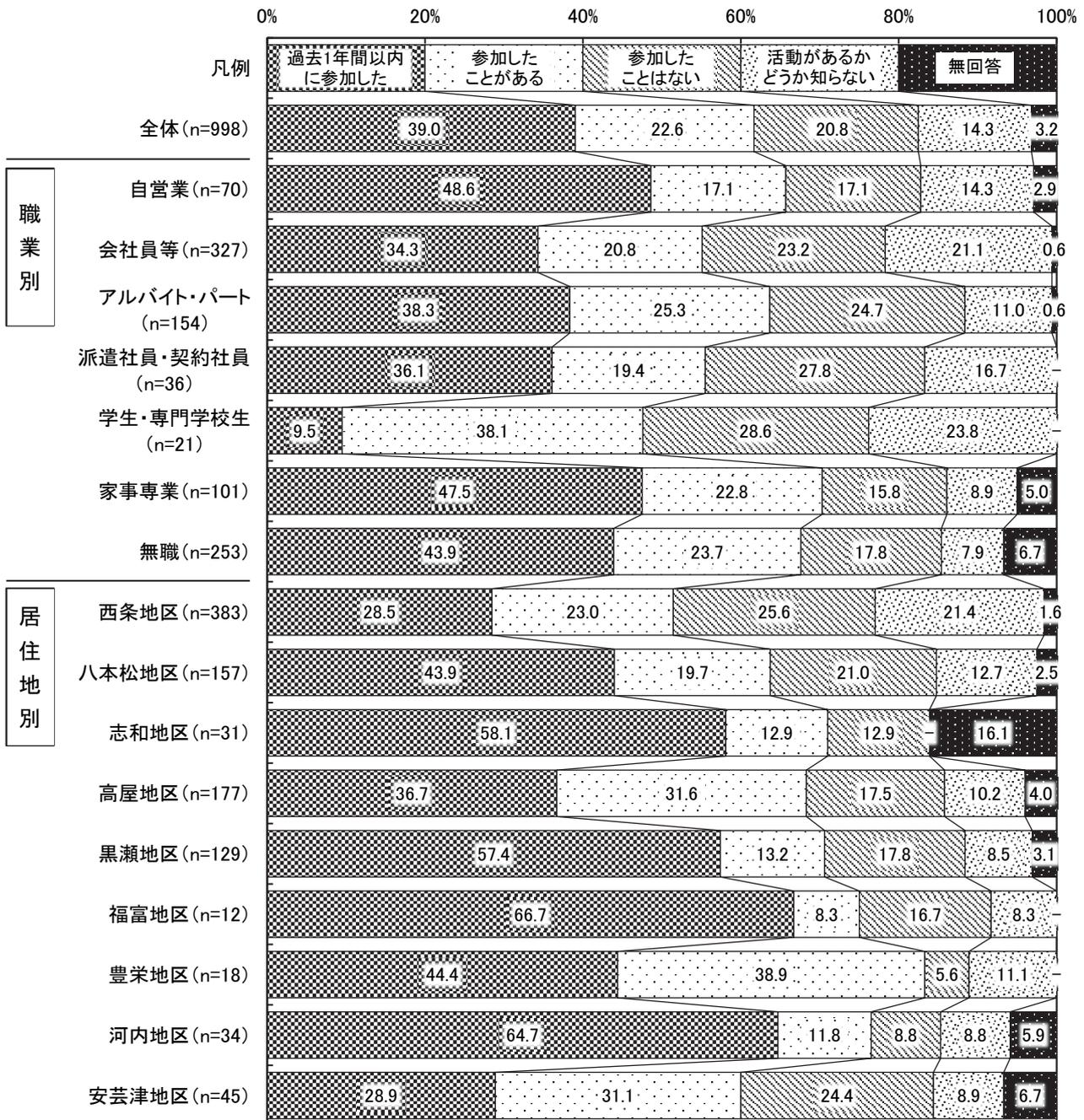


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「過去1年間以内に参加した」は『自営業』が48.6%と9.6ポイント、『家事専業』が47.5%と8.5ポイント、それぞれ全体より高い。“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については、『家事専業』が70.3%と8.7ポイント、『無職』が67.6%と6.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、“参加率”は『西条地区』を除く8つの地区が6割以上となっているのに対し、『西条地区』が51.5%と10.1ポイント全体より低く、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が21.4%と7.1ポイント全体より高くなっている。

図15-9 地域活動の参加状況 ④環境活動／職業別・居住地別



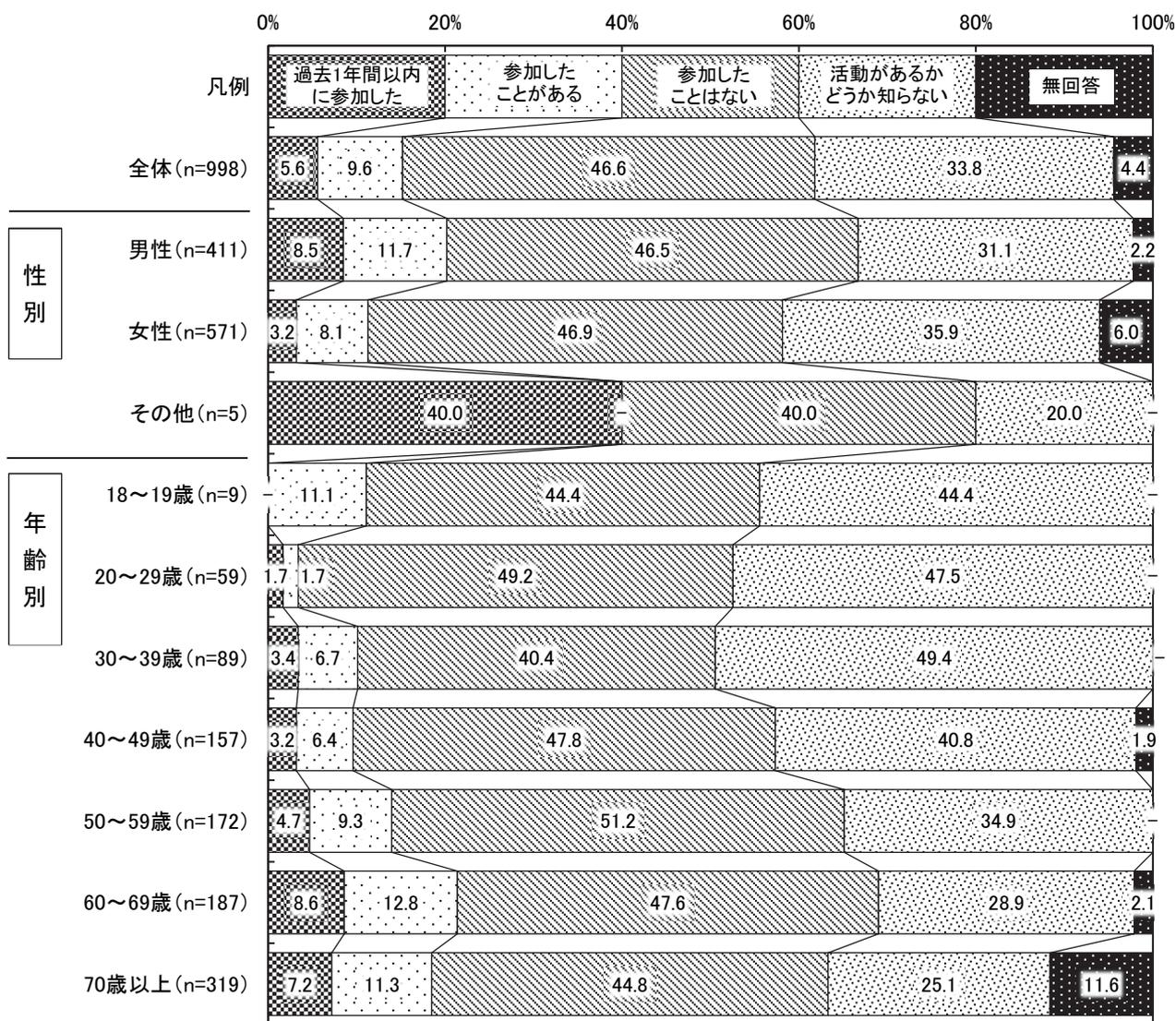
⑤災害救援(災害予防、被災者への支援等)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』20.2%、『女性』11.3%と『男性』が『女性』より8.9ポイント高い。

年齢別では、“参加率”は『60～69歳』が21.4%と6.2ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『30～39歳』が49.4%と15.6ポイント、『20～29歳』が47.5%と13.7ポイント、それぞれ全体より高く、40歳以上の年齢層では年齢が上がるほど低くなっている。

図15-10 地域活動の参加状況 ⑤災害救援／性別・年齢別



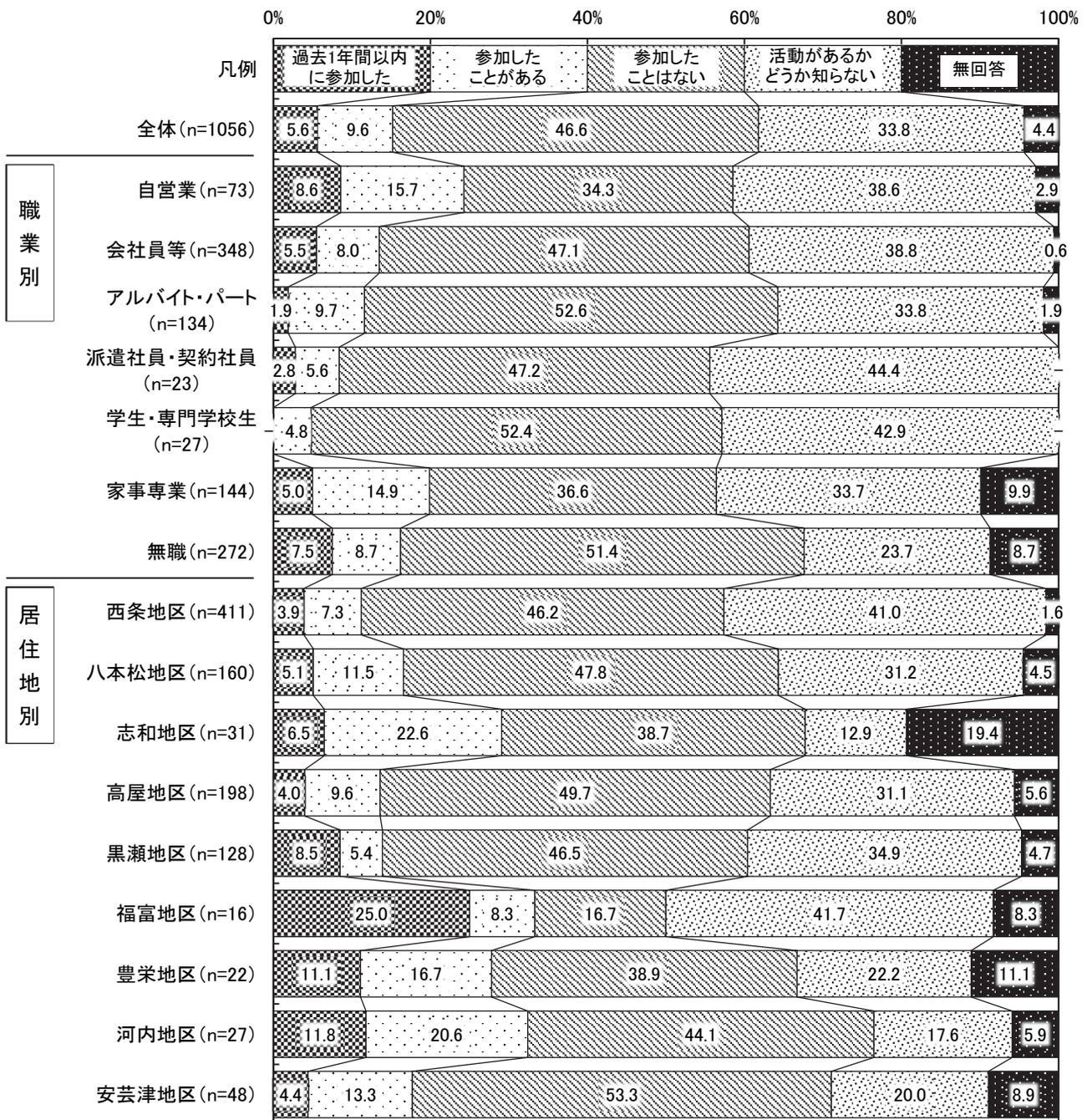
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『自営業』が24.3%と9.1ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が33.3%と18.1ポイント、『河内地区』が32.4%と17.2ポイント、『志和地区』が29.1%と13.9ポイント、『豊栄地区』が27.8%と12.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『安芸津地区』が53.3%と6.7ポイント全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『福富地区』が41.7%と7.9ポイント、『西条地区』が41.0%と7.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-11 地域活動の参加状況 ⑤災害救援／職業別・居住地別



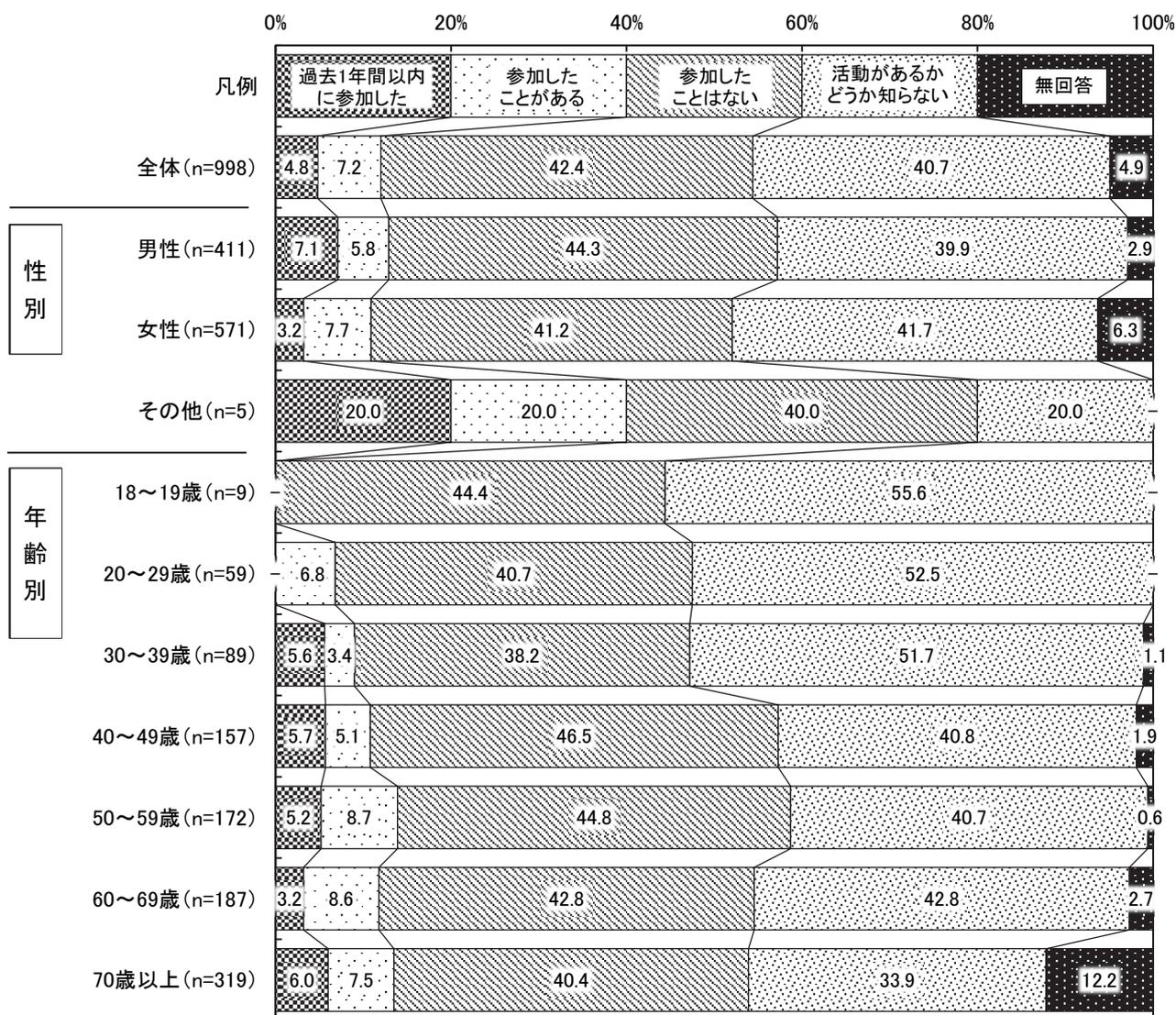
⑥地域安全(犯罪や事故の予防)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が52.5%と11.8ポイント、『30～39歳』が51.7%と11.0ポイント、それぞれ全体より高い。

図15-12 地域活動の参加状況 ⑥地域安全/性別・年齢別

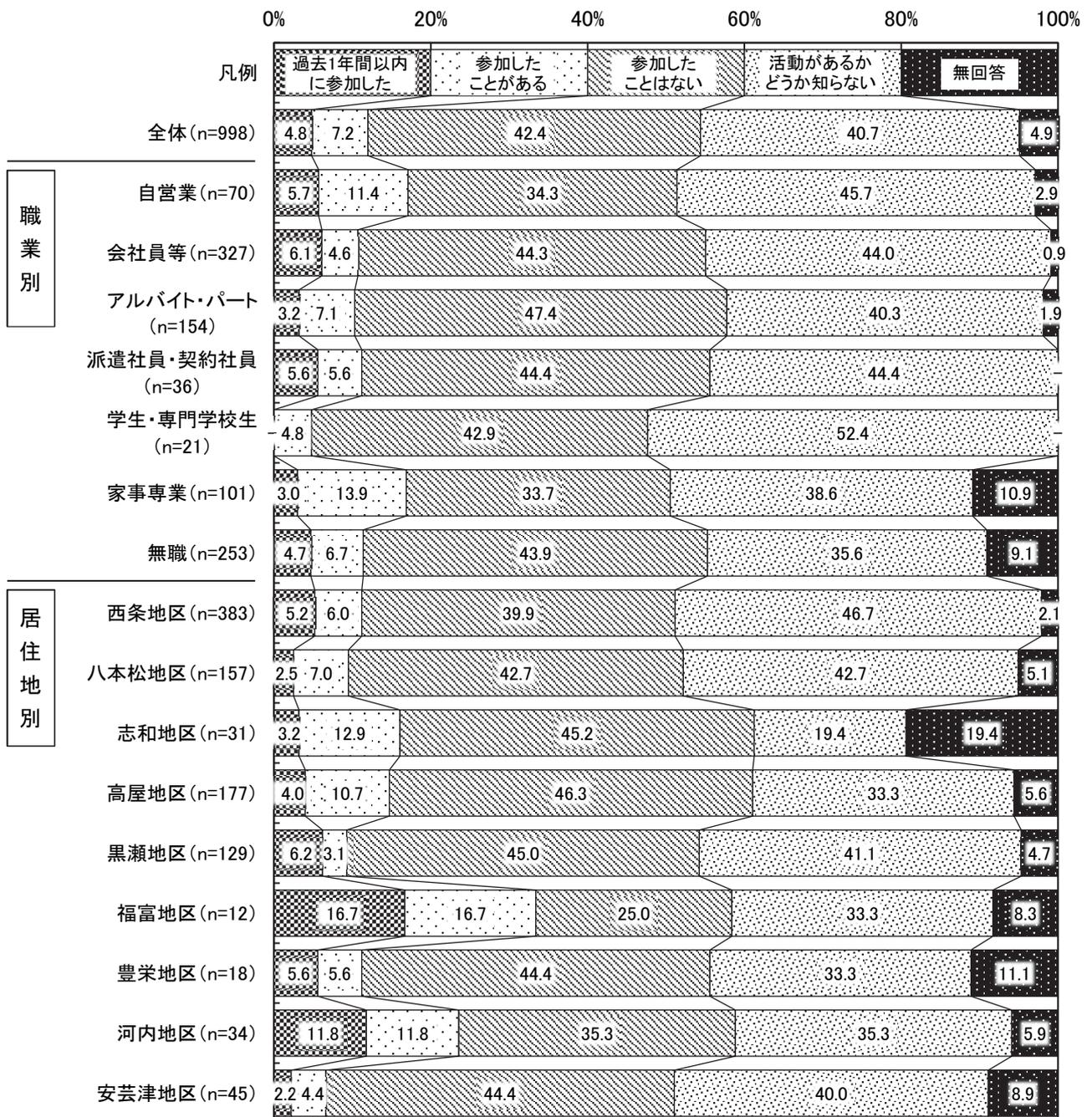


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）については『自営業』が17.1%と5.1ポイント全体より高い。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が33.4%と21.4ポイント、『河内地区』が23.6%と11.6ポイント、それぞれ全体より高い。「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『西条地区』が46.7%と6.0ポイント全体より高くなっている。

図15-13 地域活動の参加状況 ⑥地域安全／職業別・居住地別



⑦児童・青少年の健全育成(体験学習・学童保育等)

【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

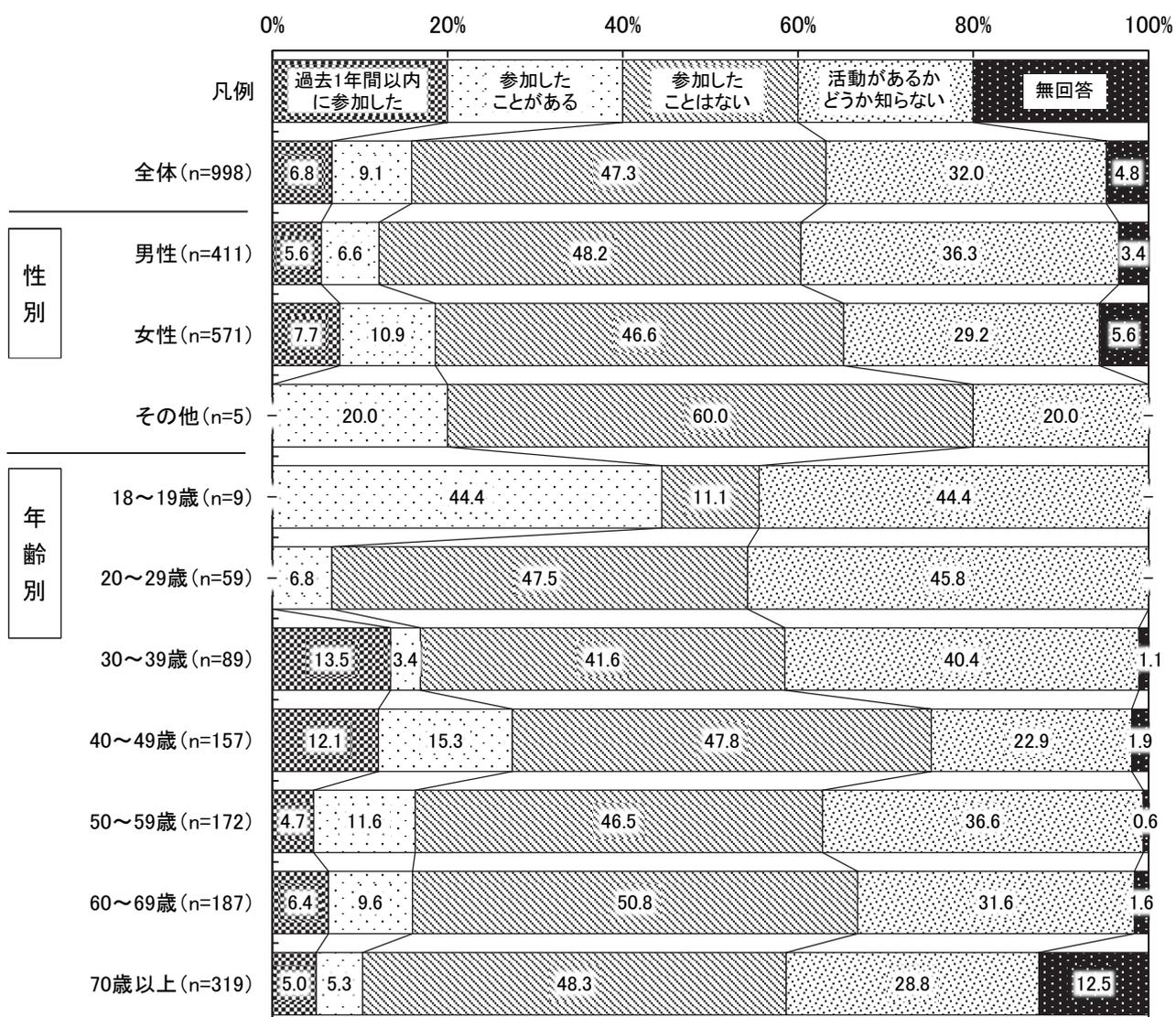
性別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『男性』12.2%、『女性』18.6%と『女性』が『男性』より6.4ポイント高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『男性』36.3%、『女性』29.2%と『男性』が『女性』より7.1ポイント高くなっている。

年齢別では、“参加率”は、『40～49歳』が27.4%と11.5ポイント全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が45.8%と13.8ポイント、『30～39歳』が40.4%と8.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-14 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／性別・年齢別

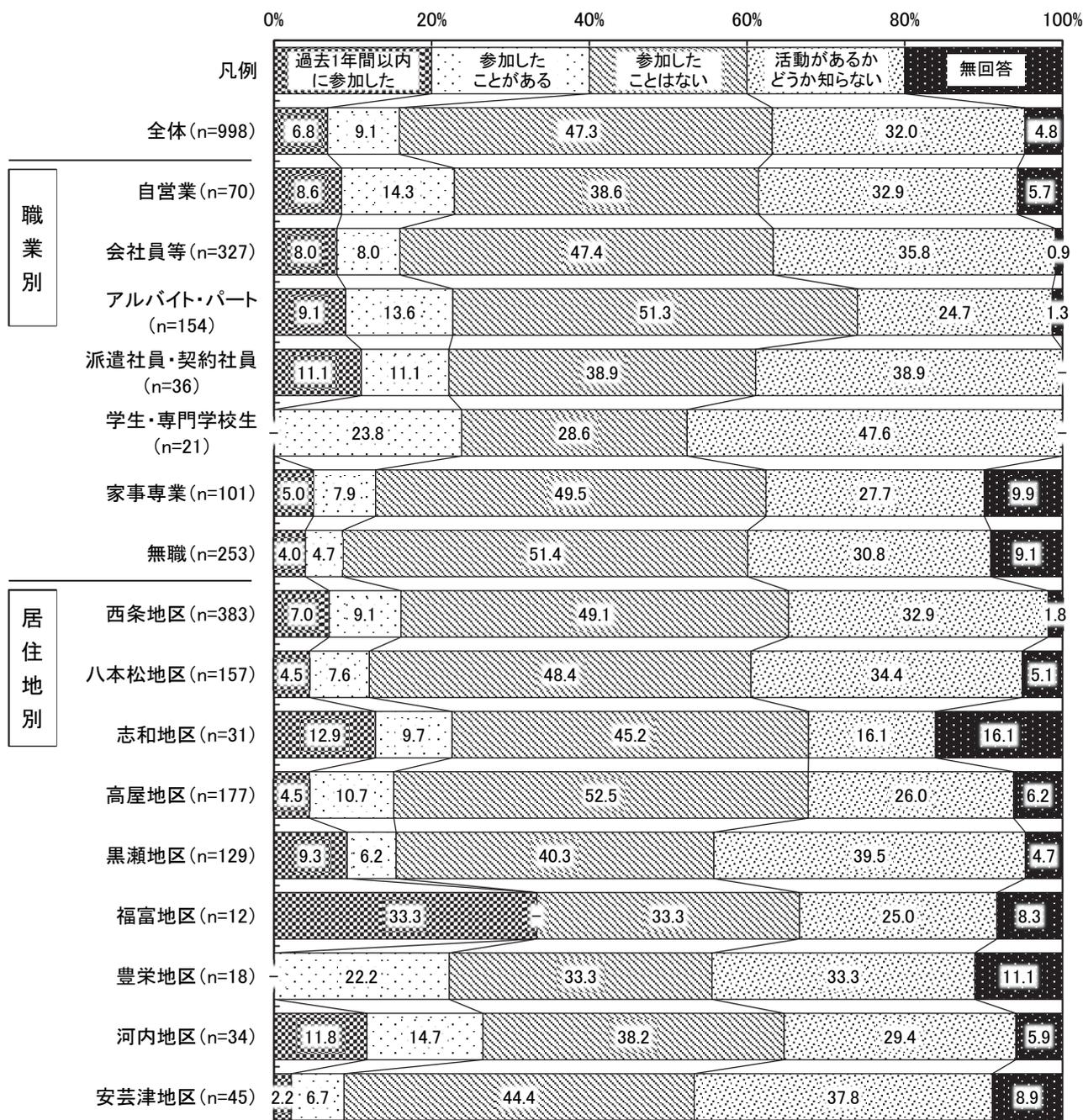


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『自営業』が22.9%と7.0ポイント、『アルバイト・パート』が22.7%と6.8ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、“参加率”は『福富地区』が33.3%と17.4ポイント、『河内地区』が26.5%と10.6ポイント、『志和地区』が22.6%と6.7ポイント、『豊栄地区』が22.2%と6.3ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図15-15 地域活動の参加状況 ⑦児童・青少年の健全育成／職業別・居住地別



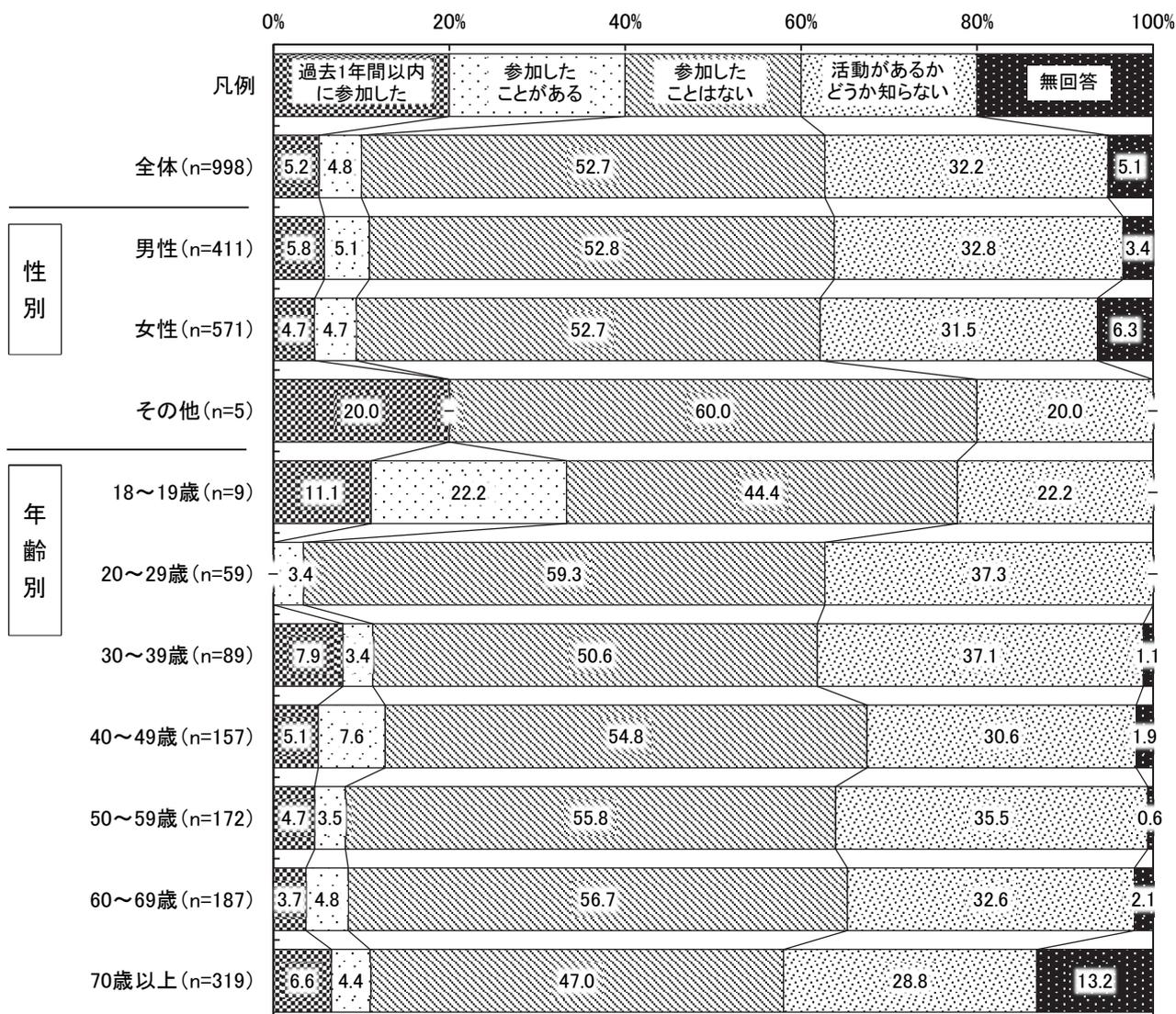
⑧情報共有(地域情報誌の発行等)

【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『20～29歳』が59.3%と6.6ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」についても『20～29歳』が37.3%と5.1ポイント、全体より高くなっている。

図15-16 地域活動の参加状況 ⑧情報共有/性別・年齢別

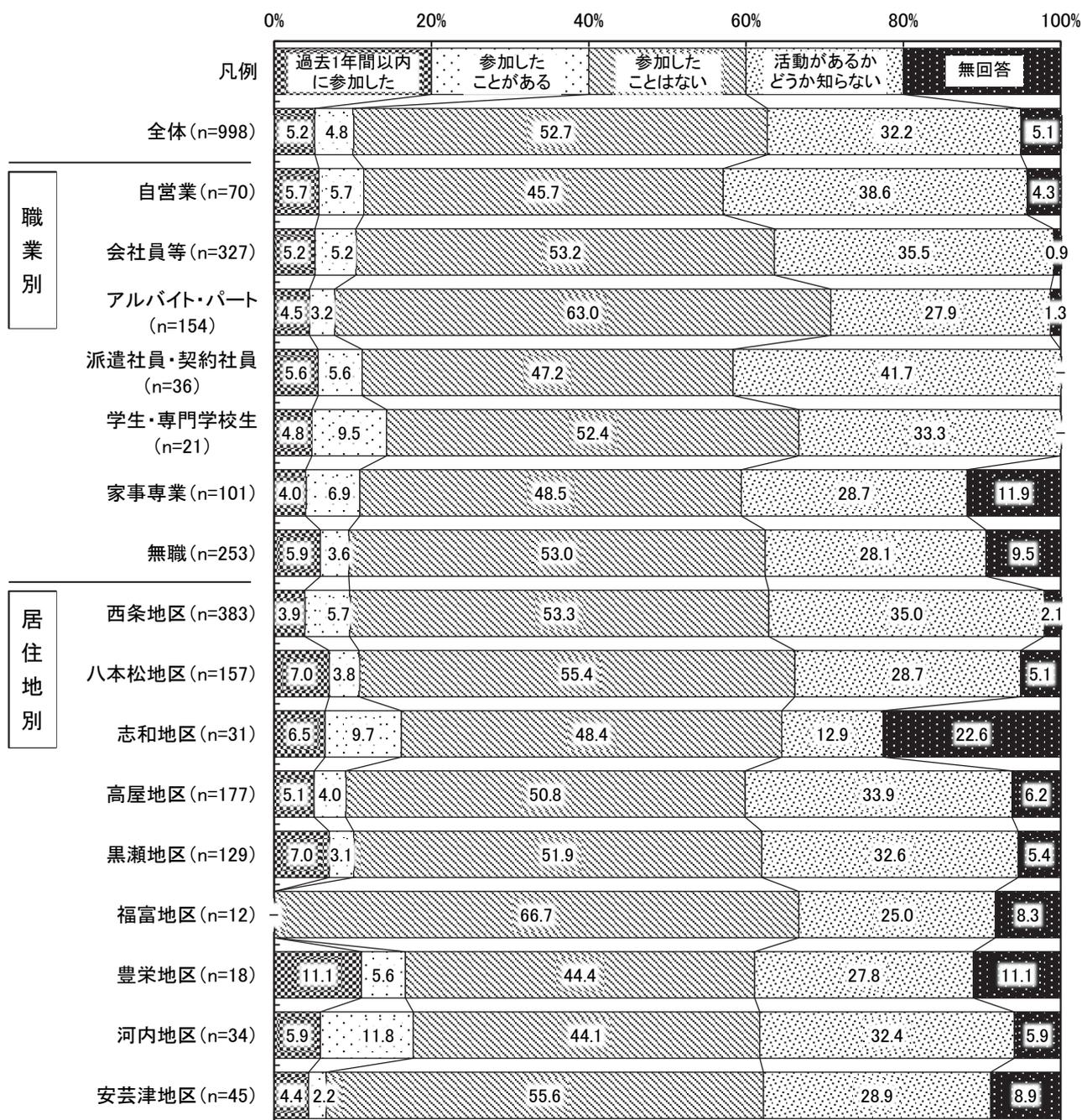


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『アルバイト・パート』が63.0%と10.3ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『自営業』が38.6%と6.4ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『福富地区』が66.7%と14.0ポイント全体より高くなっている。

図15-17 地域活動の参加状況 ⑧情報共有／職業別・居住地別



⑨地域経済の活性化(バザー、特産品開発等)

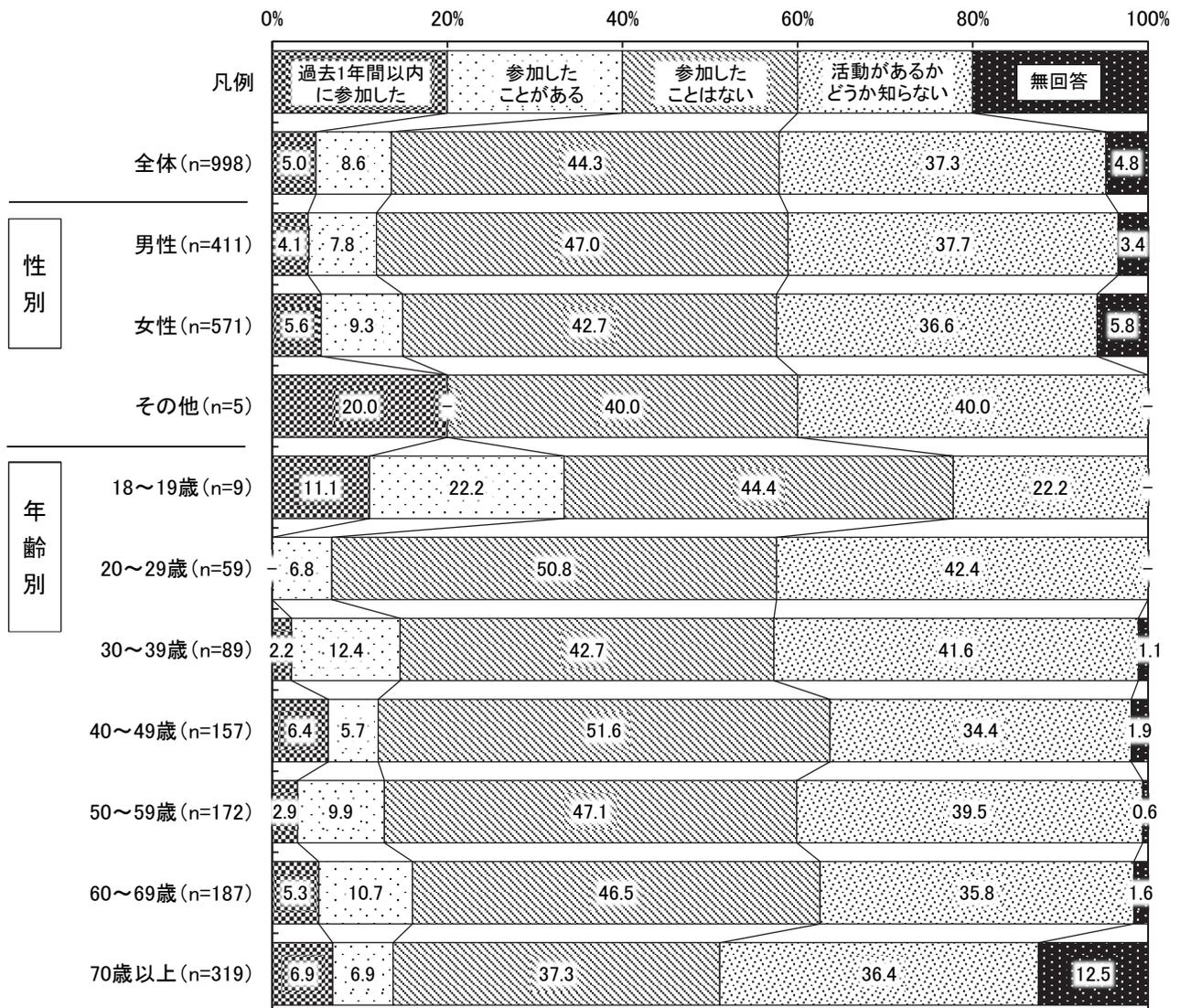
【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、顕著な差はない。

年齢別では、「活動は知っているが、参加したことはない」は『40～49歳』が51.6%と7.3ポイント、『20～29歳』が50.8%と6.5ポイント、それぞれ全体より高い。

「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『20～29歳』が42.4%と5.1ポイント全体より高くなっている。

図15-18 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化／性別・年齢別



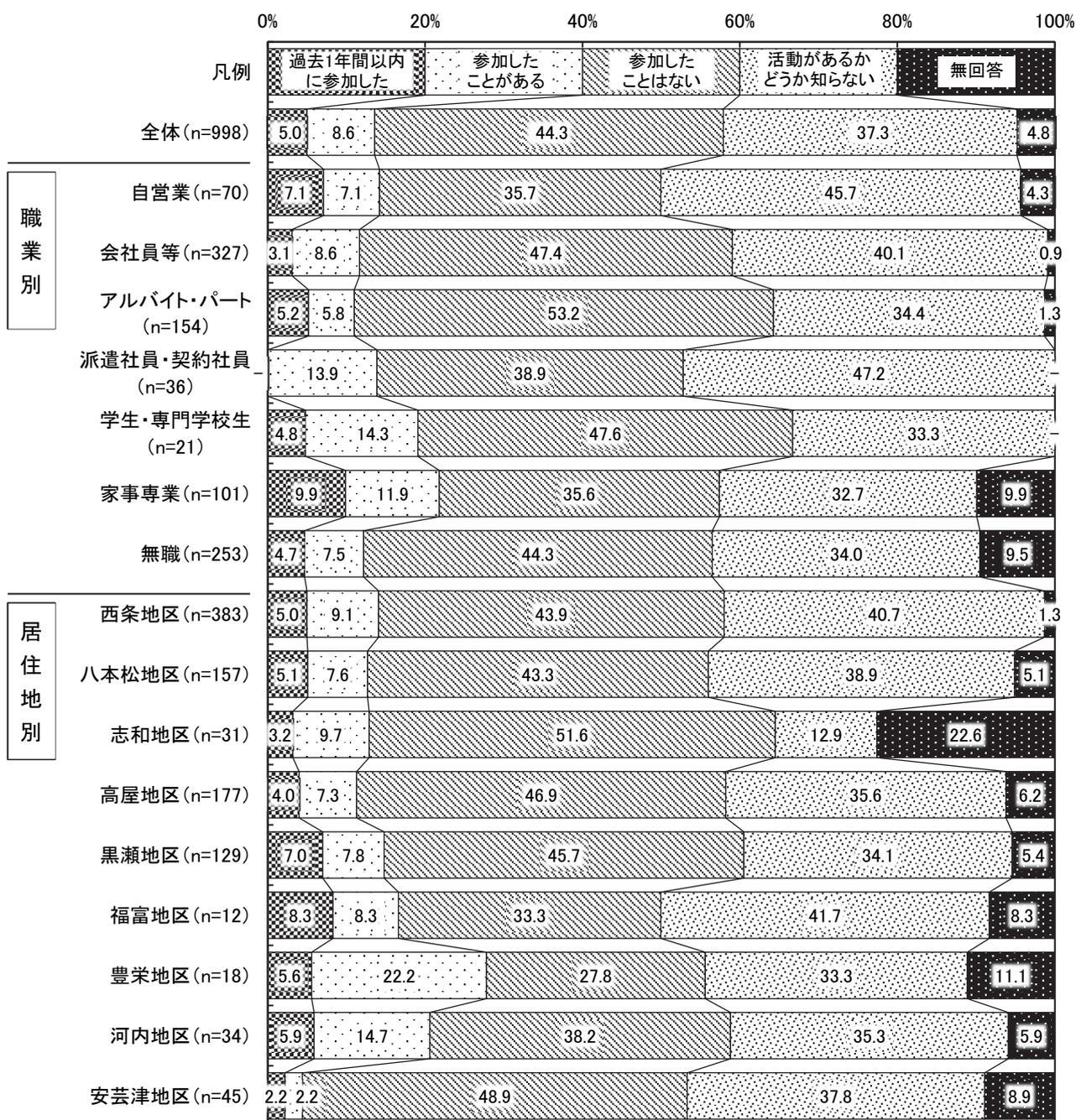
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“参加率”（「過去1年間以内に参加した」と「過去1年間以内ではないが参加したことがある」の合計）は『家事専業』が21.8%と8.2ポイント全体より高い。

「活動は知っているが、参加したことはない」は『アルバイト・パート』が53.2%と8.9ポイント、「活動がない・活動があるかどうか知らない」は『自営業』が45.7%と8.4ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、“参加率”については、『豊栄地区』が27.8%と14.2ポイント、『河内地区』が20.6%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

図15-19 地域活動の参加状況 ⑨地域経済の活性化／職業別・居住地別



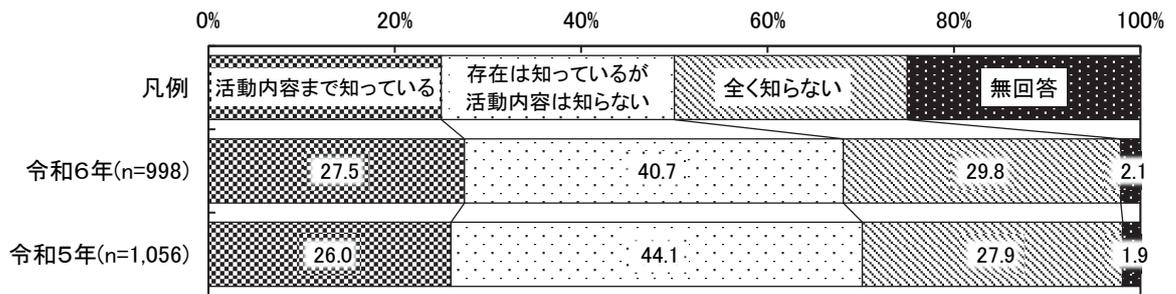
## 7. 住民自治協議会について

### (1) 住民自治協議会の認知状況

問16 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。  
(1つだけ選んで○をお付けください)

住民自治協議会の認知状況については、「活動内容まで知っている」が27.5%、「存在は知っているが活動内容は知らない」が40.7%、「全く知らない」が29.8%となっている。

図16-1 住民自治協議会の認知状況



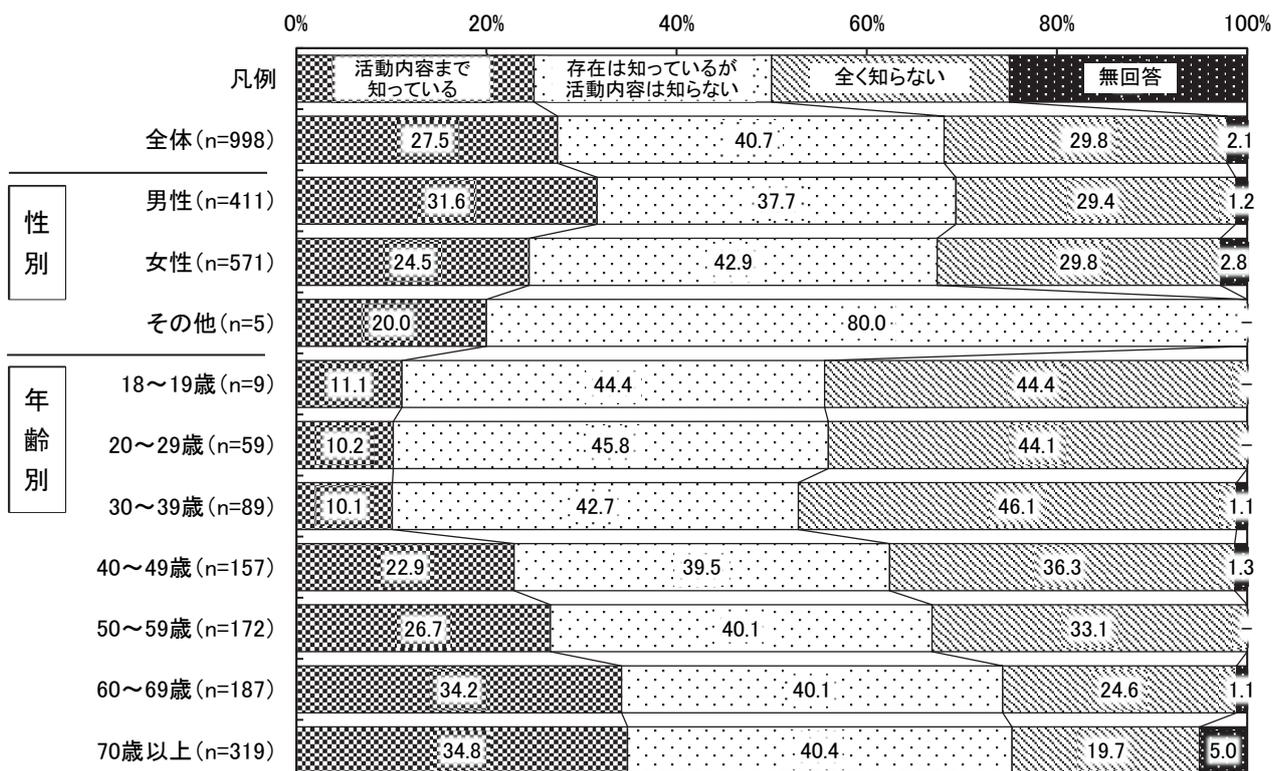
#### 【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「活動内容まで知っている」は『男性』が『女性』より7.1ポイント高い。

年齢別では、「活動内容まで知っている」は『70歳以上』が34.8%と7.3ポイント、『60～69歳』が34.2%と6.7ポイント、それぞれ全体より高い。

「全く知らない」は『30～39歳』が46.1%と16.3ポイント、『20～29歳』が44.1%と14.3ポイント、それぞれ全体より高く、年齢が上がるほど低くなっている。

図16-2 住民自治協議会の認知状況／性別・年齢別

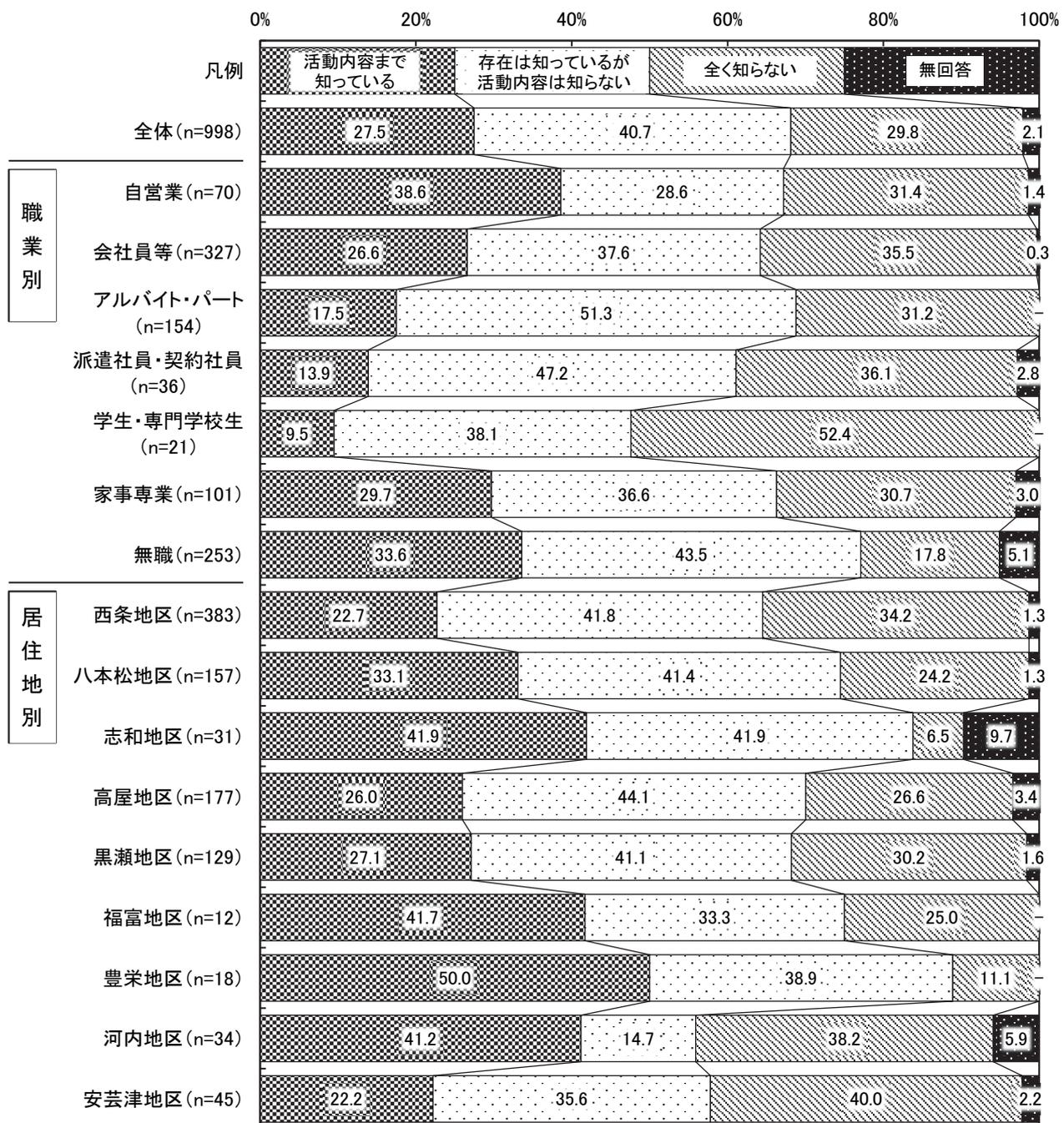


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「活動内容まで知っている」は『自営業』が38.6%と11.1ポイント、『無職』が33.6%と6.1ポイント、それぞれ全体より高い。「存在は知っているが活動内容は知らない」は『アルバイト・パート』が51.3%と10.6ポイント、「全く知らない」は『会社員等』が35.5%と5.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「活動内容まで知っている」は『豊栄地区』が50.0%と22.5ポイント、『志和地区』が41.9%と14.4ポイント、『福富地区』が41.7%と14.2ポイント、『河内地区』が41.2%と13.7ポイント、それぞれ全体より高い。

図16-3 住民自治協議会の認知状況／職業別・居住地別



## 8. 消費生活について

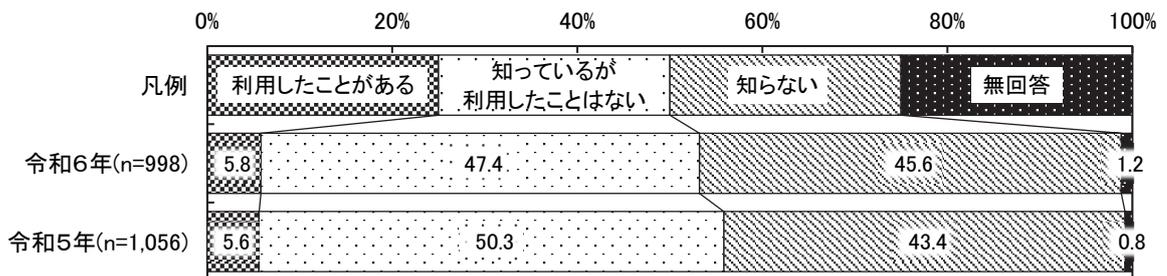
### (1) 「消費生活センター」設置の認知状況

問17 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

東広島市における「消費生活センター」設置の認知状況については、「利用したことがある」が5.8%、「知っているが利用したことはない」が47.4%であり、“知っている”(「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計)は53.2%となっている。

「知らない」は45.6%であった。

図17-1 「消費生活センター」設置の認知状況

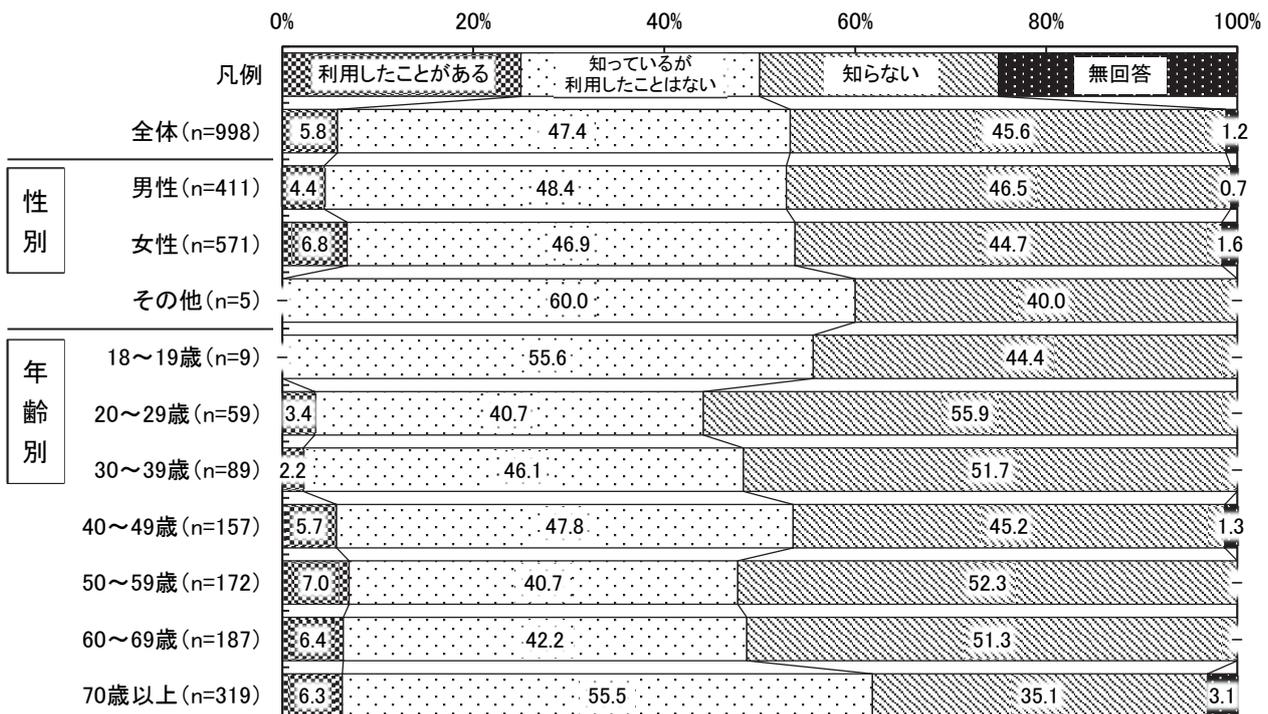


#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、“知っている”は『70歳以上』が61.8%と8.6ポイント全体より高い。一方、「知らない」は『20～29歳』が10.3ポイント、『50～59歳』が6.7ポイント、『30～39歳』が6.1ポイント、『60～69歳』が5.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図17-2 「消費生活センター」設置の認知状況／性別・年齢別

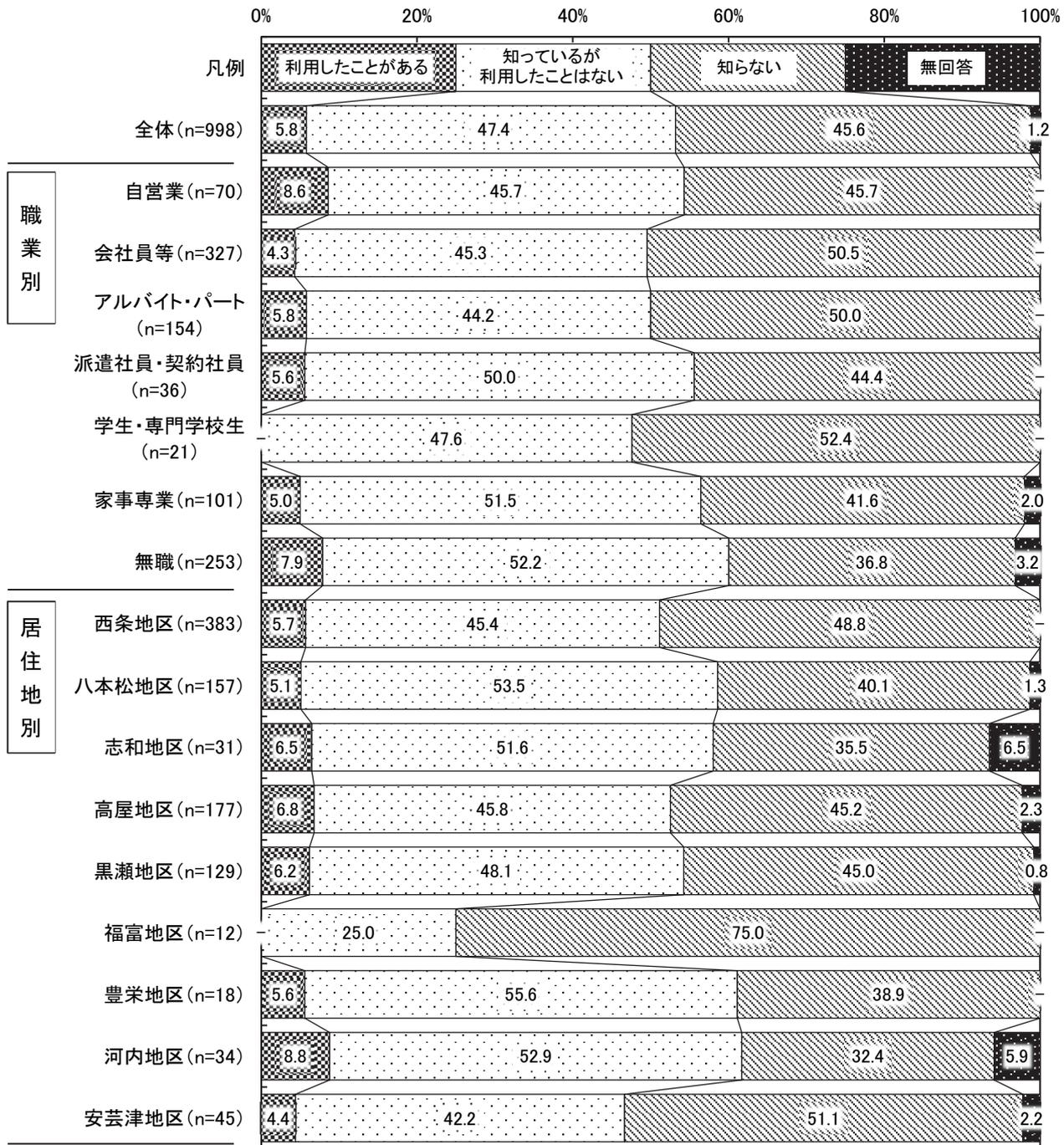


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“知っている”（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の合計）は『無職』が60.1%と6.9ポイント全体より高い。

居住地別では、「知らない」は『福富地区』が75.0%と29.4ポイント全体より高くなっている。

図17-3 「消費生活センター」設置の認知状況／職業別・居住地別



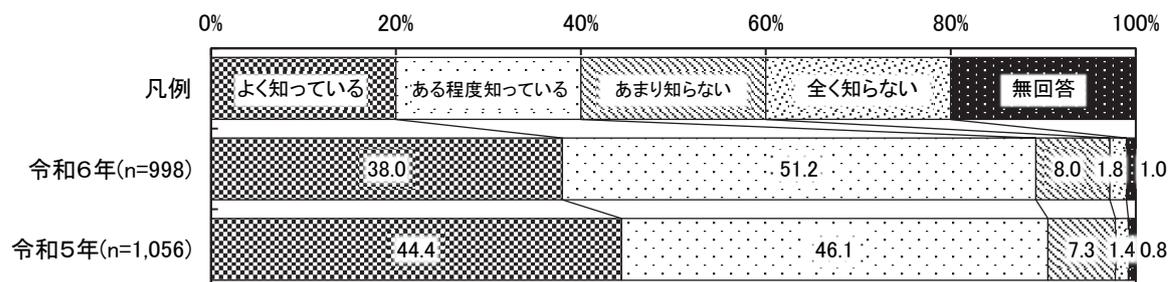
(2) 食品ロス問題の認知状況

問18 食品ロス（本来食べられるのに捨てられた食品）についておたずねします。  
食品ロスが問題となっていることを知っていますか。（1つだけ選んで○お付けください）

食品ロス問題の認知状況については、「よく知っている」が38.0%、「ある程度知っている」が51.2%と、「知っている」（「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計）は89.2%であり、約9割が問題を認知している。

令和5年度調査(前回)との比較では、「知っている」の値については顕著な差はないが、「よく知っている」は44.4%から6.4ポイント減少、「ある程度知っている」は46.1%から5.1ポイント増加した。

図18-1 食品ロス問題の認知状況

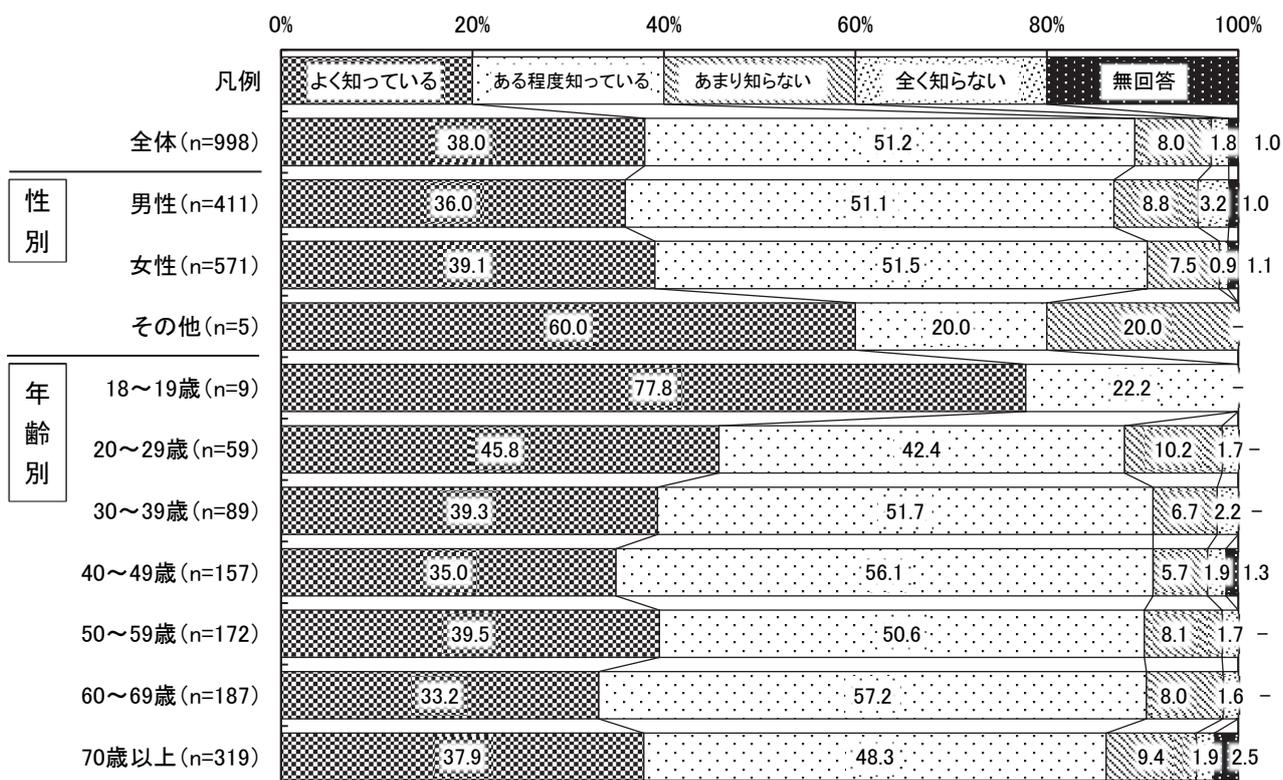


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「よく知っている」は『20～29歳』が45.8%と7.8ポイント全体より高い。

図18-2 食品ロス問題の認知状況／性別・年齢別

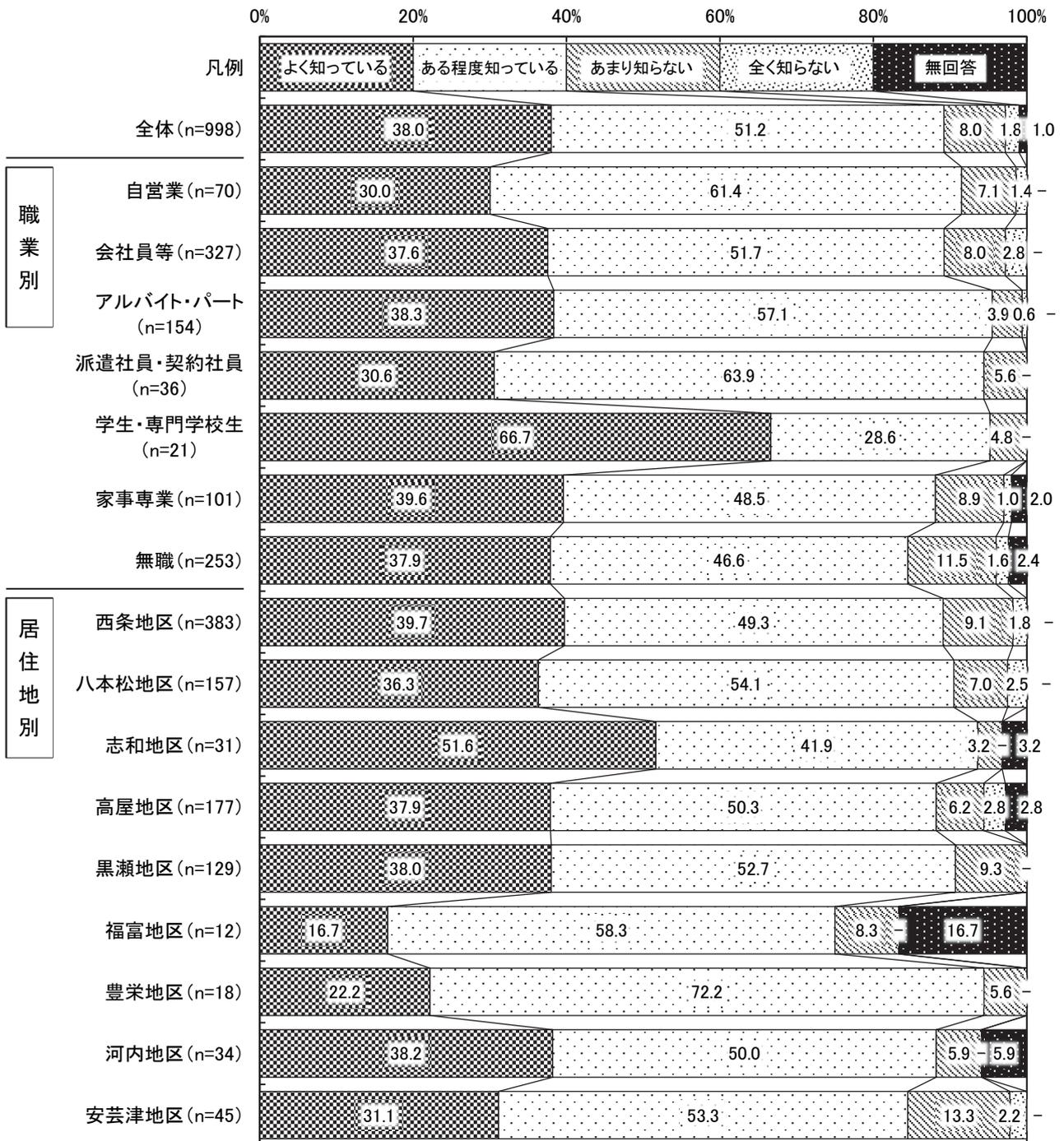


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“知っている”（「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計）は『アルバイト・パート』が95.4%と6.2ポイント全体より高い。

居住地別では、「よく知っている」は、『志和地区』が51.6%と13.6ポイント全体より高くなっている。

図18-3 食品ロス問題の認知状況／職業別・居住地別



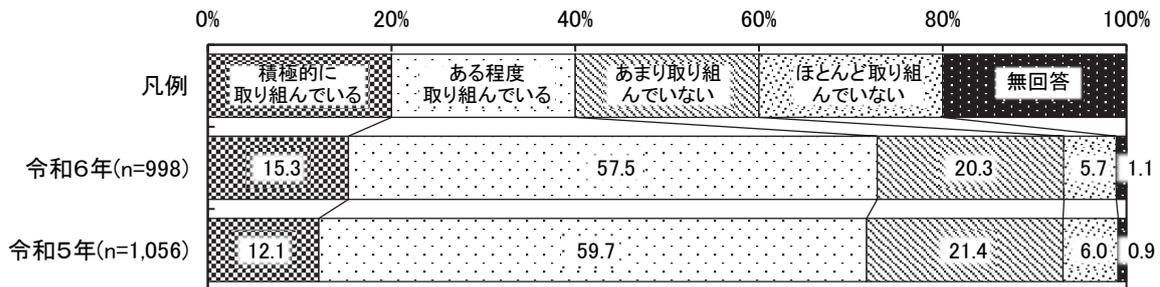
(3) 食品ロスを減らす取組み状況

問19 あなたは、食品ロスを減らす取組みをしていますか。(1つだけ選んで○お付けください)

食品ロスを減らす取組み状況については、「積極的に取り組んでいる」が15.3%、「ある程度取り組んでいる」が57.5%と、「取り組んでいる」（「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計）は72.8%であり、約7割が「取り組んでいる」と回答している。

「あまり取り組んでいない」は20.3%、「ほとんど取り組んでいない」は5.7%であり、「取り組んでいない」（「あまり取り組んでいない」と「ほとんど取り組んでいない」の合計）は26.0%となっている。

図19-1 食品ロスを減らす取組み状況

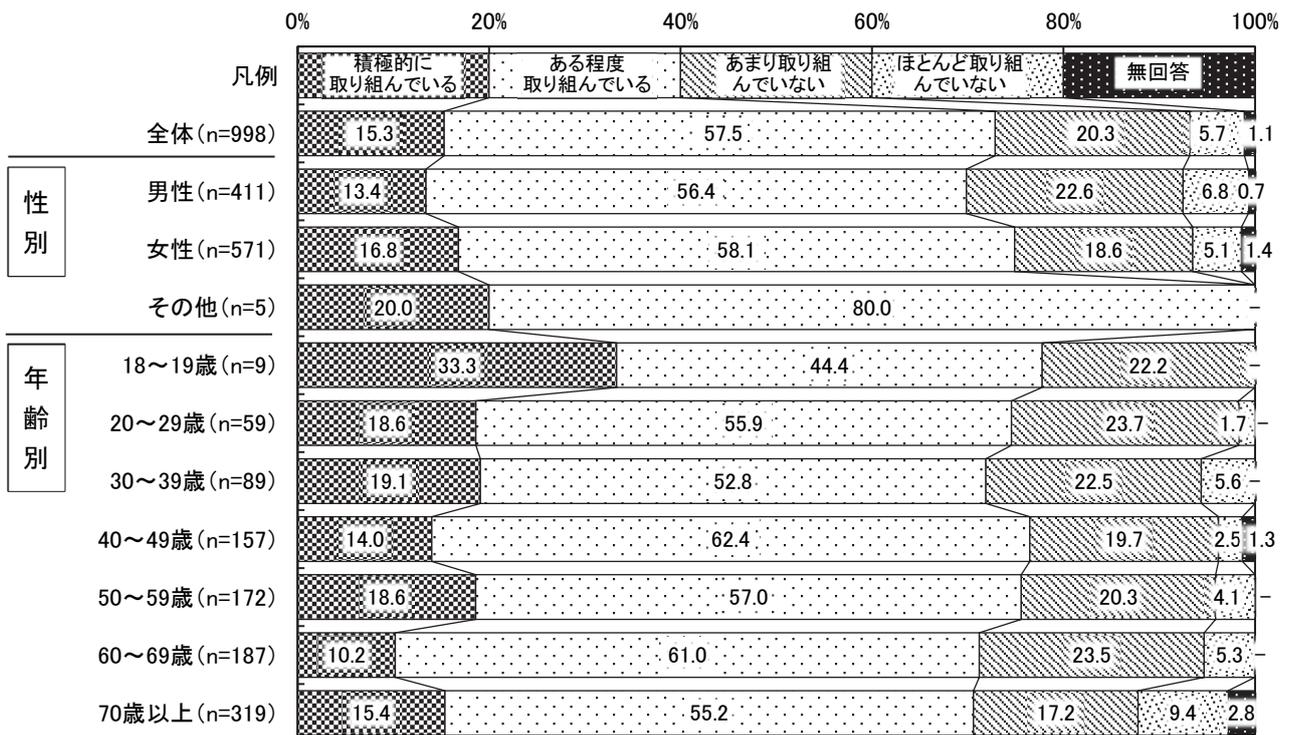


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「取り組んでいる」は『男性』69.8%、『女性』74.9%と『女性』が『男性』より5.1ポイント高い。

年齢別では、顕著な差はない。

図19-2 食品ロスを減らす取組み状況／性別・年齢別

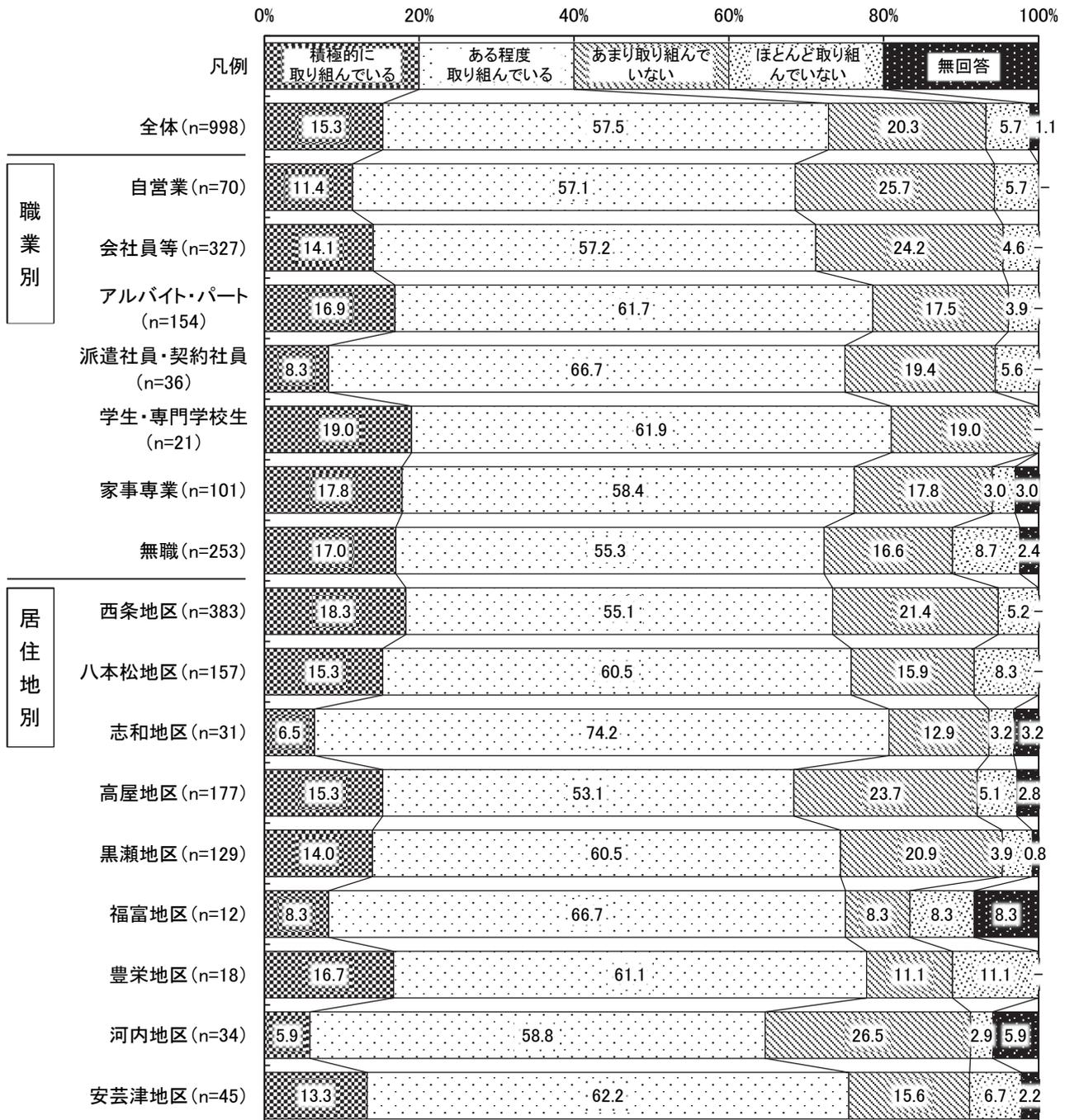


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“取り組んでいる”（「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計）は『アルバイト・パート』が78.6%と5.8ポイント全体より高い。

居住地別では、“取り組んでいる”は、『志和地区』が80.7%と7.9ポイント全体より高くなっている。

図19-3 食品ロスを減らす取組み状況／職業別・居住地別

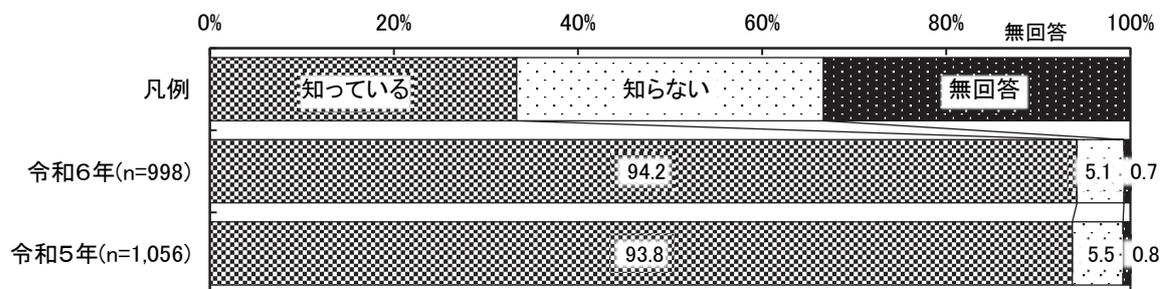


(4) 賞味期限と消費期限の違いの認知状況

問20 賞味期限と消費期限の違いを知っていますか。(1つだけ選んで○お付けください)

賞味期限と消費期限の違いの認知状況については、「知っている」が94.2%と約9割が違いを認知している。「知らない」は5.1%であった。

図20-1 賞味期限と消費期限の違いの認知状況

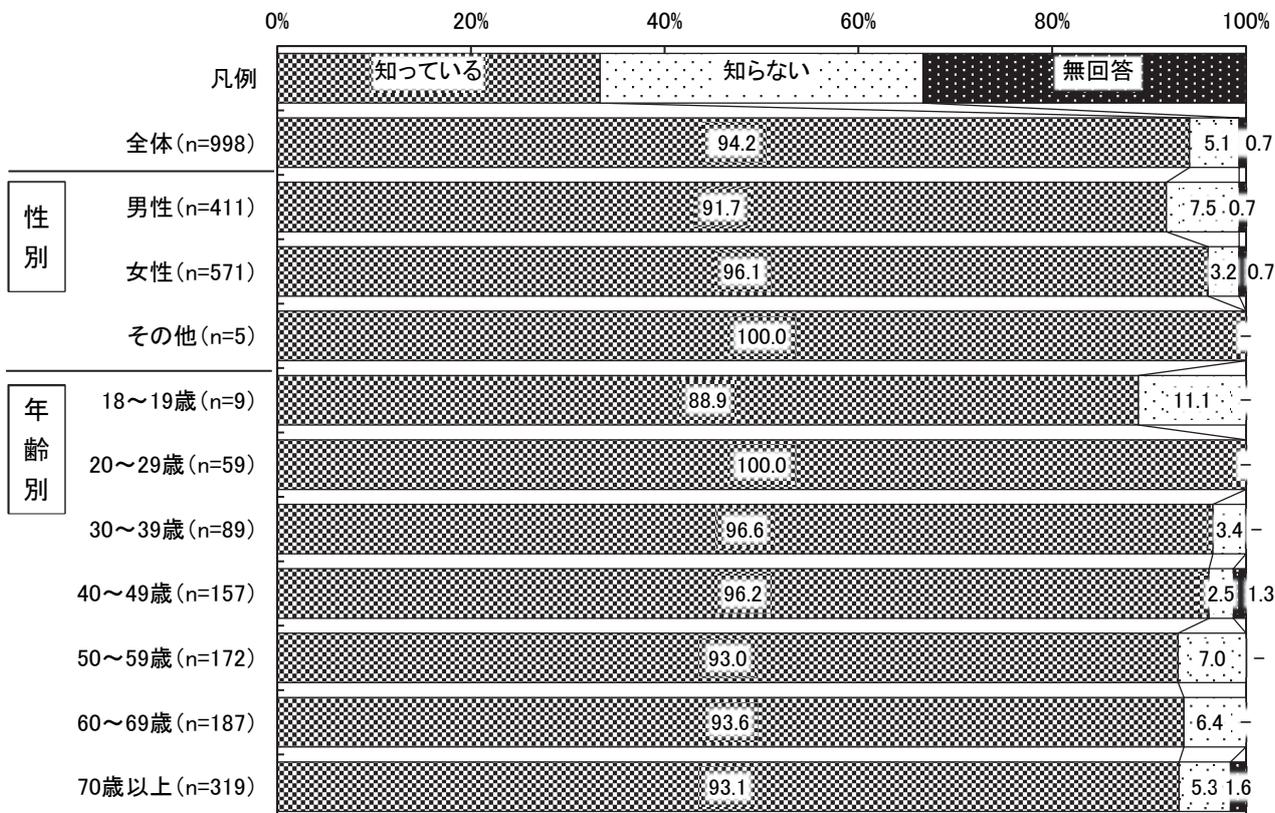


【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「知っている」は『20～29歳』が100.0%と5.8ポイント全体より高い。

図20-2 賞味期限と消費期限の違いの認知状況／性別・年齢別

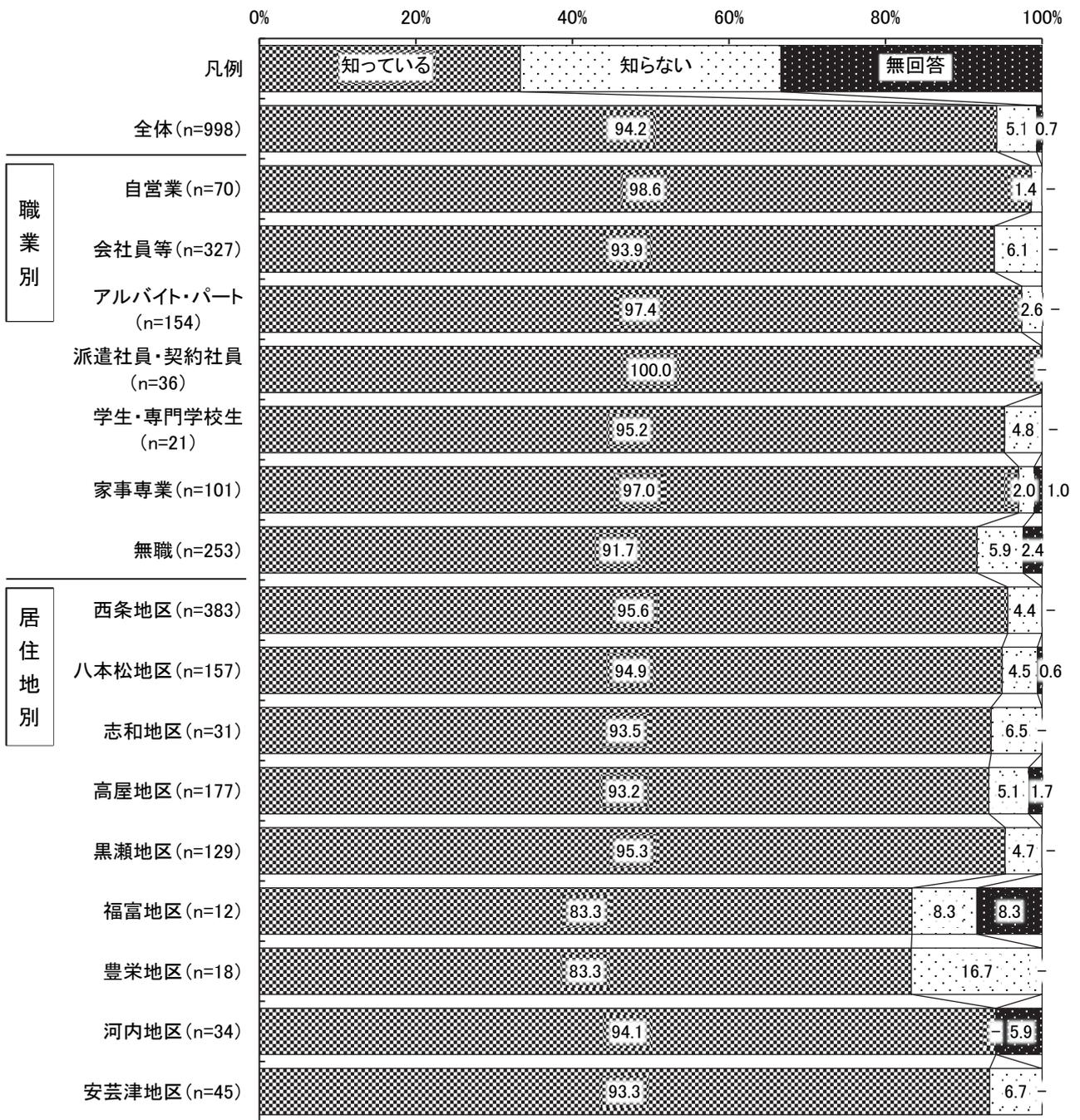


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、顕著な差はない。

居住地別では、「知らない」は『豊栄地区』が16.7%と11.6ポイント全体より高い。

図20-3 賞味期限と消費期限の違いの認知状況／職業別・居住地別



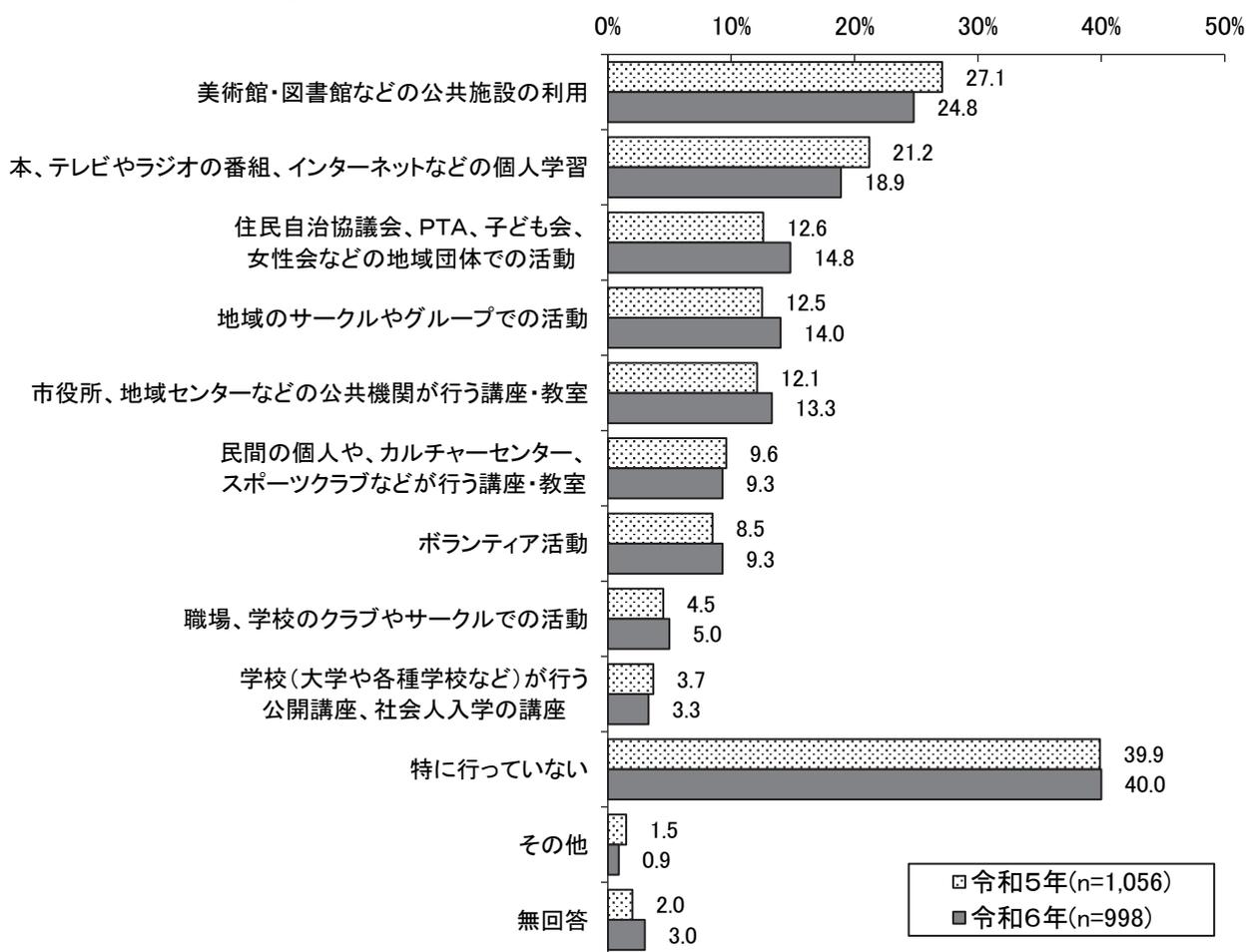
## 9. 生涯学習について

### (1) 生涯学習の実施状況

問21 あなたは、この1年間にどのような生涯学習を行いましたか。  
 (当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習については、「美術館・図書館などの公共施設の利用」が24.8%と最も高く、次いで、「本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習」が18.9%と高い。「特に行っていない」は40.0%であった。

図21-1 生涯学習の実施状況



【属性別の傾向】＜性別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」と「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」はそれぞれ、『女性』が『男性』より9.5ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」は『40～49歳』が33.8%と9.0ポイント、「住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動」についても『40～49歳』が21.7%と6.9ポイント、それぞれ全体より高い。

「地域のサークルやグループでの活動」は『70歳以上』が22.3%と8.3ポイント、「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」についても、『70歳以上』が22.9%と9.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「職場、学校のクラブやサークルでの活動」は『20～29歳』が11.9%と6.9ポイント、『30～39歳』が11.2%と6.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「特に行っていない」は『20～29歳』が50.8%と10.8ポイント、『50～59歳』が46.5%と6.5ポイント、『30～39歳』が46.1%と6.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表21-1 生涯学習の実施状況／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		美術館・図書館などの公共施設の利用	本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習	PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動	住民自治協議会、グループでの活動	市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室	民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室	ボランティア活動	職場、学校のクラブやサークルでの活動	学校（大学や各種学校など）が行う公開講座、社会人入学の講座	特に行っていない	その他	無回答
全体(n=998)		24.8	18.9	14.8	14.0	13.3	9.3	9.3	5.0	3.3	40.0	0.9	3.0
性別	男性(n=411)	19.2	21.2	16.3	12.2	7.8	7.8	9.5	6.8	2.9	<b>42.1</b>	0.7	1.9
	女性(n=571)	28.7	17.2	13.8	15.1	17.3	10.7	8.9	3.9	3.5	<b>38.7</b>	1.1	3.5
	その他(n=5)	40.0	20.0	-	40.0	20.0	-	20.0	-	20.0	40.0	-	-
年齢別	18～19歳(n=9)	66.7	44.4	22.2	11.1	-	22.2	-	44.4	44.4	-	-	-
	20～29歳(n=59)	23.7	23.7	-	3.4	1.7	1.7	5.1	11.9	5.1	<b>50.8</b>	-	-
	30～39歳(n=89)	27.0	16.9	7.9	4.5	10.1	10.1	5.6	11.2	3.4	<b>46.1</b>	1.1	1.1
	40～49歳(n=157)	33.8	19.7	21.7	8.3	8.3	5.7	10.8	7.6	4.5	<b>38.2</b>	-	1.3
	50～59歳(n=172)	27.9	18.6	14.5	10.5	8.1	11.0	7.6	4.7	2.9	<b>46.5</b>	-	0.6
	60～69歳(n=187)	22.5	18.7	15.0	15.5	11.8	7.5	9.1	2.7	2.1	<b>39.0</b>	0.5	2.1
	70歳以上(n=319)	18.5	17.6	16.0	22.3	22.9	12.2	11.6	1.3	2.2	<b>35.4</b>	2.2	6.9

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「美術館・図書館などの公共施設の利用」は『アルバイト・パート』が7.7ポイント全体より高い。「住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動」は『自営業』が8.1ポイント、『家事専業』が6.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「地域のサークルやグループでの活動」と「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」はそれぞれ『家事専業』と『無職』が5ポイント以上全体より高い。

「特に行っていない」は『会社員等』が5.0ポイント全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動」は『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、「地域のサークルやグループでの活動」と「市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室」は『福富地区』、『豊栄地区』で、それぞれ10ポイント以上全体より高い。「民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室」と「ボランティア活動」は『河内地区』で10ポイント以上全体より高くなっている。

表21-2 生涯学習の実施状況／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		美術館・図書館などの公共施設の利用	本、テレビやラジオの番組、インターネットなどの個人学習	住民自治協議会、PTA、子ども会、女性会などの地域団体での活動	地域のサークルやグループでの活動	市役所、地域センターなどの公共機関が行う講座・教室	民間の個人や、カルチャーセンター、スポーツクラブなどが行う講座・教室	ボランティア活動	職場、学校のクラブやサークルでの活動	学校（大学や各種学校など）が行う公開講座、社会人入学の講座	特に行っていない	その他	無回答
全体(n=998)		24.8	18.9	14.8	14.0	13.3	9.3	9.3	5.0	3.3	40.0	0.9	3.0
職業別	自営業(n=70)	15.7	18.6	22.9	18.6	15.7	7.1	17.1	-	-	40.0	1.4	4.3
	会社員等(n=327)	24.8	18.0	14.1	8.6	6.7	7.6	7.0	10.4	3.7	45.0	0.3	0.9
	アルバイト・パート(n=154)	32.5	20.8	10.4	8.4	9.7	9.7	6.5	4.5	1.9	42.9	0.6	0.6
	派遣社員・契約社員(n=36)	22.2	11.1	13.9	8.3	13.9	5.6	16.7	-	2.8	47.2	-	2.8
	学生・専門学校生(n=21)	52.4	19.0	9.5	14.3	-	14.3	4.8	33.3	23.8	19.0	-	-
	家事専業(n=101)	29.7	18.8	20.8	21.8	27.7	15.8	9.9	1.0	4.0	29.7	1.0	2.0
無職(n=253)		19.0	20.6	14.6	19.4	19.0	10.3	11.5	0.4	2.8	37.9	1.6	6.3
居住地別	西条地区(n=383)	31.1	23.8	13.1	12.3	11.5	8.6	11.0	6.8	3.9	37.6	-	1.3
	八本松地区(n=157)	23.6	14.6	12.7	11.5	13.4	12.7	7.0	4.5	5.1	42.0	3.2	3.8
	志和地区(n=31)	25.8	22.6	19.4	19.4	19.4	9.7	16.1	3.2	3.2	19.4	3.2	9.7
	高屋地区(n=177)	24.9	18.1	11.3	16.4	13.0	10.7	5.6	5.1	2.8	41.2	1.1	2.8
	黒瀬地区(n=129)	18.6	15.5	19.4	10.1	15.5	6.2	6.2	3.9	2.3	48.8	-	1.6
	福富地区(n=12)	33.3	8.3	41.7	25.0	33.3	16.7	8.3	-	-	25.0	-	-
	豊栄地区(n=18)	16.7	16.7	27.8	38.9	27.8	-	11.1	-	-	33.3	-	5.6
	河内地区(n=34)	8.8	11.8	26.5	20.6	11.8	20.6	20.6	-	-	38.2	2.9	8.8
安芸津地区(n=45)		4.4	13.3	15.6	11.1	8.9	2.2	13.3	2.2	2.2	48.9	-	8.9

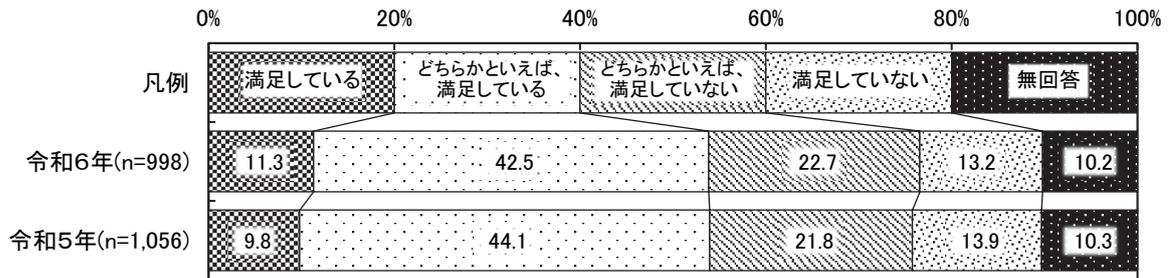
※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

(2) 生涯学習の満足度

問22 この1年間に行った生涯学習に満足していますか。  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

この1年間に行った生涯学習の満足度については、「満足している」が11.3%、「どちらかといえば、満足している」が42.5%と、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）は53.8%となっている。「どちらかといえば、満足していない」は22.7%、「満足していない」は13.2%であり、これらを合計した“不満足”は35.9%であった。

図22-1 生涯学習の満足度

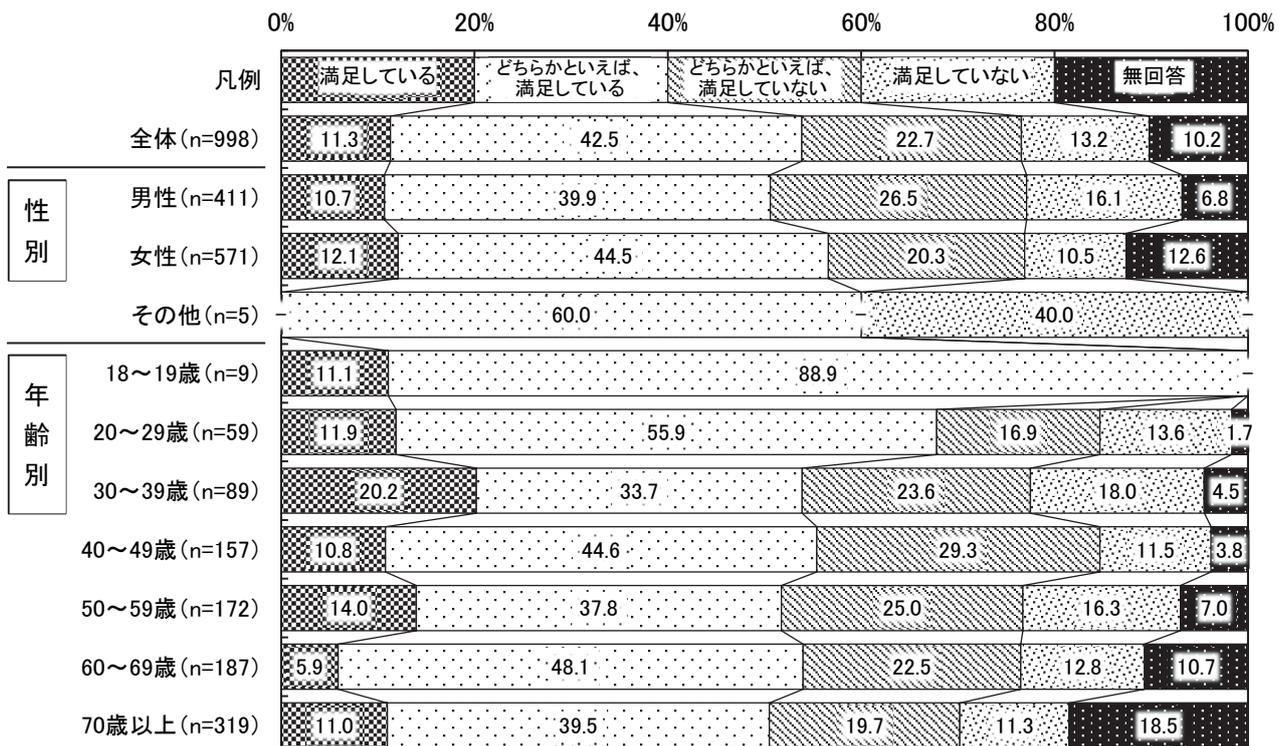


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、“不満足”は『男性』42.6%、『女性』30.8%と『男性』が『女性』より11.8ポイント高い。

年齢別では、“満足”は『20～29歳』が67.8%と14.0ポイント全体より高くなっている。“不満足”は『30～39歳』が41.6%と5.7ポイント、『50～59歳』が41.3%と5.4ポイント、それぞれ全体より高い。

図22-2 生涯学習の満足度／性別・年齢別

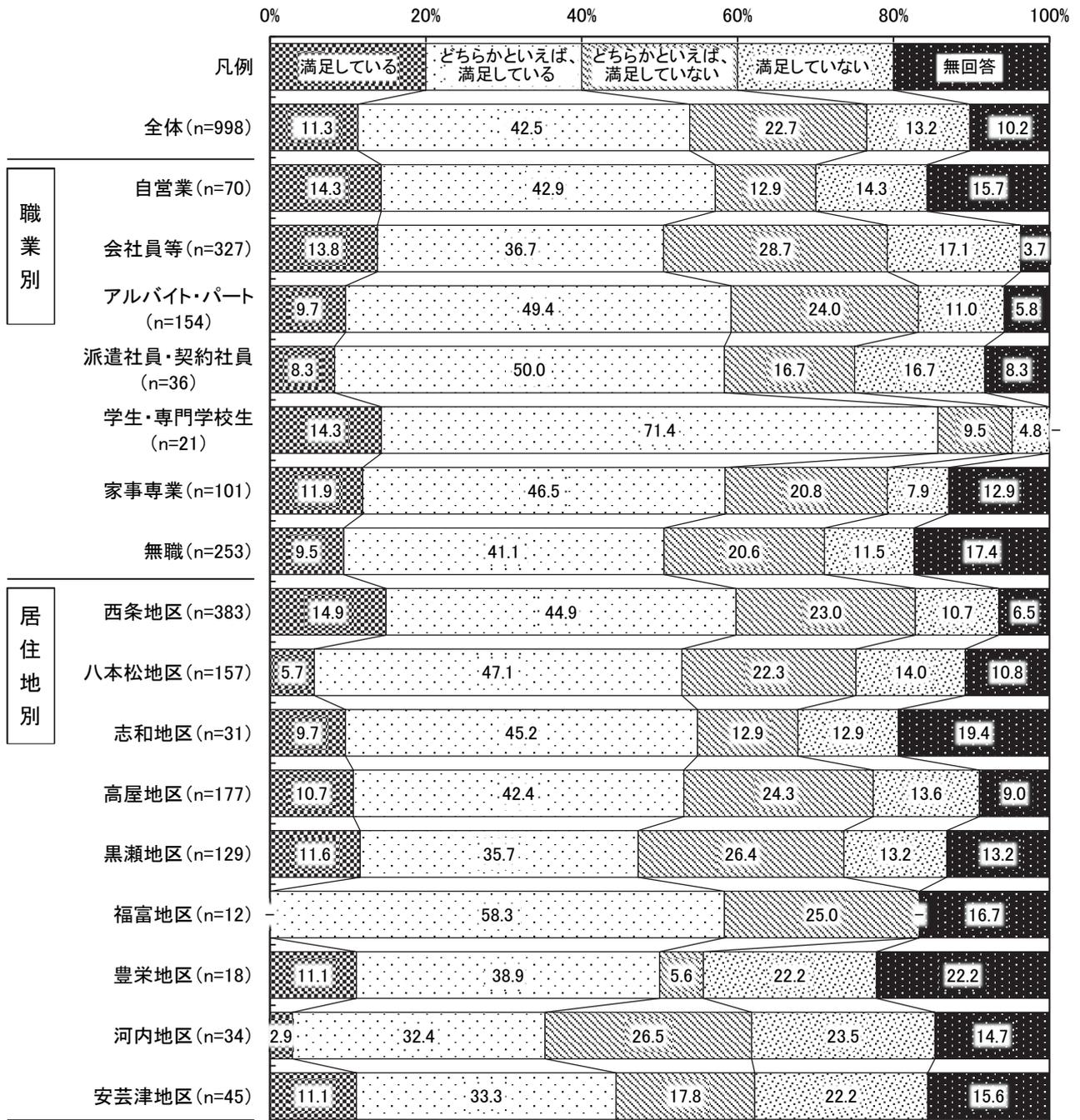


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“不満足”（「どちらかといえば、満足していない」と「満足していない」の合計）については、『会社員等』が45.8%と9.9ポイント全体より高い。

居住地別では、“満足”（「満足している」と「どちらかといえば、満足している」の合計）は『西条地区』が59.8%と6.0ポイント全体より高く、一方、“不満足”は『河内地区』が50.0%と14.1ポイント全体より高くなっている。

図22-3 生涯学習の満足度／職業別・居住地別

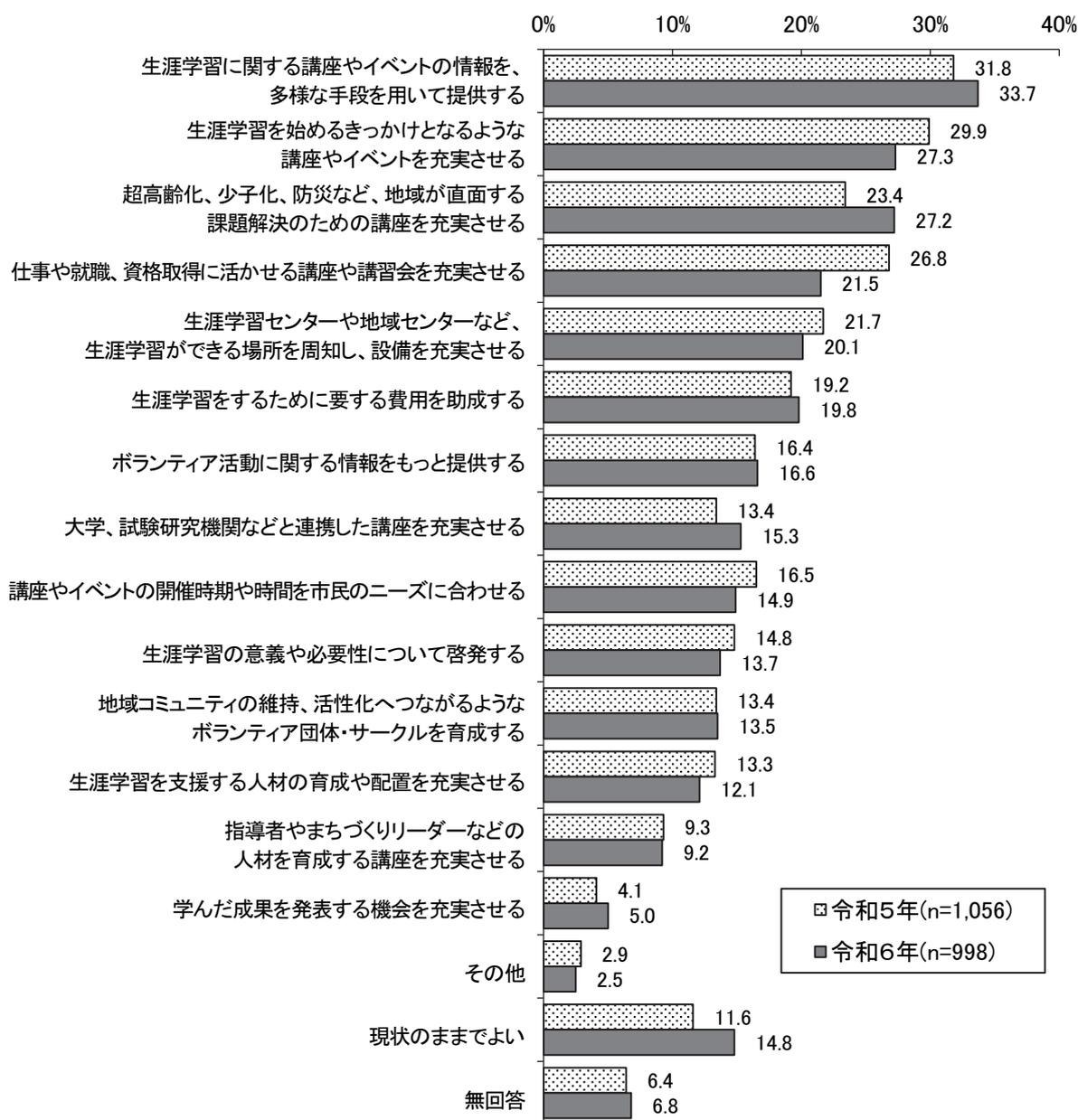


(3) 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項

問23 あなたは、生涯学習を進めていくためには、東広島市はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。（当てはまるもの全てを選んで○をお付けください）

生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項については、「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」が33.7%と高く、次いで、「生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる」が27.3%、「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」が27.2%、「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」が21.5%、「生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる」が20.1%、「生涯学習をするために要する費用を助成する」が19.8%となっている。

図23-1 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項＜複数回答＞



【属性別の傾向】＜性別＞

性別では、「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」は『男性』30.4%、『女性』36.1%と『女性』が『男性』より5.7ポイント高い。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する」は『50～59歳』が6.4ポイント全体より高い。

「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」は、『20～29歳』が14.1ポイント、『30～39歳』が11.1ポイント、『40～49歳』が11.0ポイント、『50～59歳』が7.6ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「ボランティア活動に関する情報をもっと提供する」は『70歳以上』が5.0ポイント、「大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる」は『30～39歳』が7.2ポイント、それぞれ全体より高い。

「講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる」は『50～59歳』が11.3ポイント、『20～29歳』が5.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表23-1 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項  
／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する	生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる	地域が直面する課題解決のための講座を充実させる	仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる	生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる	生涯学習をするために要する費用を助成する	ボランティア活動に関する情報をもっと提供する	大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる	講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる	生涯学習の意義や必要性について啓発する	地域コミュニティの維持、活性化へつながるようなボランティア団体・サークルを育成する	生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる	指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる	学んだ成果を発表する機会を充実させる	その他	現状のままでよい	無回答
全体(n=998)		33.7	27.3	27.2	21.5	20.1	19.8	16.6	15.3	14.9	13.7	13.5	12.1	9.2	5.0	2.5	14.8	6.8
性別	男性(n=411)	<b>30.4</b>	26.8	26.0	21.9	17.8	20.4	17.0	17.0	14.1	16.5	14.6	12.4	10.2	5.1	2.4	16.3	4.9
	女性(n=571)	<b>36.1</b>	27.8	27.7	21.4	21.7	19.3	16.8	14.5	15.6	11.9	12.6	12.1	8.8	5.1	2.6	13.8	8.1
	その他(n=5)	-	20.0	40.0	40.0	-	-	-	-	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-
年齢別	18～19歳(n=9)	44.4	22.2	33.3	33.3	11.1	22.2	33.3	33.3	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	22.2	-	11.1	-
	20～29歳(n=59)	32.2	22.0	20.3	<b>35.6</b>	22.0	10.2	13.6	18.6	<b>20.3</b>	18.6	6.8	10.2	3.4	1.7	1.7	11.9	-
	30～39歳(n=89)	30.3	29.2	22.5	<b>32.6</b>	15.7	14.6	9.0	<b>22.5</b>	9.0	11.2	7.9	9.0	10.1	5.6	-	<b>22.5</b>	1.1
	40～49歳(n=157)	26.8	22.9	28.0	<b>32.5</b>	17.2	24.2	11.5	15.9	15.9	12.7	12.1	9.6	7.6	7.0	3.2	14.0	2.5
	50～59歳(n=172)	<b>40.1</b>	32.0	27.3	<b>29.1</b>	20.9	22.7	16.3	19.2	<b>26.2</b>	11.0	13.4	16.3	12.8	7.6	2.9	15.1	4.1
	60～69歳(n=187)	<b>36.9</b>	29.9	27.3	16.6	21.9	19.3	17.1	15.5	11.2	15.5	16.0	12.3	5.9	2.7	2.1	16.6	1.6
	70歳以上(n=319)	<b>32.0</b>	25.7	28.8	9.1	20.7	19.4	<b>21.6</b>	10.0	11.3	14.4	15.7	12.5	11.0	4.1	3.1	12.5	<b>16.6</b>

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」は『家事専業』が10.4ポイント全体より高い。

「仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる」は『会社員等』が7.2ポイント、『アルバイト・パート』が6.4ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる」は『豊栄地区』が17.2ポイント、「生涯学習をするために要する費用を助成する」は『安芸津地区』が11.3ポイント、「生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる」と「指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる」は『志和地区』が10ポイント以上、それぞれ全体より高い。

表23-2 生涯学習を進めていくために、東広島市が力を入れるべき取り組み事項  
／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する	生涯学習を始めようとする講座やイベントを充実させる	超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる	仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる	生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる	生涯学習をするために要する費用を助成する	ボランティア活動に関する情報をもっと提供する	大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる	講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる	生涯学習の意義や必要性について啓発する	地域コミュニティの維持、活性化へつながるようなボランティア団体・サークルを育成する	生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる	指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる	学んだ成果を発表する機会を充実させる	その他	現状のままでよい	無回答
全体(n=998)		33.7	27.3	27.2	21.5	20.1	19.8	16.6	15.3	14.9	13.7	13.5	12.1	9.2	5.0	2.5	14.8	6.8
職業別	自営業(n=70)	<b>30.0</b>	21.4	28.6	12.9	14.3	20.0	20.0	7.1	10.0	20.0	18.6	8.6	10.0	8.6	8.6	14.3	7.1
	会社員等(n=327)	<b>34.3</b>	28.1	25.4	28.7	18.0	20.8	14.1	20.2	18.3	15.9	13.1	14.1	10.7	5.2	1.8	16.2	1.5
	アルバイト・パート(n=154)	<b>30.5</b>	27.9	28.6	27.9	22.1	13.6	13.0	14.9	15.6	8.4	7.8	11.0	7.1	3.2	1.3	16.9	3.2
	派遣社員・契約社員(n=36)	25.0	16.7	19.4	19.4	<b>27.8</b>	22.2	16.7	16.7	13.9	11.1	11.1	8.3	-	11.1	-	25.0	-
	学生・専門学校生(n=21)	<b>47.6</b>	14.3	19.0	28.6	23.8	19.0	23.8	23.8	9.5	23.8	4.8	4.8	4.8	9.5	-	4.8	-
	家事専業(n=101)	<b>39.6</b>	26.7	<b>37.6</b>	18.8	23.8	19.8	14.9	16.8	12.9	9.9	18.8	18.8	9.9	5.9	2.0	8.9	12.9
	無職(n=253)	<b>33.6</b>	30.4	26.5	13.0	19.8	22.1	22.1	11.1	13.4	13.0	14.6	9.9	9.1	2.8	3.2	13.8	13.8
	居住地別	西条地区(n=383)	<b>36.0</b>	25.8	27.4	25.6	19.6	18.8	15.1	17.2	14.4	14.6	11.7	10.7	8.9	4.7	2.3	15.4
八本松地区(n=157)	<b>32.5</b>	24.8	28.7	22.3	19.7	17.8	20.4	15.9	15.3	12.7	15.9	14.0	8.9	8.9	3.8	11.5	7.6	
志和地区(n=31)	<b>29.0</b>	25.8	25.8	25.8	22.6	9.7	12.9	9.7	19.4	19.4	16.1	<b>22.6</b>	<b>25.8</b>	3.2	3.2	6.5	<b>19.4</b>	
高屋地区(n=177)	33.9	<b>34.5</b>	24.9	19.8	20.9	18.1	18.1	15.3	14.1	15.3	14.7	11.3	7.9	6.2	1.1	19.8	6.2	
黒瀬地区(n=129)	<b>33.3</b>	28.7	24.0	19.4	16.3	21.7	14.7	17.1	16.3	14.0	11.6	14.0	6.2	3.1	3.1	17.1	4.7	
福富地区(n=12)	<b>41.7</b>	25.0	33.3	8.3	16.7	25.0	25.0	-	-	-	8.3	16.7	8.3	-	-	8.3	8.3	
豊栄地区(n=18)	27.8	22.2	<b>44.4</b>	16.7	16.7	27.8	22.2	11.1	16.7	11.1	22.2	16.7	16.7	-	5.6	5.6	-	
河内地区(n=34)	20.6	20.6	<b>32.4</b>	8.8	20.6	29.4	11.8	11.8	8.8	11.8	17.6	8.8	11.8	-	-	11.8	14.7	
安芸津地区(n=45)	28.9	24.4	24.4	15.6	28.9	<b>31.1</b>	20.0	8.9	24.4	6.7	13.3	11.1	13.3	2.2	2.2	6.7	<b>17.8</b>	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

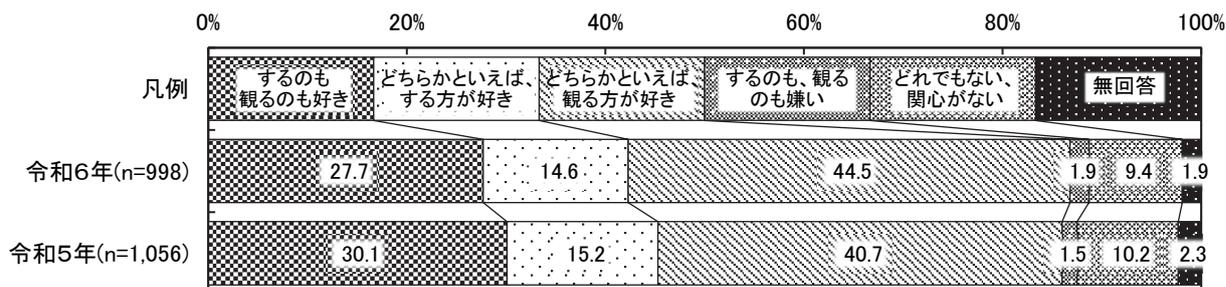
## 10. 運動・スポーツについて

### (1) 運動・スポーツが好きか

問24 あなたは、運動やスポーツが好きですか？（1つだけ選んで○をお付けください）

運動やスポーツが好きかについては、「どちらかといえば観る方が好き」が44.5%と最も高く、次いで、「するのも観るのも好き」が27.7%、「どちらかといえばする方が好き」が14.6%となっている。「するのも観るのも嫌い」は1.9%、「どれでもない、関心がない」は9.4%であった。

図24-1 運動・スポーツが好きか

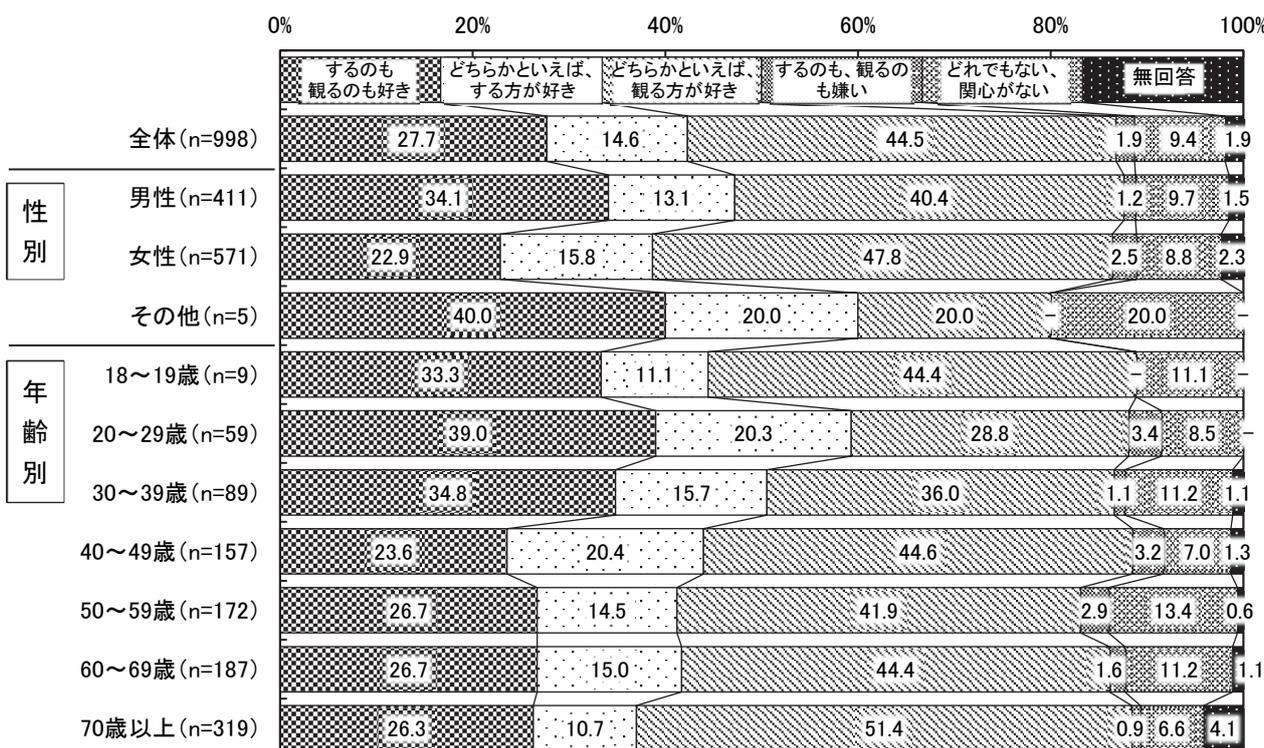


#### 【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、「するの観るのも好き」は『男性』が『女性』より11.2ポイント高く、「どちらかといえば観る方が好き」は『女性』が『男性』より7.4ポイント高い。

年齢別では、「するの観るのも好き」は『20～29歳』が39.0%と11.3ポイント、『30～39歳』が34.8%と7.1ポイント、それぞれ全体より高い。「どちらかといえば、する方が好き」は『40～49歳』が20.4%と5.8ポイント、『20～29歳』が20.3%と5.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図24-2 運動・スポーツが好きか／性別・年齢別

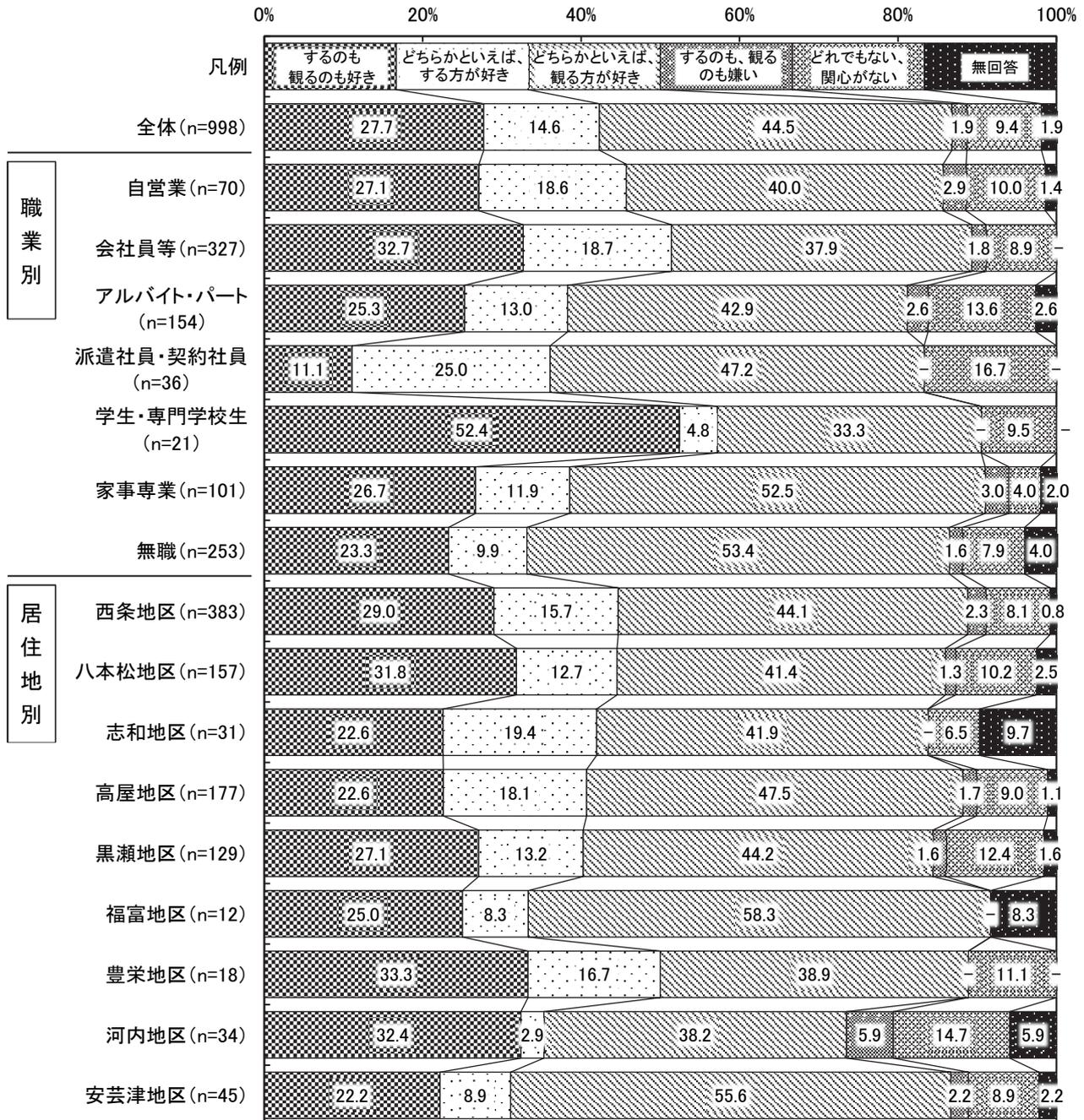


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「するのも観るのも好き」は『会社員等』が32.7%と5.0ポイント、「どちらかといえば観る方が好き」は『無職』が53.4%と8.9ポイント、『家事専業』が52.5%と8.0ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「するのも観るのも好き」は『豊栄地区』が33.3%と5.6ポイント、「どちらかといえば観る方が好き」は『福富地区』が58.3%と13.8ポイント、『安芸津地区』が55.6%と11.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図24-3 運動・スポーツが好きか／職業別・居住地別

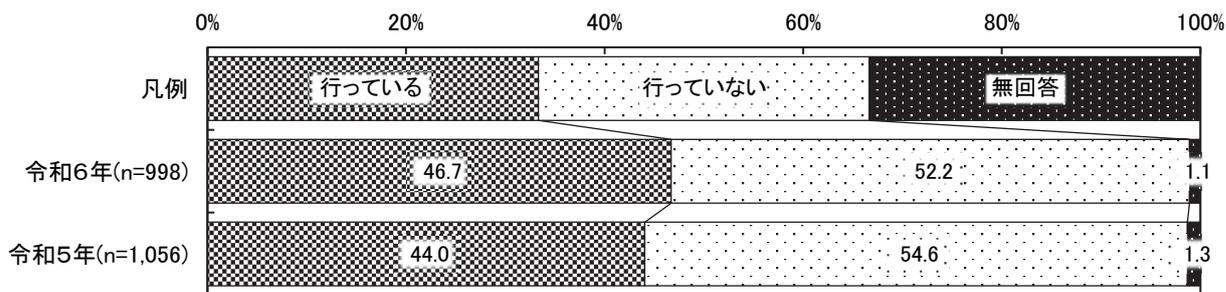


(2) 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか

問25 あなたは、現在週に1日以上スポーツや運動を行っていますか？  
 (ウォーキングやラジオ体操、いきいき体操ひがしひろしまなどもスポーツ・運動に含みます。)  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

現在週に1日以上スポーツや運動を行っているかについては、「行っている」が46.7%、「行っていない」が52.2%となっている。

図25-1 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか

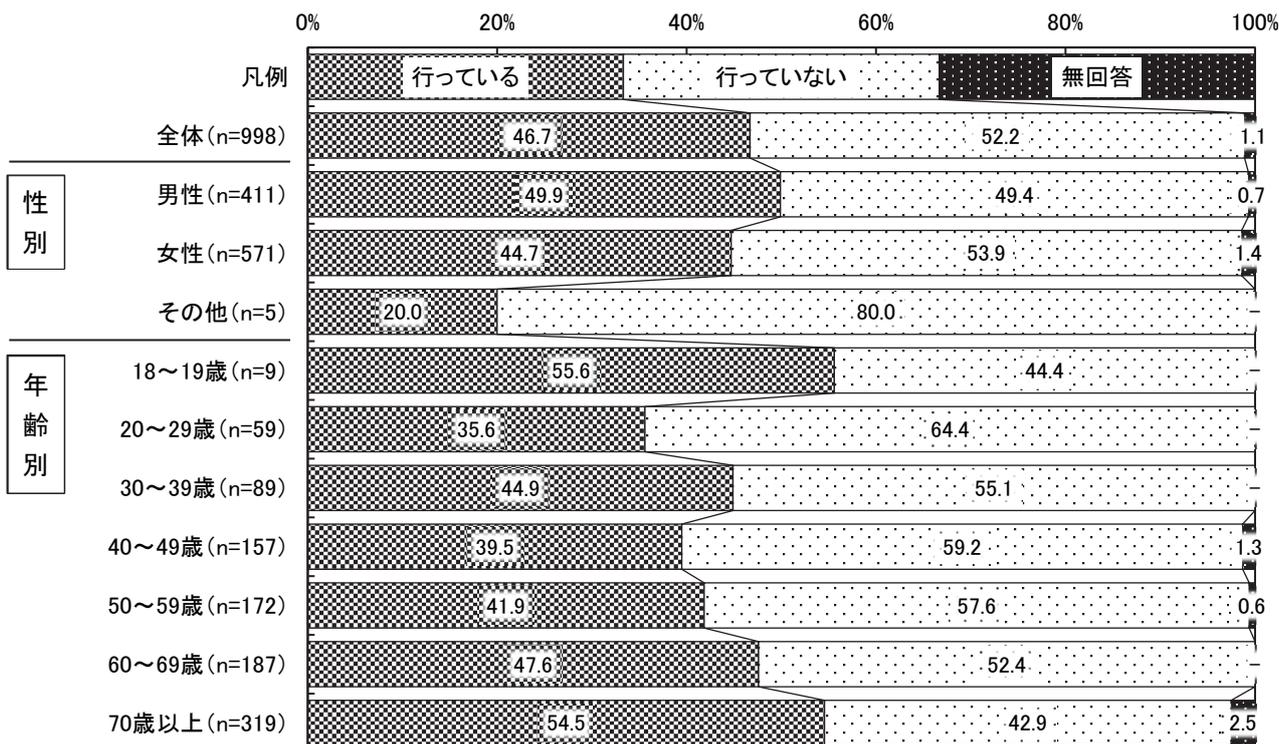


【属性別の傾向】 <性別・年齢別>

性別では、「行っている」は『男性』49.9%、『女性』44.7%と『男性』が『女性』より5.2ポイント高くなっている。

年齢別では、「行っている」は『70歳以上』が54.5%と7.8ポイント全体より高い。「行っていない」は『20～29歳』が64.4%と12.2ポイント全体より高く、以降年齢が上がるほど低くなっている。

図25-2 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか/性別・年齢別



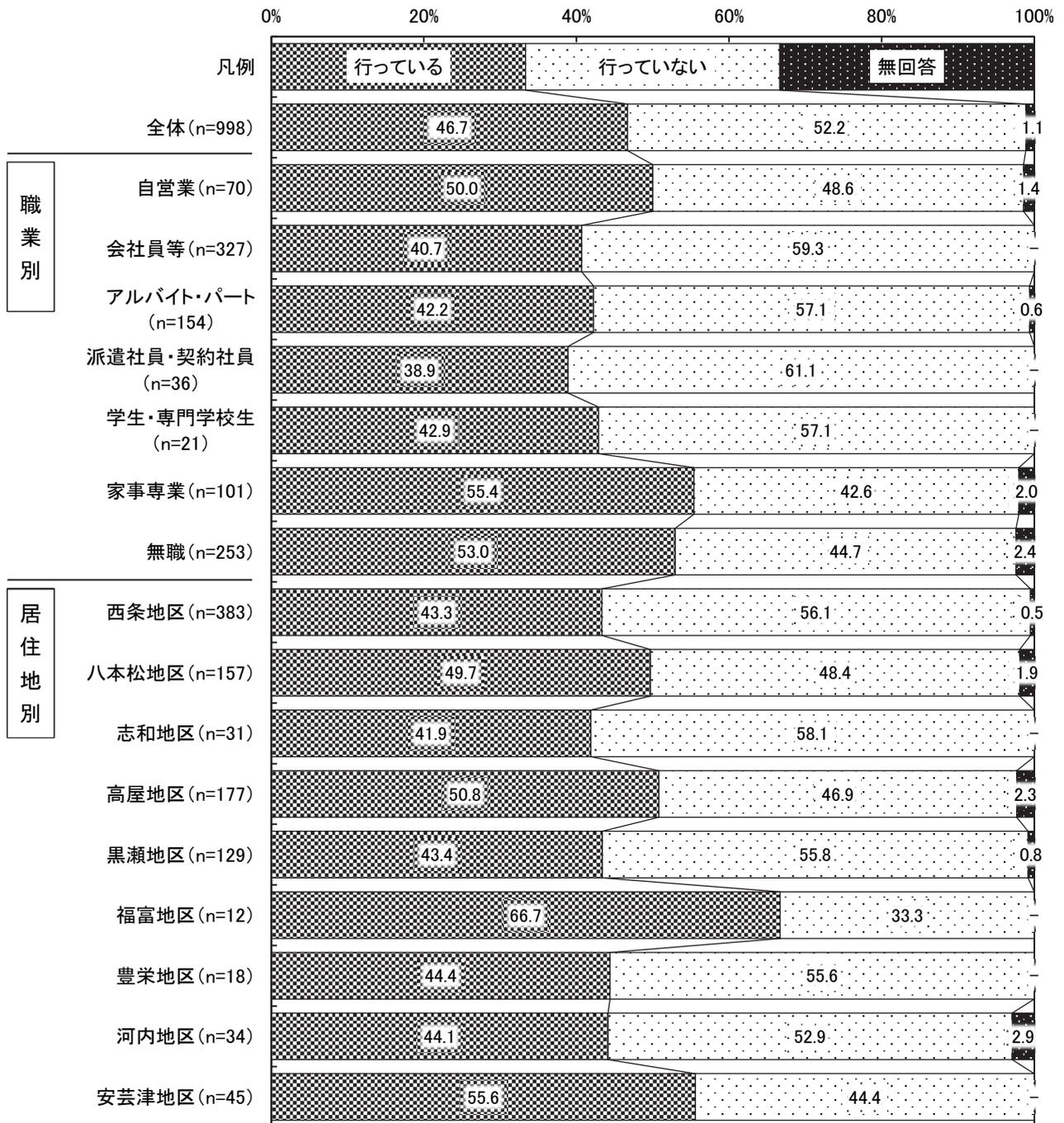
【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「行っている」は『家事専業』が55.4%と8.7ポイント、『無職』が53.0%と6.3ポイント、それぞれ全体より高い。

「行っていない」は『会社員等』が59.3%と7.1ポイント全体より高くなっている。

居住地別では、「行っている」は『福富地区』が66.7%と20.0ポイント、『安芸津地区』が55.6%と8.9ポイント、それぞれ全体より高い。

図25-3 現在週に1日以上スポーツや運動を行っているか／職業別・居住地別



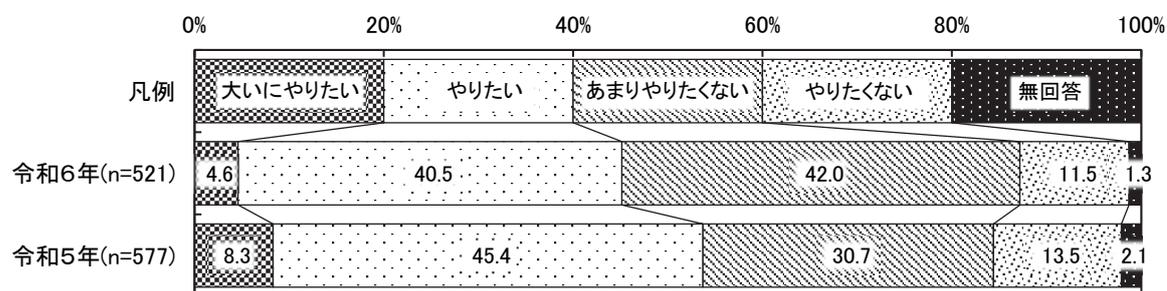
(3) 今後の運動・スポーツの開始意向

問25で、「2 行っていない」とした人のみ回答してください。  
 問25-1 今後、運動・スポーツを始めてみたいと思いますか？  
 (1つだけ選んで○をお付けください)

問25で、「2 行っていない」の回答者(該当件数521件)に今後の運動・スポーツの開始意向をたずねると、「大いにやりたい」が4.6%、「やりたい」が40.5%で、“やりたい”(「大いにやりたい」と「やりたい」の合計)は、45.1%であり、“やりたくない”(「やりたくない」と「あまりやりたくない」の合計)は53.5%であった。

令和5年度調査(前回)との比較では“やりたい”は53.7%から8.6ポイント減少した。

図25-4 運動・スポーツの開始意向

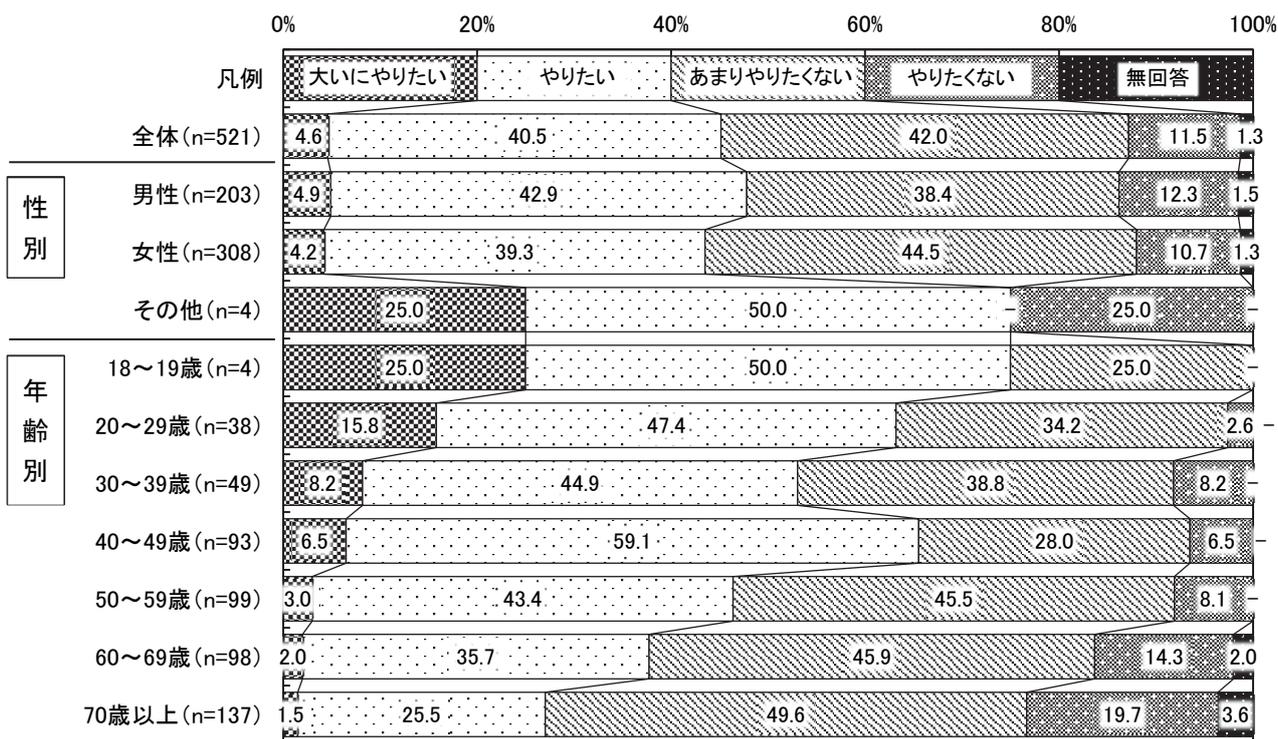


【属性別の傾向】<性別・年齢別>

性別では、「あまりやりたくない」は6.1ポイント『女性』が『男性』より高い。

年齢別では、“やりたい”は、『40～49歳』が65.6%と20.5ポイント、『20～29歳』が63.2%と18.1ポイント、『30～39歳』が53.1%と8.0ポイント、それぞれ全体より高なっている。一方、『70歳以上』では27.0%と各年齢層の中で最も低い。

図25-5 運動・スポーツの開始意向／性別・年齢別

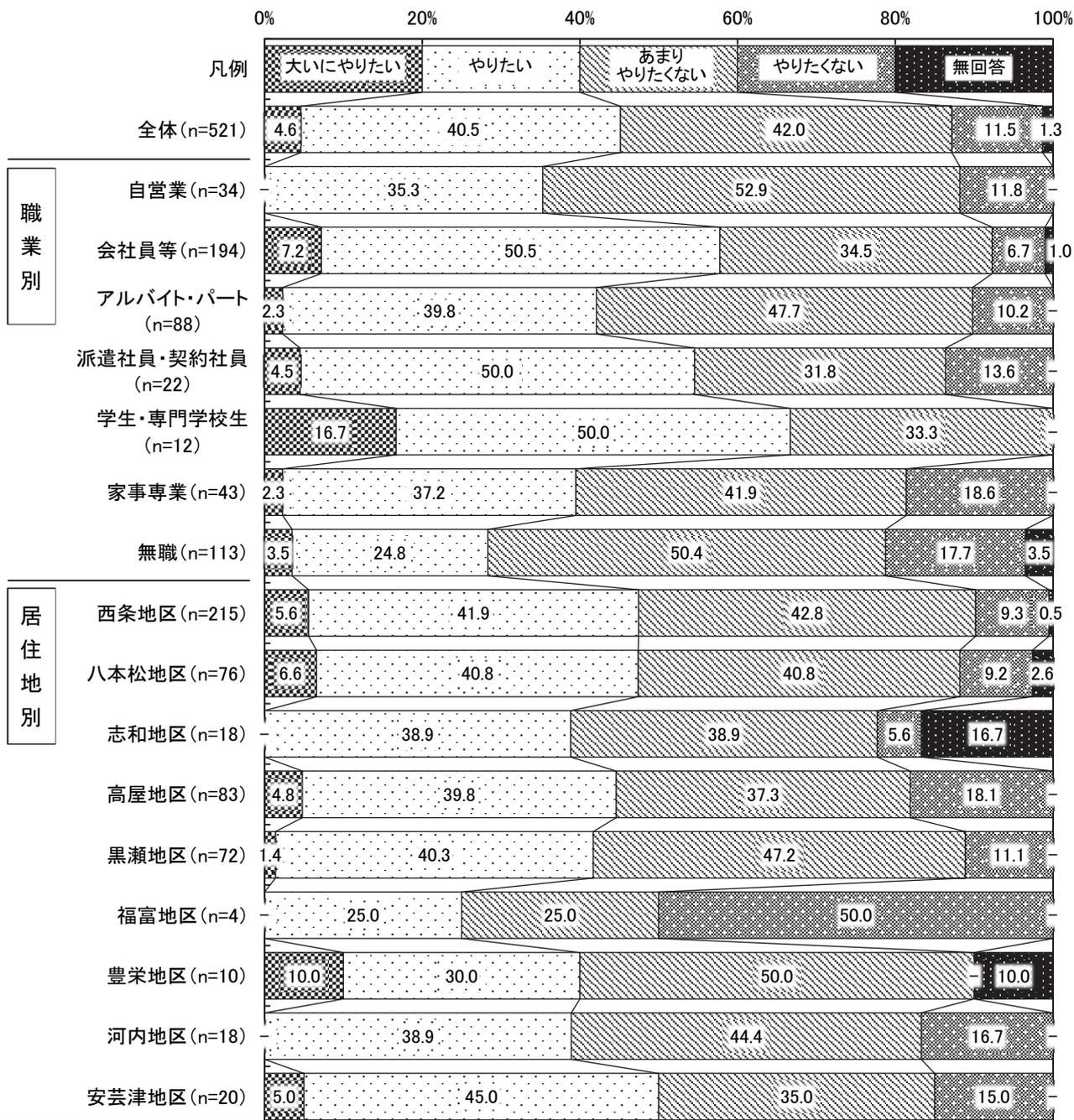


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、“やりたい”（「大いにやりたい」と「やりたい」の合計）については、『会社員等』が57.7%と12.6ポイント全体より高い。“やりたくない”（「やりたくない」と「あまりやりたくない」の合計）については、『無職』が68.1%と14.6ポイント、『自営業』が64.7%と11.2ポイント、『家事専業』が60.5%と7.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、顕著な差はない。

図25-6 運動・スポーツの開始意向／職業別・居住地別

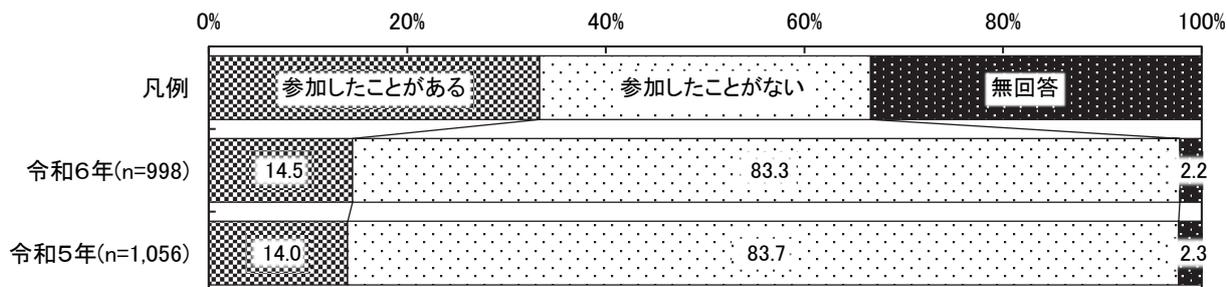


(4) 令和5年度（※前年度）の市や地域の運動やスポーツへの参加状況

問26 令和5年度に、市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがありますか？  
 （1つだけ選んで○をお付けください）

令和5年度（※前年度）の市や地域の運動やスポーツへの参加状況について、「参加したことがある」は14.5%、「参加したことがない」は83.3%となっている。

図26-1 令和5年度（※前年度）の市や地域の運動やスポーツへの参加状況

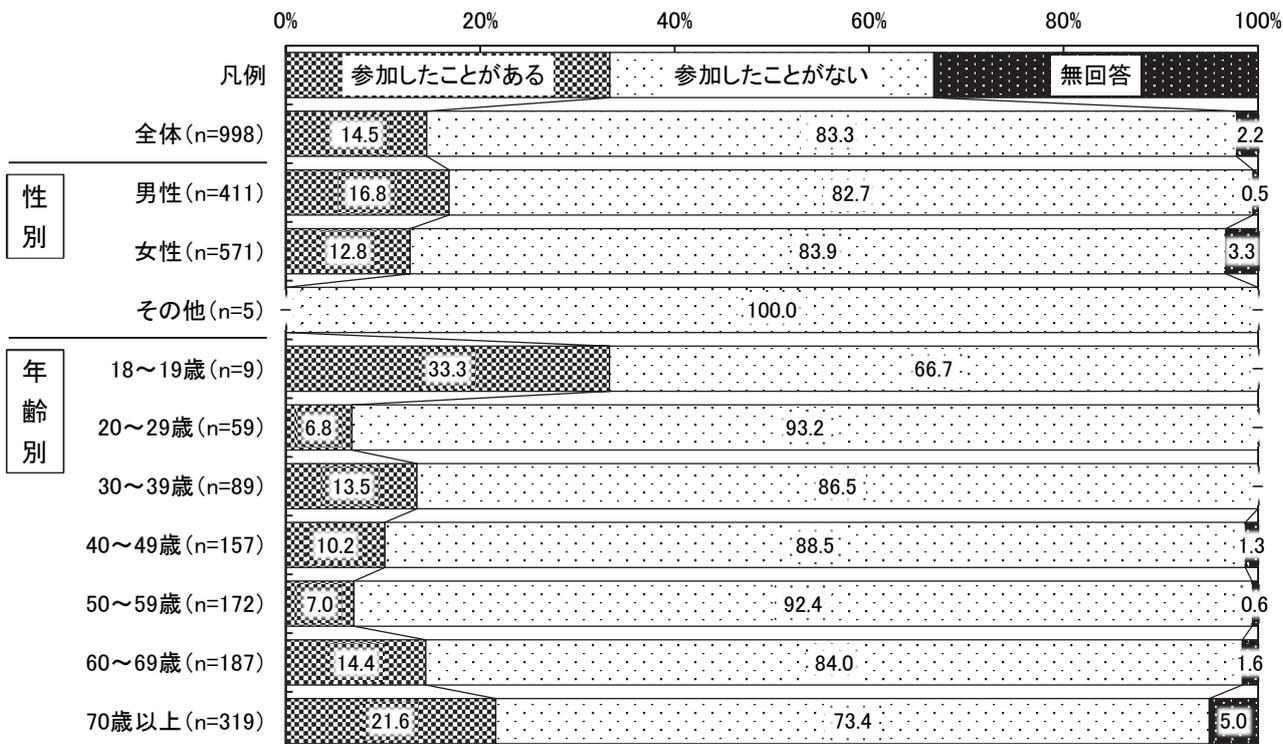


【属性別の傾向】＜性別・年齢別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「参加したことがある」は『70歳以上』が21.6%と7.1ポイント全体より高く、「参加したことがない」は、「20～29歳」が93.2%と9.9ポイント、「50～59歳」が92.4%と9.1ポイント、『40～49歳』が88.5%と5.2ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図26-2 令和5年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況／性別・年齢別

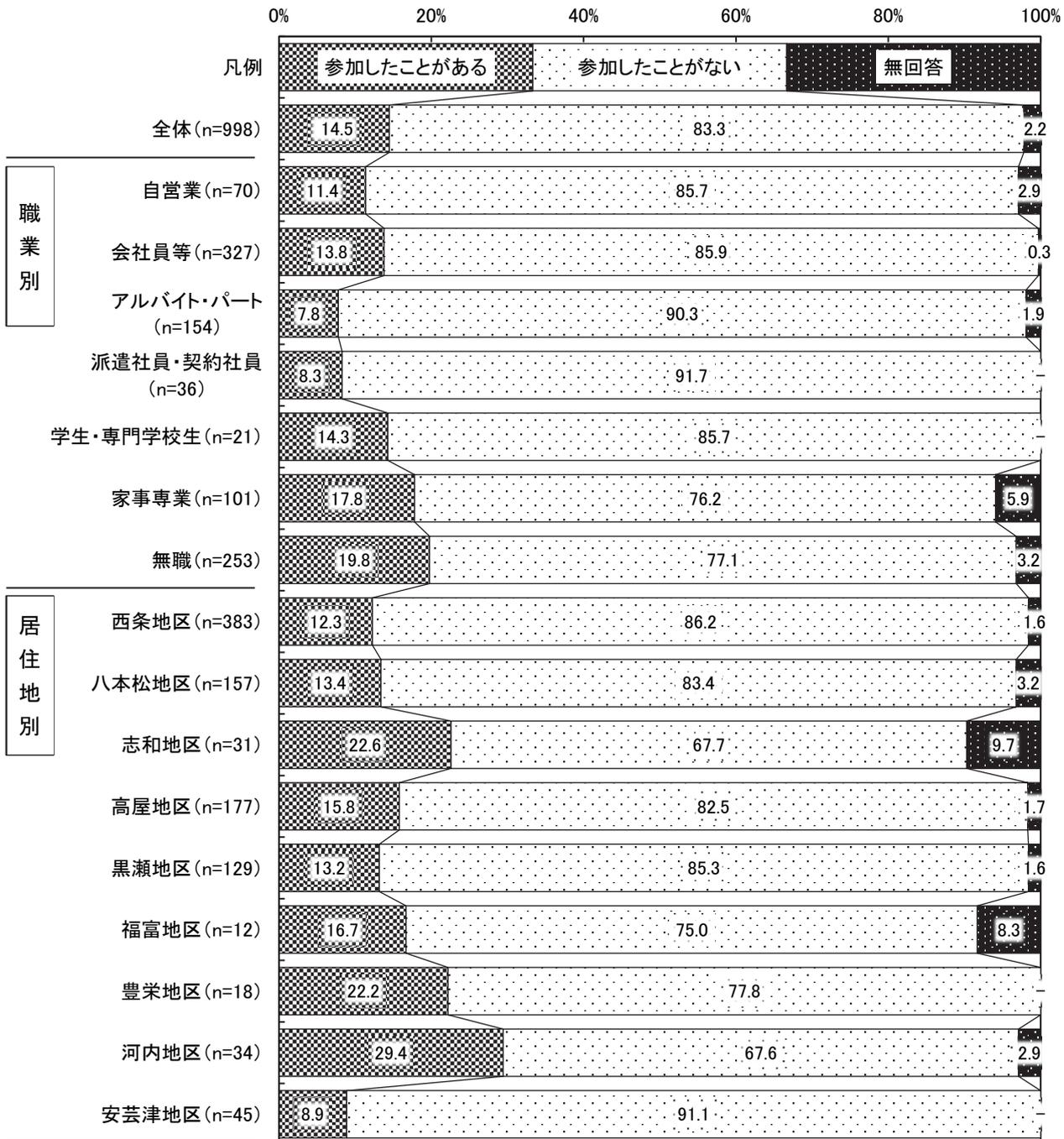


【属性別の傾向】＜職業別・居住地別＞

職業別では、「参加したことがある」は『無職』が19.8%と5.3ポイント、「参加したことがない」は『アルバイト・パート』が90.3%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

居住地別では、「参加したことがある」は『河内地区』が29.4%と14.9ポイント、『志和地区』が22.6%と8.1ポイント、『豊栄地区』が22.2%と7.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

図26-3 令和5年度の市や地域の運動やスポーツへの参加状況／職業別・居住地別

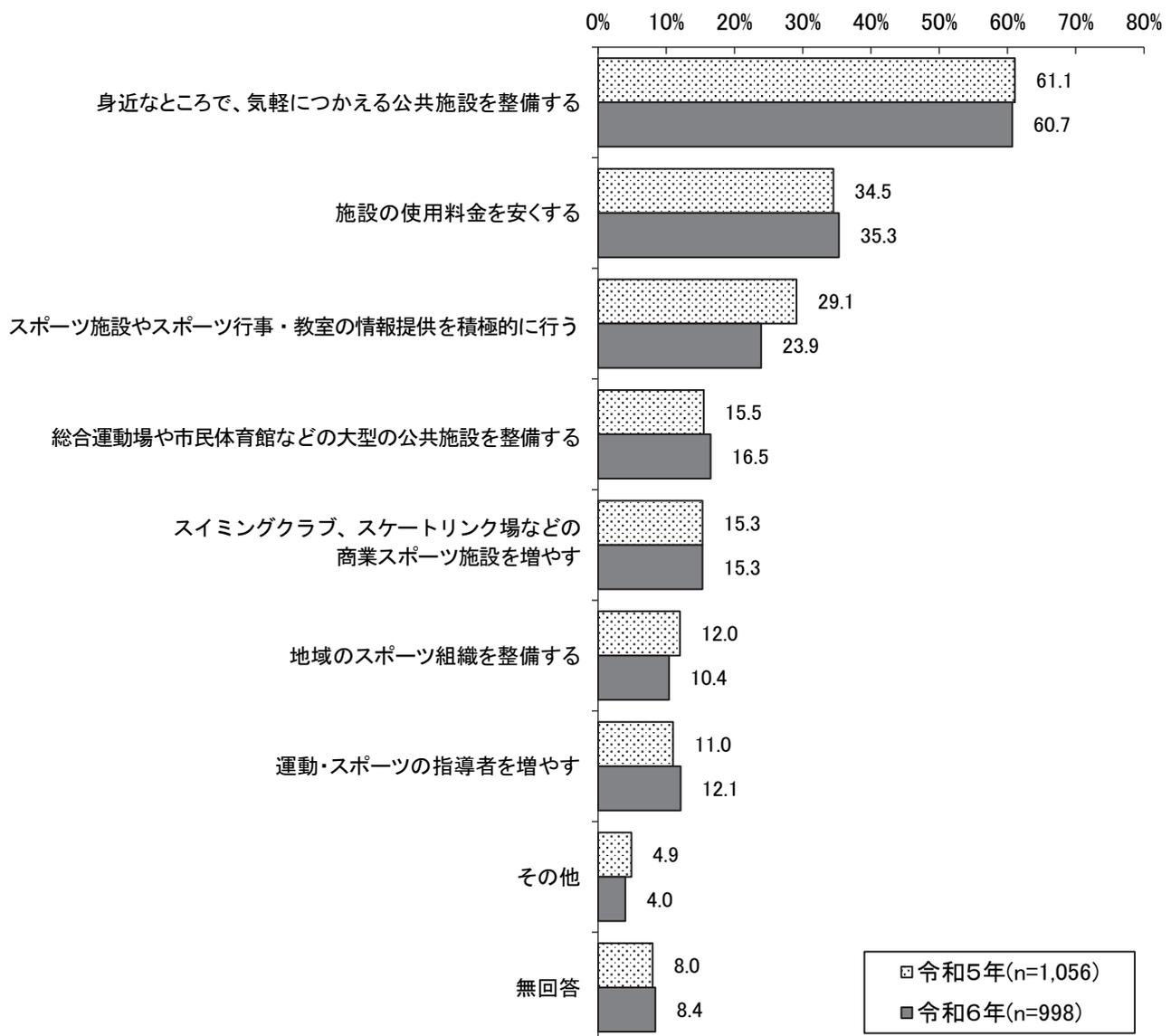


(5) 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項

問27 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか？  
 (当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項については、「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」が60.7%と最も高く、約6割を占めている。次いで、「施設の使用料金を安くする」が35.3%、「スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う」が23.9%と高い。

図27-1 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項<複数回答>



【属性別の傾向】＜性別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」は『20～29歳』が71.2%と10.5ポイント全体より高い。

「施設の使用料金を安くする」は60歳未満の各年齢層で全体より10ポイント以上高くなっている。「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は、『30～39歳』が28.1%と11.6ポイント、『20～29歳』が25.4%と8.9ポイント、『40～49歳』が23.6%と7.1ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

「総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する」は『30～39歳』が22.5%と7.2ポイント、『20～29歳』が22.0%と6.7ポイント、『50～59歳』が21.5%と6.2ポイント、それぞれ全体より高い。

表27-1 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		身近なところで、 気軽につかえる 公共施設を整備する	施設の使用料金を 安くする	教室の情報提供を 積極的に行う	スポーツ施設や スポーツ行事・ 施室の増やす	スイミングクラブ、 スケートリンク場 などの商業スポーツ 施設を増やす	総合運動場や市民 体育館などの大型の 公共施設を整備する	地域のスポーツ 組織を整備する	運動・スポーツの 指導者を増やす	その他	無回答
全体(n=998)		60.7	35.3	23.9	16.5	15.3	12.1	10.4	4.0	8.4	
性別	男性(n=411)	<b>60.1</b>	35.3	23.6	15.8	18.2	15.1	11.7	4.1	6.1	
	女性(n=571)	<b>61.5</b>	35.4	24.5	17.3	13.5	10.2	9.8	3.9	9.8	
	その他(n=5)	80.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	
年齢別	18～19歳(n=9)	55.6	44.4	-	33.3	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	
	20～29歳(n=59)	<b>71.2</b>	47.5	18.6	25.4	22.0	8.5	8.5	1.7	-	
	30～39歳(n=89)	<b>64.0</b>	48.3	28.1	28.1	22.5	9.0	5.6	2.2	1.1	
	40～49歳(n=157)	<b>64.3</b>	46.5	24.2	23.6	17.8	10.8	13.4	3.2	2.5	
	50～59歳(n=172)	<b>59.9</b>	46.5	24.4	20.3	21.5	12.8	14.5	2.3	3.5	
	60～69歳(n=187)	<b>65.2</b>	25.7	25.1	11.8	12.3	12.3	8.6	4.3	5.9	
	70歳以上(n=319)	<b>53.9</b>	23.2	23.8	8.8	9.1	13.5	9.7	5.6	19.1	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

「施設の使用料金を安くする」は『会社員等』が43.1%と7.8ポイント、『アルバイト・パート』が42.9%と7.6ポイント、「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は『会社員等』が22.0%と5.5ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

「身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する」は『黒瀬地区』が66.7%と6.0ポイント、「スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす」は『福富地区』が33.3%と16.8ポイント、「地域のスポーツ組織を整備する」は『河内地区』が26.5%と14.4ポイント、『豊栄地区』が22.2%と10.1ポイント、「運動・スポーツの指導者を増やす」は『福富地区』が25.0%と14.6ポイント、それぞれ全体より高い。

表27-2 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思う事項／職業別・居住地別＜複数回答＞ 単位：%

		身近なところで、 気軽につかえる 公共施設を整備する	施設の使用料金を 安くする	教室の情報提供を 積極的に行う	スポーツ施設や スポーツ行事・ 施設を増やす	スイミングクラブ、 スケートリンク場 などの商業スポーツ 施設を増やす	総合運動場や市民 体育館などの大型の 公共施設を整備する	地域のスポーツ 組織を整備する	運動・スポーツの 指導者を増やす	その他	無回答
全体(n=998)		60.7	35.3	23.9	16.5	15.3	12.1	10.4	4.0	8.4	
職業別	自営業(n=70)	<b>50.0</b>	25.7	21.4	14.3	2.9	14.3	8.6	5.7	10.0	
	会社員等(n=327)	<b>64.8</b>	43.1	25.4	22.0	20.2	11.9	12.2	2.1	0.9	
	アルバイト・パート(n=154)	<b>60.4</b>	42.9	24.7	13.6	14.3	11.0	7.1	1.9	7.1	
	派遣社員・契約社員(n=36)	<b>72.2</b>	52.8	13.9	19.4	16.7	8.3	11.1	5.6	2.8	
	学生・専門学校生(n=21)	<b>66.7</b>	52.4	9.5	38.1	38.1	14.3	9.5	4.8	4.8	
	家事専業(n=101)	<b>63.4</b>	27.7	25.7	17.8	10.9	9.9	14.9	4.0	14.9	
	無職(n=253)	<b>56.9</b>	23.7	25.7	9.5	12.3	13.8	8.3	6.7	15.4	
居住地別	西条地区(n=383)	<b>63.4</b>	38.1	27.9	20.9	19.8	9.4	9.7	3.1	5.2	
	八本松地区(n=157)	<b>59.2</b>	40.1	25.5	14.6	15.3	13.4	10.2	3.2	8.9	
	志和地区(n=31)	<b>54.8</b>	16.1	19.4	6.5	-	19.4	6.5	9.7	22.6	
	高屋地区(n=177)	<b>59.9</b>	35.6	19.2	16.9	13.0	13.6	12.4	6.8	7.9	
	黒瀬地区(n=129)	<b>66.7</b>	33.3	23.3	10.9	12.4	9.3	9.3	3.1	7.0	
	福富地区(n=12)	16.7	25.0	25.0	33.3	8.3	16.7	25.0	8.3	8.3	
	豊栄地区(n=18)	<b>61.1</b>	11.1	16.7	16.7	-	22.2	11.1	-	22.2	
	河内地区(n=34)	<b>50.0</b>	29.4	20.6	11.8	17.6	26.5	11.8	2.9	17.6	
	安芸津地区(n=45)	<b>55.6</b>	31.1	17.8	6.7	13.3	13.3	13.3	2.2	15.6	

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

## 1 1. 困りごとがあったときの相談先（相談相手）について

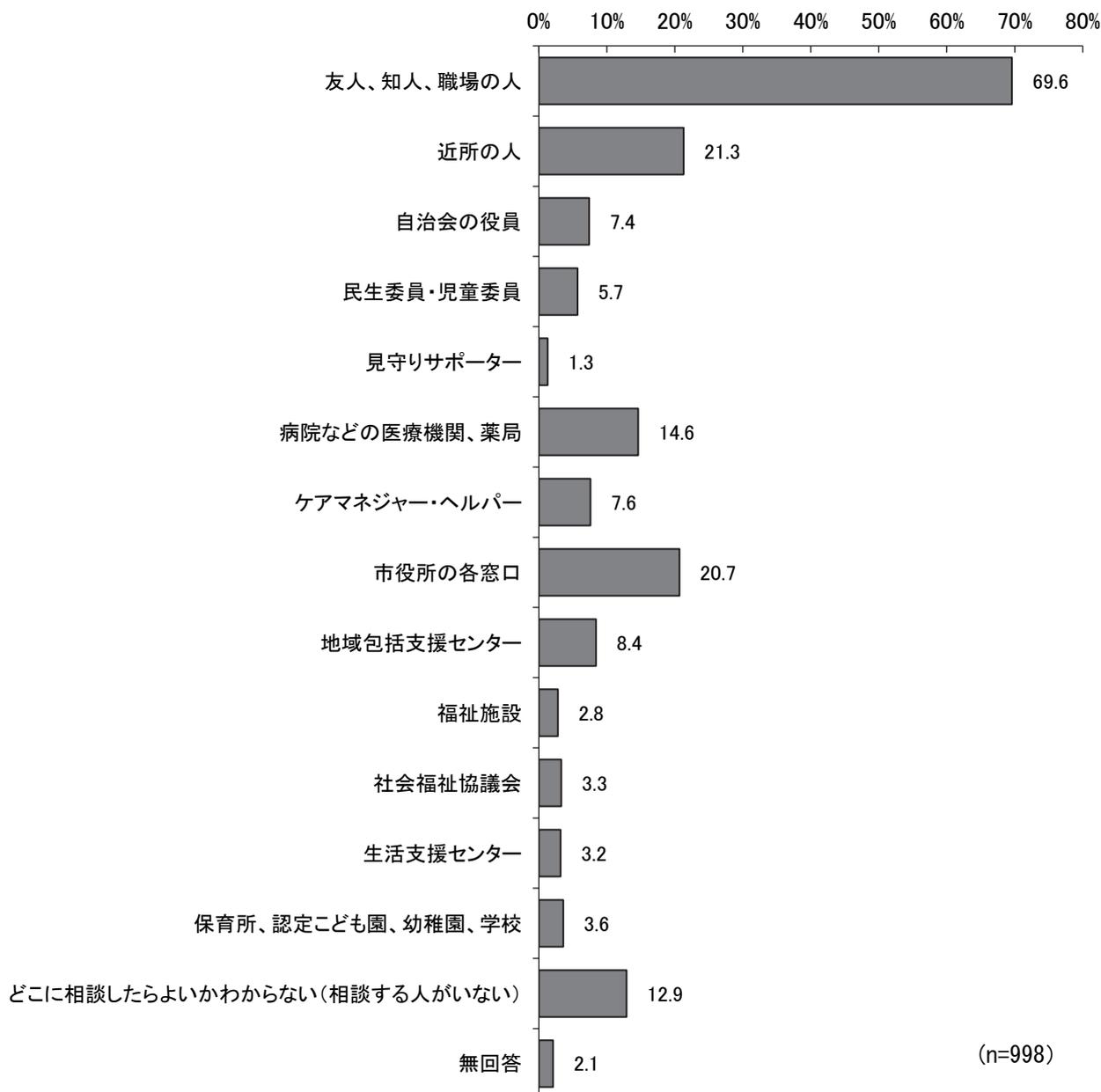
### (1) 困りごとがあったときの相談先（相談相手）

問28 日常生活で困りごとが発生したとき、家族（親族）以外では、誰（どこ）に相談しますか。（当てはまるもの全てを選んで○をお付けください）

日常生活で困りごとが発生したときの相談先（相談相手）については、「友人、知人、職場の人」が69.6%と最も高く、次いで、「近所の人」が21.3%、「市役所の窓口」が20.7%、「病院などの医療機関、薬局」が14.6%となっている。

「どこに相談したらよいかわからない（相談する人がいない）」は12.9%であった。

図28-1 困りごとがあったときの相談先（相談相手）＜複数回答＞



【属性別の傾向】＜性別＞

性別では、男女で顕著な差はない。

【属性別の傾向】＜年齢別＞

全ての年齢層で「友人、知人、職場の人」と回答した割合が最も高いが、50歳未満の各年齢層でそれぞれ全体より10ポイント以上高く、若年層ほど高くなっている。

「近所の人」は『70歳以上』が33.2%と11.9ポイント、『60～69歳』が28.3%と7.0ポイント、それぞれ全体より高い。

「自治会の役員」、「民生委員・児童委員」、「病院などの医療機関、薬局」、「市役所の各窓口」、「地域包括支援センター」は『70歳以上』でそれぞれ全体より5ポイント以上高くなっている。

「保育所、認定子ども園、幼稚園、学校」は『30～39歳』が18.0%と14.4ポイント全体より高くなっている。

表28-1 困りごとがあったときの相談先（相談相手）／性別・年齢別＜複数回答＞

単位：%

		友人、知人、職場の人	近所の人	自治会の役員	民生委員・児童委員	見守りサポーター	病院などの医療機関、薬局	ケアマネジャー・ヘルパー	市役所の各窓口	地域包括支援センター	福祉施設	社会福祉協議会	生活支援センター	幼稚園、学校、保育所、認定子ども園	どこに相談したらよいか （相談する人がいない）	無回答
全体(n=998)		69.6	21.3	7.4	5.7	1.3	14.6	7.6	20.7	8.4	2.8	3.3	3.2	3.6	12.9	2.1
性別	男性(n=411)	<b>67.4</b>	21.2	10.2	5.6	1.2	14.1	5.8	21.9	7.5	2.9	3.4	3.6	1.9	15.1	1.5
	女性(n=571)	<b>71.6</b>	21.0	5.6	6.0	1.4	15.1	8.9	20.0	8.9	2.6	3.0	3.0	4.9	11.6	2.6
	その他(n=5)	60.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～19歳(n=9)	100.0	22.2	-	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-
	20～29歳(n=59)	<b>84.7</b>	3.4	-	-	-	1.7	-	6.8	-	1.7	-	3.4	1.7	11.9	-
	30～39歳(n=89)	<b>87.6</b>	10.1	3.4	-	-	5.6	2.2	9.0	2.2	3.4	-	1.1	<b>18.0</b>	9.0	-
	40～49歳(n=157)	<b>79.6</b>	10.8	0.6	-	-	8.9	3.2	14.6	-	0.6	0.6	1.3	7.6	12.1	1.3
	50～59歳(n=172)	<b>72.1</b>	13.4	5.8	1.2	1.2	15.1	9.9	20.3	9.9	1.2	0.6	2.9	1.7	16.9	1.2
	60～69歳(n=187)	<b>69.5</b>	28.3	10.7	5.9	1.1	16.6	9.1	24.1	8.0	2.7	2.7	4.3	1.1	12.8	1.1
	70歳以上(n=319)	<b>54.5</b>	<b>33.2</b>	12.5	13.8	2.8	21.3	11.0	28.2	15.4	5.0	7.8	4.4	0.3	12.9	4.7

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、サンプル数が20未満はしない。

【属性別の傾向】＜職業別＞

全ての職業で「友人、知人、職場の人」と回答した割合が最も高い。「近所の人」は『無職』が33.6%と12.3ポイント、『家事専業』が32.7%と11.4ポイント、それぞれ全体より高い。

「市役所の各窓口」は『無職』が32.0%と11.3ポイント、『家事専業』が26.7%と6.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

【属性別の傾向】＜居住地別＞

全ての職業で「友人、知人、職場の人」と回答した割合が最も高い。「近所の人」は『福富地区』が50.0%と28.7ポイント、『安芸津地区』が40.0%と18.7ポイント、『河内地区』が29.4%と8.1ポイント、それぞれ全体より高い。

「病院などの医療機関、薬局」は『志和地区』が25.8%と11.2ポイント、「福祉施設」は『河内地区』が14.7%と11.9ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表28-2 困りごとがあったときの相談先（相談相手）／職業別・居住地別＜複数回答＞

単位：%

		友人、知人、職場の人	近所の人	自治会の役員	民生委員・児童委員	見守りサポーター	病院などの医療機関、薬局	ケアマネジャー・ヘルパー	市役所の各窓口	地域包括支援センター	福祉施設	社会福祉協議会	生活支援センター	保育園、認定こども園、幼稚園、学校	どこに相談したらよいか わからない (相談する人がいない)	無回答
全体(n=998)		69.6	21.3	7.4	5.7	1.3	14.6	7.6	20.7	8.4	2.8	3.3	3.2	3.6	12.9	2.1
職業別	自営業(n=70)	<b>71.4</b>	22.9	10.0	4.3	-	15.7	4.3	17.1	8.6	1.4	4.3	2.9	1.4	14.3	1.4
	会社員等(n=327)	<b>78.6</b>	11.9	3.7	0.3	0.3	10.1	5.2	14.1	4.0	0.9	0.9	1.5	5.2	13.1	0.3
	アルバイト・パート(n=154)	<b>79.9</b>	16.2	5.2	1.3	-	14.3	5.8	19.5	1.9	1.9	-	2.6	7.1	10.4	1.3
	派遣社員・契約社員(n=36)	<b>77.8</b>	13.9	8.3	5.6	2.8	5.6	2.8	13.9	2.8	-	-	2.8	-	13.9	-
	学生・専門学校生(n=21)	<b>100.0</b>	9.5	-	-	-	4.8	-	-	-	-	-	-	4.8	-	-
	家事専業(n=101)	<b>60.4</b>	<b>32.7</b>	7.9	11.9	4.0	19.8	9.9	<b>26.7</b>	12.9	2.0	5.9	5.9	5.0	13.9	5.0
	無職(n=253)	<b>51.4</b>	<b>33.6</b>	13.8	14.2	2.8	22.1	13.4	<b>32.0</b>	16.2	5.9	7.9	5.1	0.4	14.6	4.7
居住地別	西条地区(n=383)	<b>76.5</b>	15.1	3.4	2.6	1.3	12.8	5.2	20.9	7.0	1.6	1.6	1.8	5.7	12.3	1.3
	八本松地区(n=157)	<b>68.8</b>	22.9	9.6	7.0	0.6	17.8	8.9	17.2	8.9	1.3	1.9	4.5	2.5	12.7	2.5
	志和地区(n=31)	<b>48.4</b>	22.6	9.7	6.5	-	<b>25.8</b>	16.1	29.0	3.2	3.2	3.2	3.2	6.5	16.1	3.2
	高屋地区(n=177)	<b>67.2</b>	25.4	9.6	2.8	0.6	13.6	8.5	22.6	9.6	2.3	1.7	2.3	4.0	13.0	2.8
	黒瀬地区(n=129)	<b>66.7</b>	20.2	11.6	9.3	2.3	16.3	6.2	19.4	8.5	3.9	5.4	4.7	0.8	14.0	2.3
	福富地区(n=12)	<b>75.0</b>	<b>50.0</b>	16.7	8.3	-	16.7	8.3	16.7	8.3	-	8.3	-	-	-	8.3
	豊栄地区(n=18)	<b>55.6</b>	22.2	-	<b>22.2</b>	5.6	11.1	11.1	22.2	16.7	5.6	11.1	5.6	-	11.1	5.6
	河内地区(n=34)	<b>61.8</b>	29.4	11.8	11.8	2.9	17.6	11.8	17.6	11.8	<b>14.7</b>	11.8	2.9	-	17.6	-
	安芸津地区(n=45)	<b>55.6</b>	<b>40.0</b>	11.1	15.6	2.2	13.3	15.6	22.2	8.9	8.9	11.1	11.1	-	15.6	2.2

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。

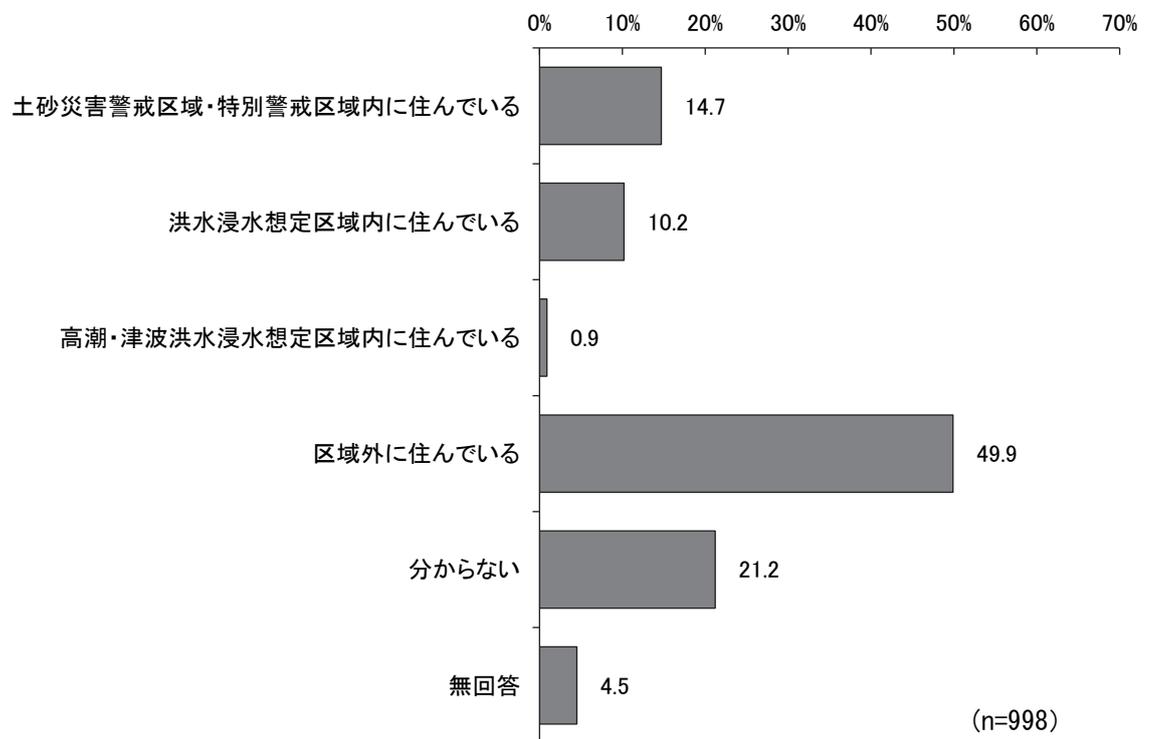
## 12. 防災について

### (1) 土砂災害警戒区域などへの居住状況

問29 土砂災害警戒区域など(※)にお住まいですか。  
(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

土砂災害警戒区域などへの居住状況については、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は14.7%、「洪水浸水想定区域内に住んでいる」は10.2%、「高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる」は0.9%、「区域外に住んでいる」は49.9%、「分からない」は21.2%となっている。

図28-1 土砂災害警戒区域などへの居住状況<複数回答>



## 【属性別の傾向】

性別では、男女で顕著な差はない。

年齢別では、「分からない」は『20～29歳』が21.2ポイント、『30～39歳』が6.9ポイント全体より高く、40歳未満の年齢層で高い。「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『70歳以上』が7.9ポイント全体より高い。

職業別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『自営業』が11.0ポイント、『無職』が5.5ポイント、「区域外に住んでいる」は『会社員等』が6.7ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

居住地別では、「土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる」は『志和地区』、『福富地区』、『豊栄地区』、『河内地区』、『安芸津地区』が10ポイント以上、『高屋地区』が5.1ポイント、それぞれ全体より高い。「区域外に住んでいる」は『黒瀬地区』が8.2ポイント、『西条地区』が6.0ポイント、それぞれ全体より高くなっている。

表29-1 土砂災害警戒区域などへの居住状況<複数回答>

単位：%

		土砂災害警戒区域・特別警戒区域内に住んでいる	洪水浸水想定区域内に住んでいる	高潮・津波洪水浸水想定区域内に住んでいる	区域外に住んでいる	分からない	無回答
全体(n=998)		14.7	10.2	0.9	49.9	21.2	4.5
性別	男性(n=411)	15.8	10.2	1.0	<b>52.3</b>	19.5	2.7
	女性(n=571)	14.2	10.2	0.9	<b>48.7</b>	22.8	4.9
	その他(n=5)	20.0	20.0	-	40.0	20.0	-
年齢別	18～19歳(n=9)	11.1	11.1	-	33.3	44.4	-
	20～29歳(n=59)	8.5	6.8	-	<b>42.4</b>	<b>42.4</b>	-
	30～39歳(n=89)	6.7	7.9	-	<b>55.1</b>	28.1	2.2
	40～49歳(n=157)	10.2	14.0	-	<b>54.1</b>	19.7	1.9
	50～59歳(n=172)	9.9	7.0	1.2	<b>55.2</b>	25.0	2.3
	60～69歳(n=187)	16.0	12.3	-	<b>51.3</b>	18.2	2.7
	70歳以上(n=319)	<b>22.6</b>	10.3	2.2	<b>45.1</b>	15.7	8.2
職業別	自営業(n=70)	<b>25.7</b>	5.7	-	<b>54.3</b>	10.0	4.3
	会社員等(n=327)	9.2	10.7	0.6	<b>56.6</b>	22.0	1.2
	アルバイト・パート(n=154)	15.6	7.8	-	<b>48.1</b>	<b>26.6</b>	2.6
	派遣社員・契約社員(n=36)	11.1	5.6	-	<b>44.4</b>	<b>36.1</b>	2.8
	学生・専門学校生(n=21)	9.5	9.5	-	33.3	<b>47.6</b>	-
	家事専業(n=101)	13.9	13.9	-	<b>43.6</b>	22.8	8.9
	無職(n=253)	20.2	10.7	2.4	<b>49.8</b>	15.4	5.5
居住地別	西条地区(n=383)	7.0	13.3	-	<b>55.9</b>	21.4	2.3
	八本松地区(n=157)	17.8	2.5	-	<b>54.1</b>	23.6	1.9
	志和地区(n=31)	<b>38.7</b>	19.4	-	<b>38.7</b>	3.2	6.5
	高屋地区(n=177)	19.8	3.4	-	<b>50.8</b>	22.0	4.0
	黒瀬地区(n=129)	9.3	9.3	-	<b>58.1</b>	17.8	6.2
	福富地区(n=12)	<b>33.3</b>	-	-	25.0	25.0	<b>16.7</b>
	豊栄地区(n=18)	<b>33.3</b>	16.7	-	16.7	22.2	11.1
	河内地区(n=34)	26.5	26.5	-	20.6	<b>29.4</b>	2.9
	安芸津地区(n=45)	<b>26.7</b>	22.2	20.0	20.0	<b>26.7</b>	6.7

※数値の太字は、属性における割合が最も高いものを示す。数値の薄い色付きは全体より5～10ポイント未満の範囲で高いもの、数値の濃い色付きは全体より10ポイント以上高いものを示す。但し、性別、年齢別のサンプル数が10未満はしない。

<資料編>

令和6年度 東広島市市民満足度調査

調査票



# 令和6年度 東広島市市民満足度調査 ご協力のおねがい

～市民のみなさまのご意見をお聞かせください～

## ◆調査の概要とご記入上の注意点

- 1 この調査は、東広島市に住民票があり、居住している18歳以上の方の中から、無作為に抽出した2,500人の方を対象に、郵送またはインターネットによりアンケート調査を行うものです。
- 2 この調査の結果は、「第五次東広島市総合計画」を計画的かつ効率的に推進するため、市の施策に係る市民のニーズや満足度を把握するとともに、今後の施策展開における基礎資料として活用します。
- 3 この調査票は、どなたが記入したものかわからないようになっています。回答内容は統計処理を行うため、個人が特定されることはありません。なお、ご回答いただいた内容は、本調査の目的以外には一切使用いたしません。
- 4 この調査の回答は、お送りしたあて名のご本人がお答えください。  
ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方などが記入してください。
- 5 令和6年7月25日（木）までにご回答ください。郵送回答の場合は、記入後はこの「調査票」を同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）
- 6 ご不明な点などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

■お問い合わせ先 東広島市役所 総務部 政策推進監（担当：岡本）  
〒739-8601 東広島市西条栄町8-29  
TEL：082-420-0917 FAX：082-420-0402  
E-mail：hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

## ■インターネット回答のご案内

この調査は、インターネットからも回答できます。  
右の二次元コードをスマートフォンなどから読み取り、  
回答ページにアクセスしてご回答ください。

●インターネット  
回答ページ  
二次元コード



URLを入力して回答ページにアクセスする場合は、ウェブブラウザのインターネットアドレス欄に、  
下のURLを全て半角英数字で入力し、キーボードの「Enter」キーを押してください。

●URL：

## ■「アンケート回答者への特産品抽選プレゼントキャンペーン」のご案内

この調査にインターネットから回答された方は、抽選で東広島市特産品が当たる「アンケート回答者への特産品抽選プレゼントキャンペーン」に応募できます（応募せずに終了することもできます）。

**キャンペーン応募には、「市民ポータルサイト」への登録とログインが必要です。**

※インターネット回答と  
キャンペーンの応募には  
下の応募番号が必要です。



「市民ポータルサイト」に  
登録していない方

アンケート回答後に表示されるキャンペーンの応募画面からは  
新規登録ができません。この調査票の最後のページを参考に、  
アンケート回答の前に「市民ポータルサイト」にご登録ください。

最後の  
ページへ

# 令和6年度 市民満足度調査 調査票

## ■ご記入上の注意点

- この「調査票」は、どなたのものか分からないようになっています。  
回答内容は統計処理を行うため、個人が特定されることはありません。日頃、お考えのことやお感じになられていることなどをそのままご記入ください。
- ご回答は、当てはまるものの番号を指示された数だけ○で囲んでください。
- 「その他」に当てはまるときは、具体的な内容を（ ）内にご記入ください。

### 1 現在の住環境についておたずねします。

問1 あなたは、東広島市にお住まいになって何年位になりますか。(1つだけ選んで○をお付けください)  
※合併前の旧市・旧町を含めてお答えください。

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 1 1年未満       | 2 1年以上5年未満   | 3 5年以上10年未満 |
| 4 10年以上20年未満 | 5 20年以上30年未満 | 6 30年以上     |

問2 あなたは、東広島市の住み心地についてどう感じていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- |           |                 |                 |
|-----------|-----------------|-----------------|
| 1 大変住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 4 住みにくい   | 5 どちらともいえない     |                 |

問3 あなたは、今後も東広島市に住み続けたいと思いますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 ずっと住み続けたい    | 2 当分の間住み続けたい |
| 3 市内の他の地域へ移りたい | 4 他市町村へ移りたい  |
| 5 わからない        |              |

問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分の間住み続けたい」とお答えの方におたずねします。

問3-1 住み続けたい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利         | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利 |
| 3 買い物などの日常生活が便利             | 4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実している        | 6 豊かな自然に恵まれている                 |
| 7 地域に愛着と誇りを持っている            | 8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい    |
| 9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい | 10 地価や家賃が安い(広い家屋や敷地で暮らせる)      |
| 11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい    | 12 気候がよく、住みやすい                 |
| 13 犯罪や災害が少なく、暮らしていて安全       | 14 親や子、親戚が近くに住んでいる             |
| 15 その他( )                   | 16 特に理由はない                     |

**問3で「3 市内の他の地域へ移りたい」「4 他市町村へ移りたい」とお答えの方におたずねします。**

問3-2 移転・転出したい理由は何ですか。(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- |                              |                                  |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1 通勤・通学が不便                   | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)の整備が不足しており不便 |
| 3 買い物などの日常生活が不便              | 4 文化施設や遊ぶところが少なく、充実した余暇を過ごせない    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実していない        | 6 都心など、もっと都会に住みたい                |
| 7 地域に愛着を感じない(地域に溶け込めない)      | 8 発展途上であるなど、都市のイメージがよくない         |
| 9 保育・教育環境が充実しておらず、子育て環境がよくない | 10 地価や家賃が高い                      |
| 11 騒音・悪臭など公害があり、住環境がよくない     | 12 気候が悪く(暑い、寒いなど)、住みにくい          |
| 13 犯罪や災害が多く、暮らして不安           | 14 家庭の都合により、転居したい                |
| 15 進学や転勤の都合により、当面居住しているだけである |                                  |
| 16 その他( )                    | 17 特に理由はない                       |

**過去に、東広島市に転居して来られた方におたずねします。**

※生まれてから、東広島市内にずっとお住まいの方は問5へお進みください、

問4 転居して来られる際に重視したことは何ですか。(主な理由を3つまで選んで○をお付けください)

- |                             |                                |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1 職場や学校に近く、通勤・通学が便利         | 2 移動環境(高速道路や空港、電車など)が整備されており便利 |
| 3 買い物などの日常生活が便利             | 4 文化施設や遊ぶところがあり、充実した余暇を過ごせる    |
| 5 医療機関や福祉サービスが充実している        | 6 豊かな自然に恵まれている                 |
| 7 地域に愛着と誇りを持っている            | 8 大学が立地し、成長を続けるなど都市のイメージがよい    |
| 9 保育・教育環境が充実しているなど、子育て環境がよい | 10 地価や家賃が安い(広い家屋や敷地で暮らせる)      |
| 11 騒音・悪臭などの公害が少なく、住環境がよい    | 12 気候がよく、住みやすい                 |
| 13 犯罪や災害が少なく、暮らして安全         | 14 親や子、親戚が近くに住んでいる             |
| 15 その他( )                   | 16 特に理由はない                     |

## 2 市政運営についておたずねします。

問5 国をはじめとした全国的な財政状況の悪化に伴い、従来どおりの行政サービスの維持さえ難しくなることも予想されます。

あなたは、今後の行政サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1 行政サービスが向上するなら、負担が増えても構わない         |
| 2 現行の行政サービスを維持するためには、現状程度の負担はやむを得ない |
| 3 行政サービスが低下しても、現状程度の負担より少ない方がよい     |
| 4 その他( )                            |

### 3 市が実施している施策の満足度と今後の重要度についておたずねします。

問6 次の表は、東広島市が実施している各施策を示しています。  
 あなたは、次の各項目の施策について、現在、どれくらい満足されていますか。  
 また、今後のまちづくりを進めていくうえで、どれくらい重要だと思われますか。  
 (各項目の満足度・重要度それぞれ1つずつ選んで○をお付けください)

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
5-1 防災の強化・推進 (取組み例) 「地域における防災体制の充実」、「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 1 産業分野について

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
1-1 産学金官の連携による新産業の創出 「共同研究等による新事業・新産業の創出」、「試験研究機関等の誘致・連携」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-2 地元企業の創出・強化 「地域資源を活かした新たな事業の創出促進」、「中小企業の経営基盤の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-3 商業・サービス業の集積・強化 「商業・サービス業の集積」、「中小企業者の経営基盤強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-4 産業集積の推進 「企業誘致・留置活動の促進」、「産業用地の確保・創出」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-5 農業の強化 「農業の担い手育成」、「農業経営体制の強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-6 森林の保全・整備 「林業生産基盤の整備」、「森林の保全」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-7 漁業・養殖業の推進 「漁業経営体の育成・強化」、「水産資源・漁場環境の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-8 地域資源を活かした観光地づくり 「魅力的な観光地づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1-9 労働・雇用環境の充実 「多様な雇用・就業機会の創出」、「働き方の改革による生産性の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 2 生活・環境分野について

2-1 住みよい都市の形成 「良好な土地利用のための規制と誘導」、「良好な市街地の形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-2 緑あふれる環境整備 「安全で快適な公園、緑地空間の整備」、「斎場、墓地の利便性向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
2-3 良好な住宅ストックの形成 「良好な住宅・宅地の形成促進」、「市営住宅の整備」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-4 公共交通網の充実 「地域住民の移動手段の確保・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-5 道路網の整備 「日常的な生活道の整備、維持管理」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-6 ごみ減量化・リサイクルの推進 「廃棄物処理体制の充実」、「ごみの減量化・リサイクルの推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-7 良質な水の供給・整備 「安全な水の供給」「災害に強い水道の整備」「水道サービスの持続性の確保」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-8 汚水処理の推進 「公共下水道の整備、更新」、「浄化槽設置と適切な維持管理の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-9 環境汚染の防止 「水や大気などの環境汚染対策」、「環境保全意識の向上」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-10 自然環境・動植物の保全 「環境や動植物の保全」、「まちの美化活動推進や不法投棄防止」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-11 地球温暖化防止の推進 「地球温暖化対策の推進」、「環境問題に対する意識啓発」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-12 市民主体の地域社会の形成 「地域コミュニティの活性化」、「市民主体のまちづくり活動の活性化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-13 市民参画の推進 「市民協働の推進」、「行政情報の積極的な提供」「多様な市民参画手法の確立」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-14 多文化共生の推進 「外国人市民の生活環境の充実」、「国際交流の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2-15 国際貢献・留学生支援 「国際協力」、「留生活活動支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

### 3 人権・教育・芸術・文化・スポーツ分野について

3-1 人権・平和行政の推進 「人権教育の推進」、「男女共同参画の推進」、「平和行政の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-2 保育サービスの充実 「利用者ニーズに応じた保育環境・サービスの充実」、「児童の活動拠点づくり」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-3 教育環境の整備・充実 「学校施設・設備の充実」、「就学・就園に関する経済的な支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-4 学校教育の充実 「学校教育内容の充実」、「教職員の指導力の向上」、「特別支援教育の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-5 青少年健全育成の推進 「青少年の健全育成を支える環境づくり」、「青少年問題への的確な対応」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-6 生涯学習活動の充実 「生涯学習機会の充実や情報提供」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-7 芸術・文化の活性化 「芸術・文化活動の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-8 歴史・文化財の保護と活用 「文化財の保護と活用」「文化財歴史展示施設の整備・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3-9 スポーツ環境の形成 「イベントによるスポーツ活動の活性化」、「スポーツ施設の整備・充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 4 都市機能・移住・定住分野について

項目	満足度					重要度				
	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない
4-1 大学や学生との交流・連携推進 「大学との連携推進」「学生の地域活動の促進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-2 移住・定住の促進 「移住・定住希望者への支援・情報発信」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-3 都市拠点・地域拠点の機能強化 「市内の都市拠点・地域拠点それぞれの機能強化」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-4 地域の景観の保全・形成 「地域の景観保全と形成」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-5 広域・高速交通体系の強化 「高速道路・幹線道路などの利便性向上」「市内外への円滑な移動手段の更なる改善」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4-6 情報通信技術の整備・活用 「インターネット利用環境の整備」「マイナンバー制度の活用」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 5 防災・健康・医療・福祉分野について

5-1 防災の強化・推進 「地域における防災体制の充実」「災害に強い基盤整備の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-2 市民の安全・安心社会の形成 「地域ぐるみの防犯対策の推進」「安心できる消費者生活の実現」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-3 消防・救急・救助体制の強化 「迅速に対応できる消防体制の強化」「救急体制の強化」「火災予防の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-4 地域医療の構築 「地域医療の充実」「救急医療体制の構築」「医療保険の健全な運営」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-5 健康づくりの推進 「健康づくりの支援」「介護予防の取組み支援」「感染症等の予防」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-6 高齢者支援の推進 「高齢者の在宅生活が継続できる環境づくり」「認知症の地域支援の推進」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-7 障害者支援の推進 「障害者の地域生活支援体制の形成」「障害者の雇用・就労機会の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-8 地域福祉の形成 「地域福祉の推進体制の充実」「生活困窮者への自立支援」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5-9 子育て支援の充実 「子育てに関する切れ目ない支援の充実」「子育てに伴う経済的負担の軽減」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 6 行政運営分野について

6-1 市民本位のサービスの提供・充実 「市民本位のサービス提供」「インターネットを活用したサービス提供の充実」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6-2 行政経営の向上 「計画的な財政運営」「公共施設の適正配置」「近隣市町との機能分担」など	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

#### 4 人権・男女共同参画についておたずねします。

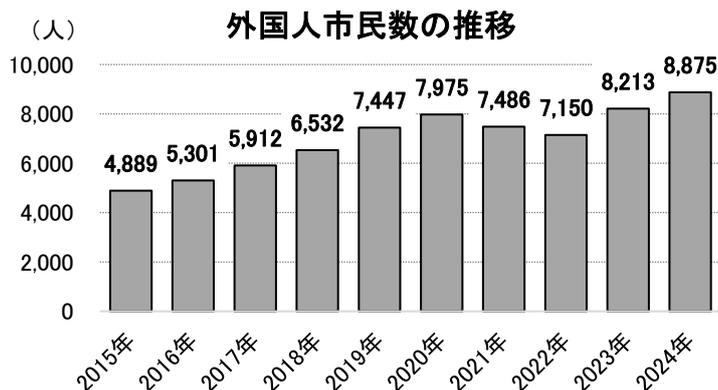
問7 あなたは、次の①～③について、どのように感じていますか。また、④⑤の考え方に賛成ですか、反対ですか。（それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください。）

項 目	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも 言えない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	わからない
① 日常生活の中で、人権が大切にされている。	1	2	3	4	5	6
② 差別をなくすために、全ての人が自分の問題として考える必要がある。	1	2	3	4	5	6
③ 普段の生活の中で、仕事と生活がともに充実している。	1	2	3	4	5	6
④ 地域社会（職場を含む。）において、男女の地位は平等であるべきだ。	1	2	3	4	5	6
⑤ 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである。	1	2	3	4	5	6

#### 5 「多文化共生のまちづくり」についておたずねします。

東広島市では、国籍や民族などの異なる人々が、互いの習慣や文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことが可能となるような「多文化共生のまちづくり」を推進しています。

このような状況を踏まえ、以下の問いにお答えください。



※資料: 東広島市「住民基本台帳」(各年4月末の人数)

問8 あなたは、多文化共生のまちづくりが必要だと思いますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 必要だと思う
- 2 ある程度必要だと思う
- 3 あまり必要だと思わない
- 4 必要だと思わない
- 5 その他 ( )

問9 あなたの身近に外国人はいますか。(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- 1 家族や親せきにいる
- 2 近所の知り合いにいる
- 3 職場にいる
- 4 自分や子どもの学校にいる
- 5 自分自身が外国人である
- 6 身近に外国人はいない
- 7 その他 ( )

問10 市内には約9,000人の外国人が暮らしています。今後も増加する見込みですが、そのことについてどう思いますか。(主なものを3つまでを選んで○をお付けください)

- 1 同じ地域で共に生きる住民と感じる
- 2 地域で外国人と交流できてよい
- 3 外国の言葉や文化・習慣を知るよい機会になる
- 4 地域経済を支える労働力として必要
- 5 習慣や文化の違いがあり不安
- 6 治安が悪化しないか不安
- 7 特に何も感じない
- 8 その他 ( )

問11 外国人市民と共に地域で暮らしやすくなるように、あなたが実践していること(または、今後実践したいと思っていること)は何ですか。

(主なものを3つまでを選んで○をお付けください)

- 1 積極的に挨拶する
- 2 外国の生活習慣や文化等への理解を深める
- 3 外国語を少しでも理解する
- 4 日本の生活習慣や地域のルール等を教える
- 5 日本人市民と外国人市民との交流機会をつくる
- 6 地域の活動や行事に外国人市民の参加を促す
- 7 外国人市民の生活を支援する活動をする
- 8 特に実践している(しようとしている)ことはない
- 9 その他 ( )

問 12 ともに地域で暮らしやすくなるように、外国人市民にも努力をしてほしいと感じることは何ですか。

(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- 1 地域の生活ルール（ごみ、騒音等）を守ってほしい
- 2 日本の文化や習慣等を理解してほしい
- 3 挨拶を積極的にしてほしい
- 4 日本語を勉強してほしい
- 5 地域の活動や行事に参加してほしい
- 6 母国の言葉や文化を教えてほしい
- 7 自治会などの地域団体に加入してほしい
- 8 その他（ )

問 13 外国人市民と共生するために、行政として取り組むべきことは何ですか。

(主なものを3つまで選んで○をお付けください)

- 1 日本人への異文化理解の啓発
- 2 様々な国籍の人が交流できるイベントの開催
- 3 多言語での生活情報提供や相談の充実
- 4 外国人にも分かりやすい「やさしい日本語」の普及
- 5 日本語教室の充実
- 6 外国人への日本の生活マナーや習慣の啓発
- 7 外国人市民の災害時の対応支援
- 8 外国人の子どもに対する教育現場での支援の充実
- 9 外国人市民が意見や提案を行う機会の創出
- 10 公共施設・公共交通における多言語表記の充実
- 11 その他（ )

問 14 外国人ともコミュニケーションがとりやすい「やさしい日本語」を知っていますか。また、外国人と話すときに意識して使用したことはありますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

※「やさしい日本語」とは、普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語です。

(例) 高台に避難してください→ 高(たか)いところへ 逃(に)げて ください

(例) 無料→ お金(かね)は いりません

- 1 「やさしい日本語」を知っており、意識して使用したことがある
- 2 「やさしい日本語」を知っているが、使用したことはない
- 3 「やさしい日本語」を知らない

## 6 地域コミュニティ活動の参加状況についておたずねします。

問15 あなたの地域コミュニティ活動について、項目ごとに参加状況を教えてください。

(それぞれの項目ごとに、当てはまるものを1つだけ選んで○をお付けください)

項 目	過去1年間 以内に 参加した	過去1年間以内 ではないが 参加したことが ある	活動は知って いるが、 参加したこと はない	活動がない・ 活動があるか どうか 知らない
① 健康・福祉・医療 (お年寄りのお世話や子育て支援、百歳体操や地域サロン、見守りサポーターなど)	1	2	3	4
② ふれあい・親睦行事 (地域おこし・まつりなど)	1	2	3	4
③ 文化・芸術・スポーツ (催しの運営など)	1	2	3	4
④ 環境活動 (美化活動、資源回収、清掃活動など)	1	2	3	4
⑤ 災害救援 (災害予防、被災者への支援など)	1	2	3	4
⑥ 地域安全 (犯罪や事故の予防)	1	2	3	4
⑦ 児童・青少年の健全育成 (体験学習・学童保育など)	1	2	3	4
⑧ 情報共有 (地域情報誌の発行など)	1	2	3	4
⑨ 地域経済の活性化 (バザー、特産品開発など)	1	2	3	4

## 7 住民自治協議会についておたずねします。

問16 あなたは、各地域のまちづくりに取り組んでおられる住民自治協議会を知っていますか。

(1つだけ選んで○をお付けください)

※ 住民自治協議会 … 小学校区単位 (一部、旧小学校区) を基本に、市内 48 の地域におけるまちづくりを推進する団体

- 1 活動内容まで知っている
- 2 存在は知っているが活動内容は知らない
- 3 全く知らない

## 8 消費生活についておたずねします。

問17 あなたは、消費者トラブルに遭ったときの相談窓口である「消費生活センター」が東広島市に設置されていることを知っていますか。(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 利用したことがある
- 2 知っているが利用したことはない
- 3 知らない



問23 あなたは、生涯学習を進めていくためには、東広島市はどのような取組みに力を入れるべきだと思いますか。(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- 1 生涯学習に関する講座やイベントの情報を、多様な手段を用いて提供する
- 2 生涯学習の意義や必要性について啓発する
- 3 超高齢化、少子化、防災など、地域が直面する課題解決のための講座を充実させる
- 4 大学、試験研究機関などと連携した講座を充実させる
- 5 生涯学習を始めるきっかけとなるような講座やイベントを充実させる
- 6 学んだ成果を発表する機会を充実させる
- 7 仕事や就職、資格取得に活かせる講座や講習会を充実させる
- 8 生涯学習を支援する人材の育成や配置を充実させる
- 9 地域コミュニティの維持、活性化へつながるようなボランティア団体・サークルを育成する
- 10 指導者やまちづくりリーダーなどの人材を育成する講座を充実させる
- 11 ボランティア活動に関する情報をもっと提供する
- 12 生涯学習センターや地域センターなど、生涯学習ができる場所を周知し、設備を充実させる
- 13 講座やイベントの開催時期や時間を市民のニーズに合わせる
- 14 生涯学習をするために要する費用を助成する
- 15 その他 ( )
- 16 現状のままでよい

## 10 運動・スポーツについておたずねします。

問24 あなたは、運動やスポーツが好きですか？ (1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 するのも観るのも好き
- 2 どちらかといえばする方が好き
- 3 どちらかといえば観る方が好き
- 4 するのも観るのも嫌い
- 5 どれでもない、関心がない

問25 あなたは、現在週に1日以上スポーツや運動を行っていますか？

(ウォーキングやラジオ体操、いきいき体操ひがしひろしまなどもスポーツ・運動に含みます。)

(1つだけ選んで○をお付けください)

- 1 行っている
- 2 行っていない

**問25で、「2 行っていない」とした人のみ回答してください。**

問25-1 今後、運動・スポーツを始めてみたいと思いますか？

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |           |        |             |          |
|-----------|--------|-------------|----------|
| 1 大いにやりたい | 2 やりたい | 3 あまりやりたくない | 4 やりたくない |
|-----------|--------|-------------|----------|

問26 令和5年度に、市や地域の運動・スポーツ行事に参加したことがありますか？

(1つだけ選んで○をお付けください)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 参加したことがある | 2 参加したことがない |
|-------------|-------------|

問27 東広島市のスポーツ振興に関して重要と思うことは何ですか？

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 身近なところで、気軽につかえる公共施設を整備する         |
| 2 施設の使用料金を安くする                     |
| 3 スポーツ施設やスポーツ行事・教室の情報提供を積極的に行う     |
| 4 スイミングクラブ、スケートリンク場などの商業スポーツ施設を増やす |
| 5 総合運動場や市民体育館などの大型の公共施設を整備する       |
| 6 運動・スポーツの指導者を増やす                  |
| 7 地域のスポーツ組織を整備する                   |
| 8 その他 ( )                          |

## 11 困りごとがあったときの相談先(相談相手)についておたずねします。

問28 日常生活で困りごとが発生したとき、家族(親族)以外では、誰(どこ)に相談しますか。

(当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)

- |                      |                                    |
|----------------------|------------------------------------|
| 1 友人、知人、職場の人         | 2 近所の人                             |
| 3 自治会の役員             | 4 民生委員・児童委員                        |
| 5 見守りサポーター           | 6 病院などの医療機関、薬局                     |
| 7 ケアマネジャー・ヘルパー       | 8 市役所の各窓口                          |
| 9 地域包括支援センター         | 10 福祉施設                            |
| 11 社会福祉協議会           | 12 生活支援センター                        |
| 13 保育所、認定こども園、幼稚園、学校 | 14 どこに相談したらよいかわからない<br>(相談する人がいない) |



(7) あなたの居住地は	1 西条地区	2 八本松地区	3 志和地区
	4 高屋地区	5 黒瀬地区	6 福富地区
	7 豊栄地区	8 河内地区	9 安芸津地区
(8) あなたの通勤(職場)・通学(学校)先は	1 市内	2 市外	3 なし
(9) あなたの主な移動手段は	1 徒歩(車椅子を含む)	2 自転車	
	3 原付自動車・自動二輪車	4 自動車	
	5 家族の送迎	6 バス・鉄道	
	7 タクシー	8 その他( )	
(10) 現在のお住まいの種類は	1 戸建て持ち家	2 戸建て借家	
	3 分譲マンション	4 賃貸マンション・アパート	
	5 社宅・官舎・寮	6 公営住宅	
	7 その他( )		
(11) あなたがお持ちの端末を教えてください。 (当てはまるもの全てを選んで○をお付けください)	1 スマートフォン	2 携帯電話(従来型)	
	3 タブレット	4 市が販売あるいは配布した緊急告知ラジオ	
	5 パソコン	6 その他( )	
	7 特に持っていない		

#### 14 市政に対するご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

**ご協力いただき、ありがとうございました。**

同封の返信用封筒にて **令和6年7月25日(木)まで** に郵便ポストにご投函ください

# 東広島市 「市民ポータルサイト」 とは？

「市民ポータルサイト」は、インターネットにより市民と市役所や学校をつなぐ、東広島市が運用するサービスのことで。

本ポータルサイトに情報を登録すると、市からのお知らせが携帯電話やスマートフォンに電子メールやLINE で配信されます。

※市民ポータルサイトの詳しい使い方についてはこちら→



## 市民ポータルサイトに登録することでできること

### 小中学校・幼稚園からの情報配信

子どもの情報や学校関係者のグループ情報を登録してください。小中学校や幼稚園からのお知らせを、メールやLINE でお知らせします。

### ゴミ収集日通知

あなたのお住まいのゴミ収集日を登録してください。ゴミ収集日前日に、メールやLINE でお知らせします。

### 防災情報の通知

防災情報配信の受取希望を設定してください。詳細地域や危険区域を登録することで、該当する防災情報のみを受け取ることもできます。

など、知りたい情報を、メールやLINE でお知らせします。

## 「市民ポータルサイト」への新規登録から、特産品抽選プレゼントキャンペーン応募までの流れ

- ① 右記の二次元コードから、または下記のURLを入力して市民ポータルサイトの新規登録ページにアクセスしてください。

新規登録ページ 二次元コード

新規登録ページのURL

[https://higashihiroshima.service-now.com/crm?id=csp\\_registration](https://higashihiroshima.service-now.com/crm?id=csp_registration)



- ② メールアドレス・姓・名・パスワード（2回）を入力し、「個人情報保護方針と利用規約に同意します」にチェックをし、「送信」をクリックしてください。

- ③ 先ほど登録したメールアドレスに、「東広島市市民ポータルサイトの本登録確認」のメールが届きます。メール内のURLをクリックしてください。

- ④ 「本登録が完了しました。」と表示されれば、「市民ポータルサイト」の登録は完了です。



- ⑤ この調査票の表紙に記載されている二次元コード、またはURL からアンケート回答ページにアクセスします。アンケート回答後に、特産品抽選プレゼントキャンペーン応募用のリンクが表示されますので、先ほど登録したメールアドレスとパスワードを入力して市民ポータルサイトにログインすると、プレゼントキャンペーンに応募できます。（調査票1ページに記載された6桁の応募番号が必要になります。）

令和6年度 東広島市市民満足度調査報告書

令和6年11月 発行

発行 東広島市  
編集 総務部 政策推進監  
〒739-8601 広島県東広島市西条栄町8番29号  
TEL 082-420-0917  
E-Mail [hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp](mailto:hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp)